



藤本タツキ

Tatsuki Fujimoto

Chain saw man

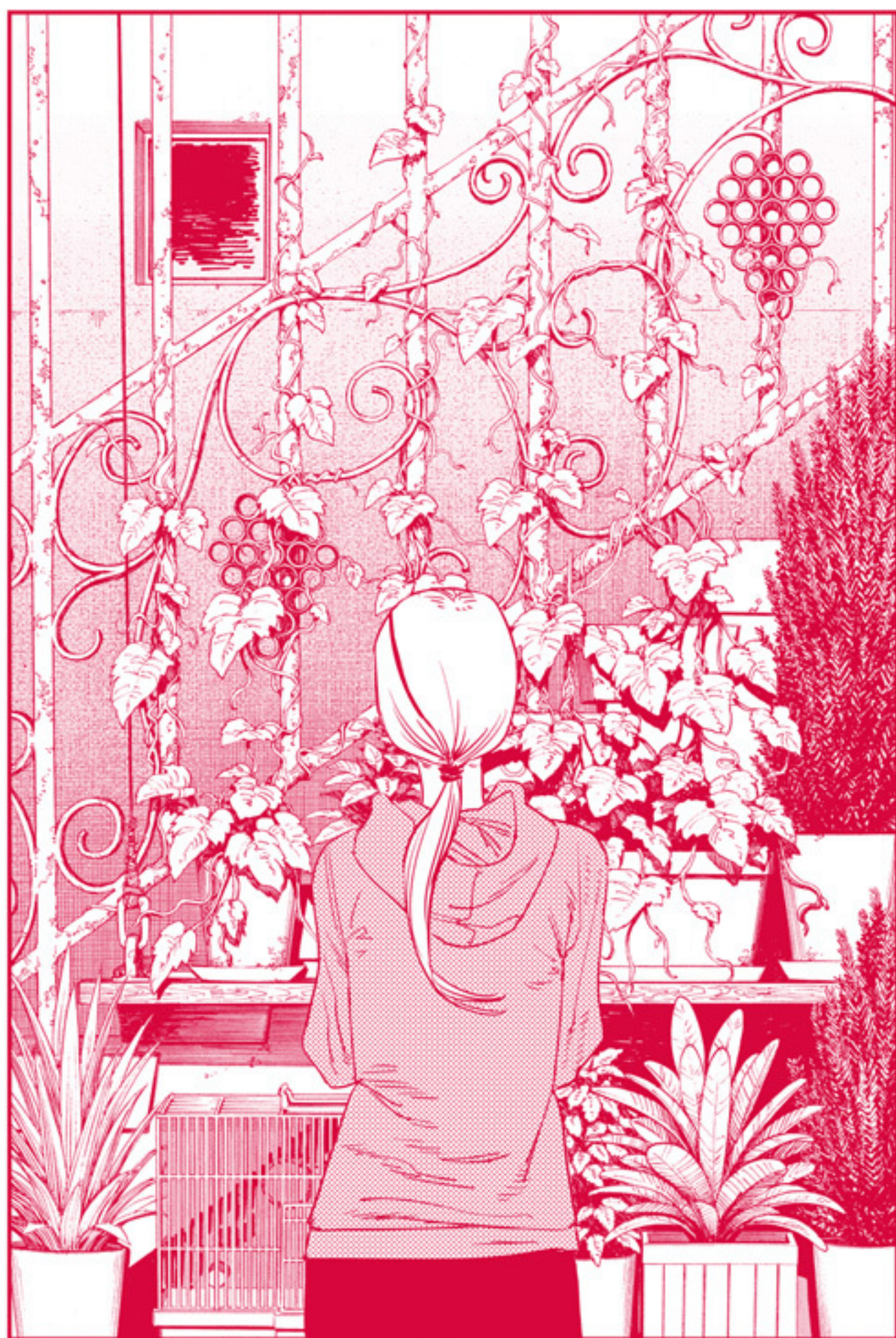
8

JUMP COMICS



ちょうめちやくちゃ

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、
いっさい関係ありません。著者カラー原画に加え、著者の原画を
もとに集英社でデジタル彩色を行った特別編集版です。



チェンソーマン

8

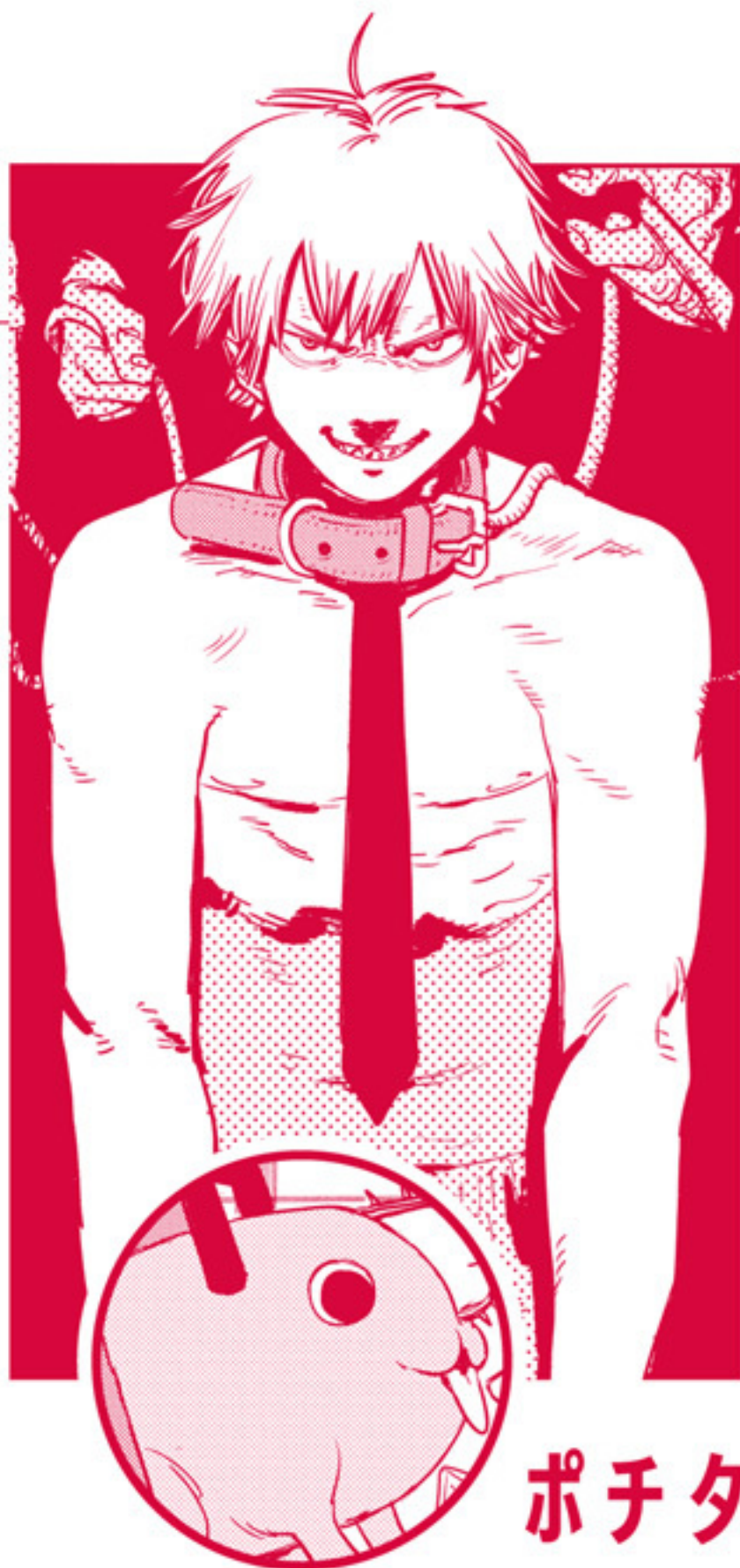
【ちょうめちやくちや】

ふじもと
藤本タツキ

CHARACTERS

デンジ

相棒のポチタをその身に宿す、『チェーンソーの悪魔』の少年。自分の欲望に正直。初めて人並扱いしてくれたマキマが好き。



ポチタ

『チェーンソーの悪魔』。デンジに心臓を与え、体の一部となる。

マキマ



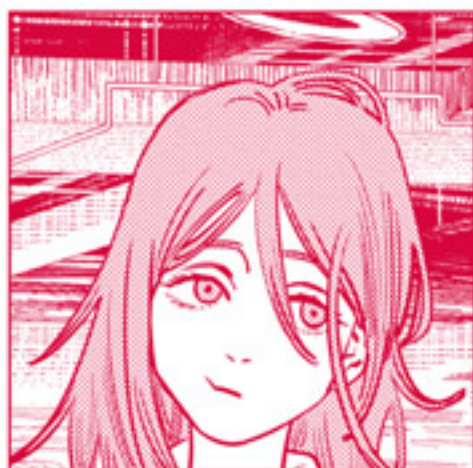
公安対魔特異4課を取り仕切るミステリアスな女。悪魔の匂いを嗅ぎ分ける。

早川アキ



マキマの忠実な部下。デンジの3年先輩。『未来の悪魔』『呪いの悪魔』と契約している。

天使の悪魔



人に敵意はないが、直接接触されると寿命を吸い取られてしまう。特異4課の隊員。

パワー



『血の悪魔』の魔人。自分勝手に暴走しがち。猫のニャーコが唯一の友達。

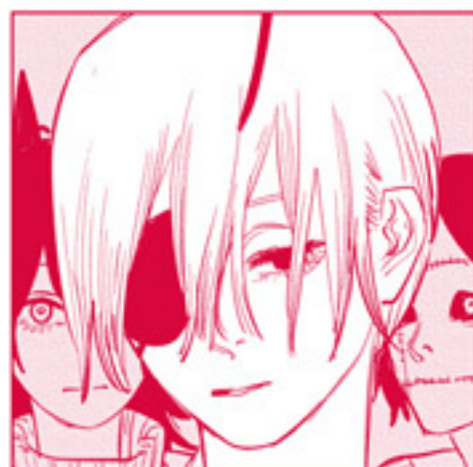


人形使い



『人形の悪魔』を使役する。人間を人形に変え、人形に触れた者も同じ運命になる。

クァンシ



中国からの刺客。岸辺の元パティで人類最強とも言われる。4人の女の魔人を従える。

トーリカ



師匠のもとで修行する青年。生き物の生命を奪うことにためらいが無い。

師匠



『呪いの悪魔』と契約するデビルハンター。余命があと半年しかない。トーリカの師匠。

STORY

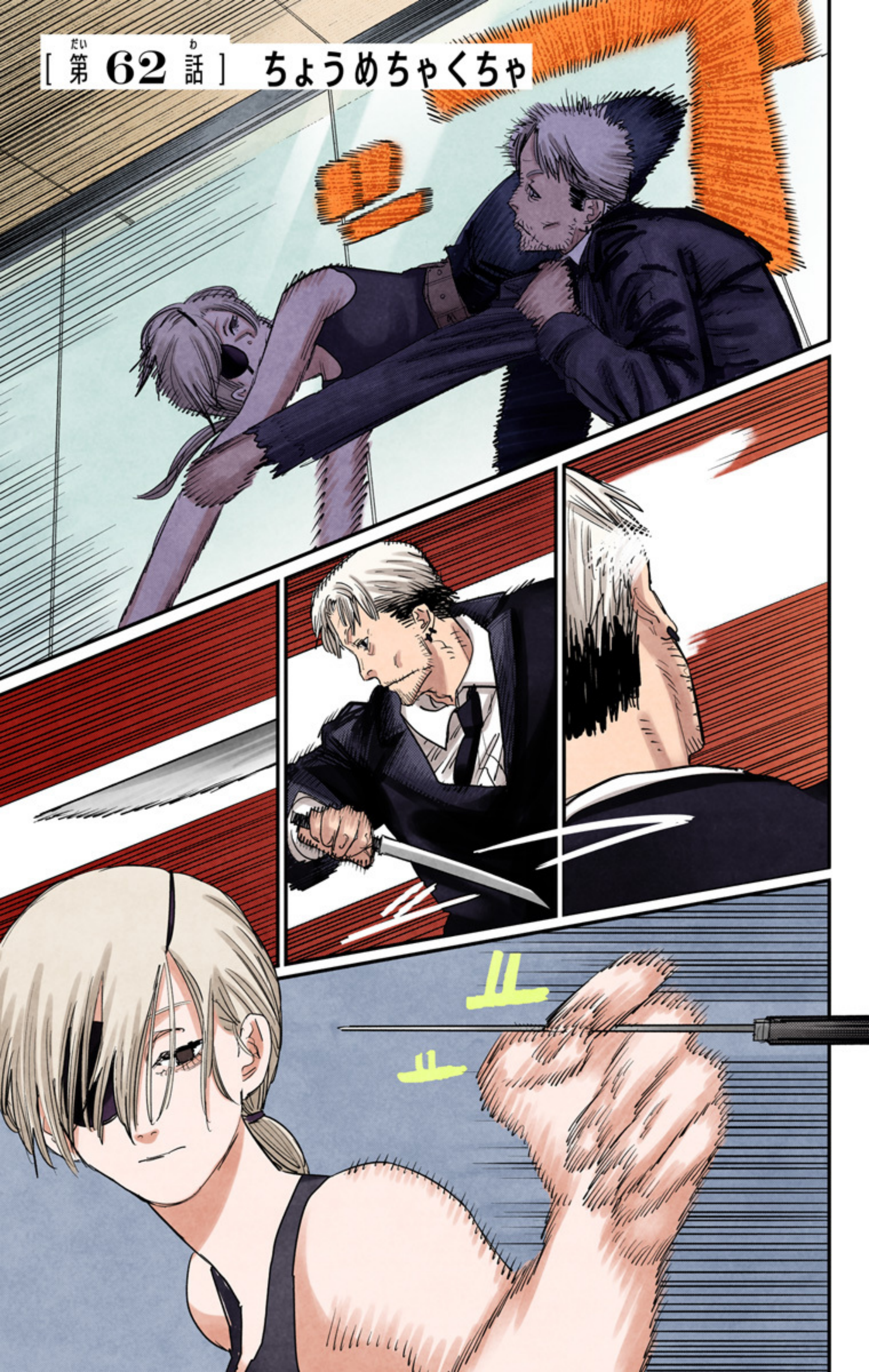
悪魔のポチタと共にデビルハンターとして暮らす少年・デンジ。借金返済のためこき使われるド底辺の日々を過ごしていたところを、裏切りに合い殺されてしまう。だが、ポチタがその命と引き換えにデンジを『チェンソーの悪魔』として蘇らせる！ 敵を皆殺しにしたデンジは、マキマに拾われ公安のデビルハンターとなるのだった。

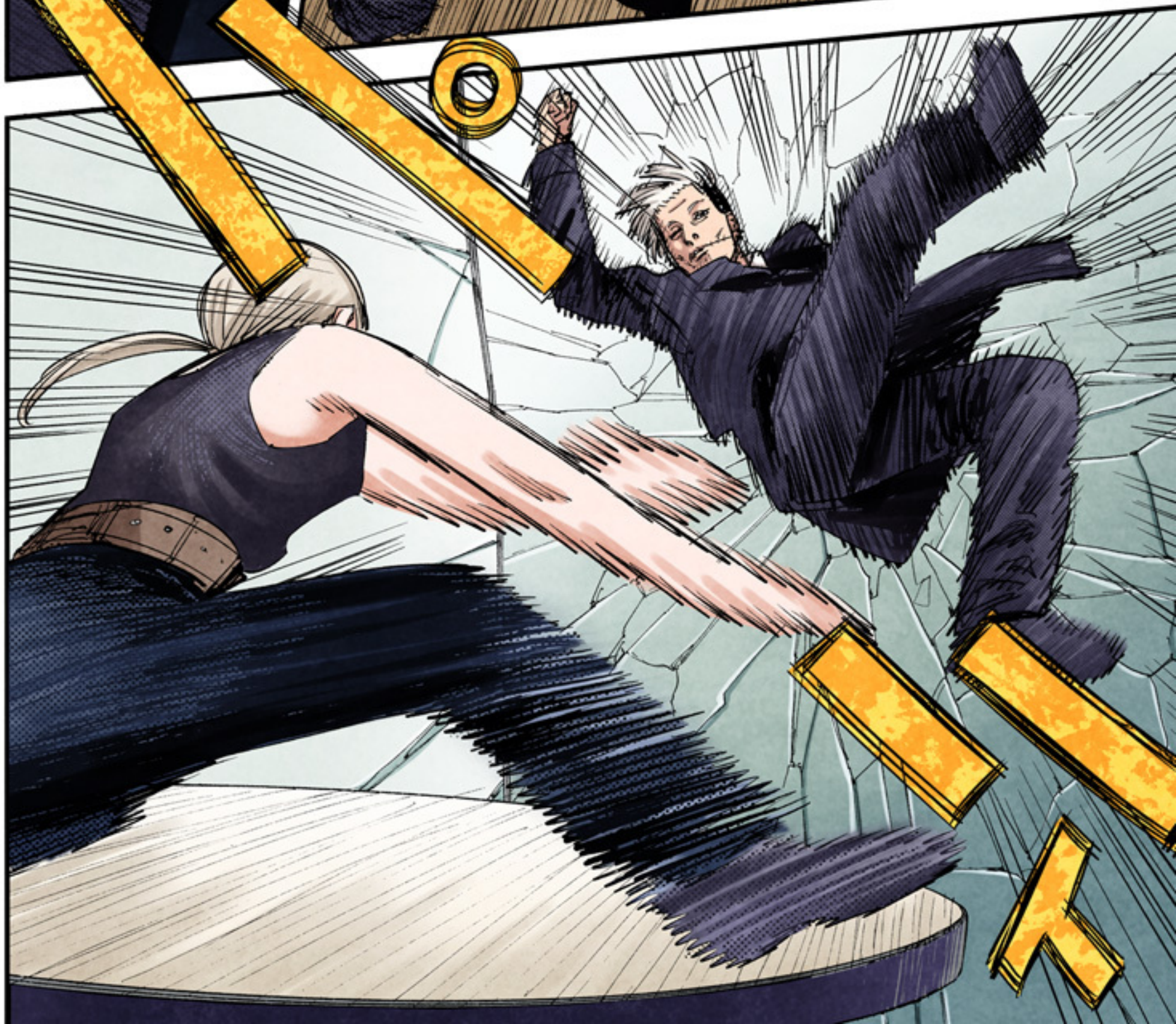
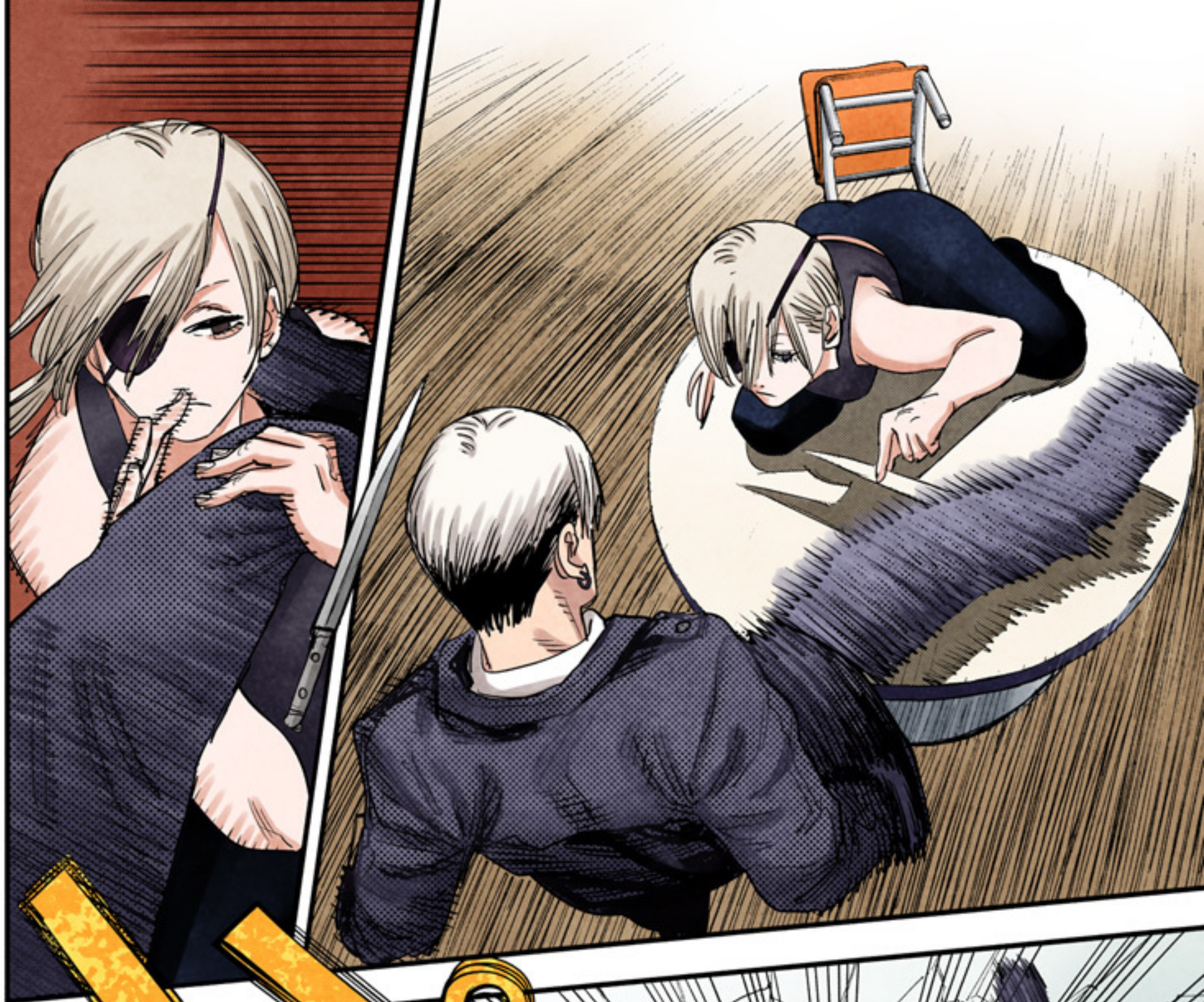
その姿が「デンノコ悪魔」としてTVで報道され、世界中にデンジが日本にいることが知れ渡ってしまった。デンジという重

要な存在を手に入れようと中国のクァンシ、ドイツのサンタクローズ、アメリカのデビルハンター三兄弟など各国からの刺客が東京に集結!! 特異課は戦力を総動員しデンジ防衛作戦を敷くが、『人形の悪魔』を使役する老人が放った人形たちにより、デパートの中へ追い詰められてしまう。さらにクァンシも参戦し絶体絶命のピンチとなるが、岸辺の登場により形勢が逆転。岸辺はクァンシの仲間を人質に取り『マキマを殺すために協力しろ』と取引を持ちかけるが、一瞬の隙をつかれてしまい…!?

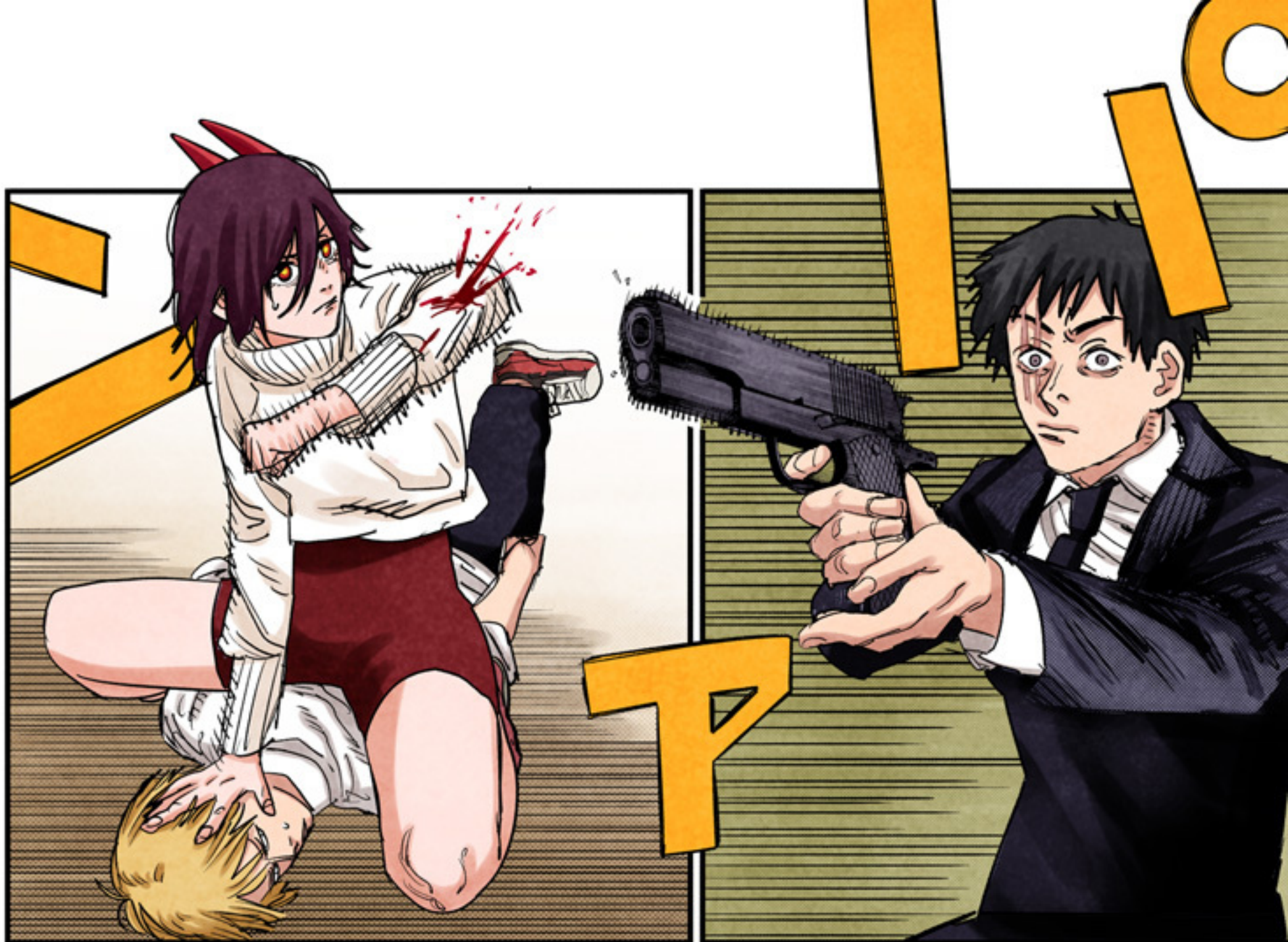
CONTENTS

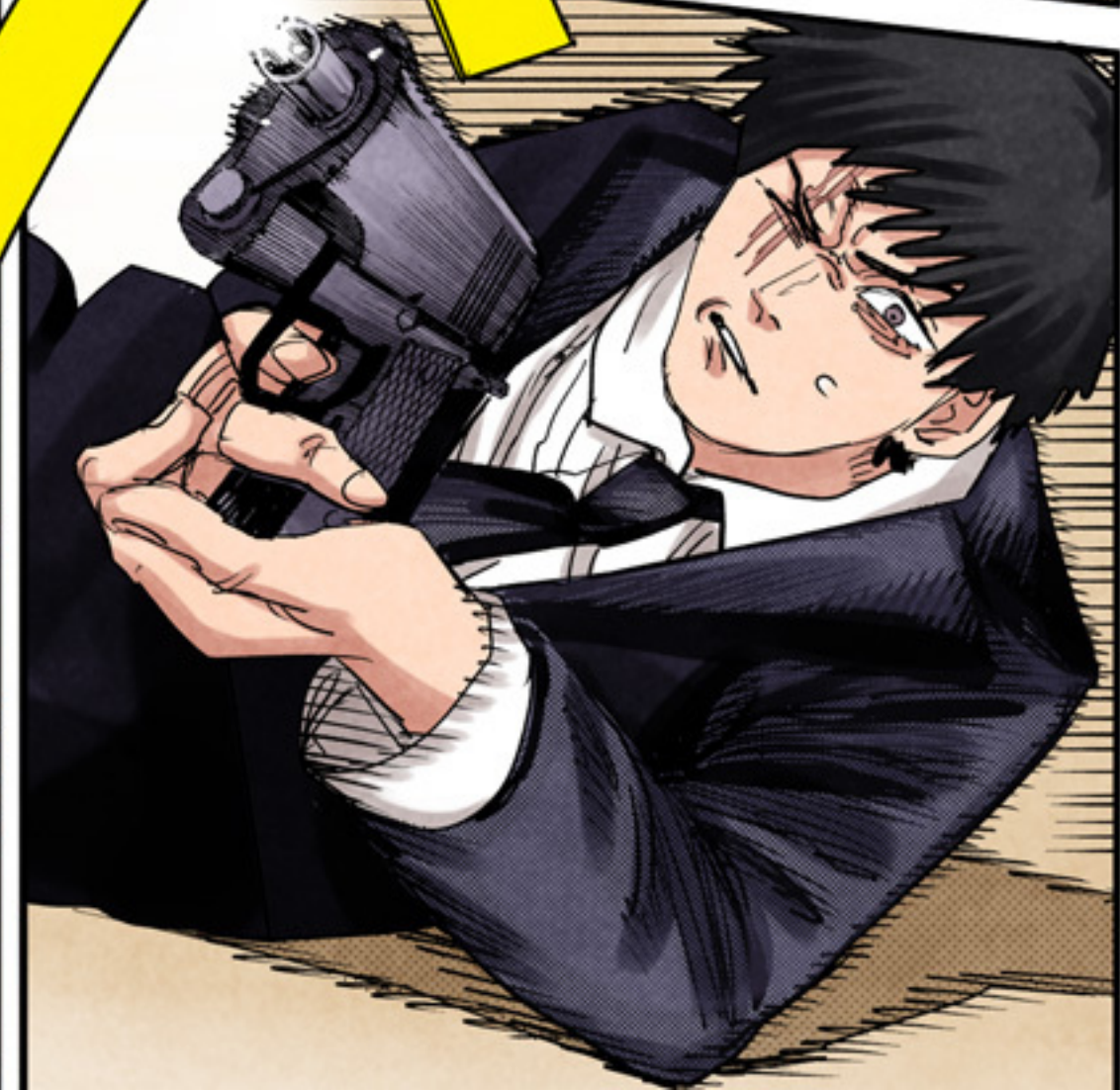
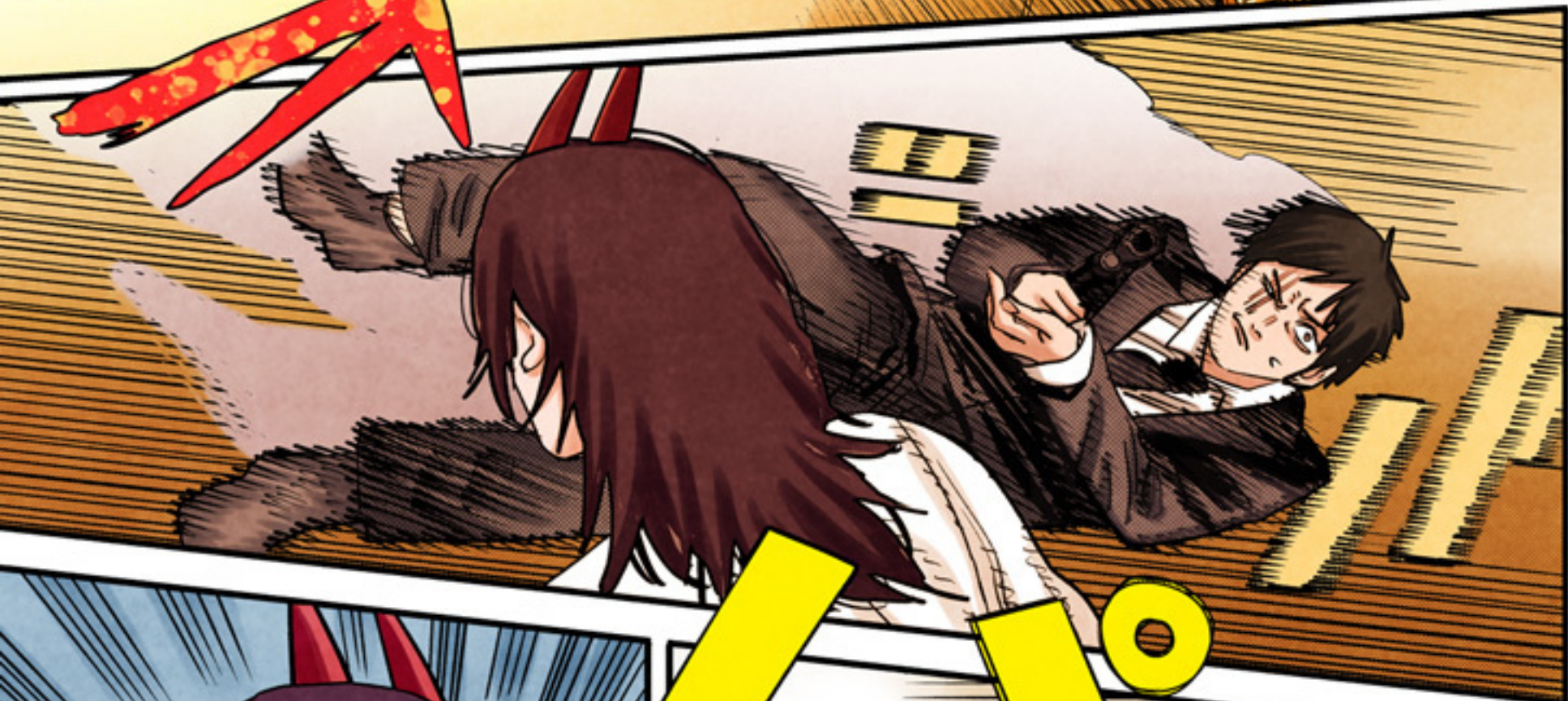
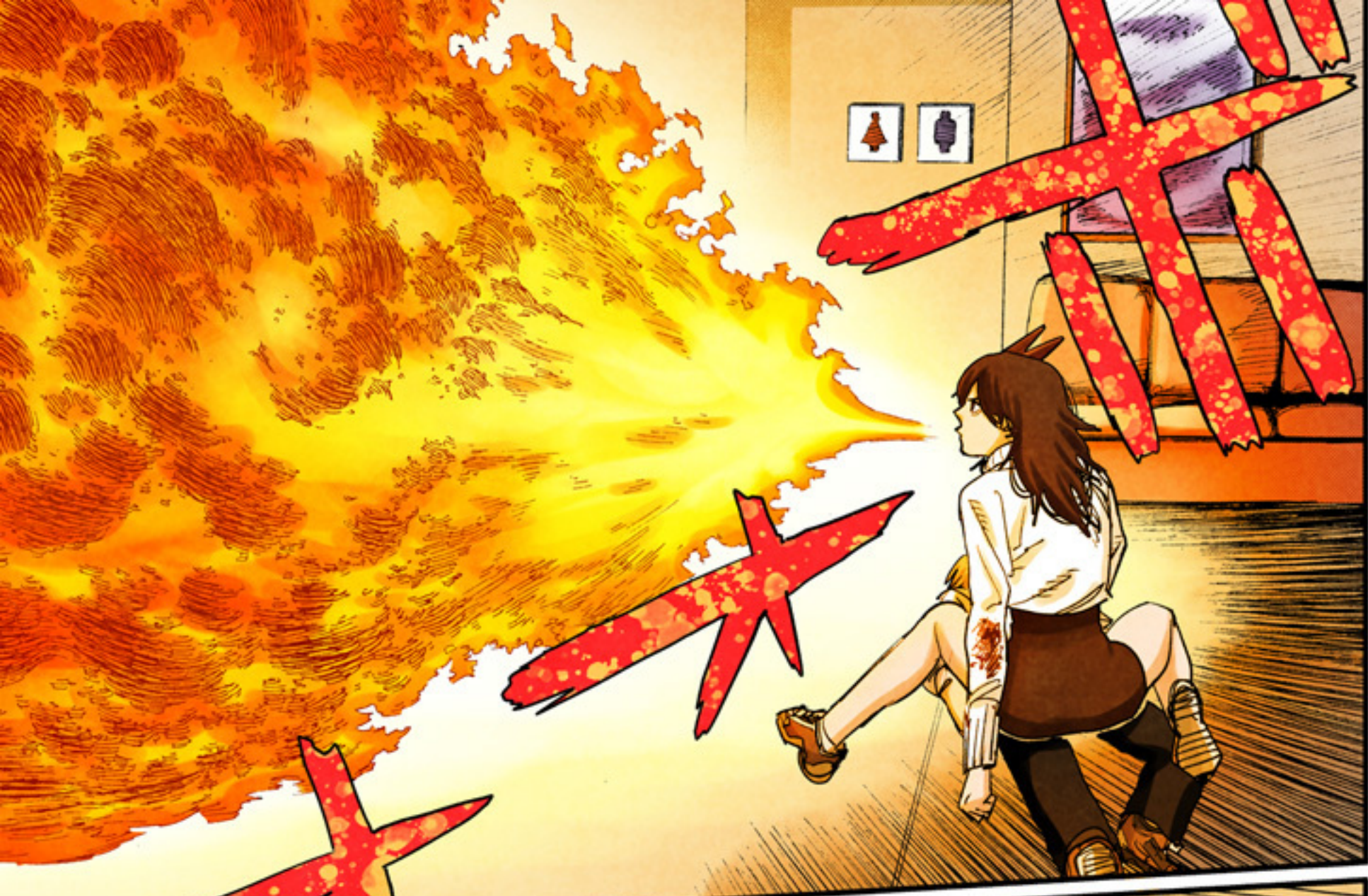
- [第 62 話] ちょうめちやくちゃ 007
- [第 63 話] 地獄旅行 027
- [第 64 話] ウェルカムトゥーザヘル 047
- [第 65 話] 闇の悪魔 067
- [第 66 話] ワン! 087
- [第 67 話] 最初のデビルハンター 107
- [第 68 話] ダークパワー 129
- [第 69 話] シャイニング パワー 149
- [第 70 話] 捕む 169

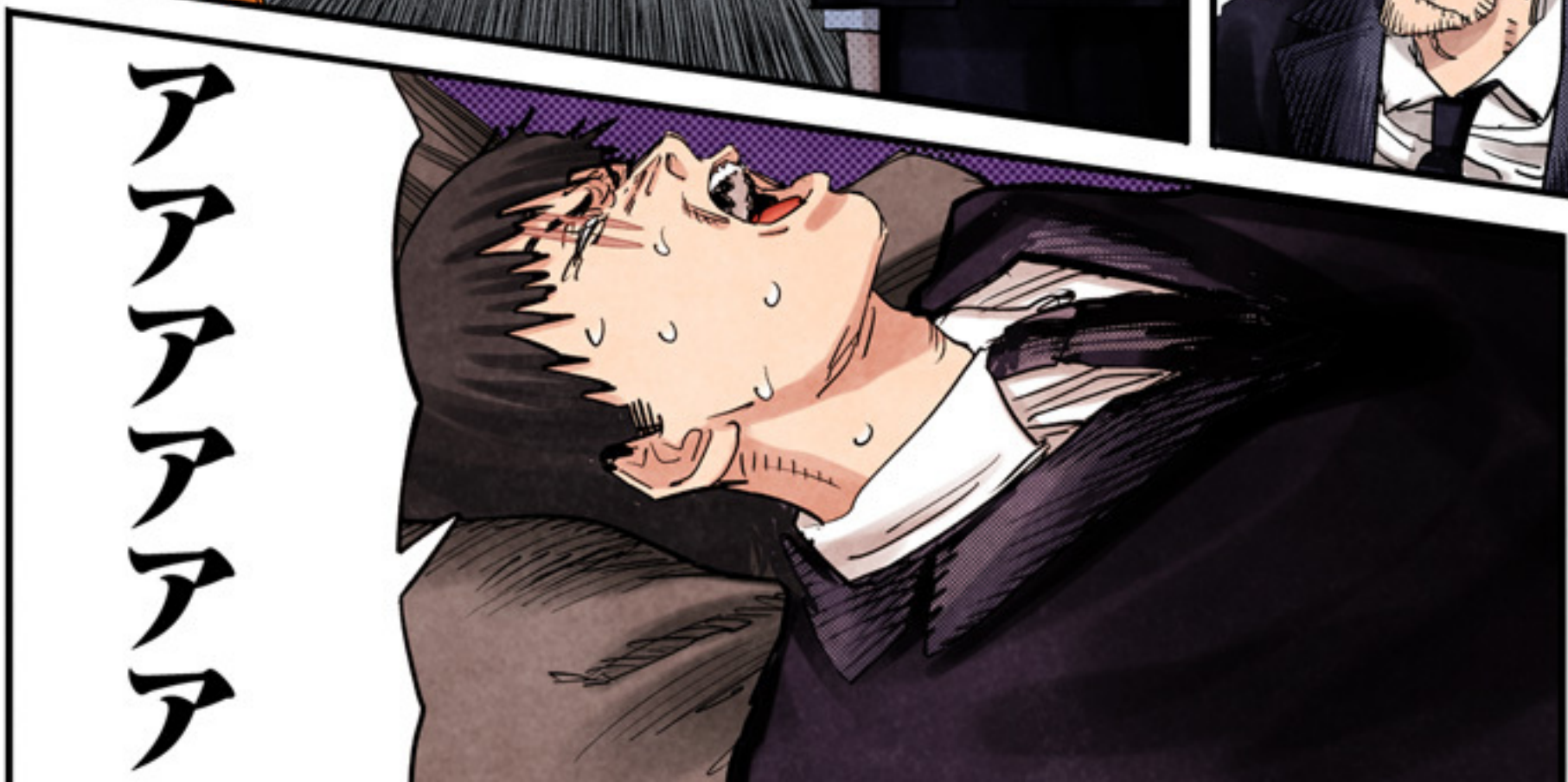
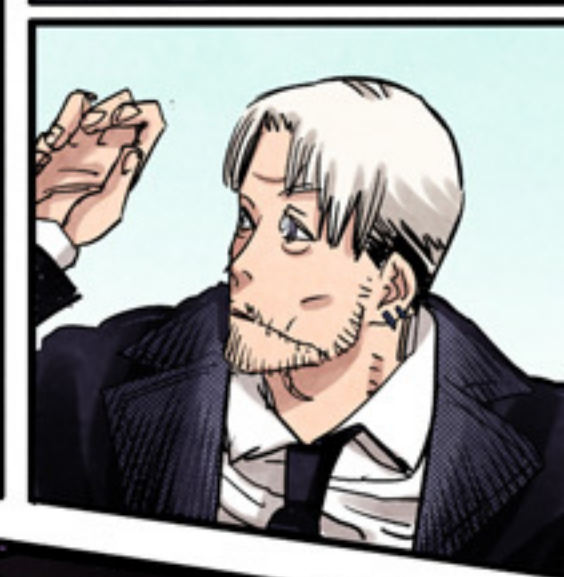
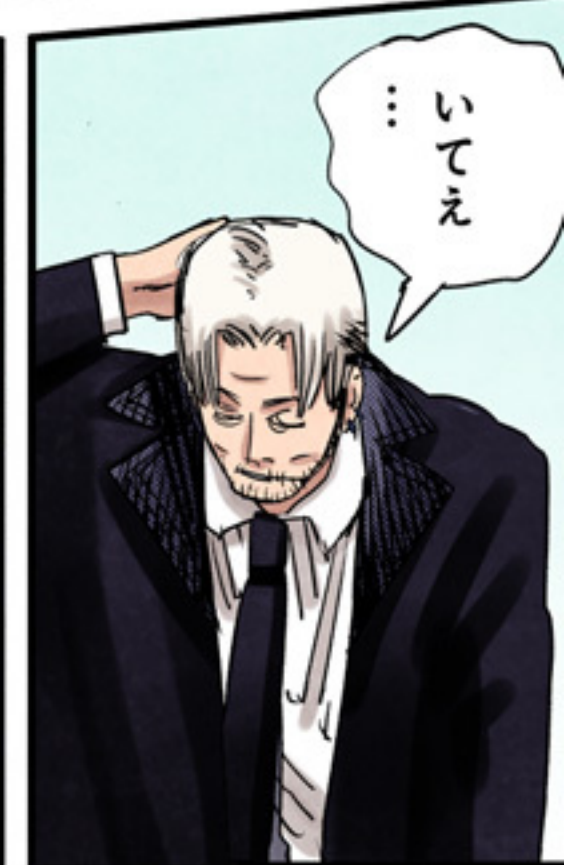
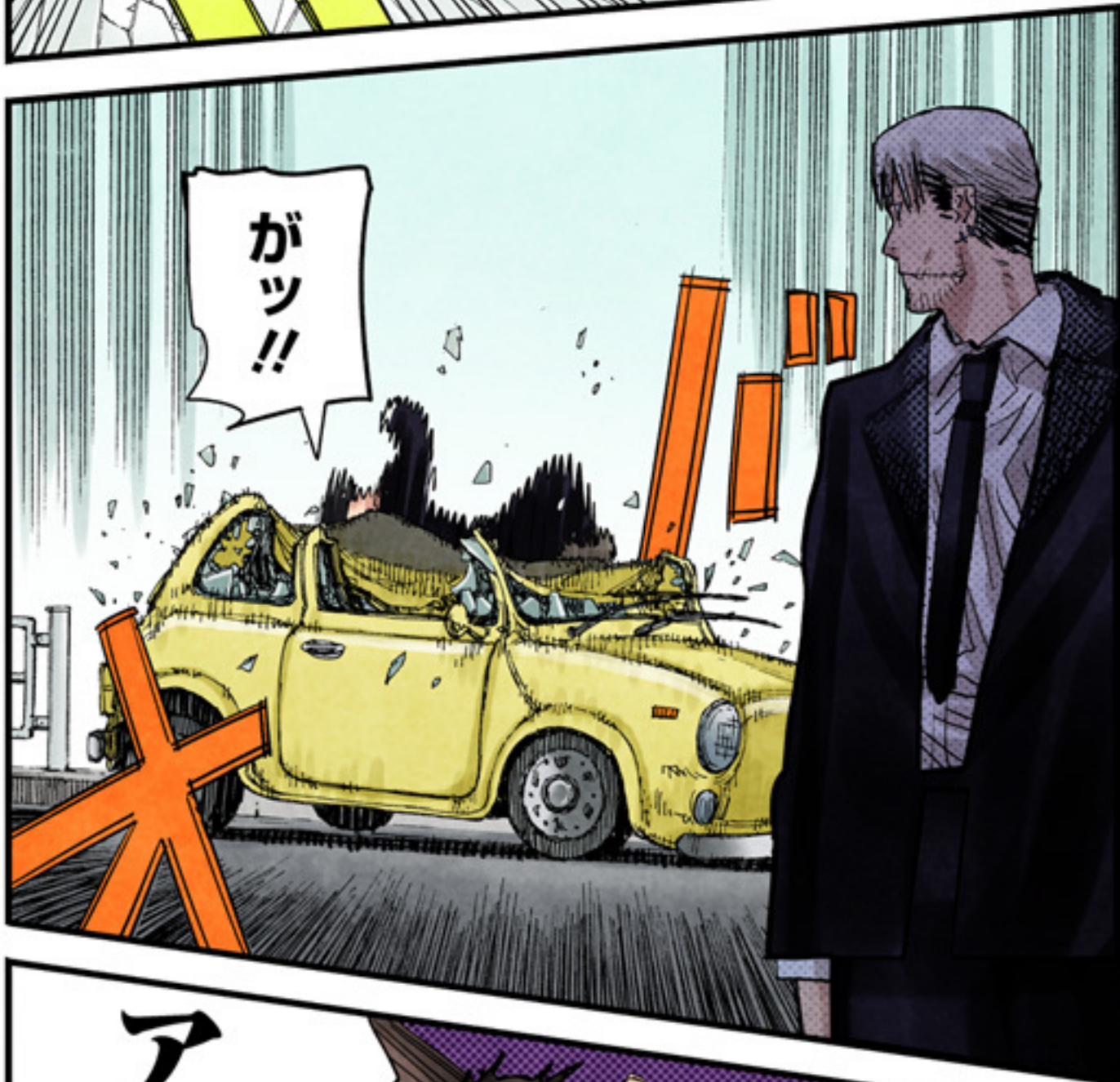


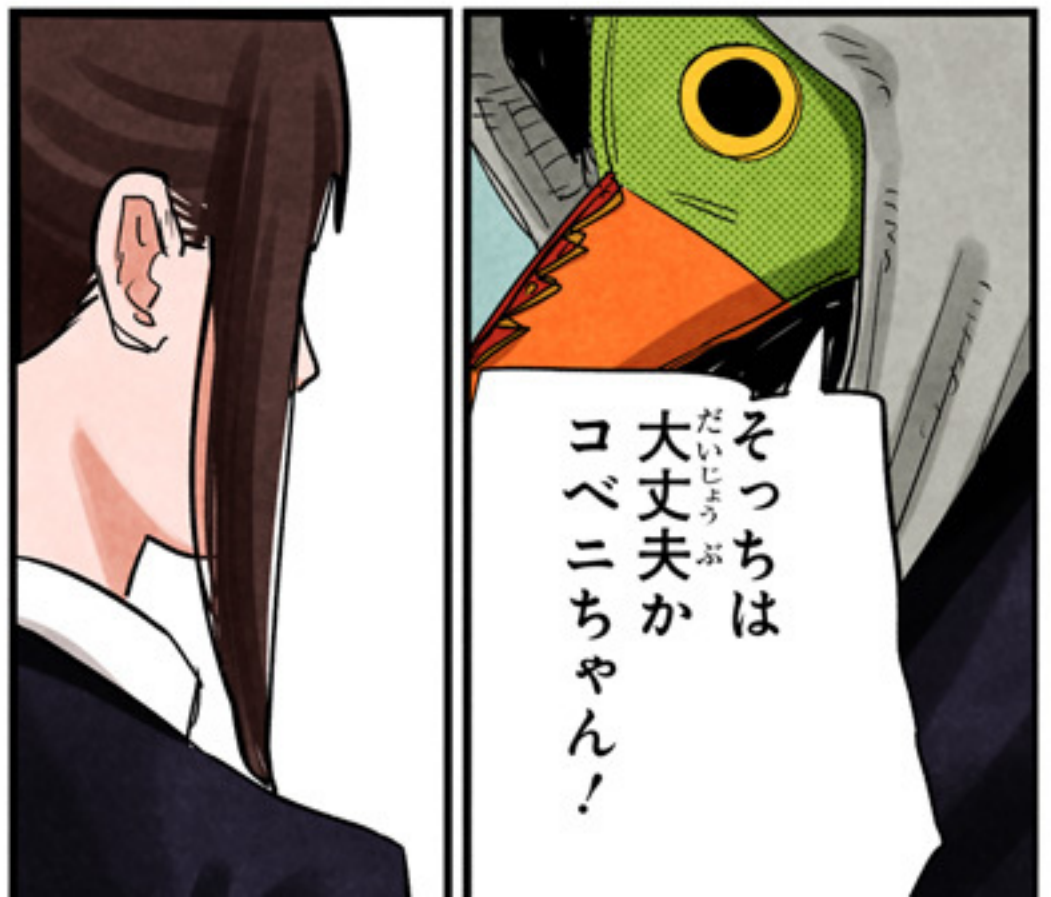
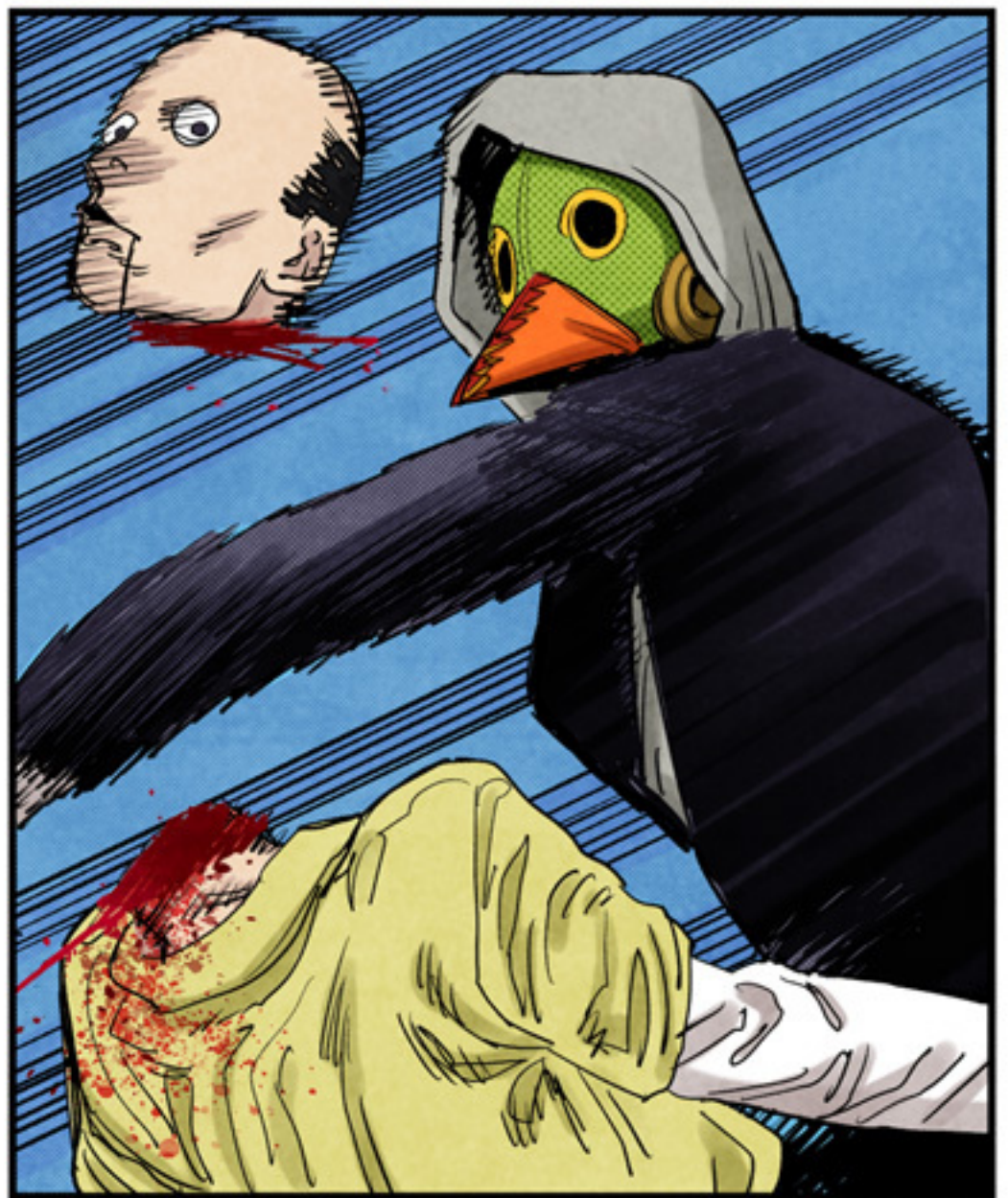
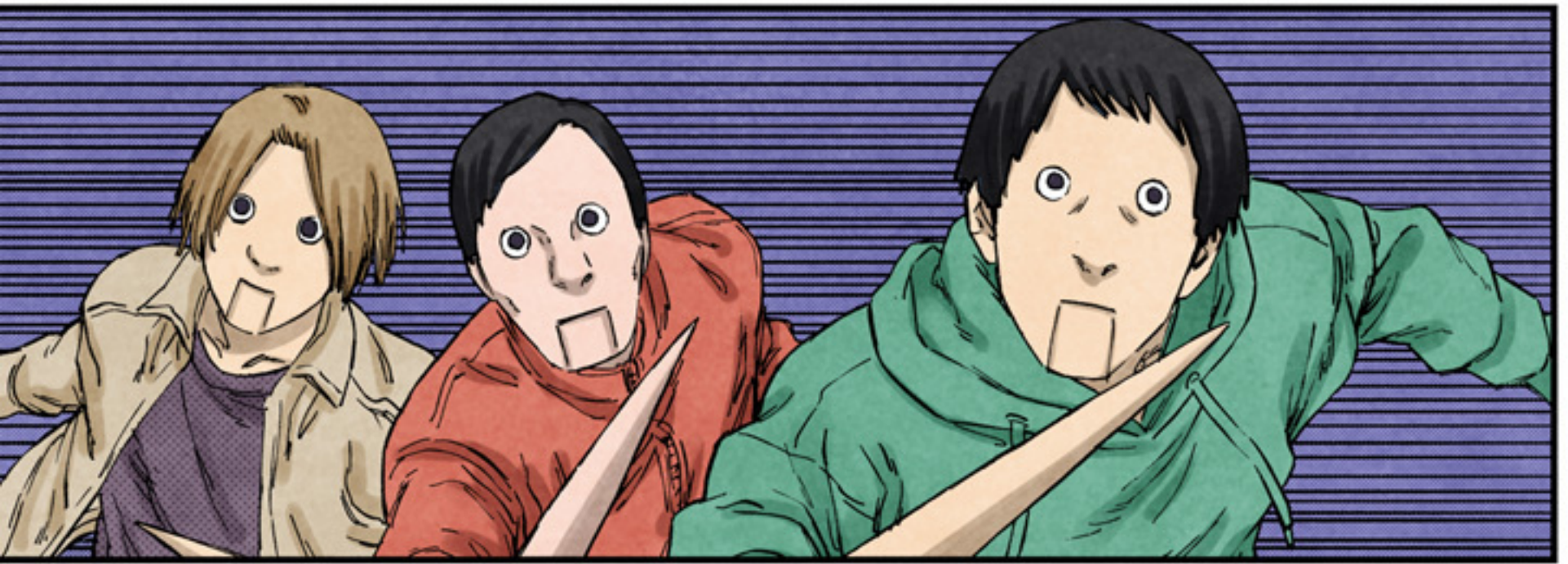


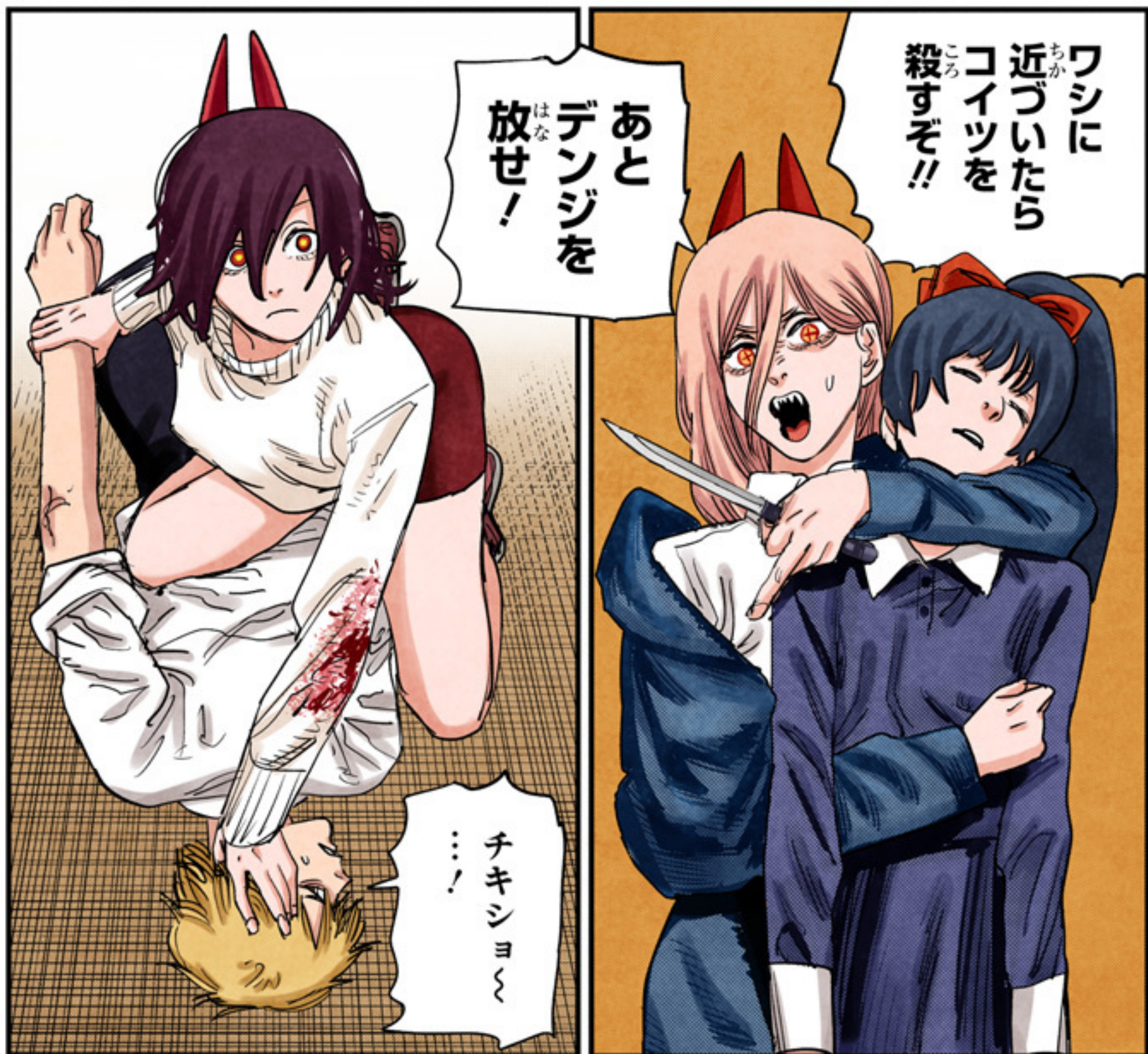








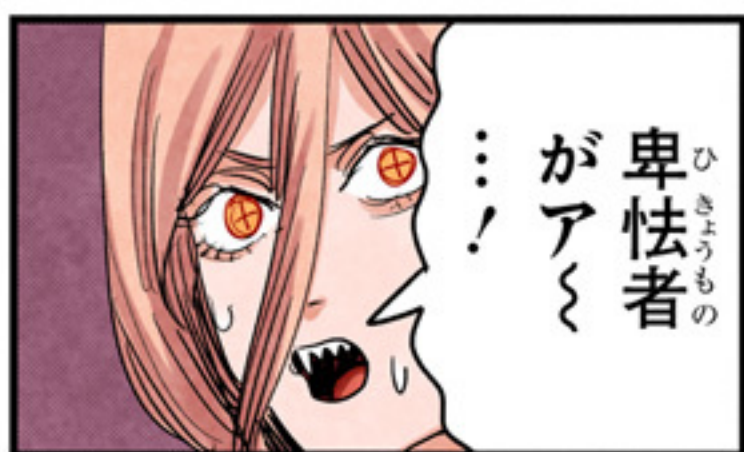




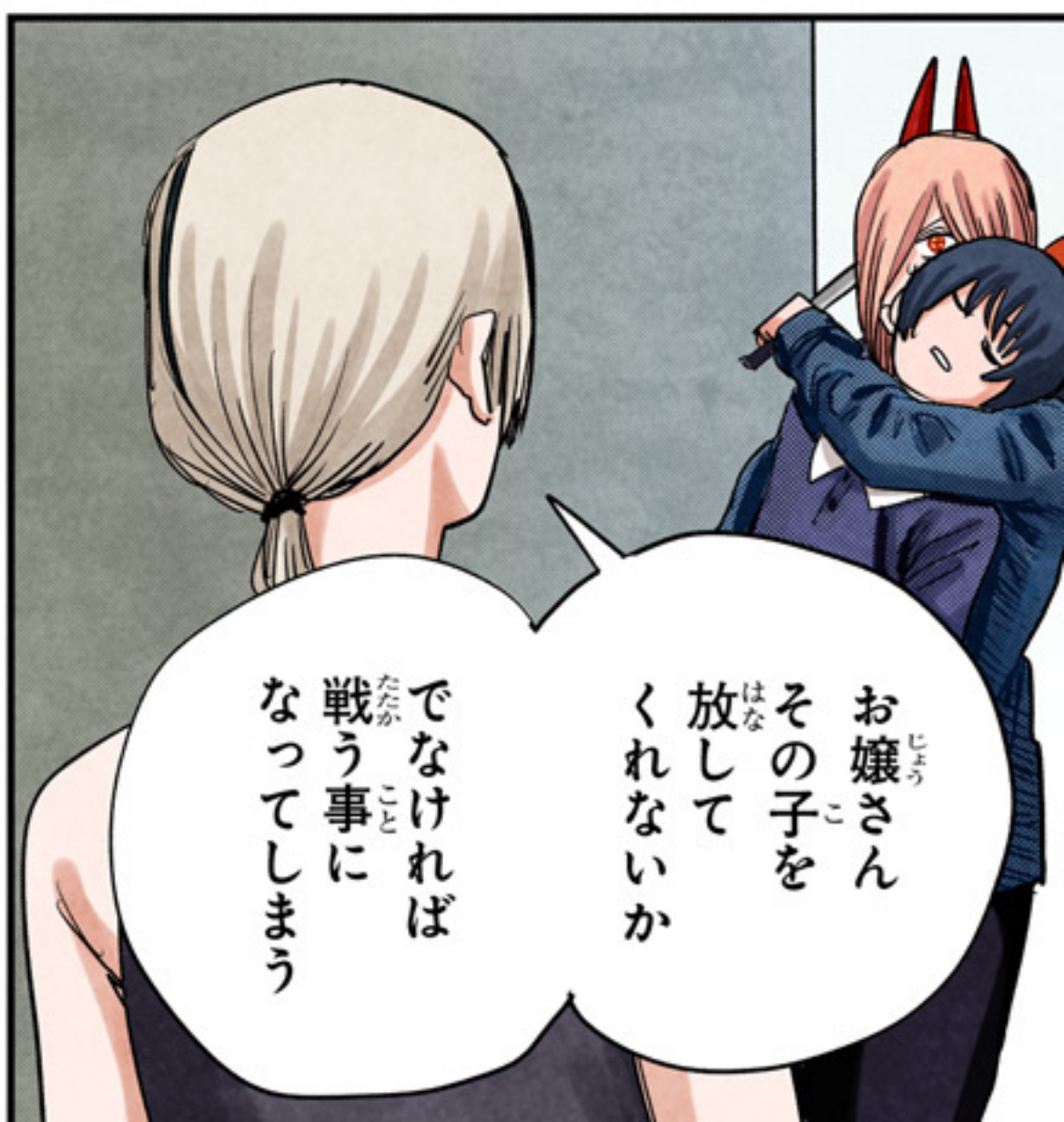
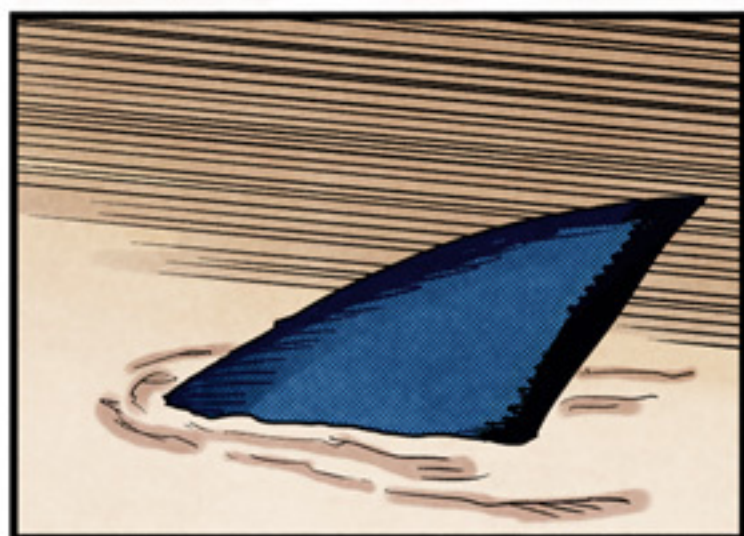
ワシに
近づいたら
コイツを
殺すぞ!!

あと
デンジを
放せ!

チキシヨク
…!



卑怯者
がア
…!



お嬢さん
その子を
放して
くれないか

でなければ
戦う事に
なってしまう



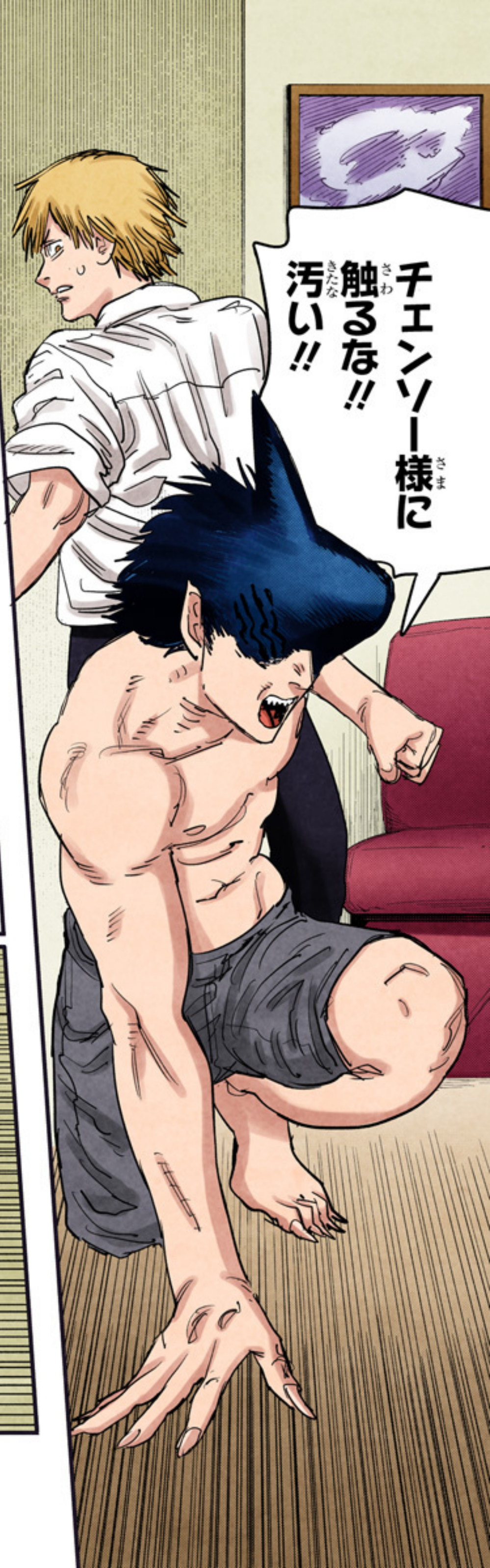
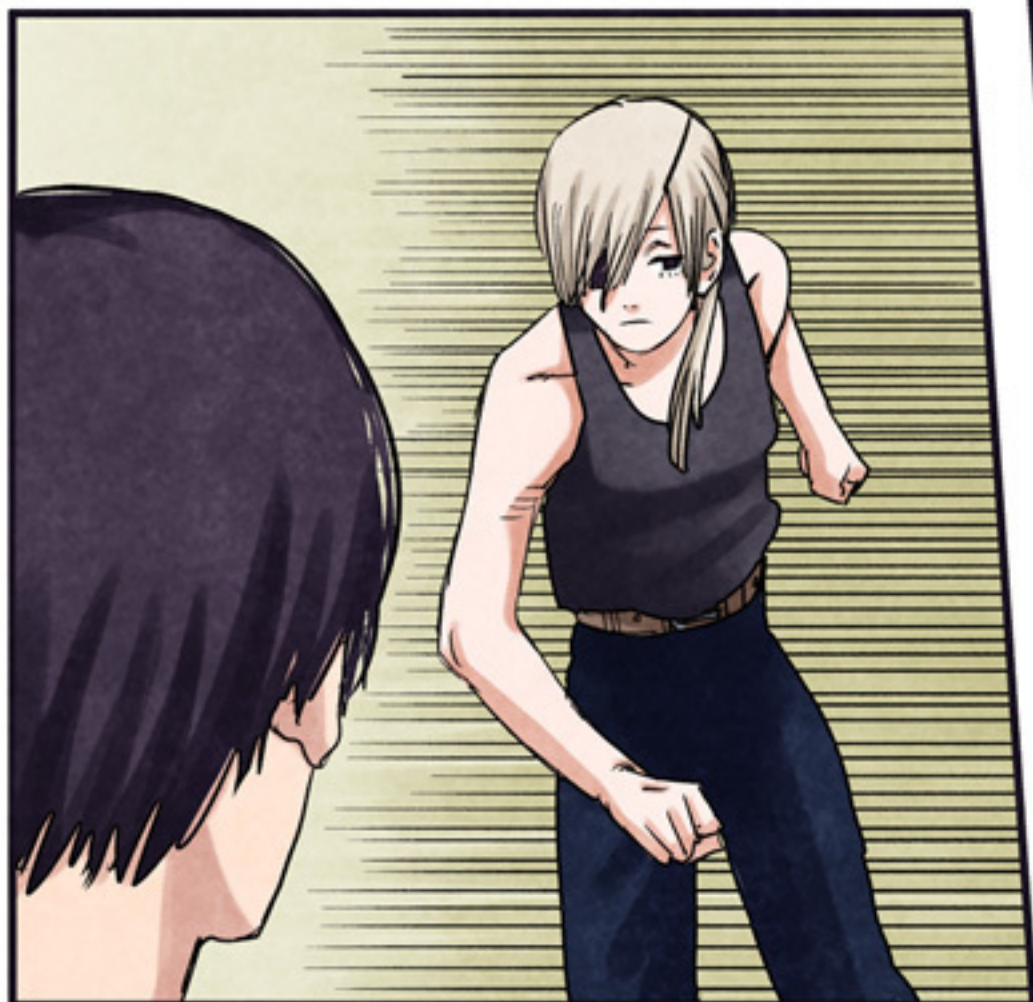


アイツ
バケモンだ!
逃げっぞ
ビーム!

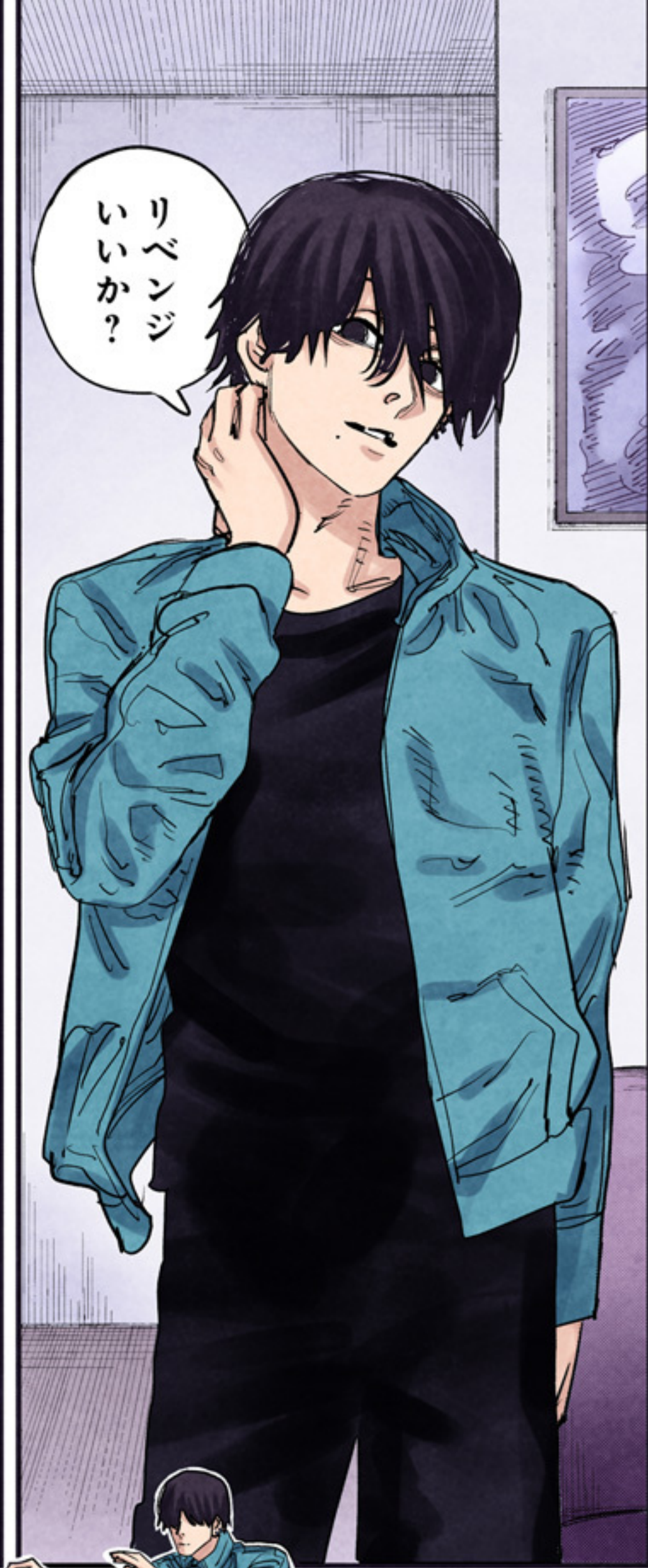
バケモンめ!!
このバケモン!!



クアンシ!!

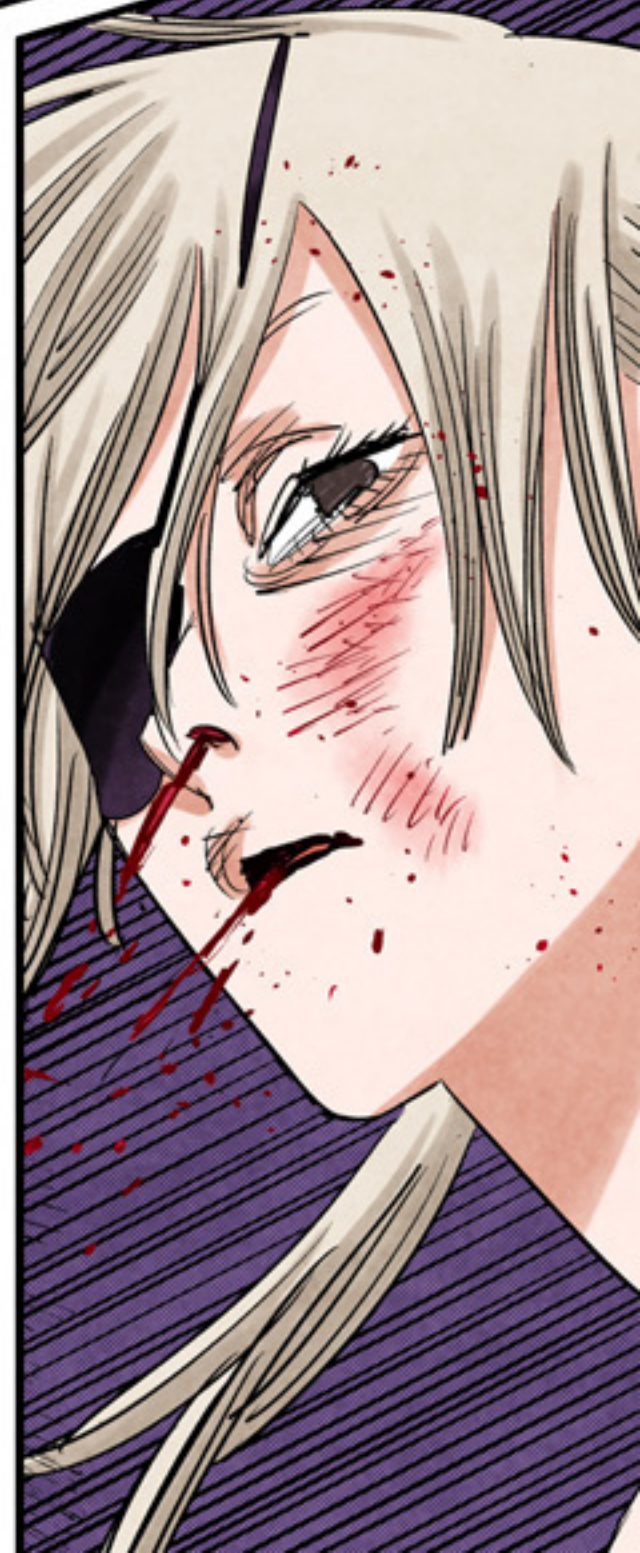
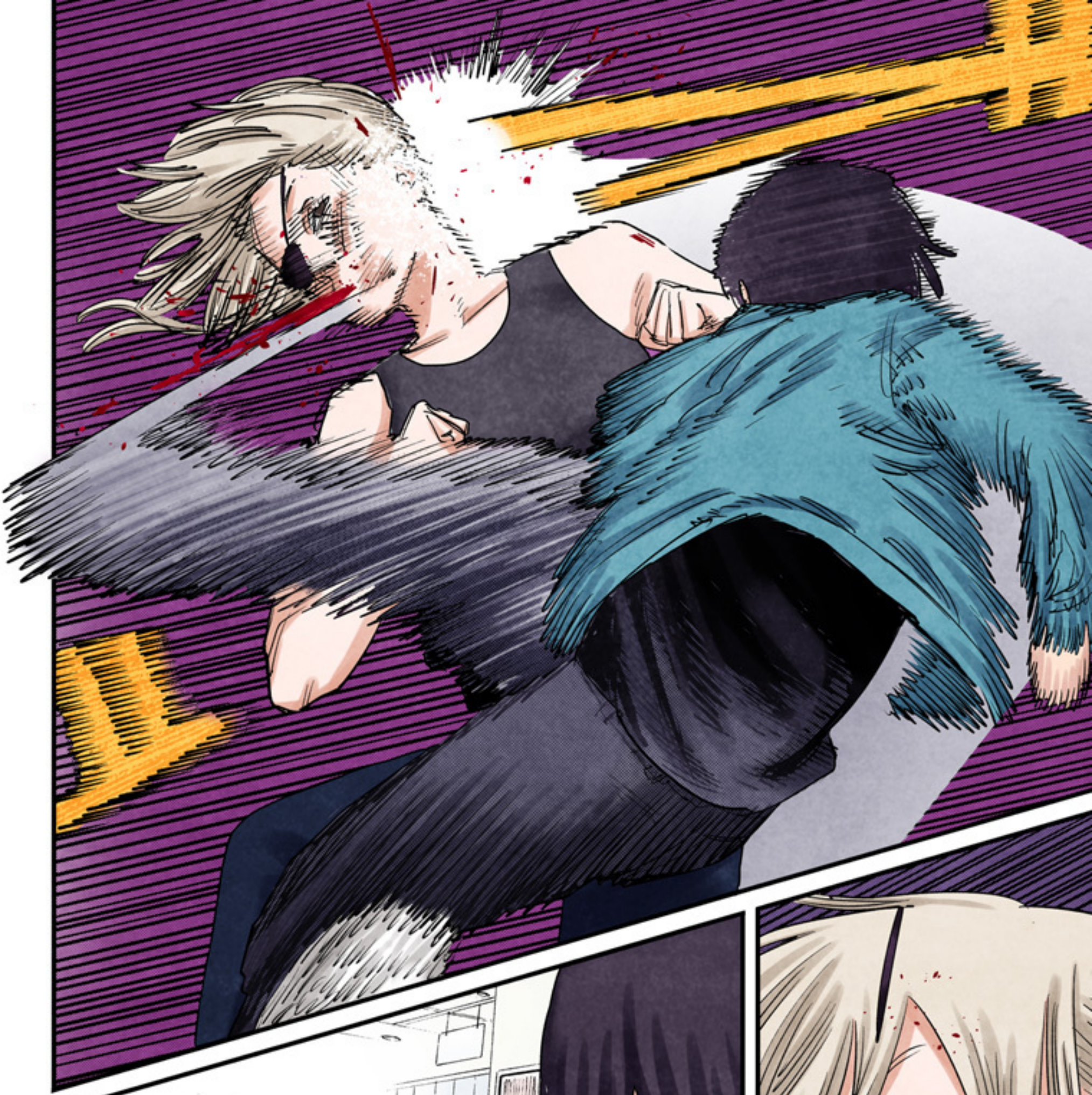


チエンソー様に
さわ
触るな!!
きたな
汚い!!

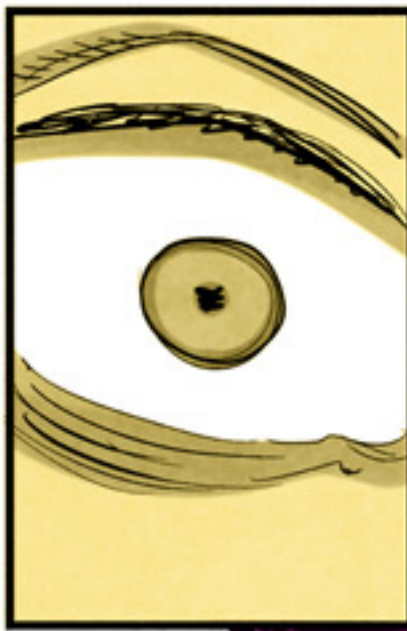
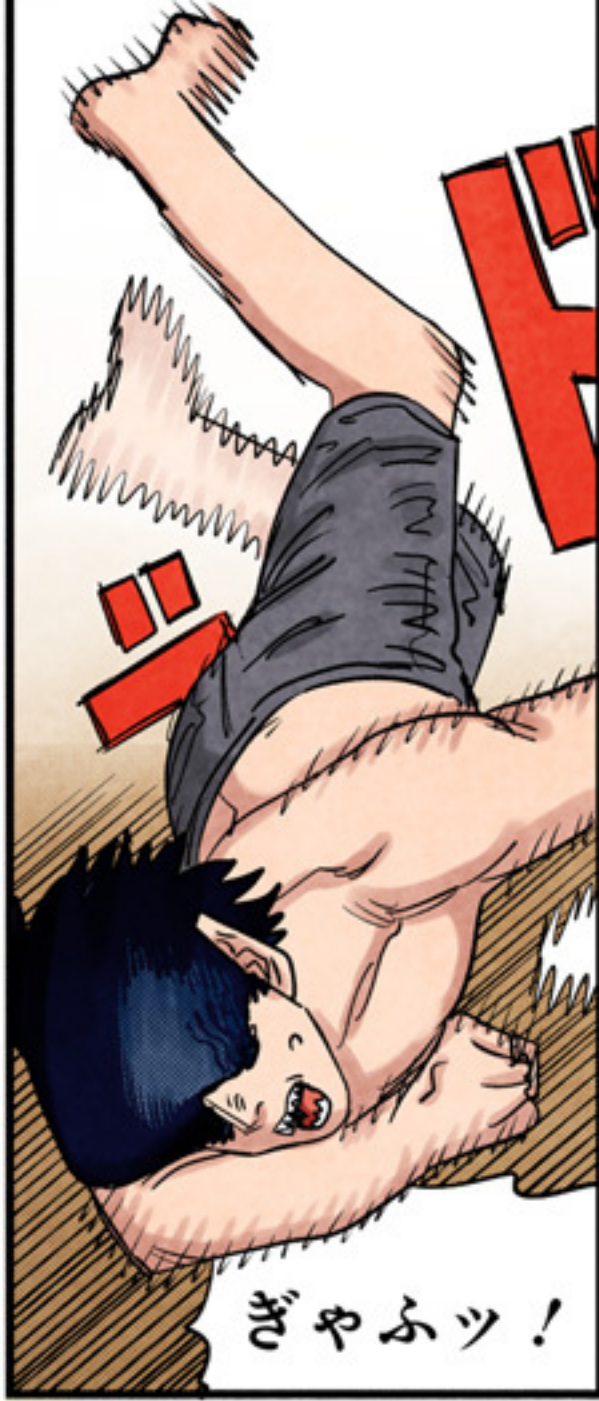


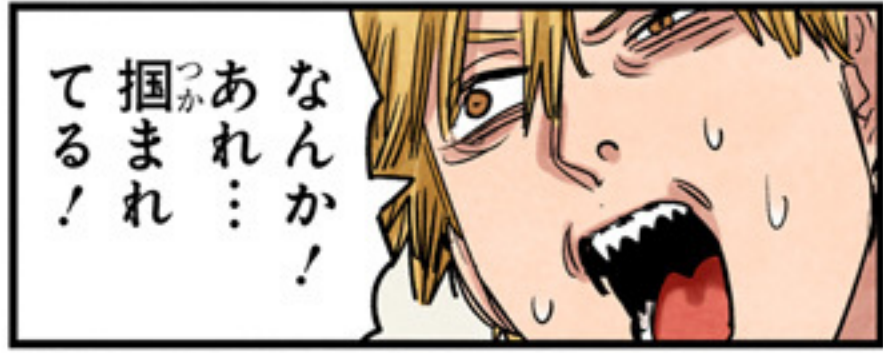
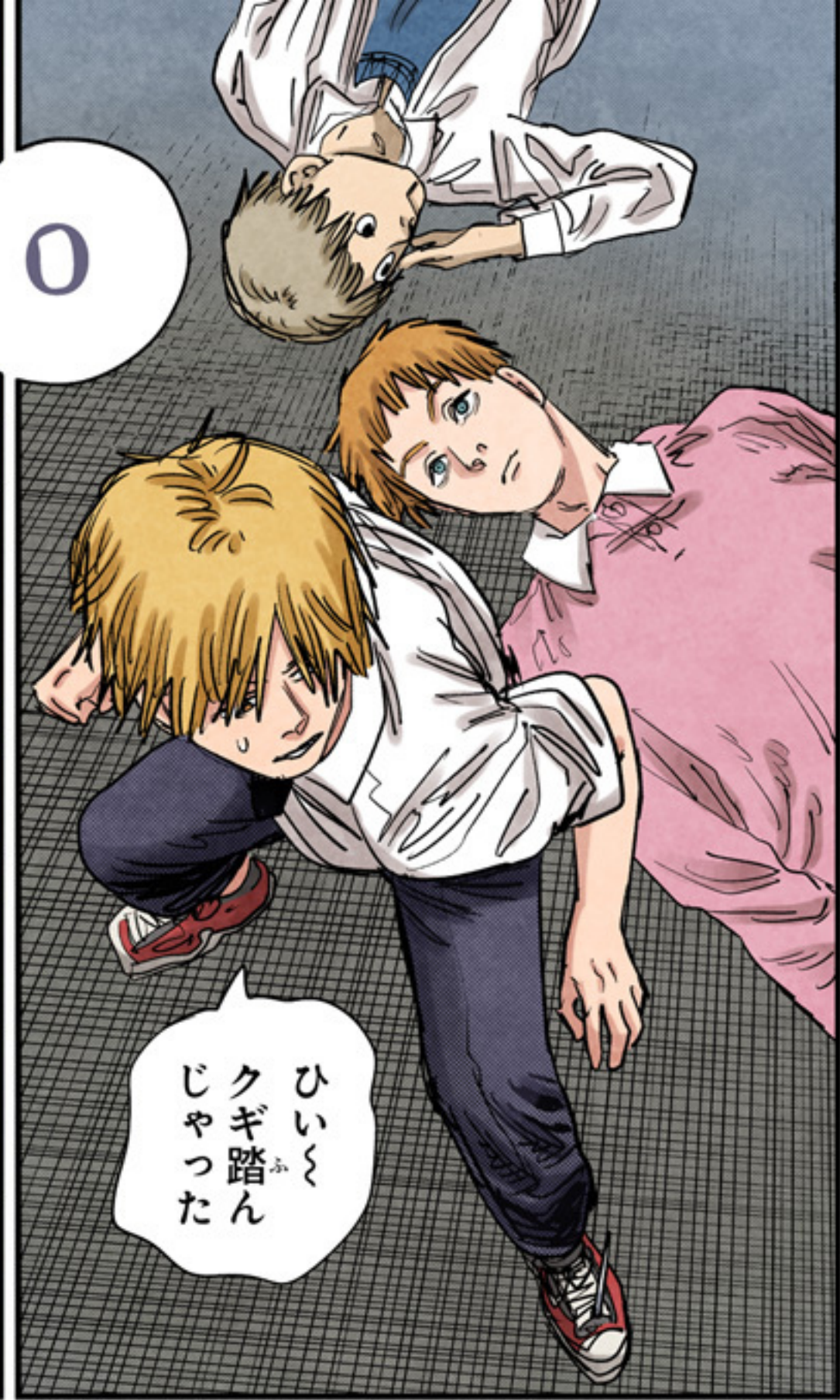




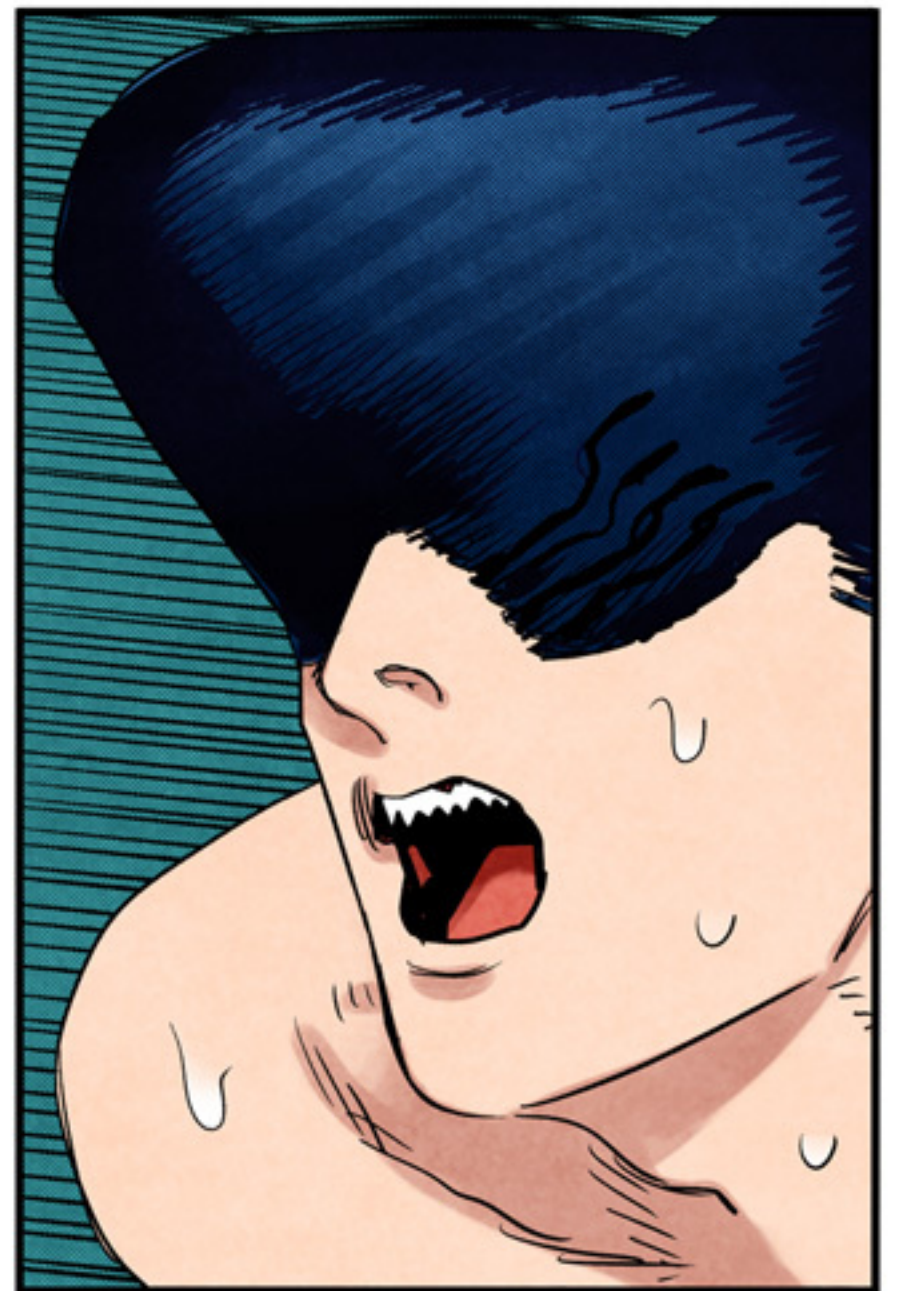
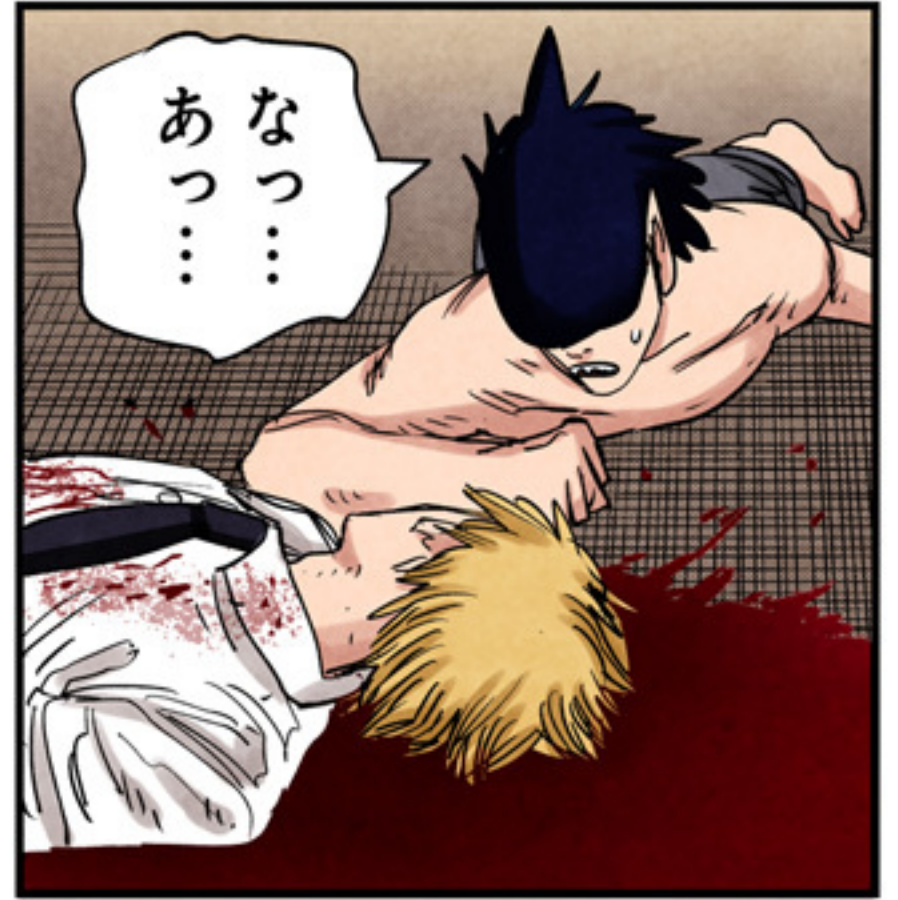


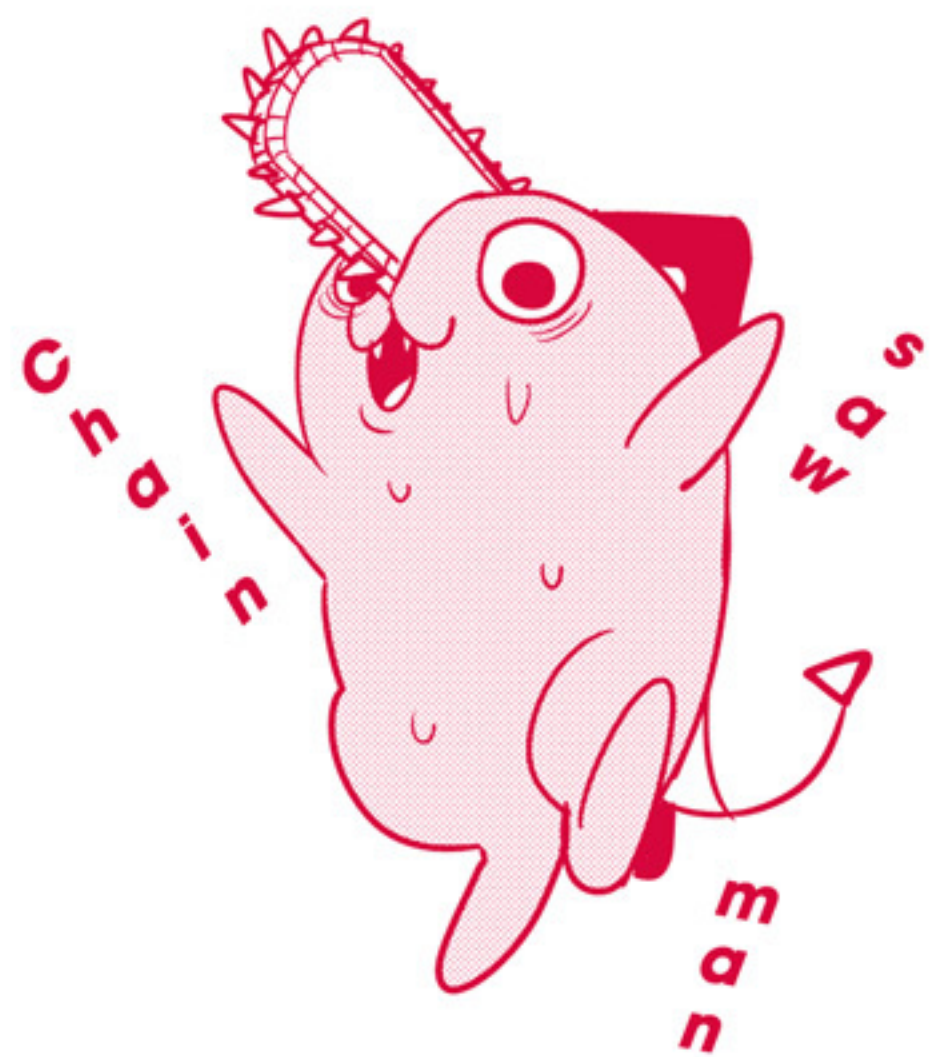




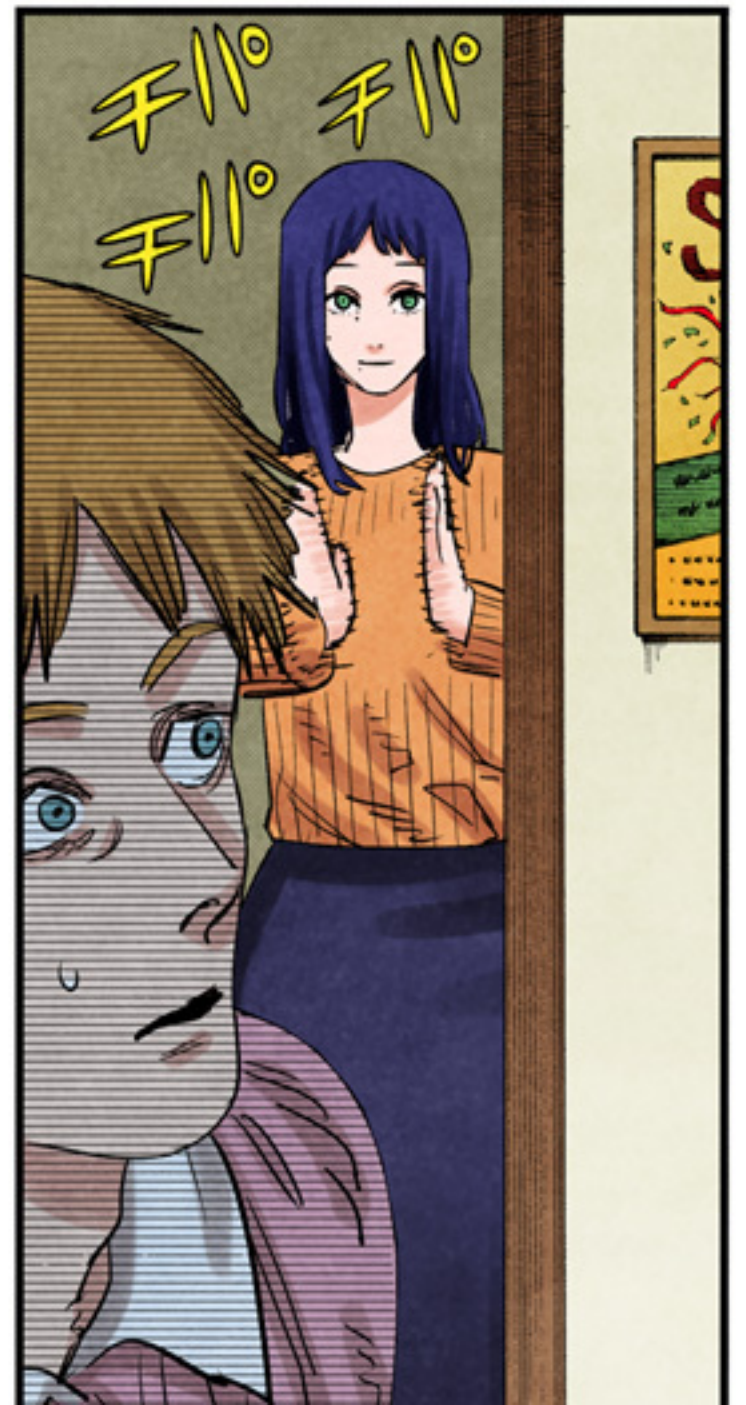
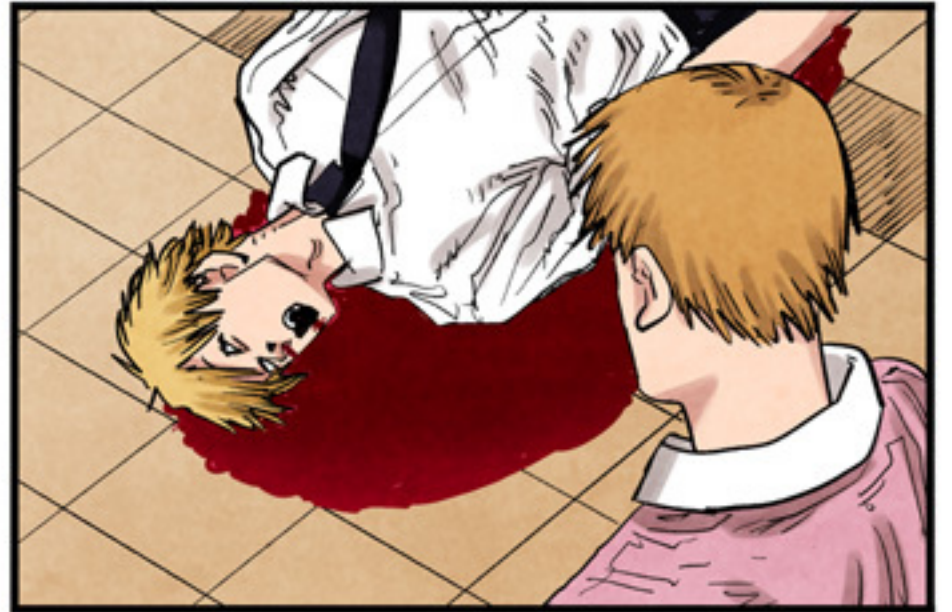








【 第 63 話 】 地 獄 旅 行





トリーカは
私の課した
仕事を
果たしました

あなたは
もう立派な
デビル
ハンターです



師匠：
お話しは
後です

早く
コイツを
運びましょう



師匠
…？



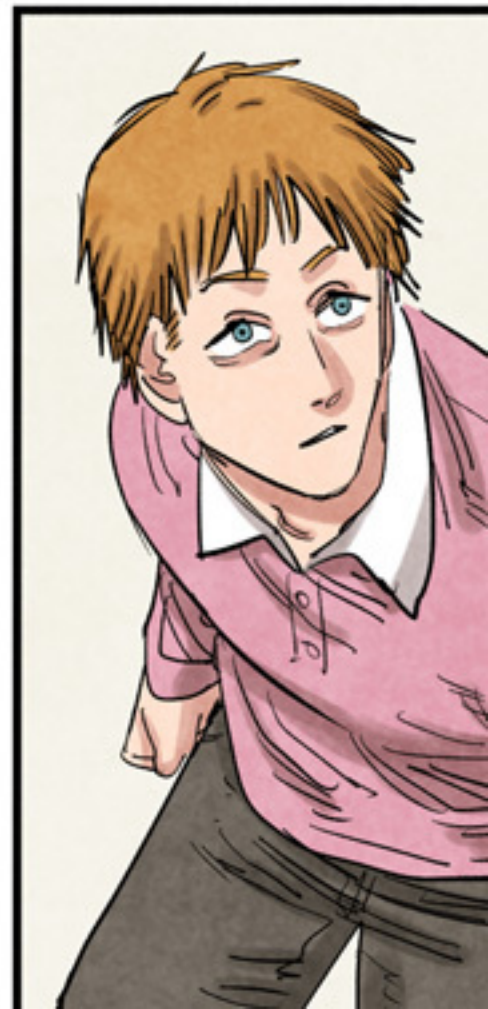
その
死体を
運ぶ
必要は
ありません

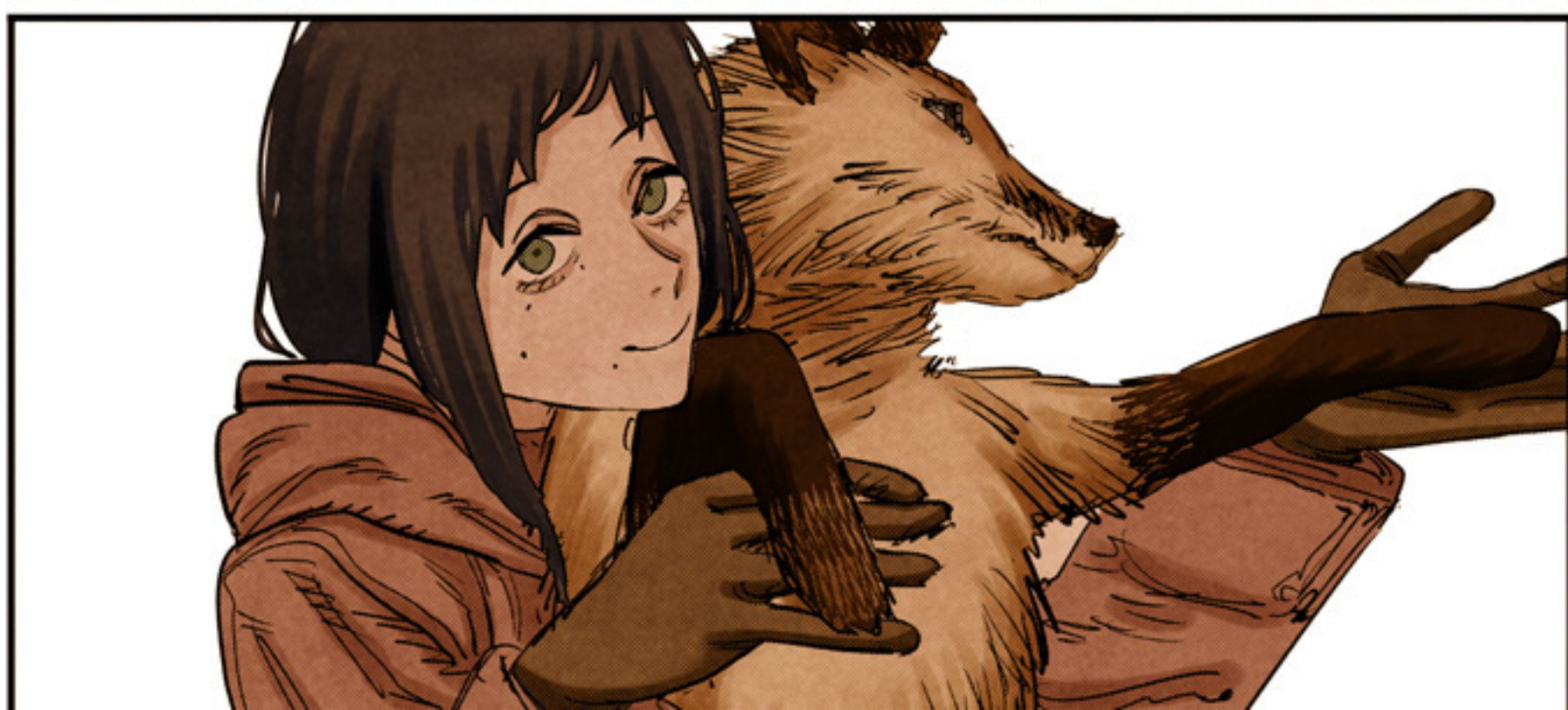


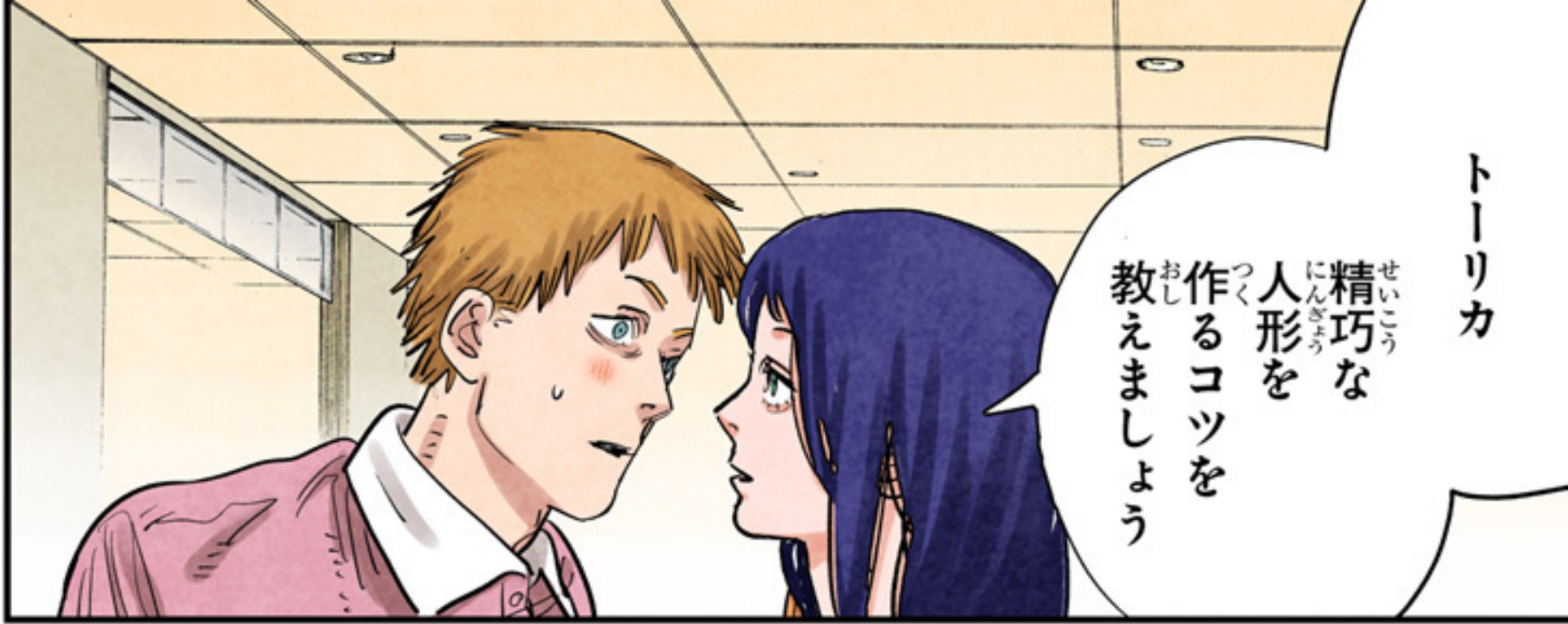
時には
厳しく
叱った事も
ありました
が
すべて
貴方の
ため
でした



これまで
私の
言いつけを
よく守って
きましたね







トリーリカ

精巧な
人形を
作るコツを
教えましょう



哀憐



崇拜



敬愛

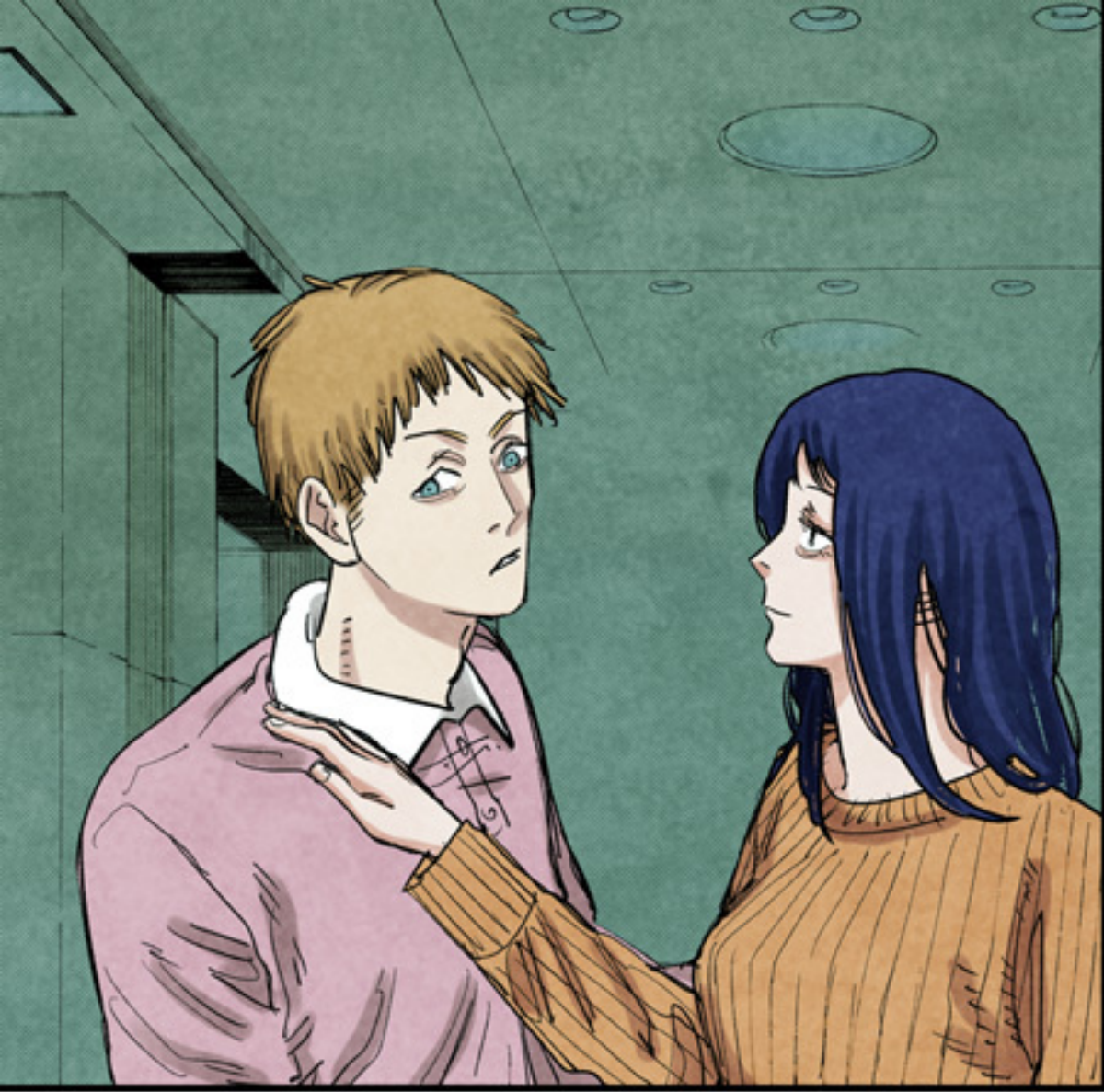


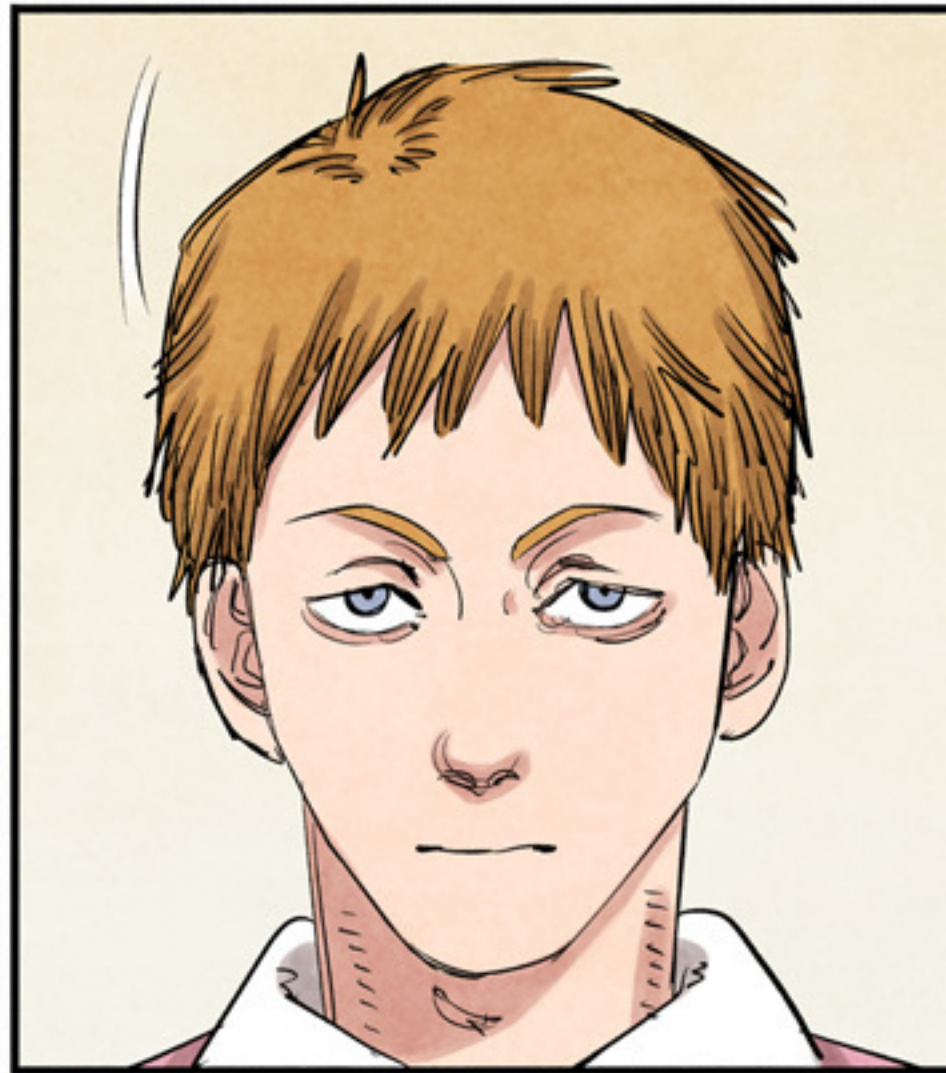
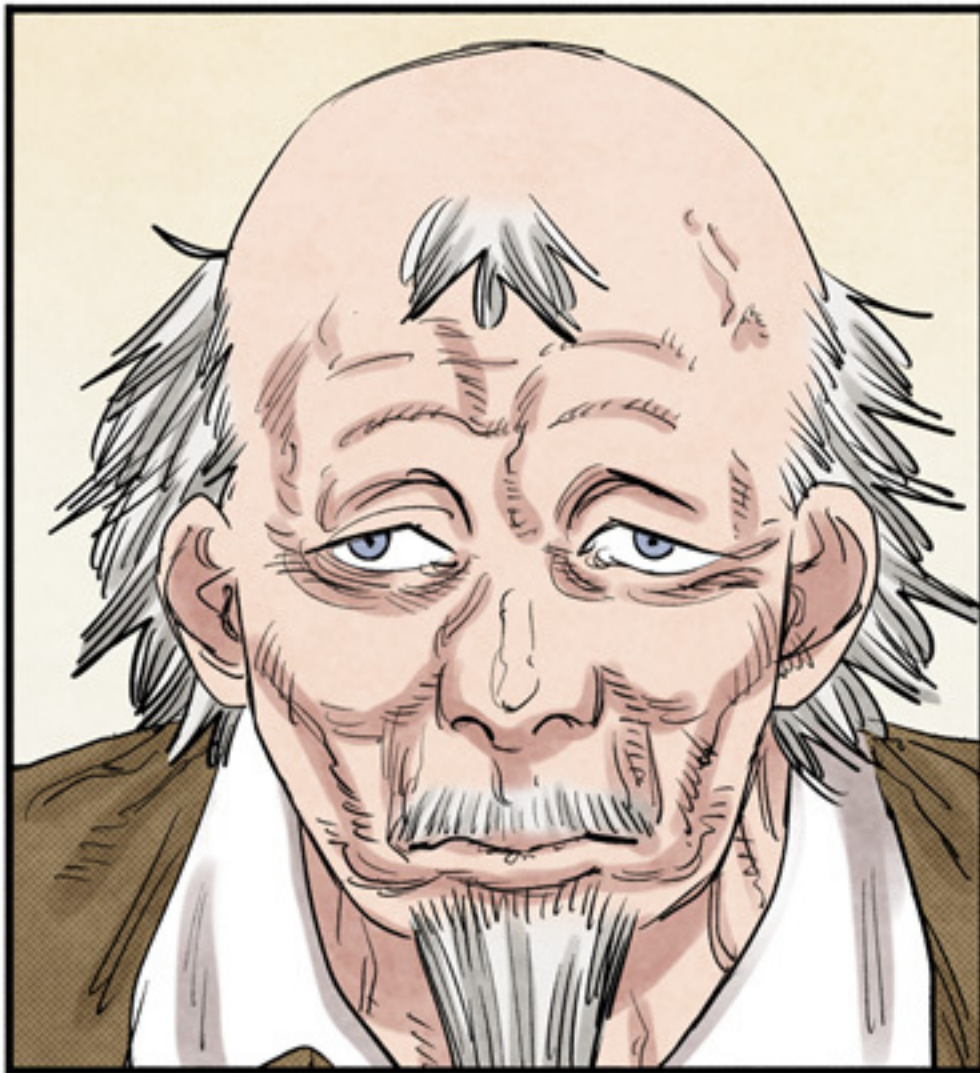
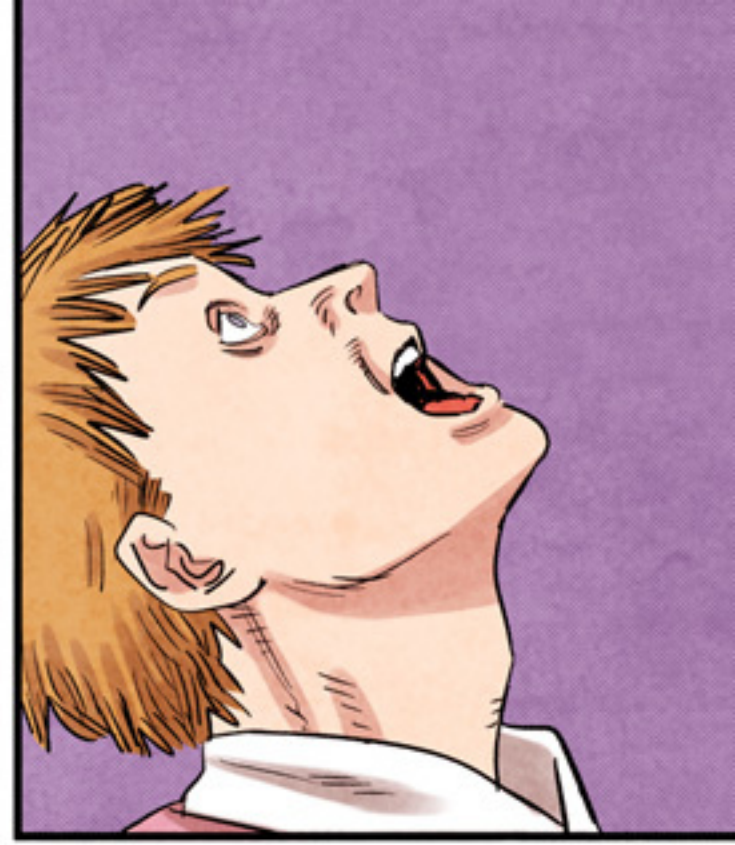
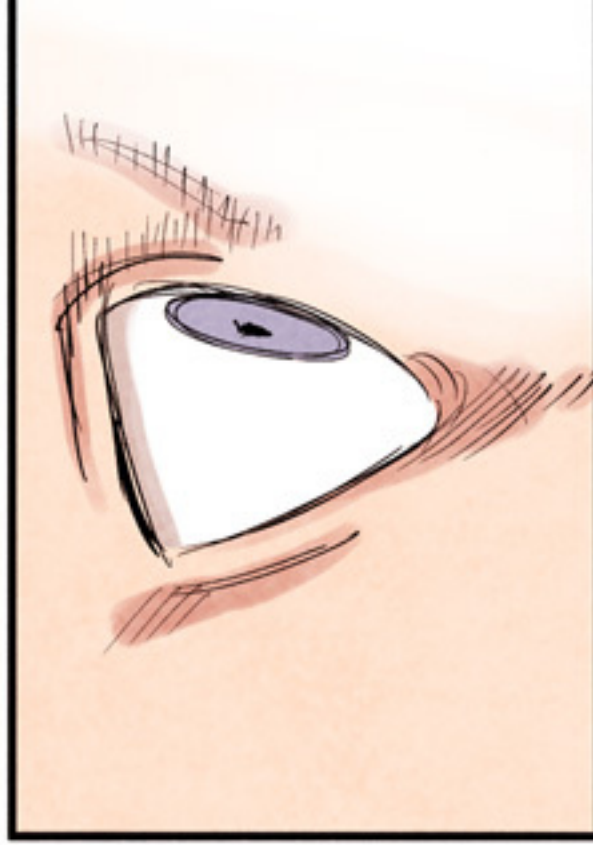
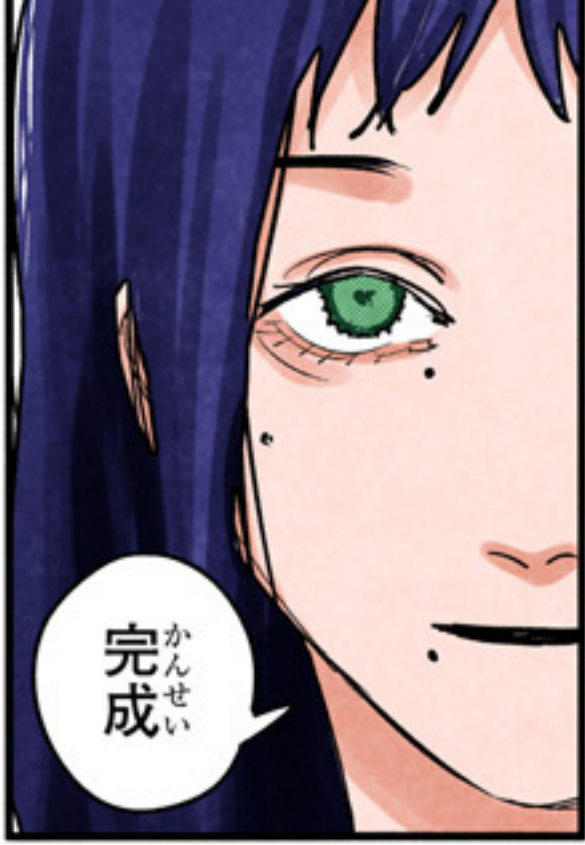
人形に
する
人間に

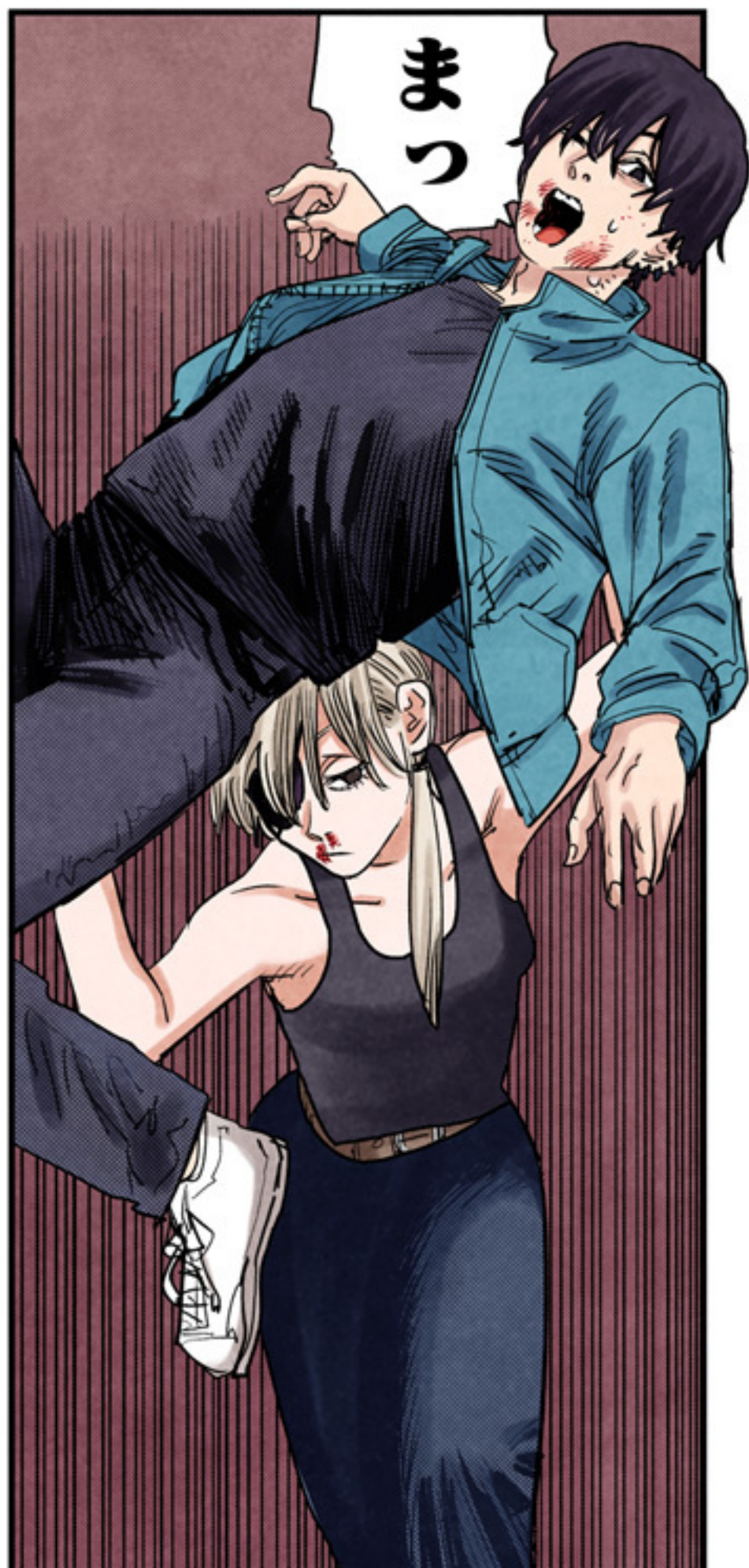
人間しか
持たない
感情を
入れる事

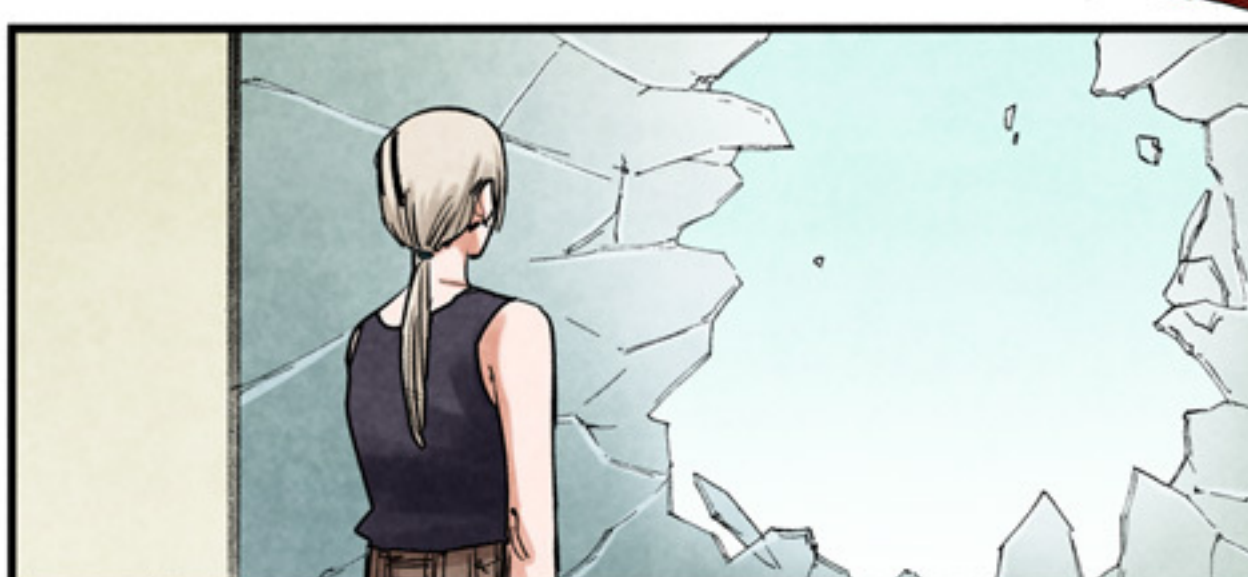
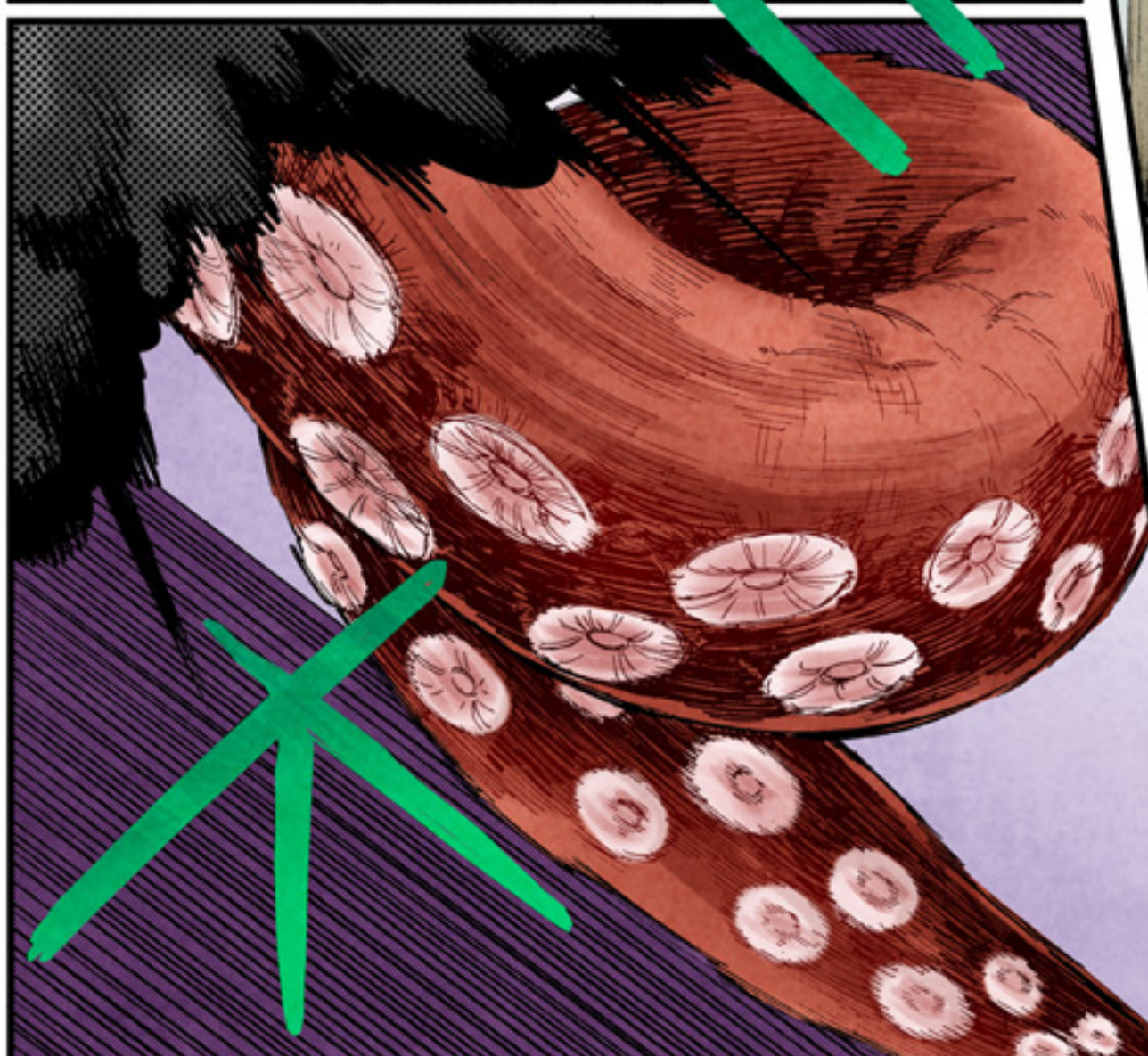


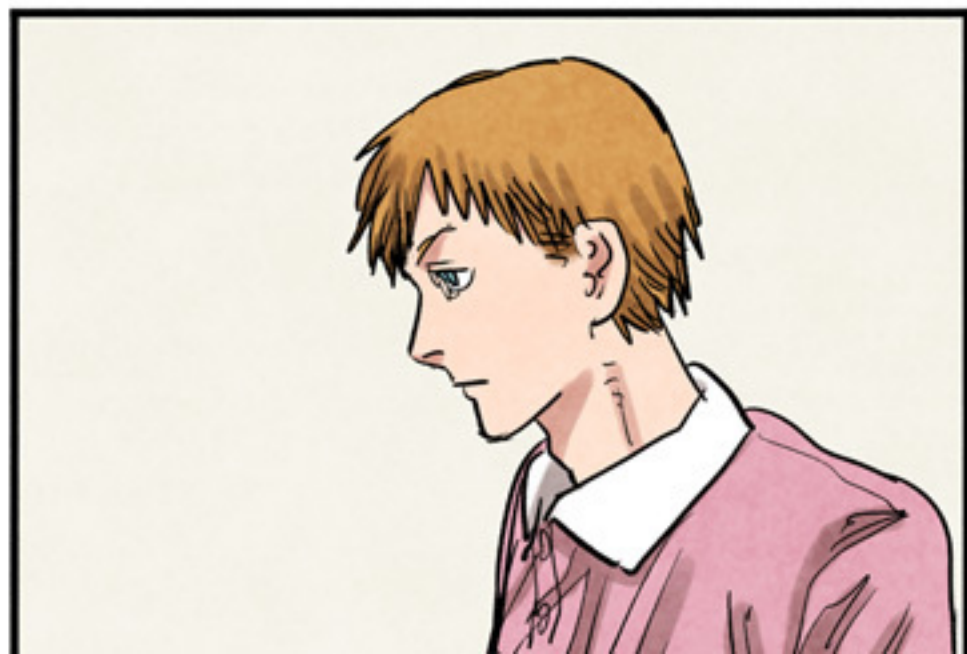
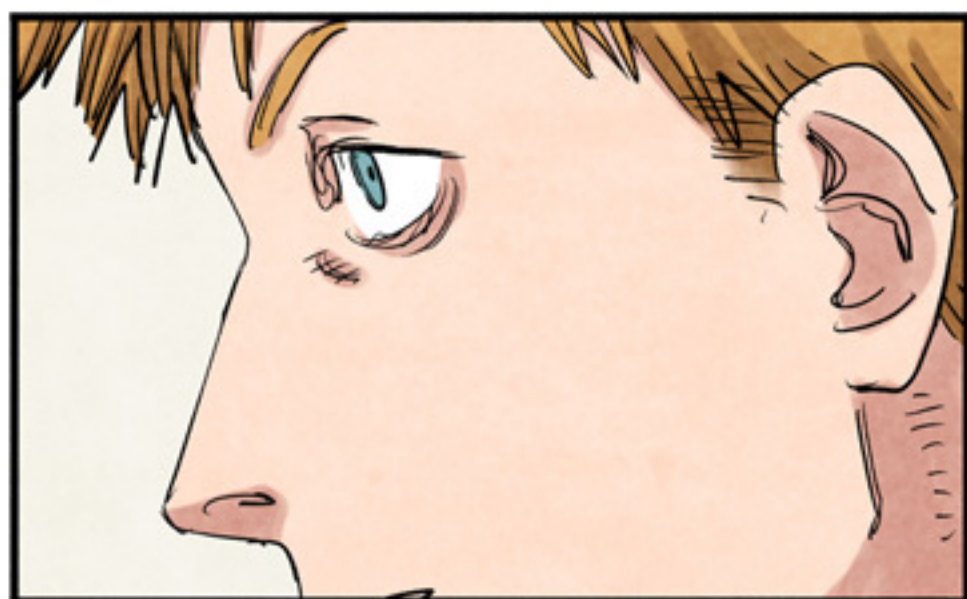
そして
隠し味は
罪悪感

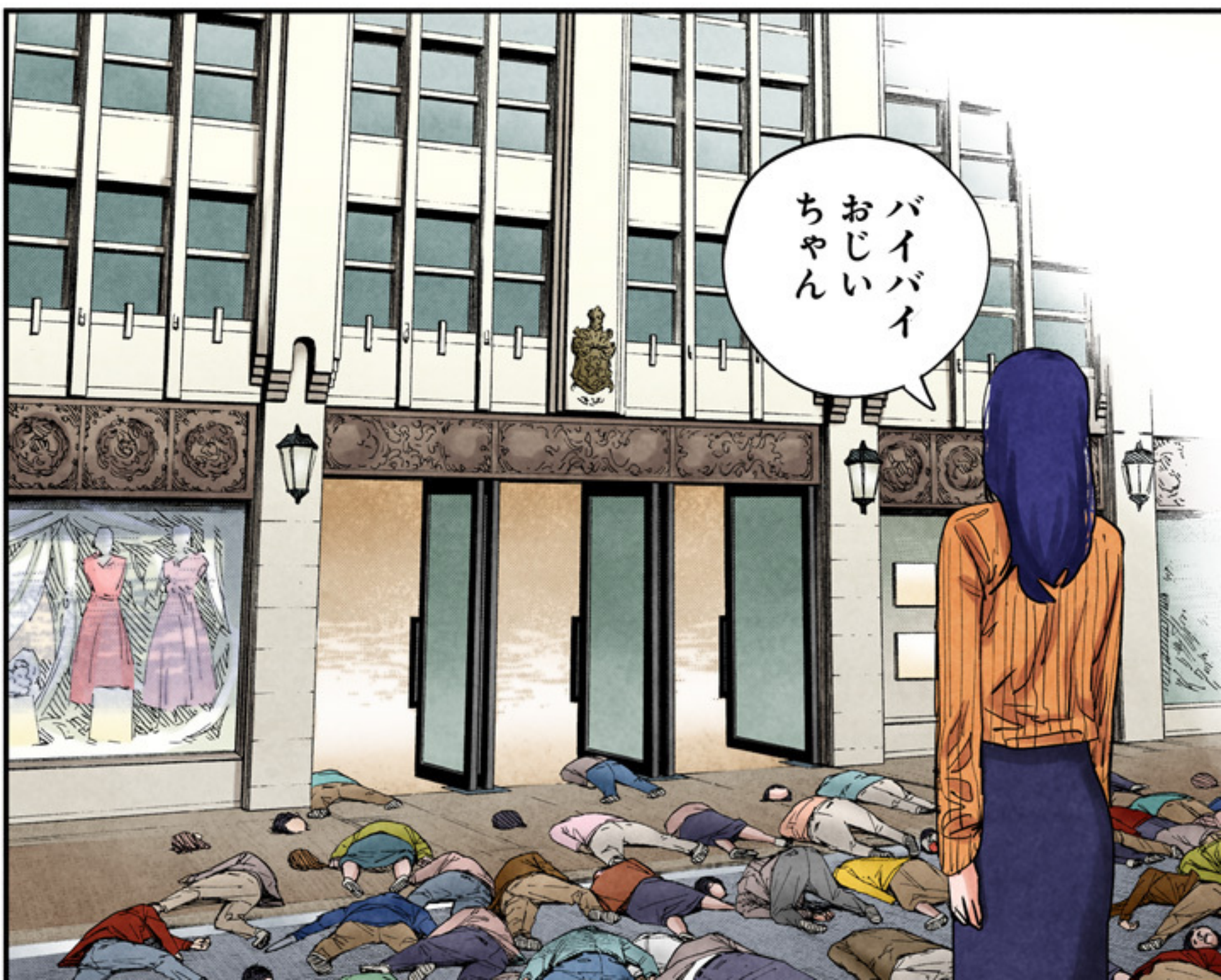
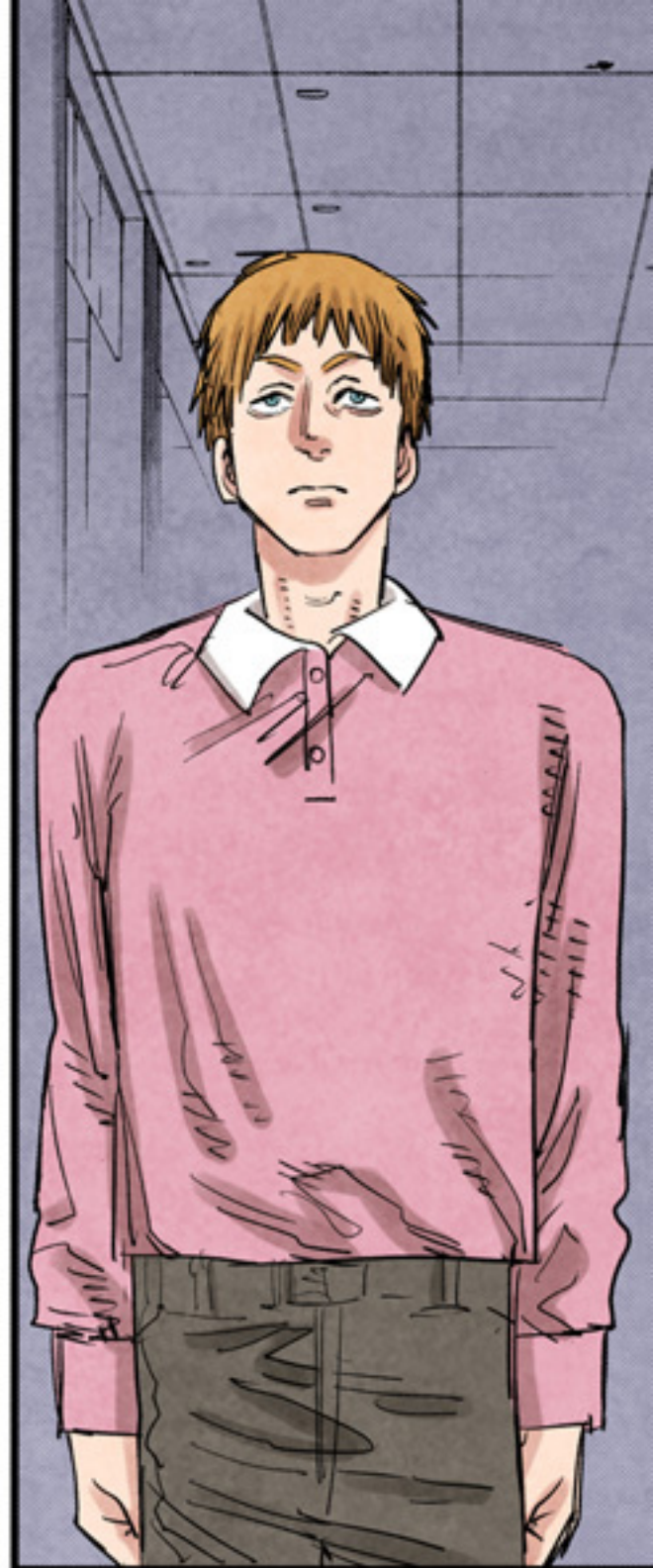
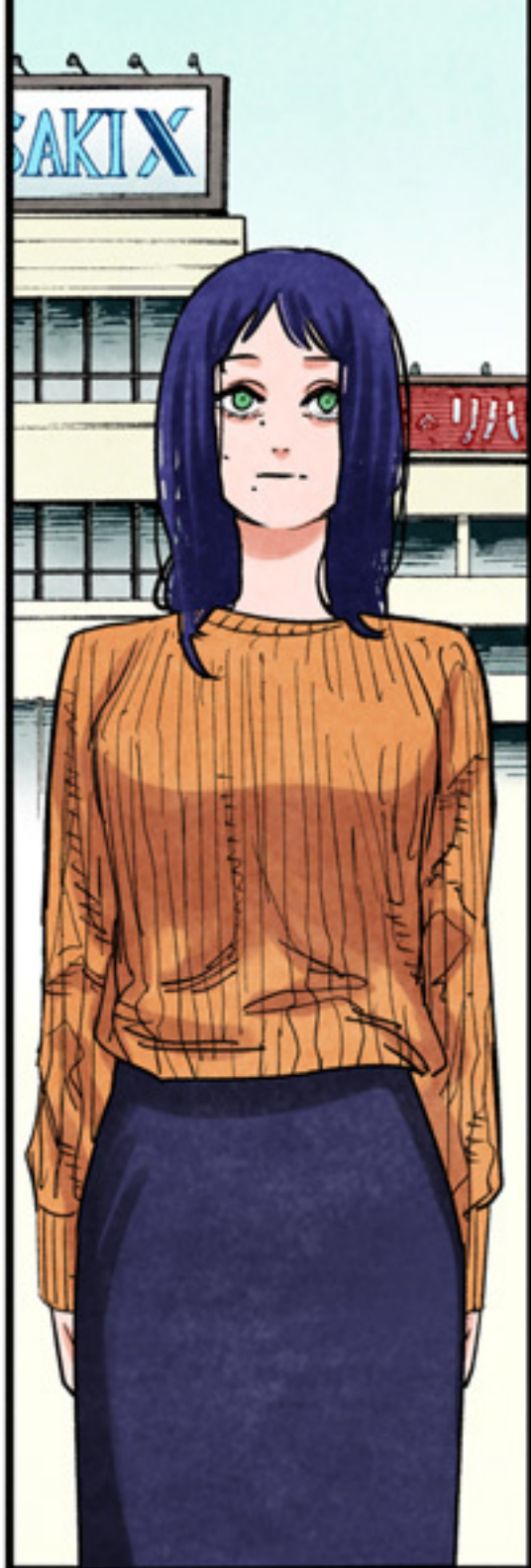


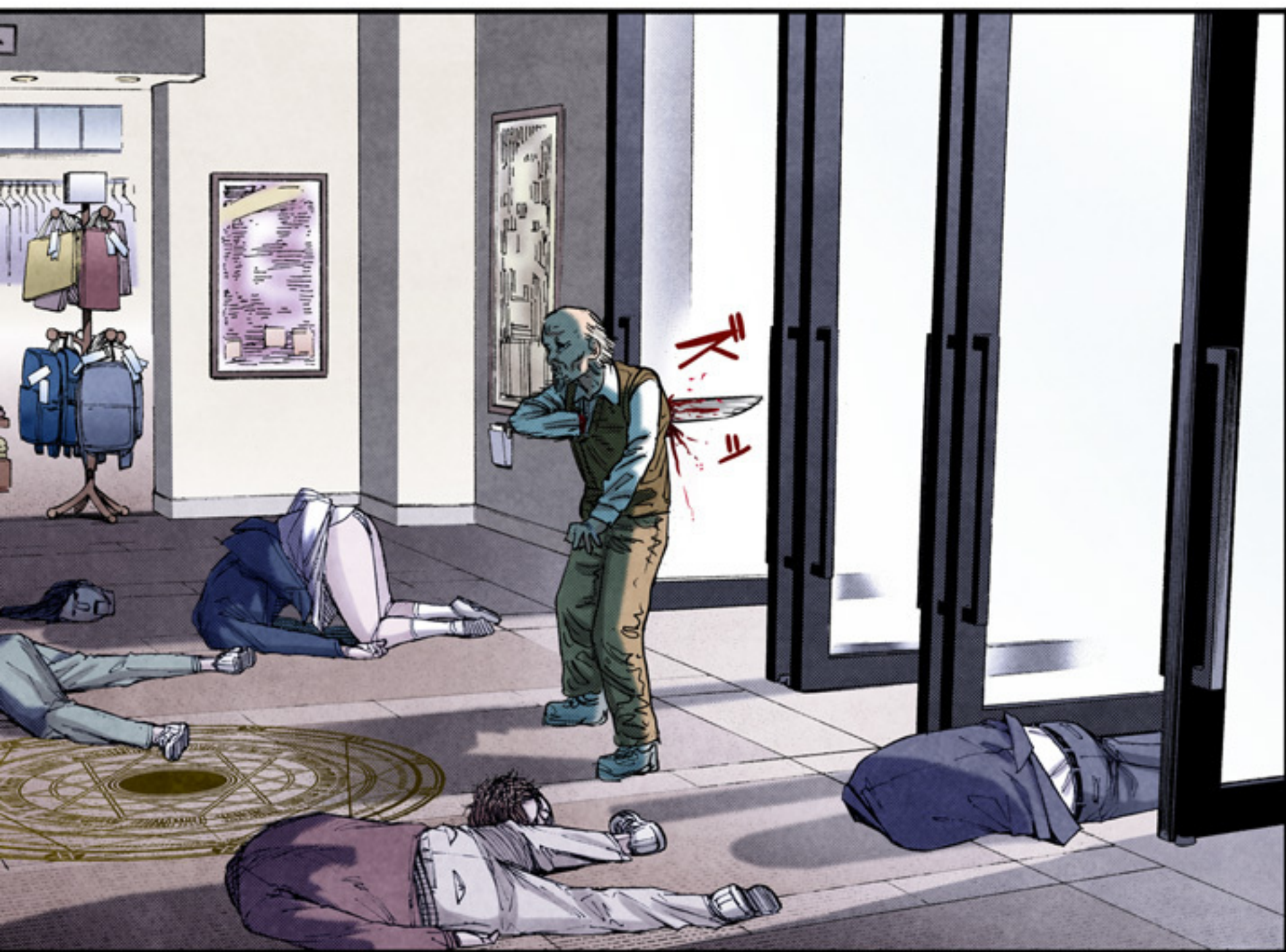


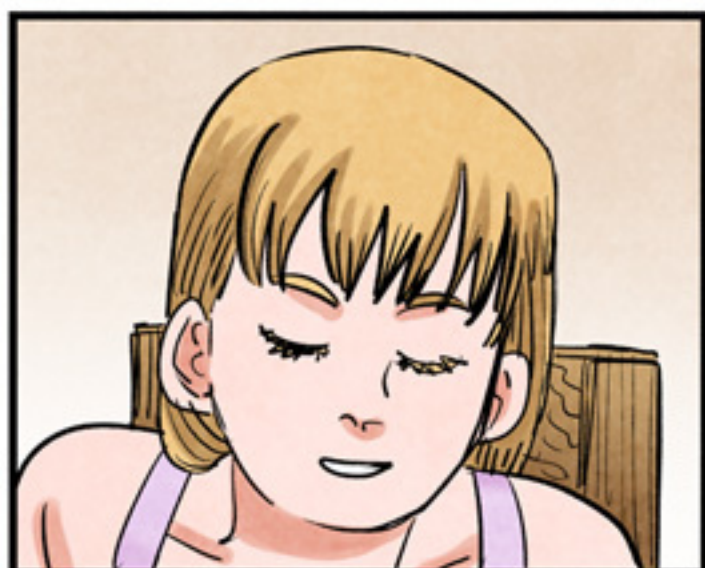
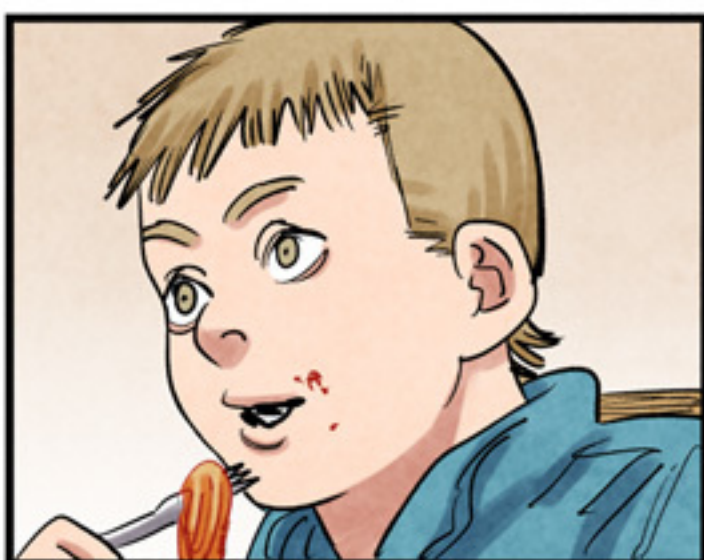


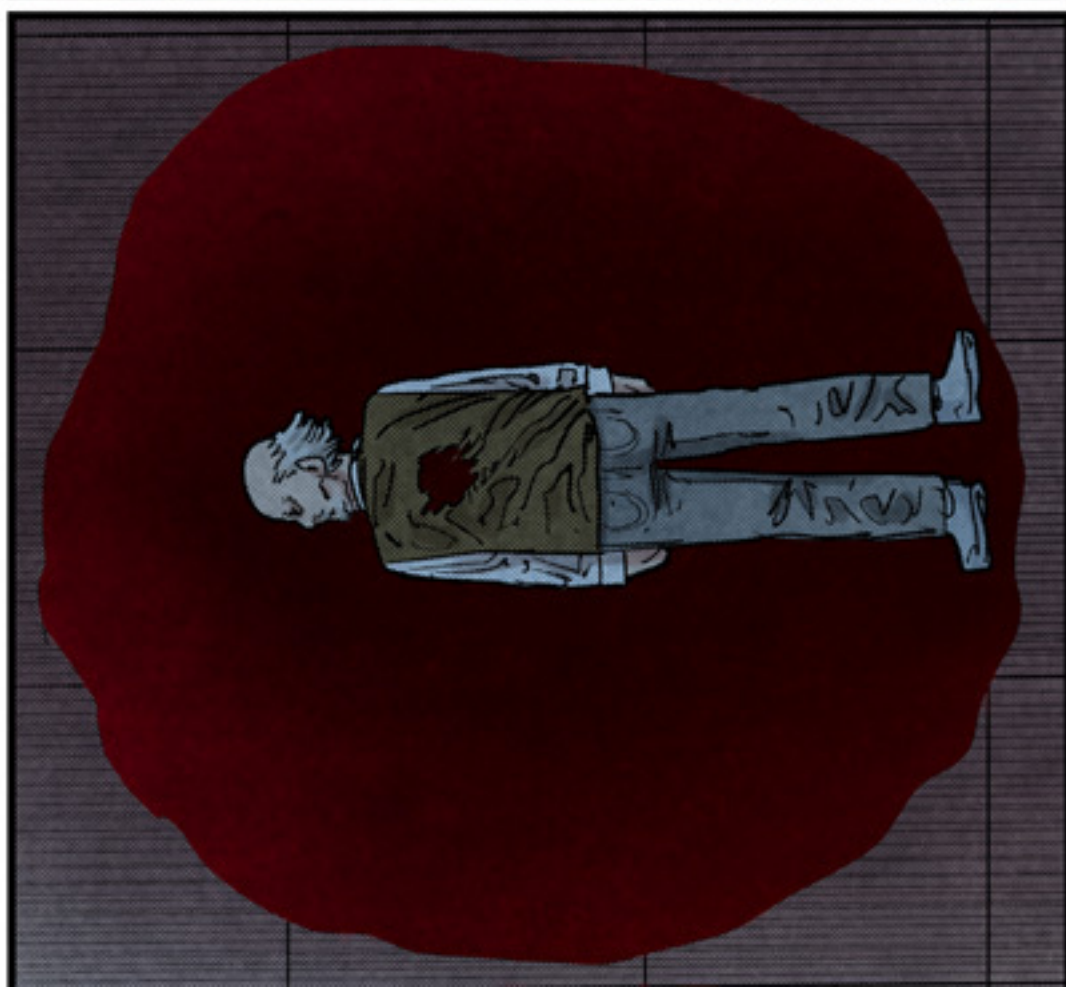
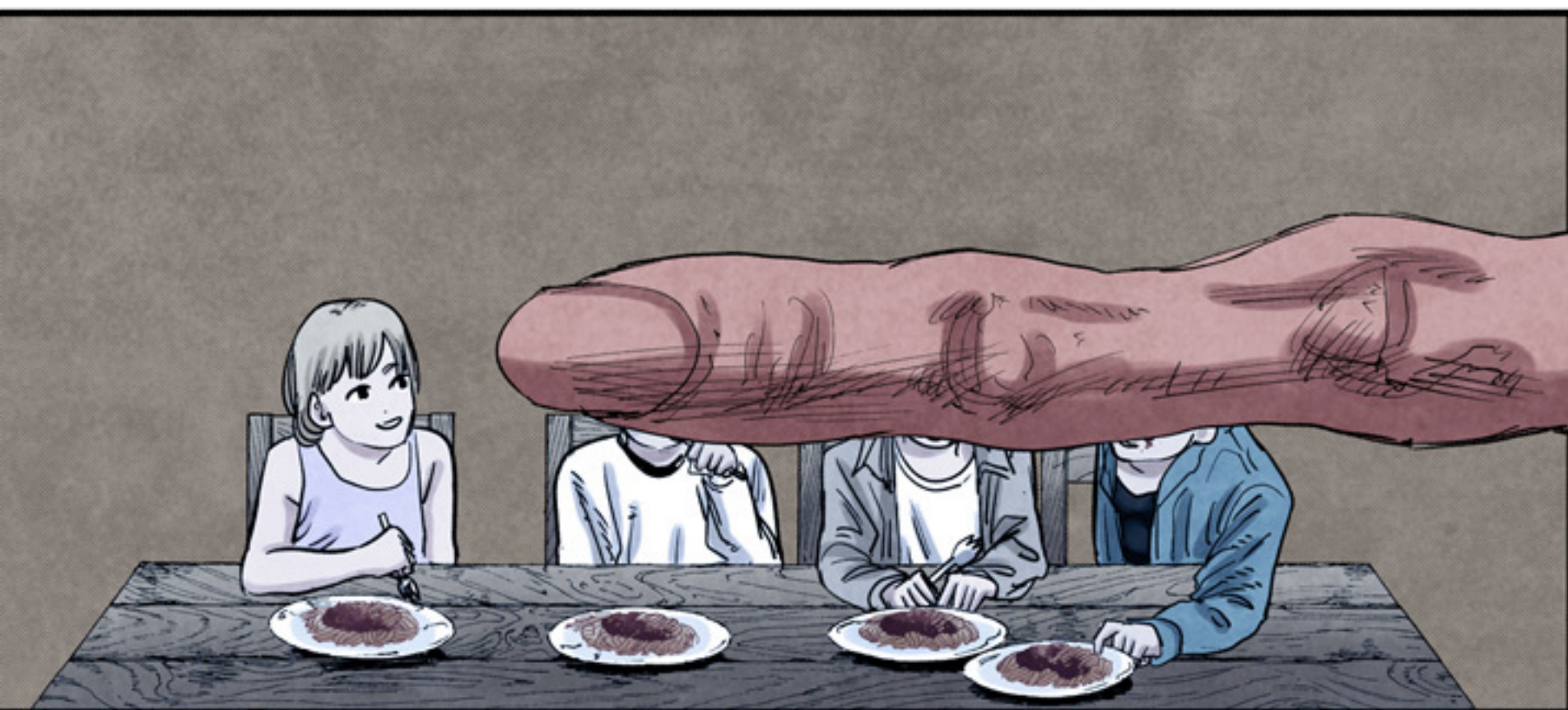
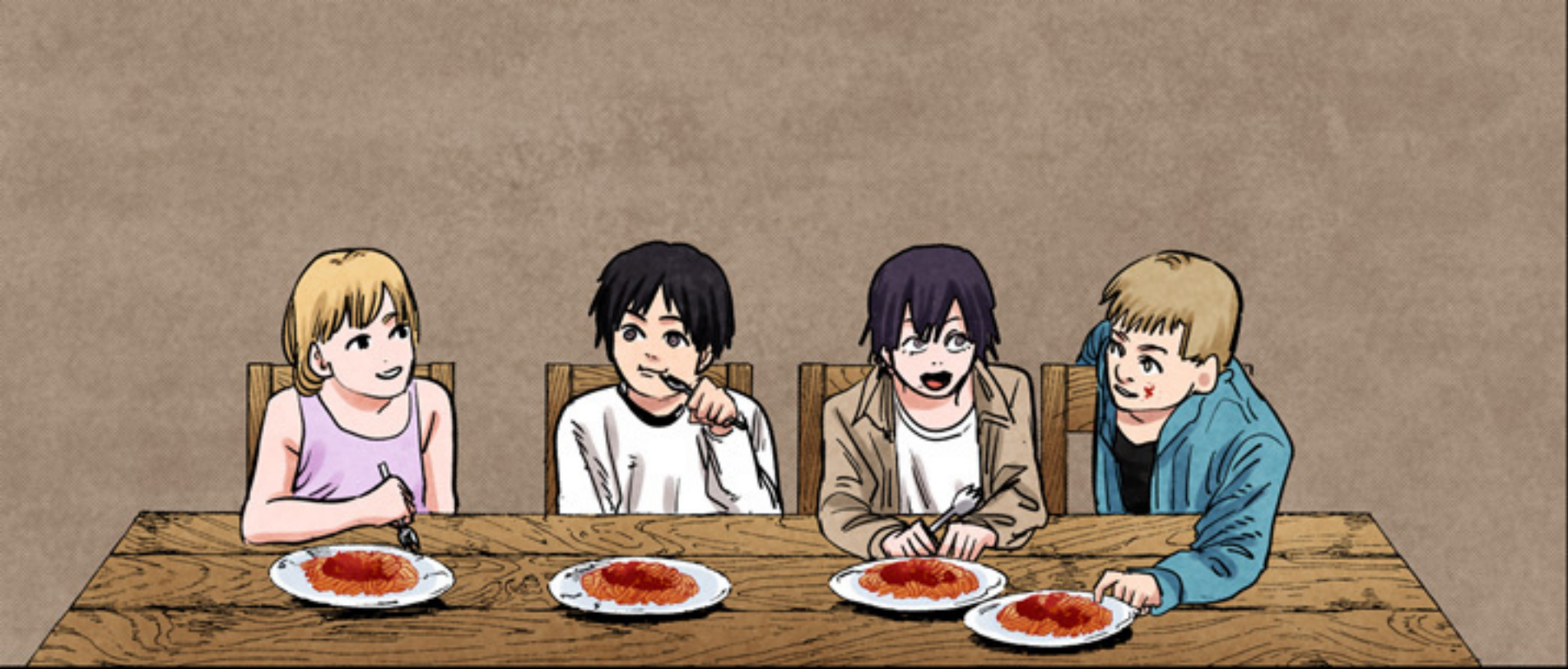


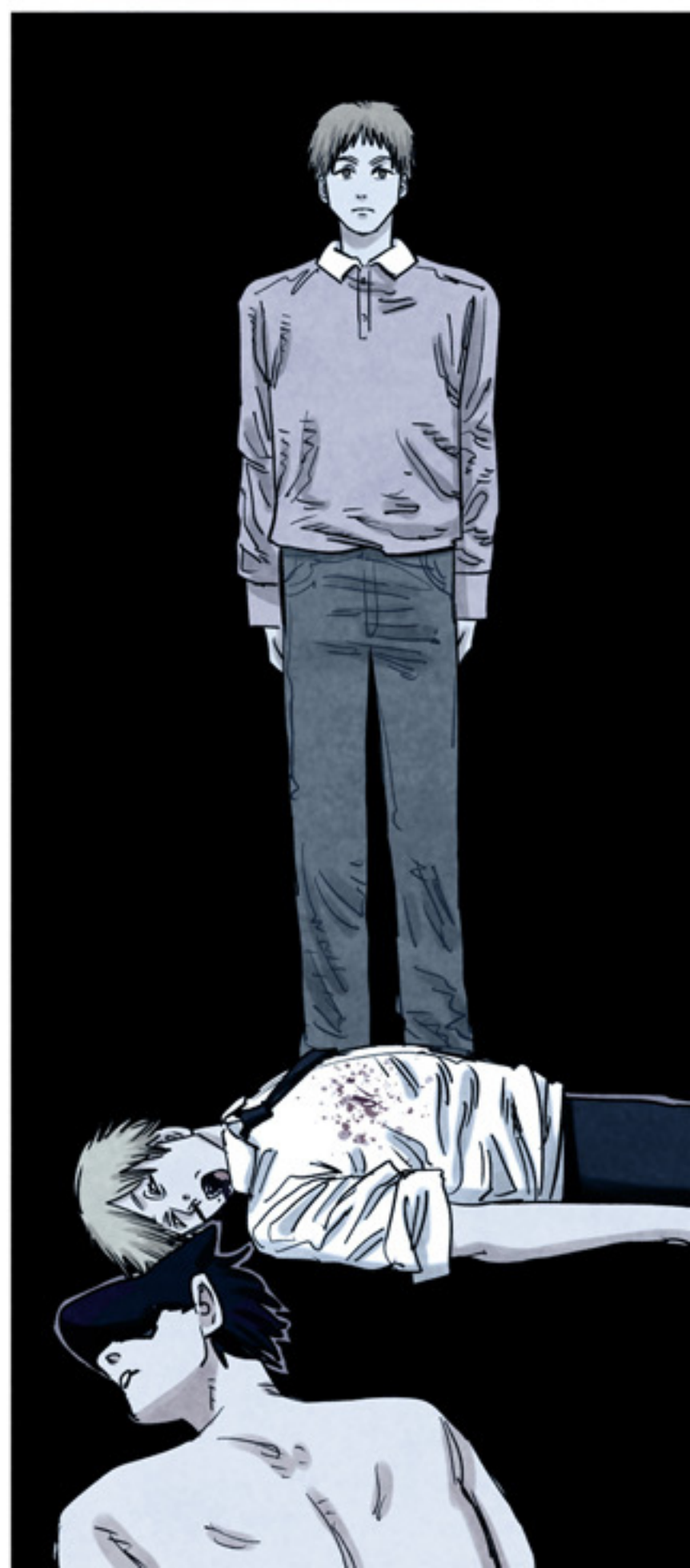
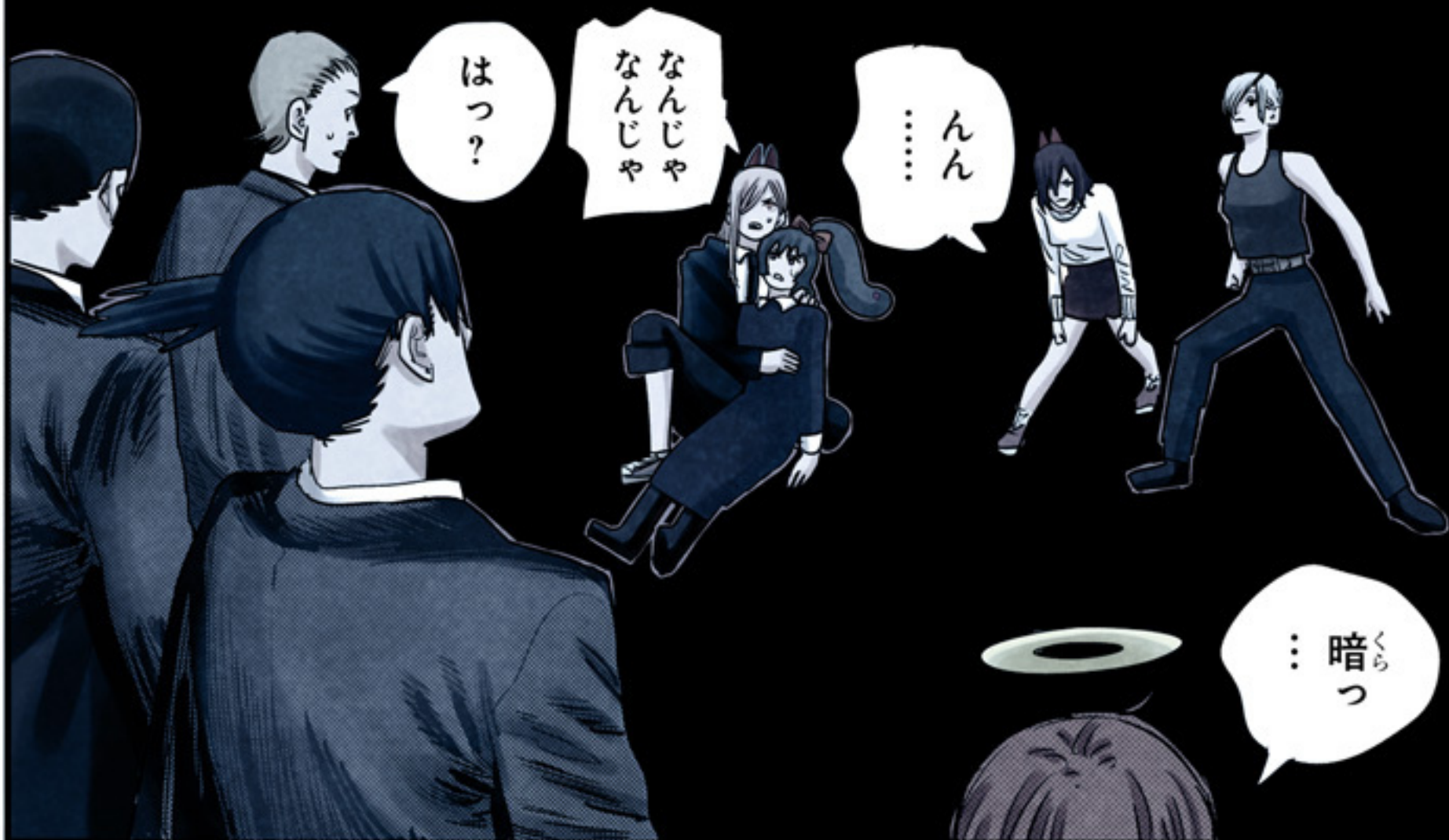


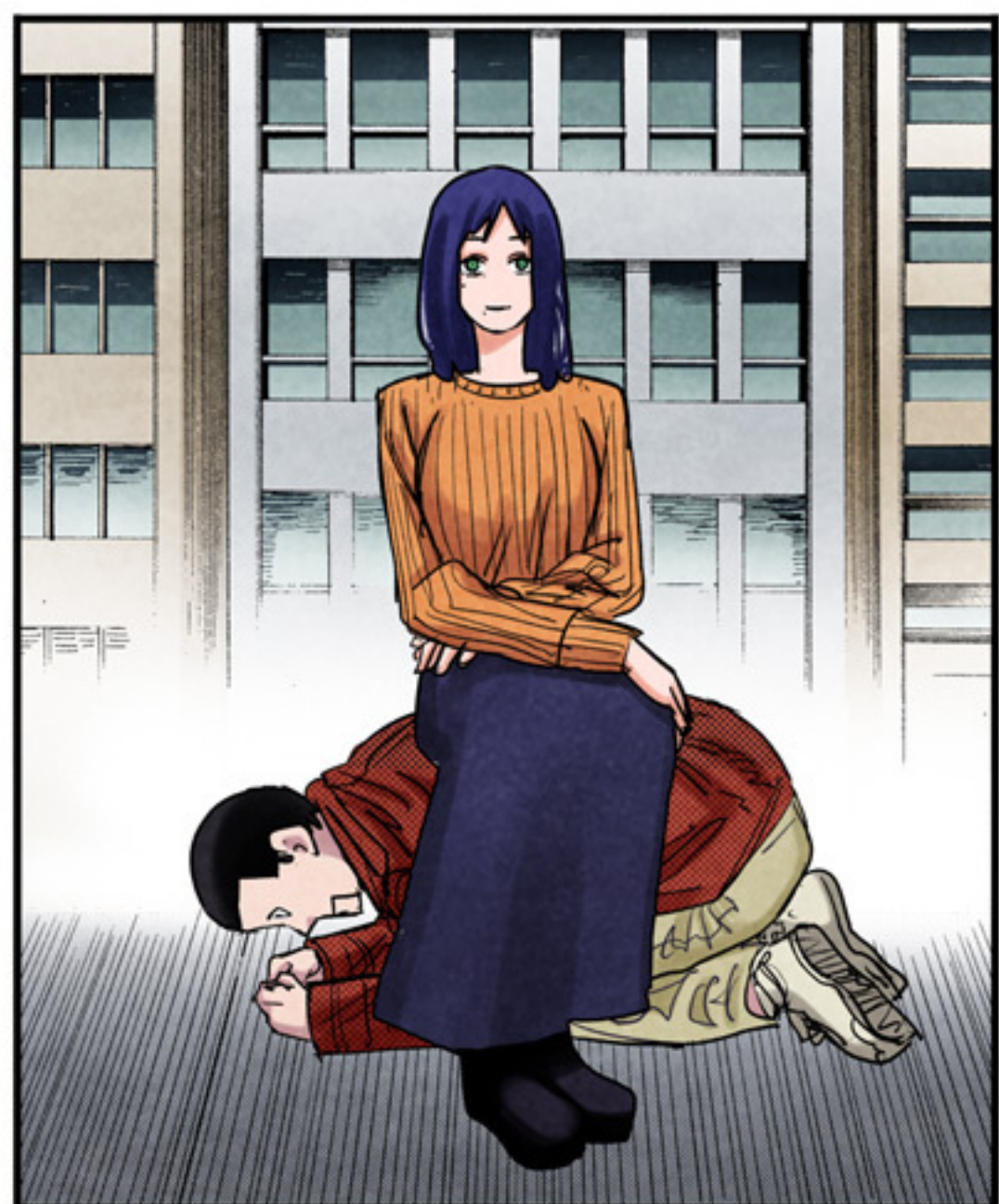








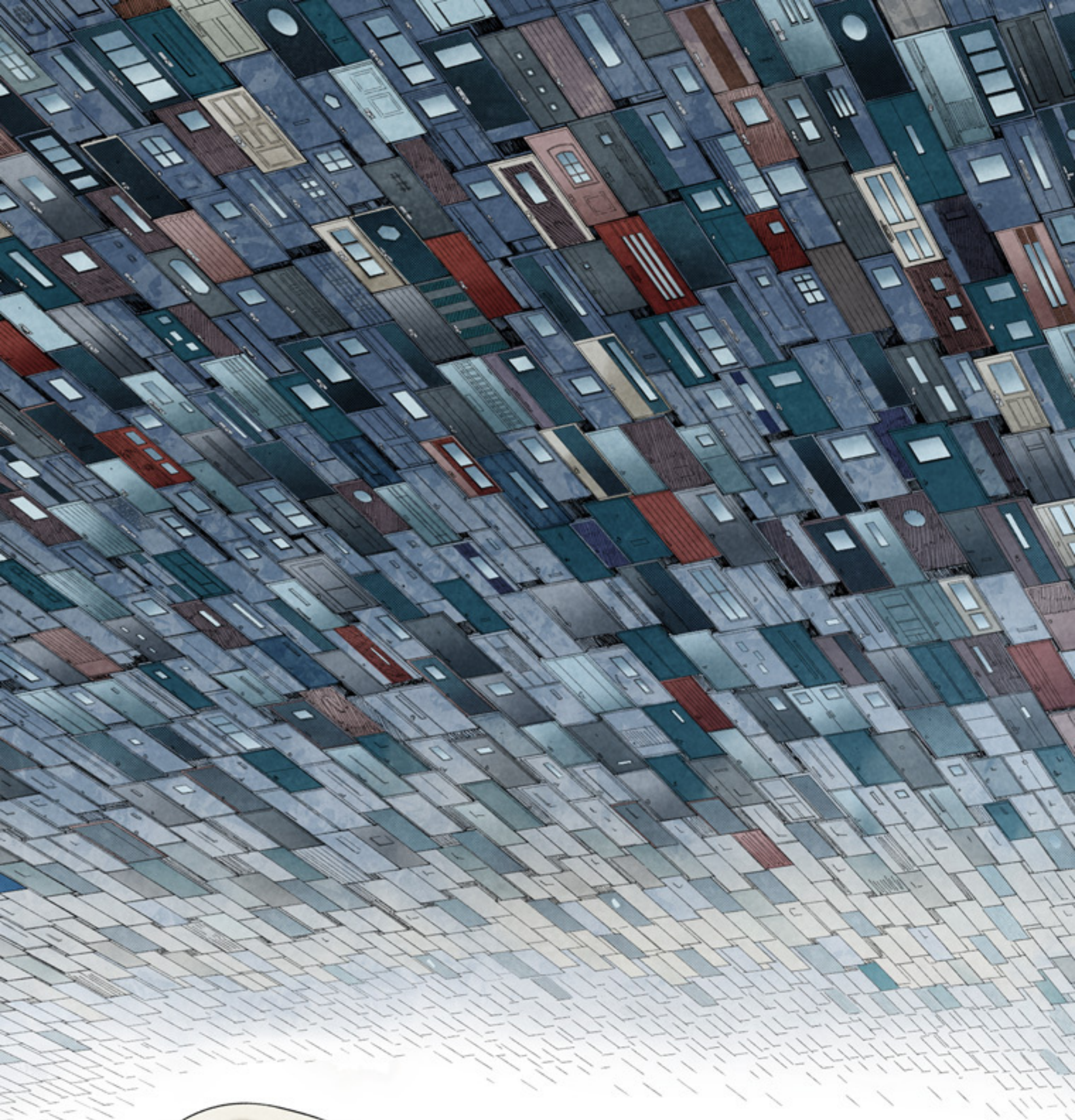


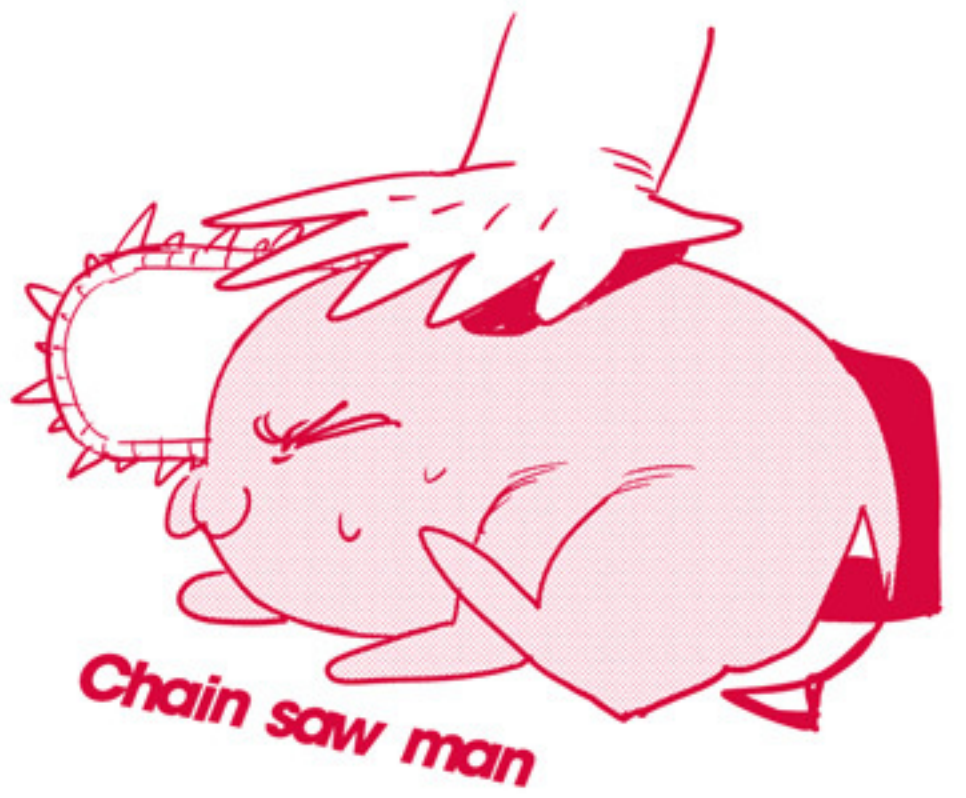




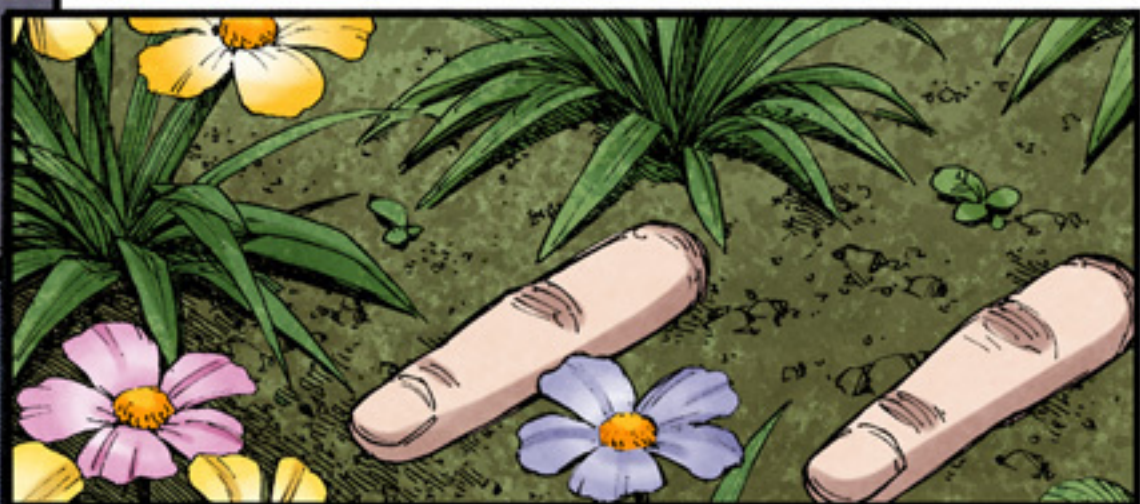
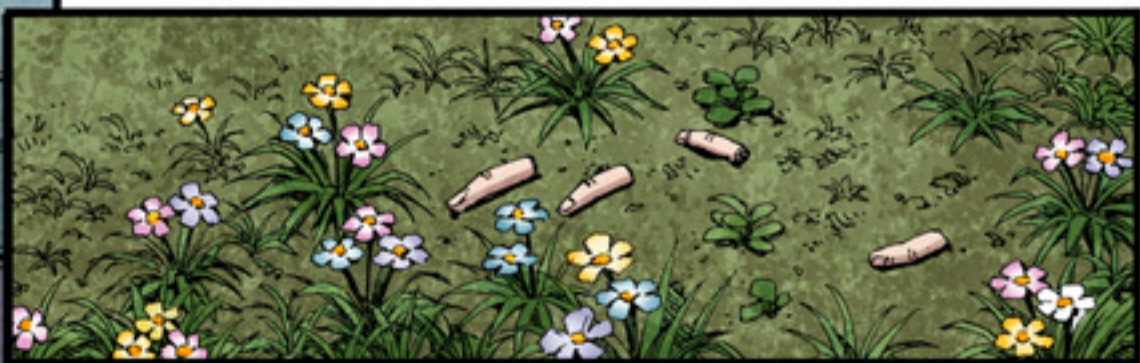
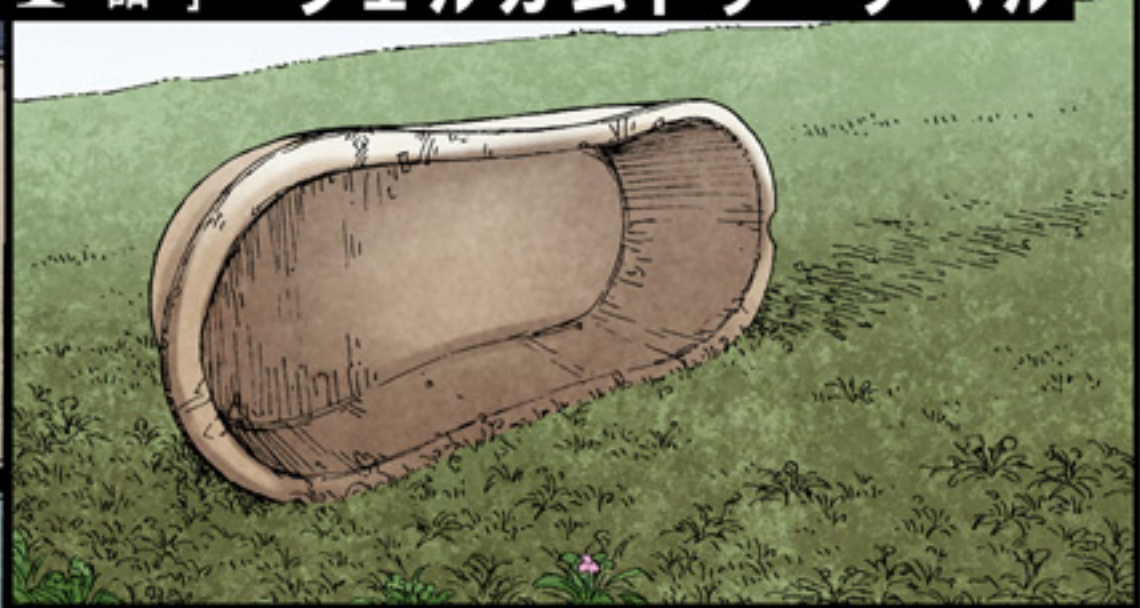






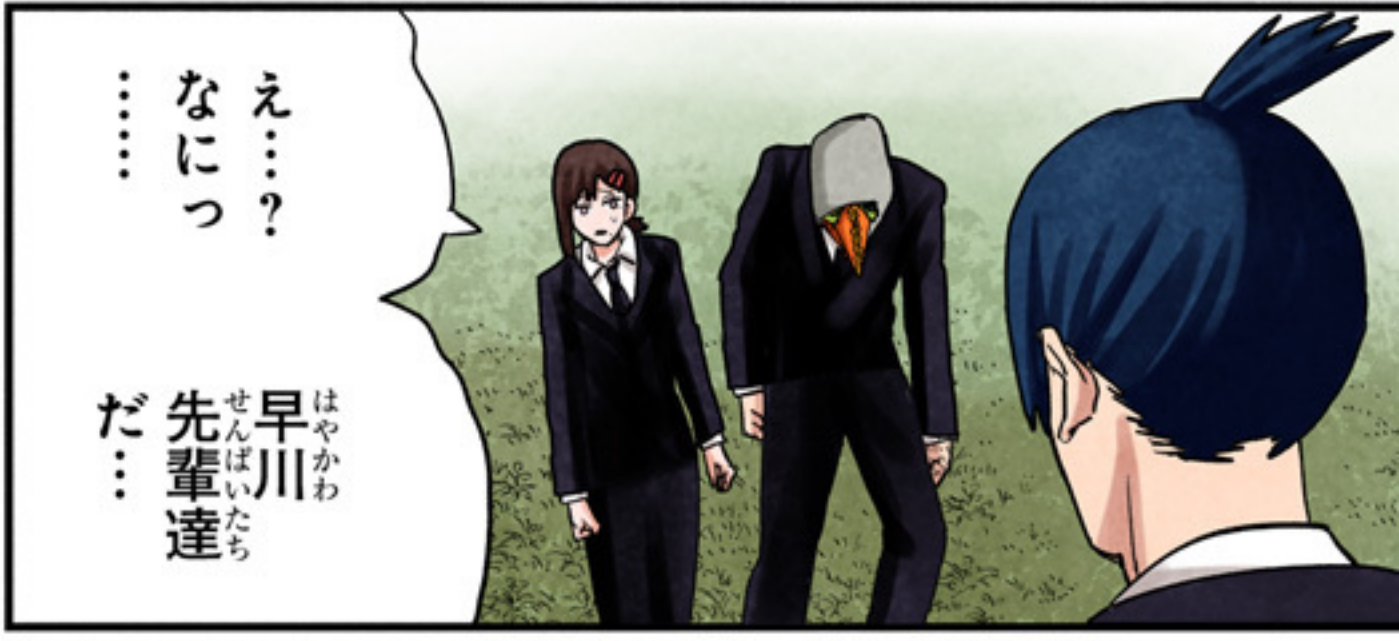
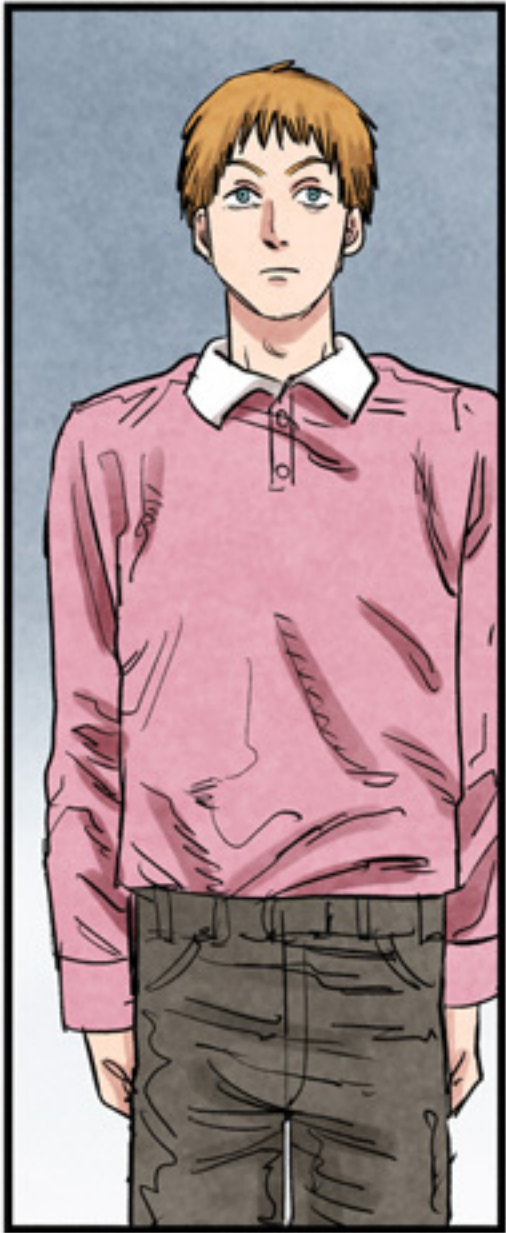


だい
第 [64 話] ウェルカムトゥーザヘル



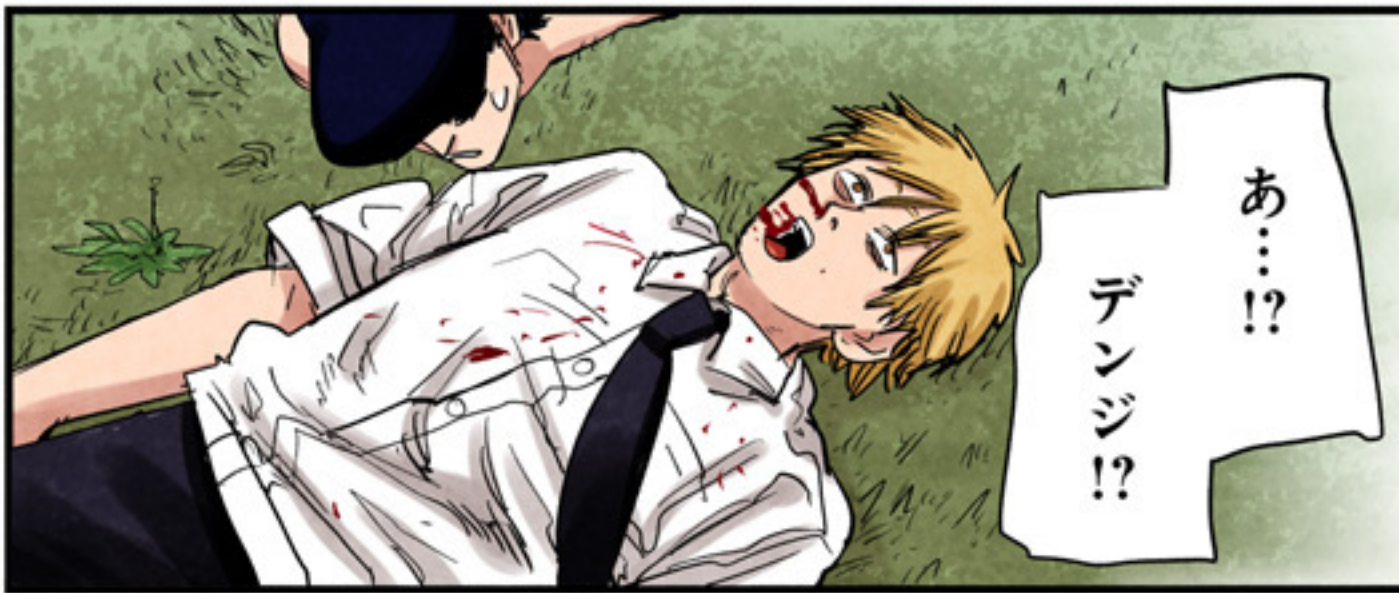


なんだ
ここは
...!?

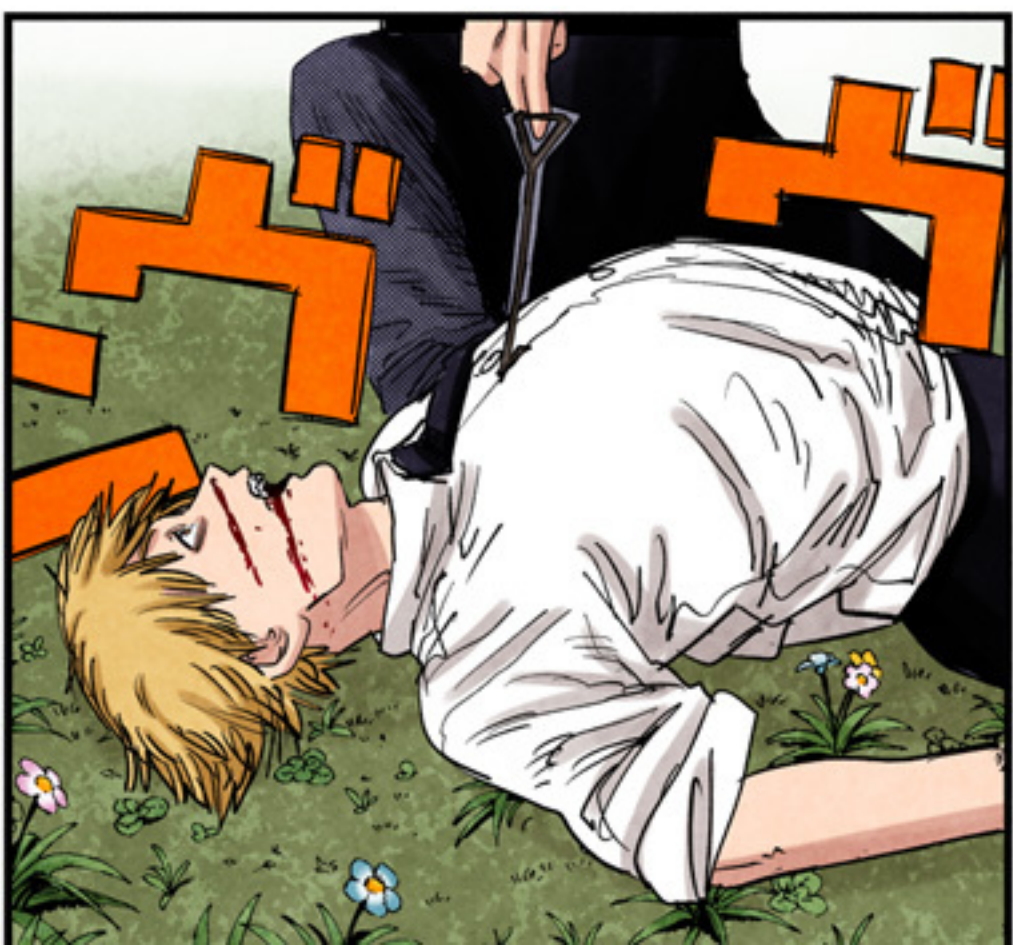


え...?
な...?

はやかわ
早川
せんばいたち
先輩達
だ...



あ...!?
デンジ!?

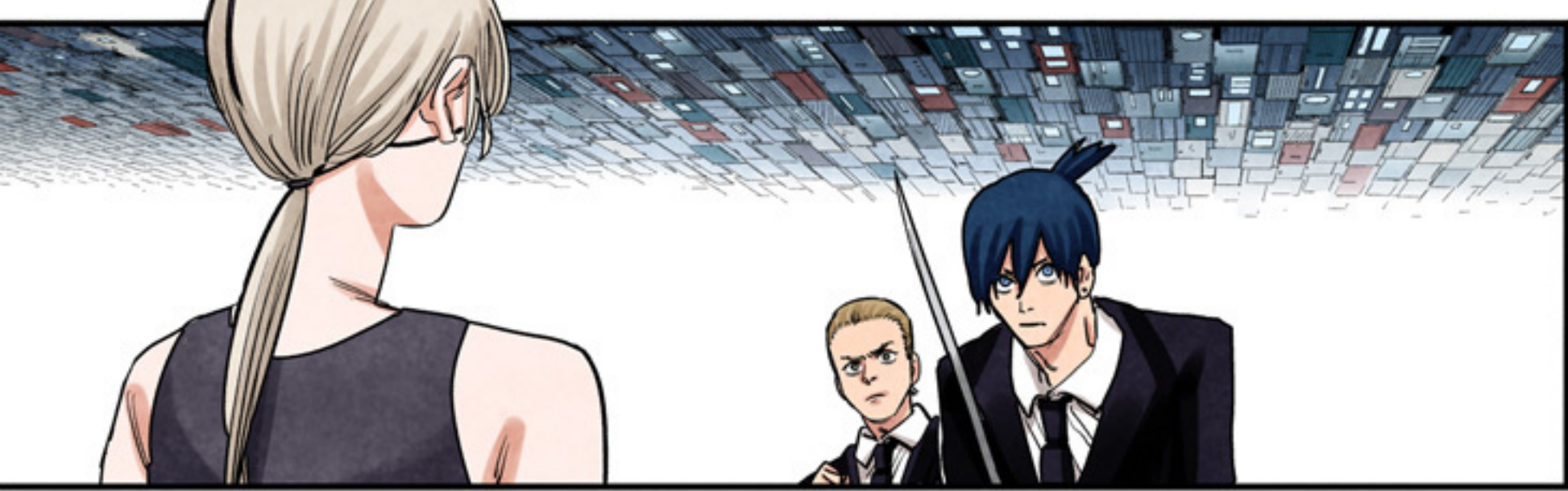
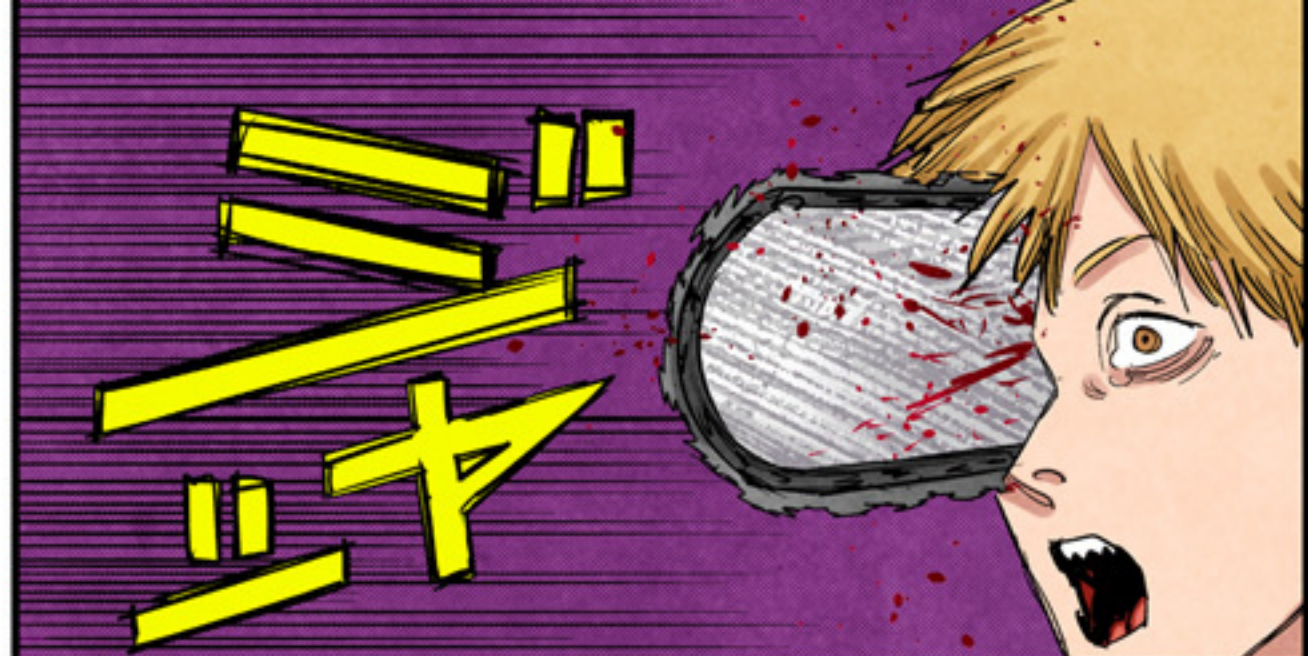


糞っ!
どうなって
いやがる
...!



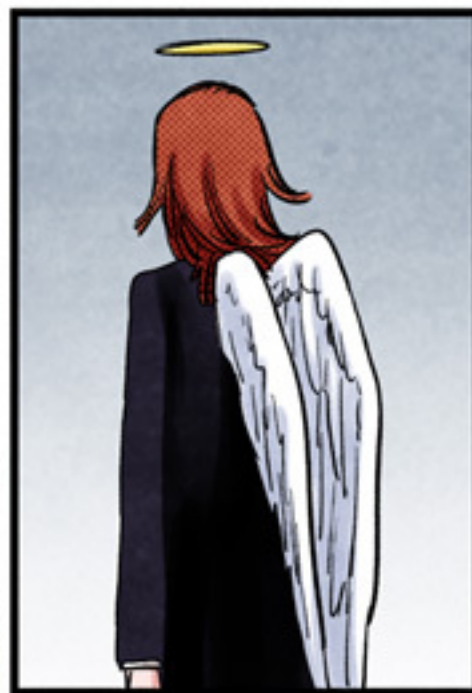
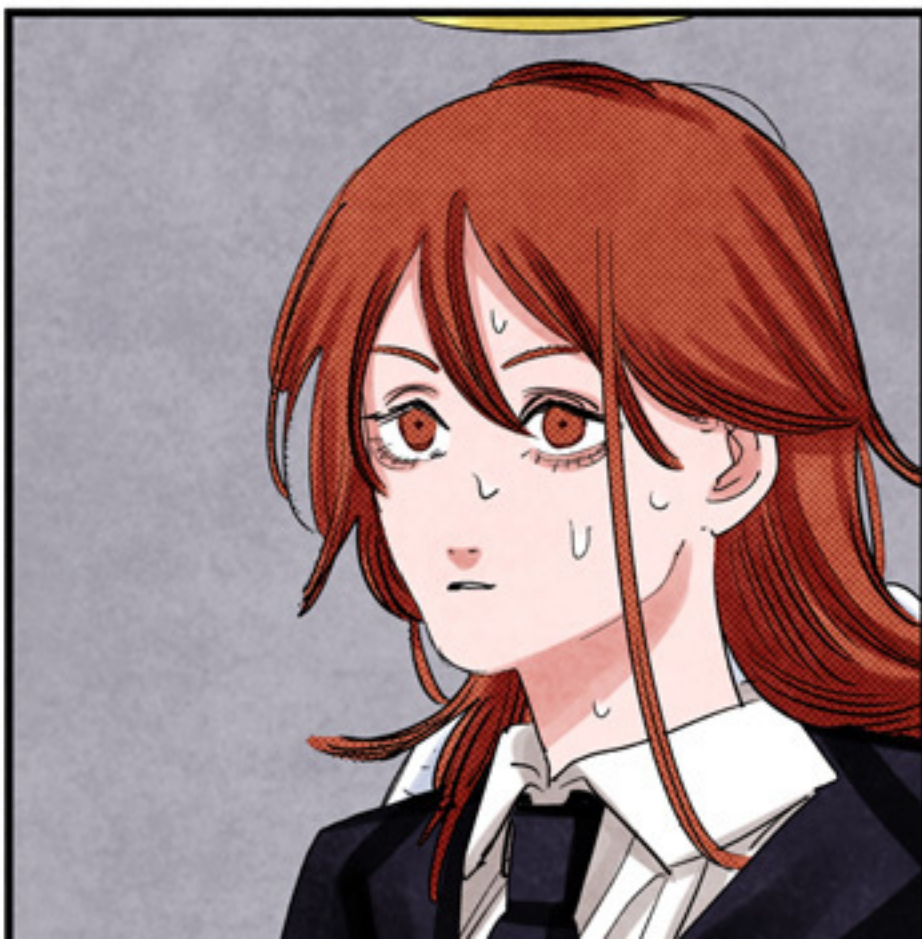
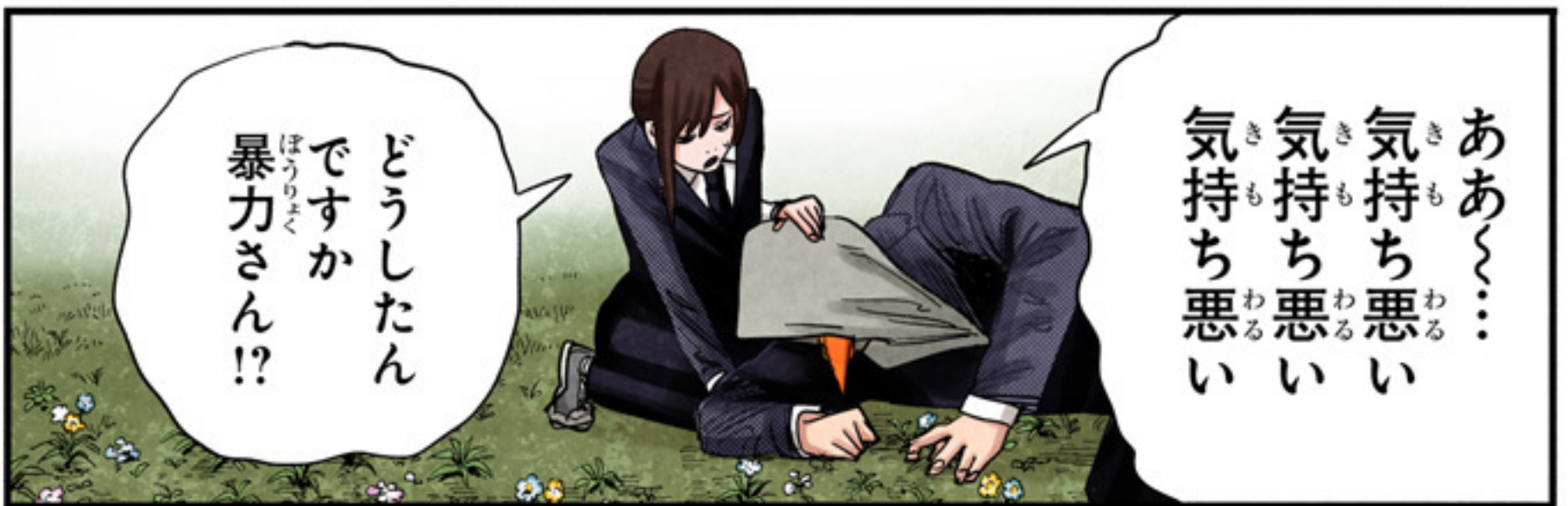
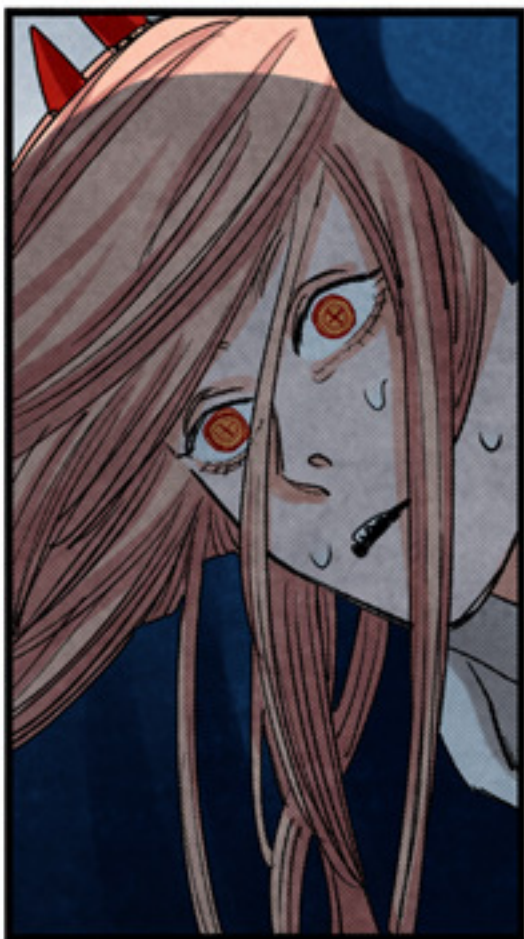
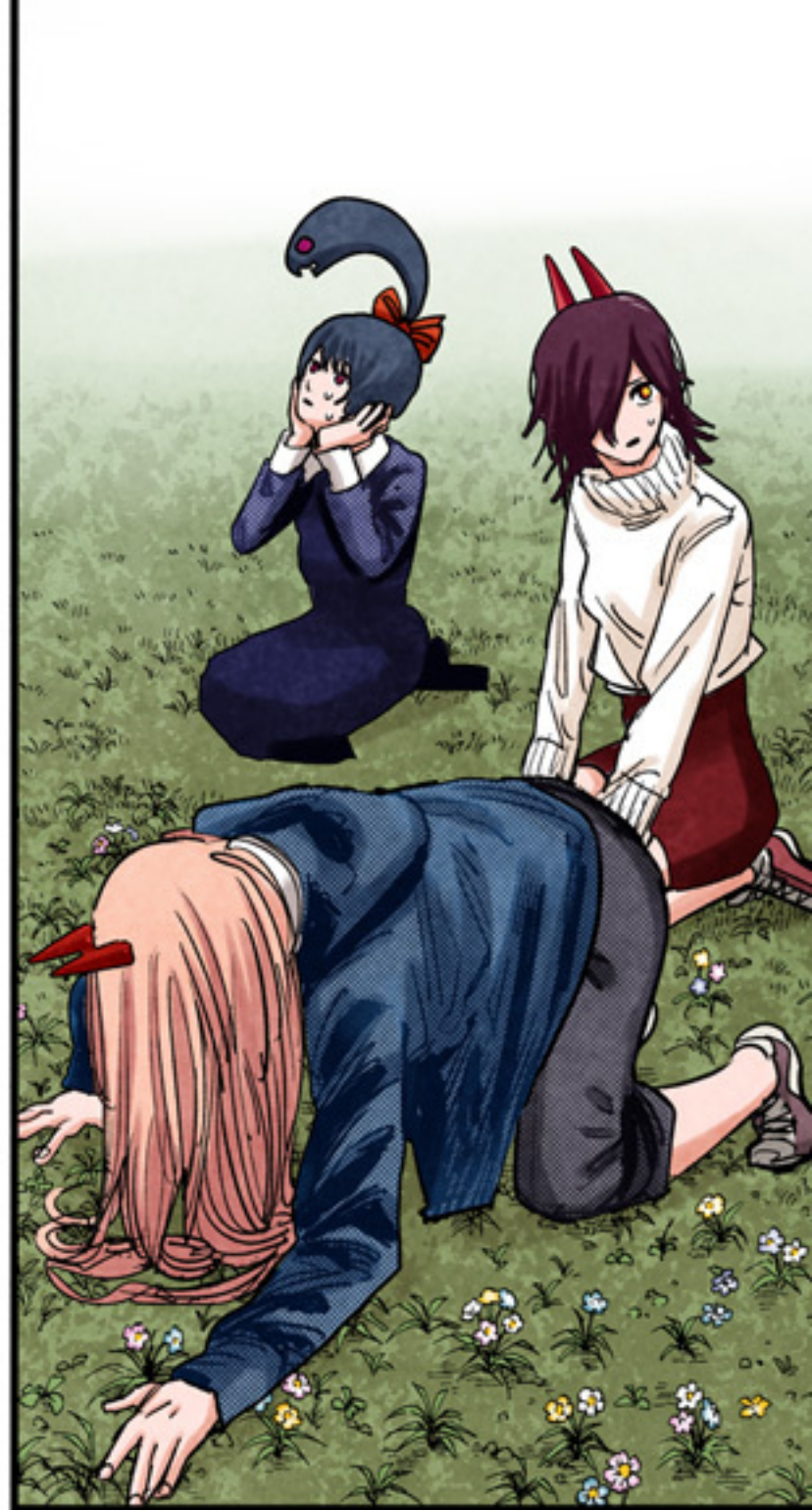
完全な
デンノコ男に
ならないな

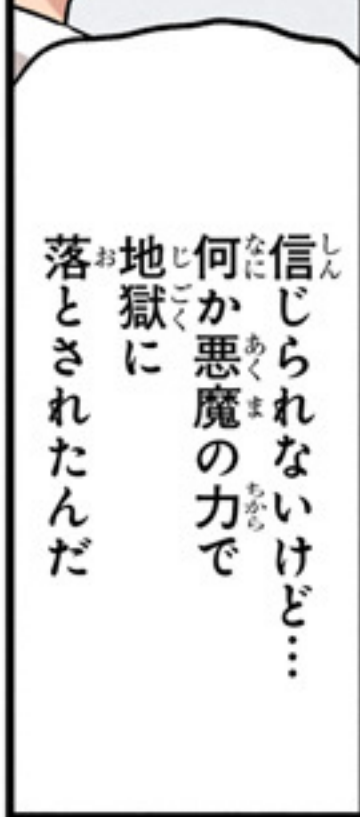
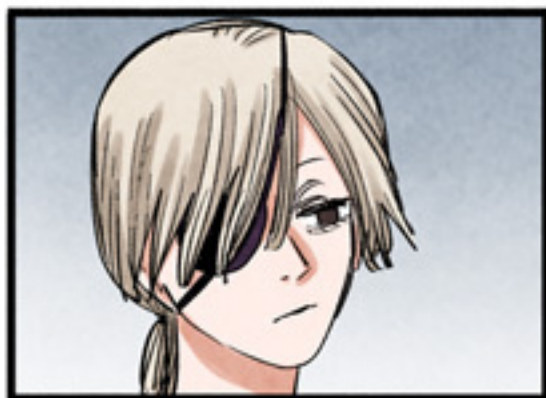
血が
足りない
んだらう



一時
休戦
だ

魔人達の
様子が
おかしい





ここから
ずっと先に

銃の悪魔
なんかより
ずっとずっと
ヤバい…

根源的恐怖の
名前を持つ
悪魔達が
私達を
見ています…

かれ
彼らは
ちょうえつしゃ
超越者
です…

いちど
一度も
死を経験
していない
悪魔達…

わたし
う…私達は
かれ
彼らに敵意を
む
向けられた
瞬間死にます



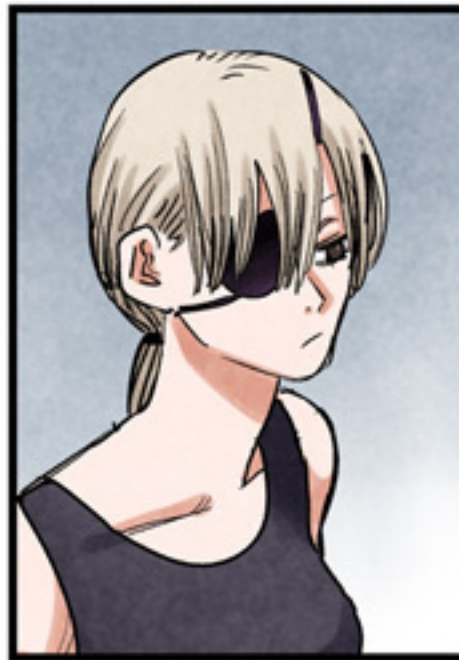
あ：
あ！

ああ
く！！

お
終わった
ちやっ
た！



ば：
馬鹿！
私わたしが
どうにか
する：



クアンシ
様さまあ：



じ：
じ：
自殺じさつの
許可きょかを：

じじ
じっ



お
終わった！
お
終わった！



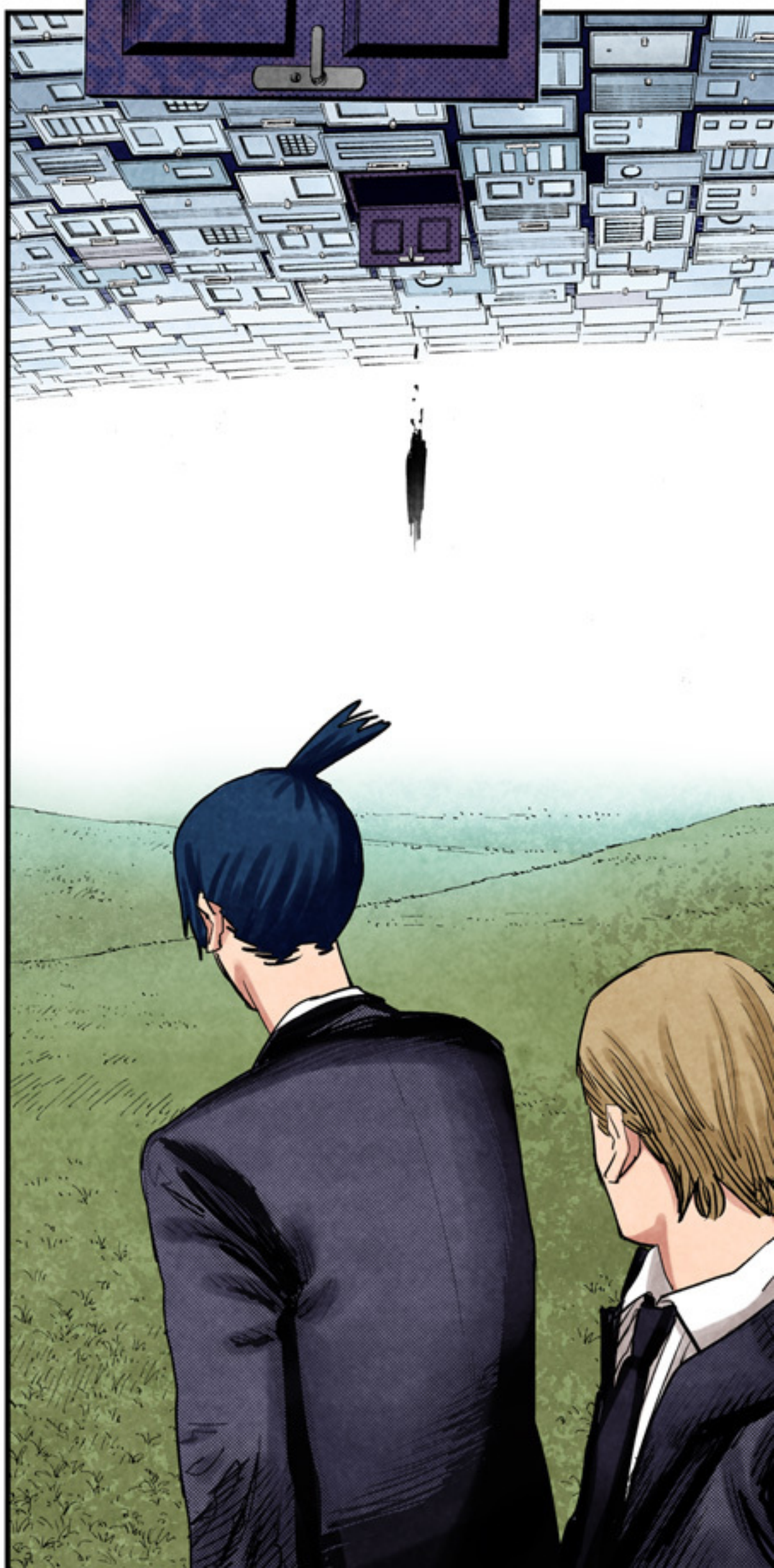
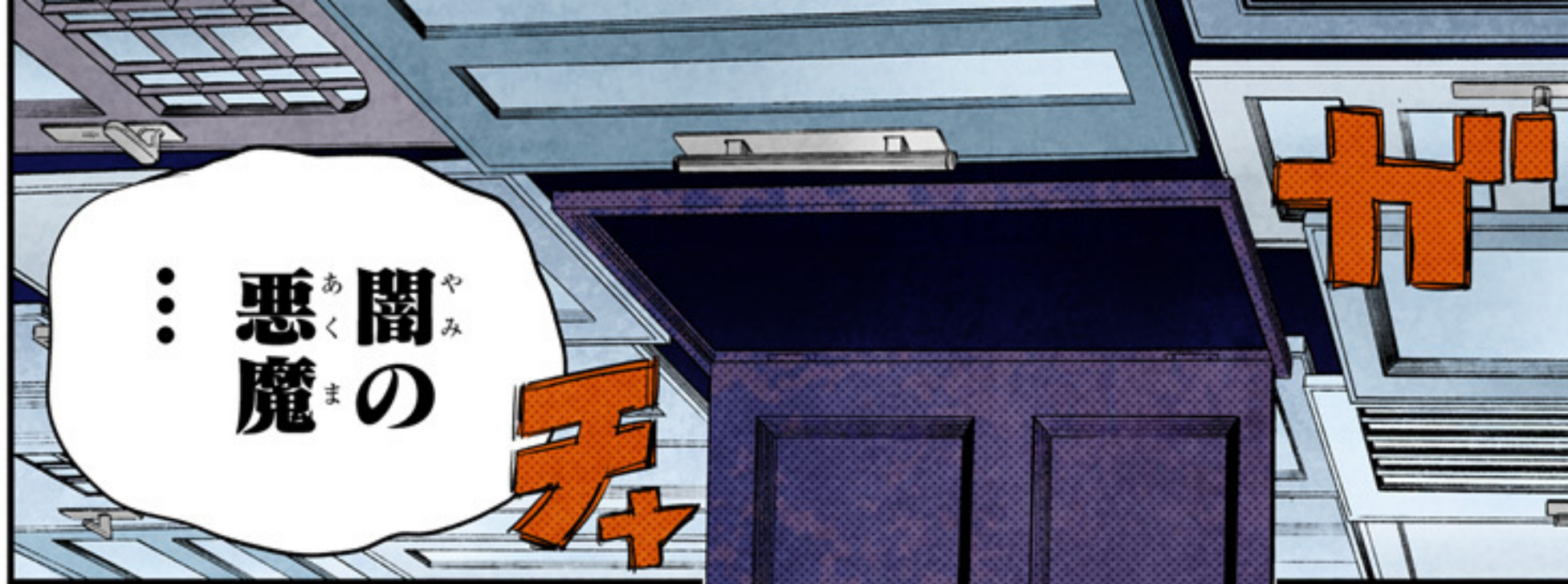
く
来る

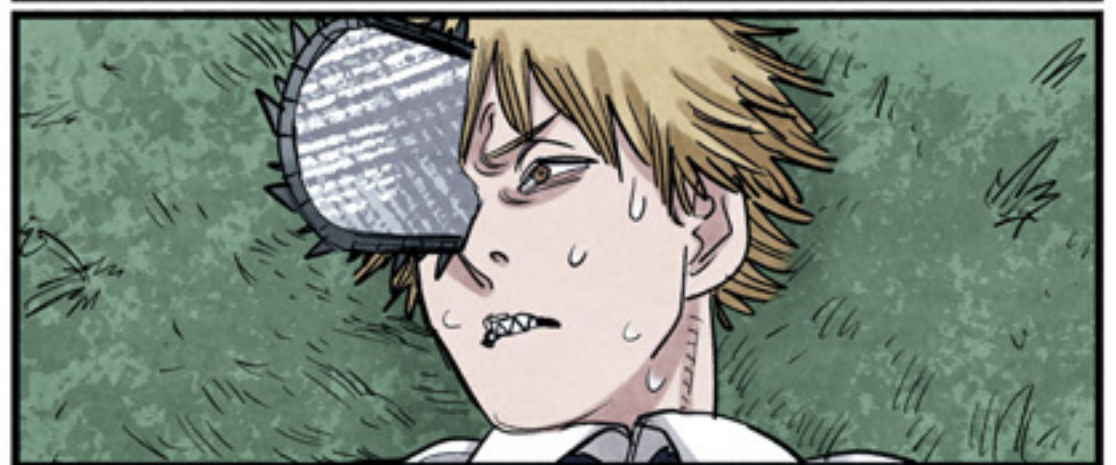
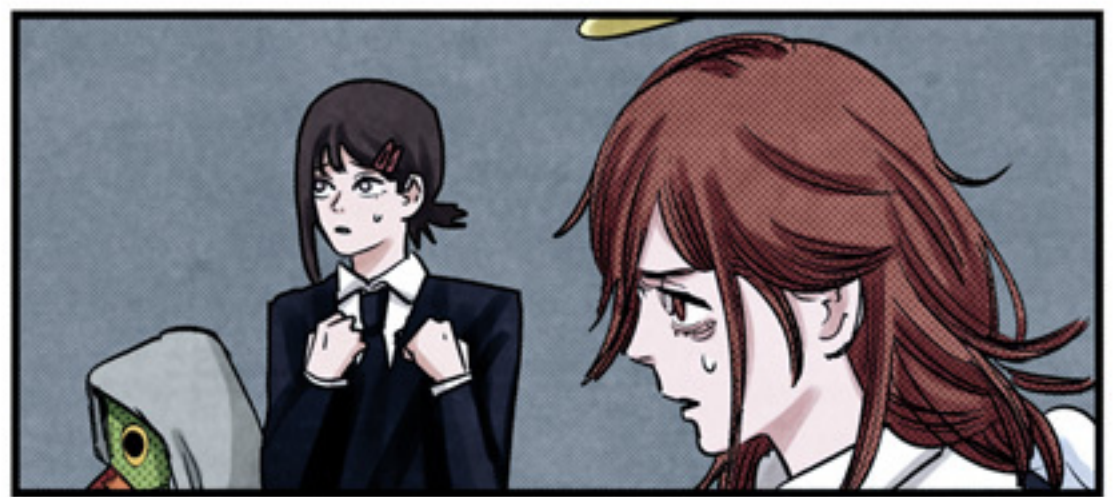


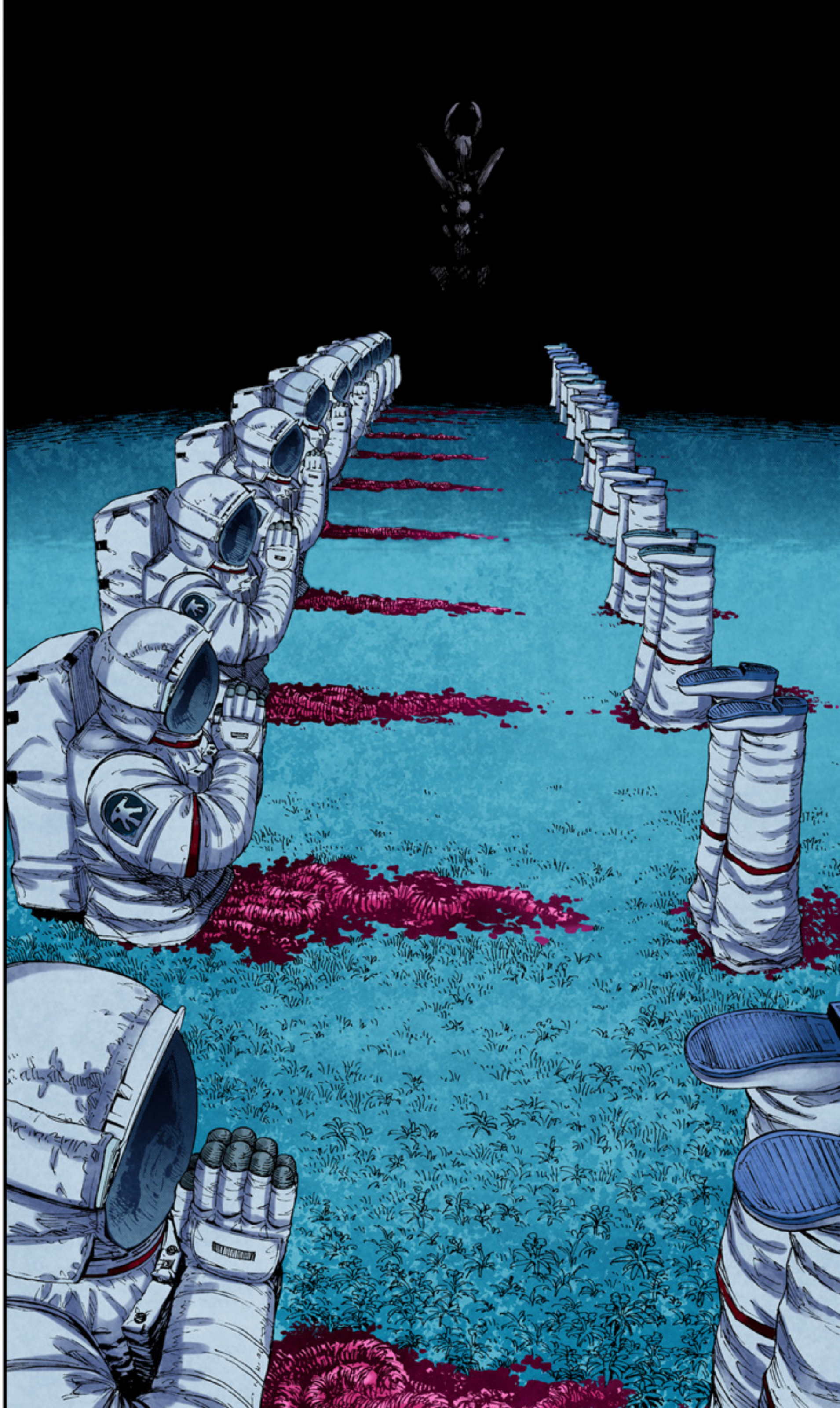
きた！

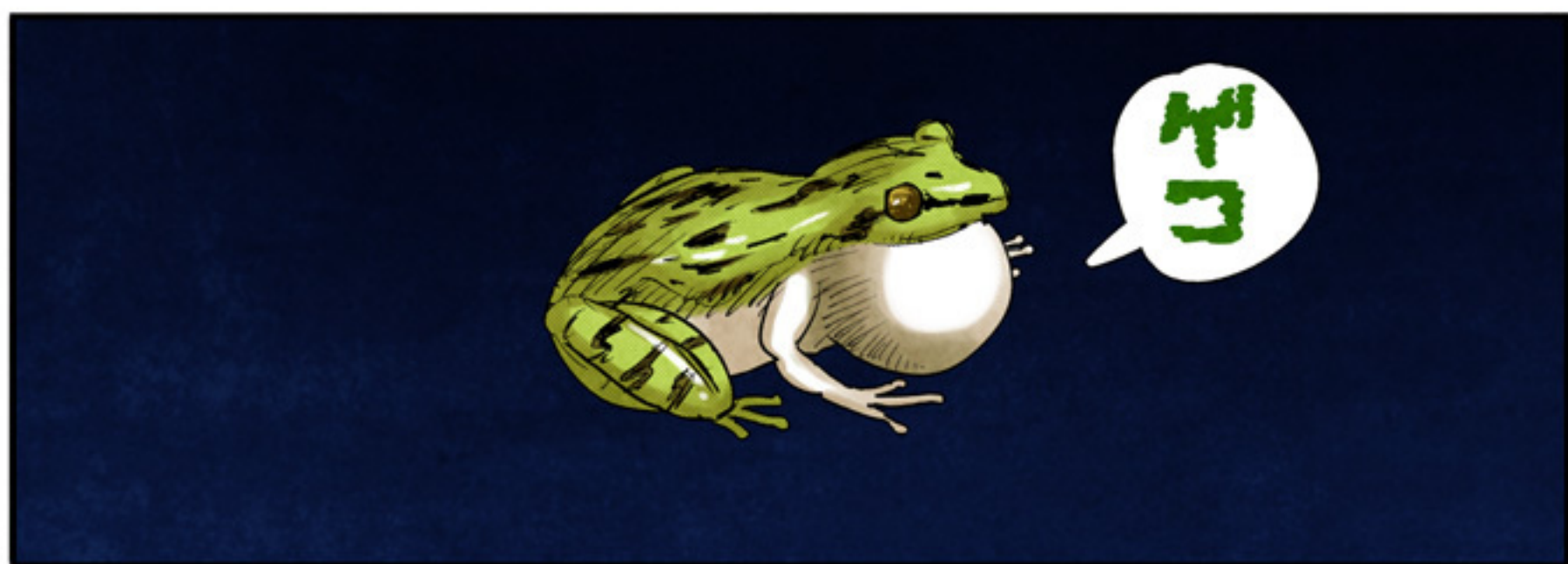
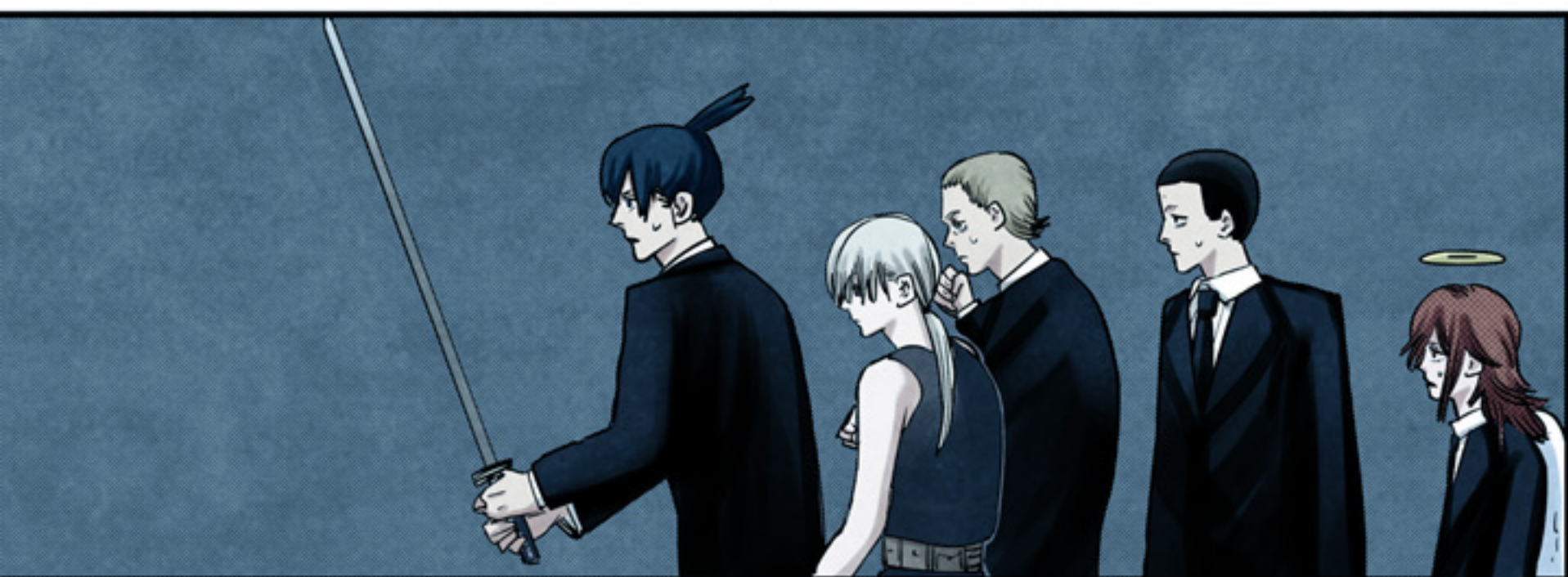
きた
ちや
った！

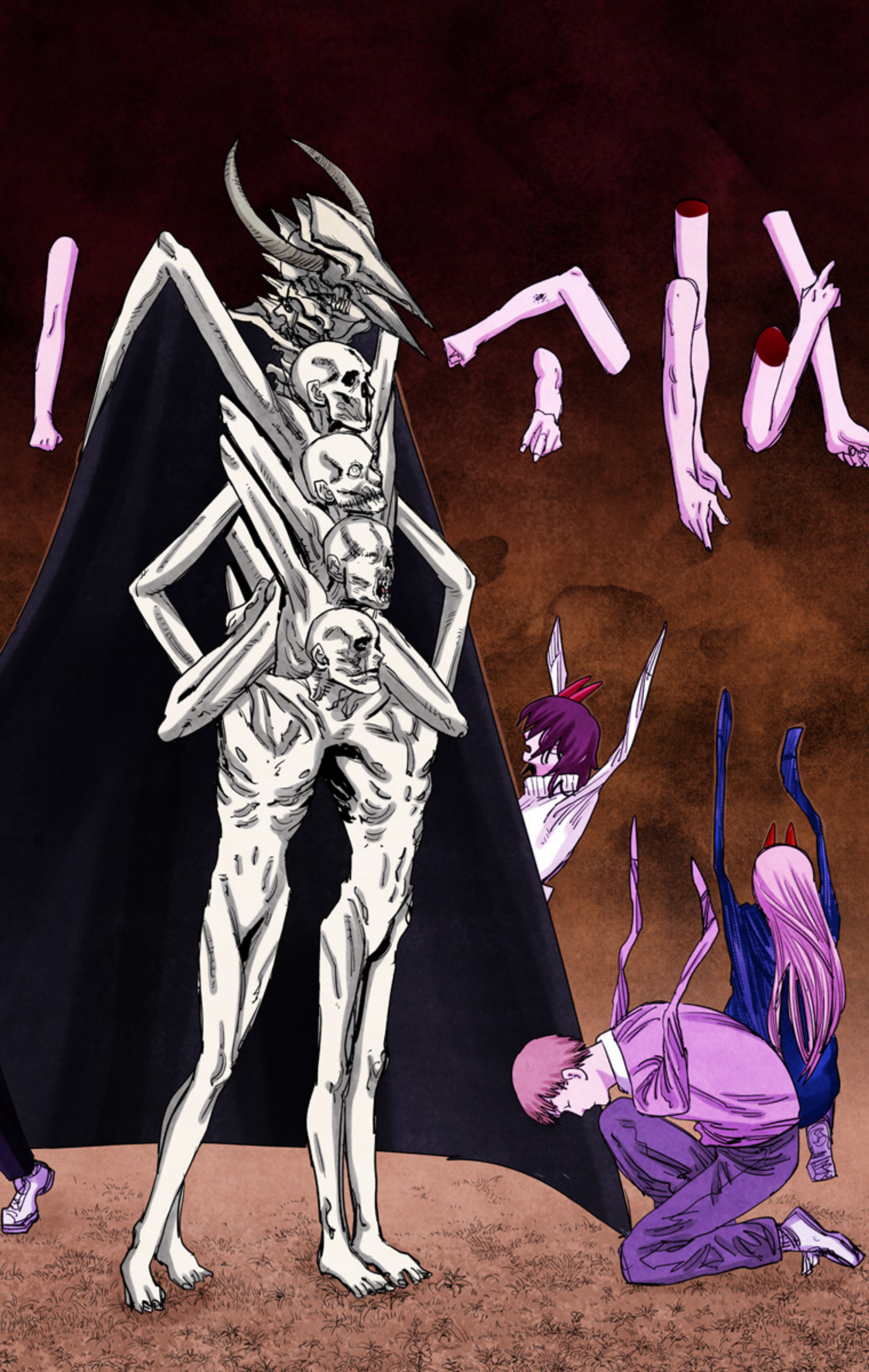
あ：















え

え

う...

あつ...!
手が...!

：手が

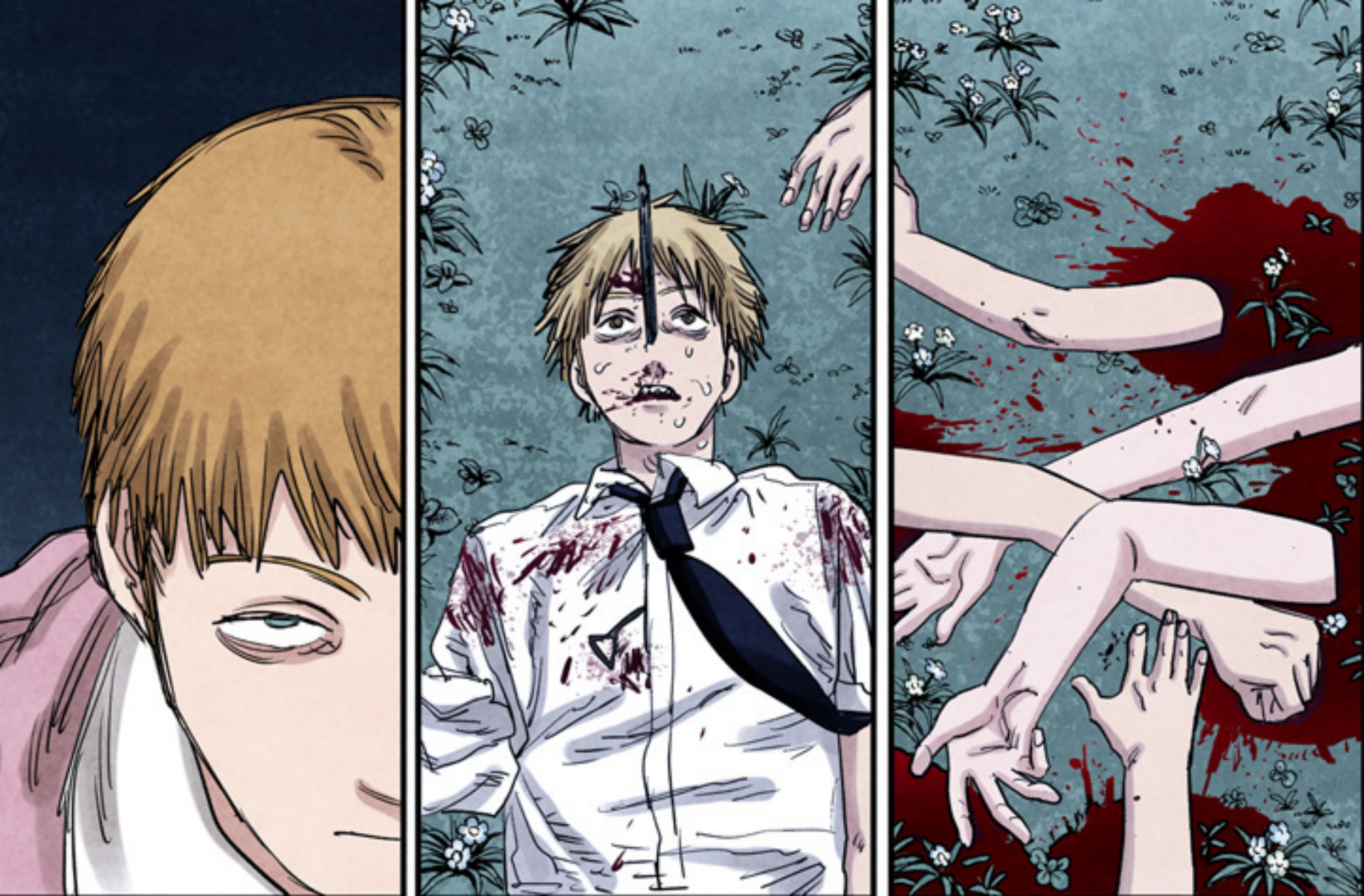
あ

あ

んん
：なっ

わたし
私は
にんぎょう
人形の
あくま
悪魔です

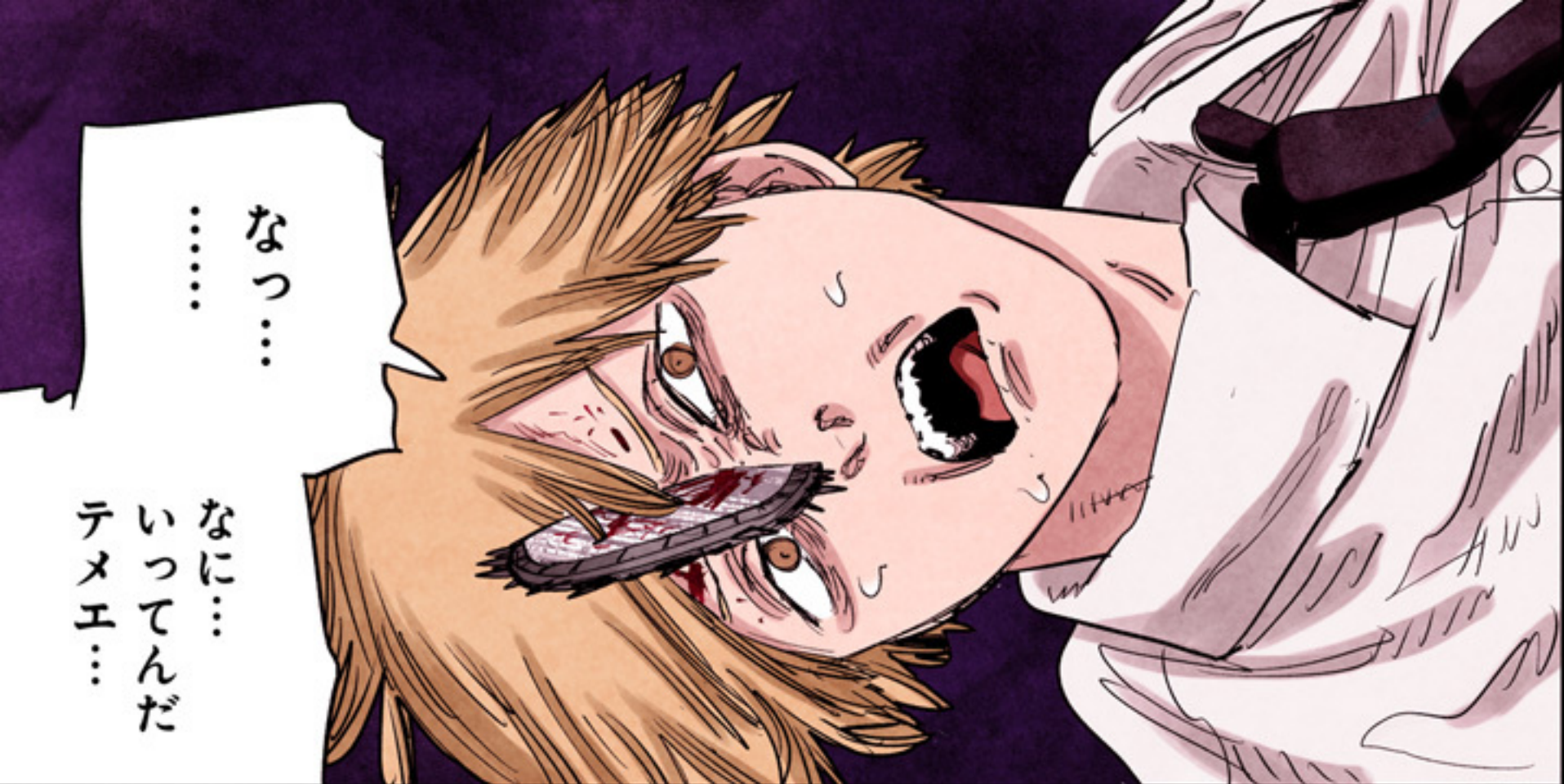
50





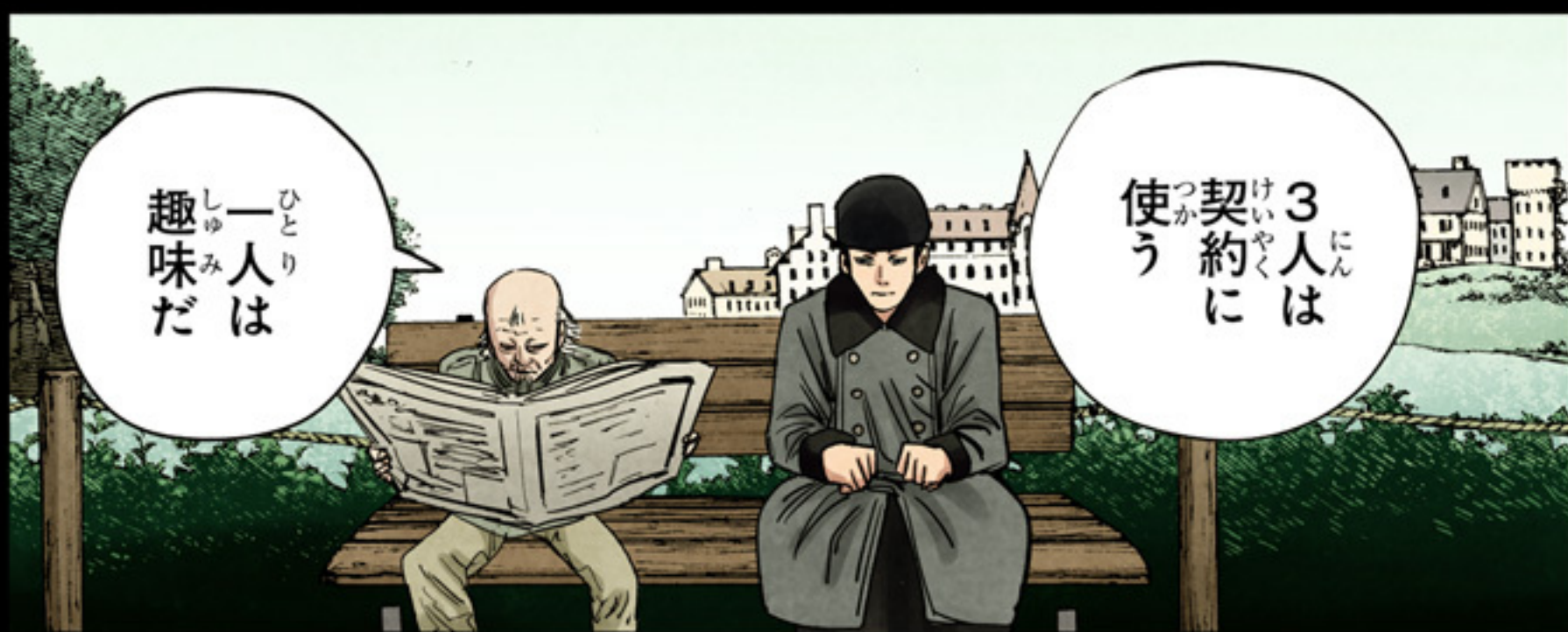
わたし
私に
どうか
……

マキマを
殺せる力を
ください



なっ…
…

なに…
いってんだ
テメエ…



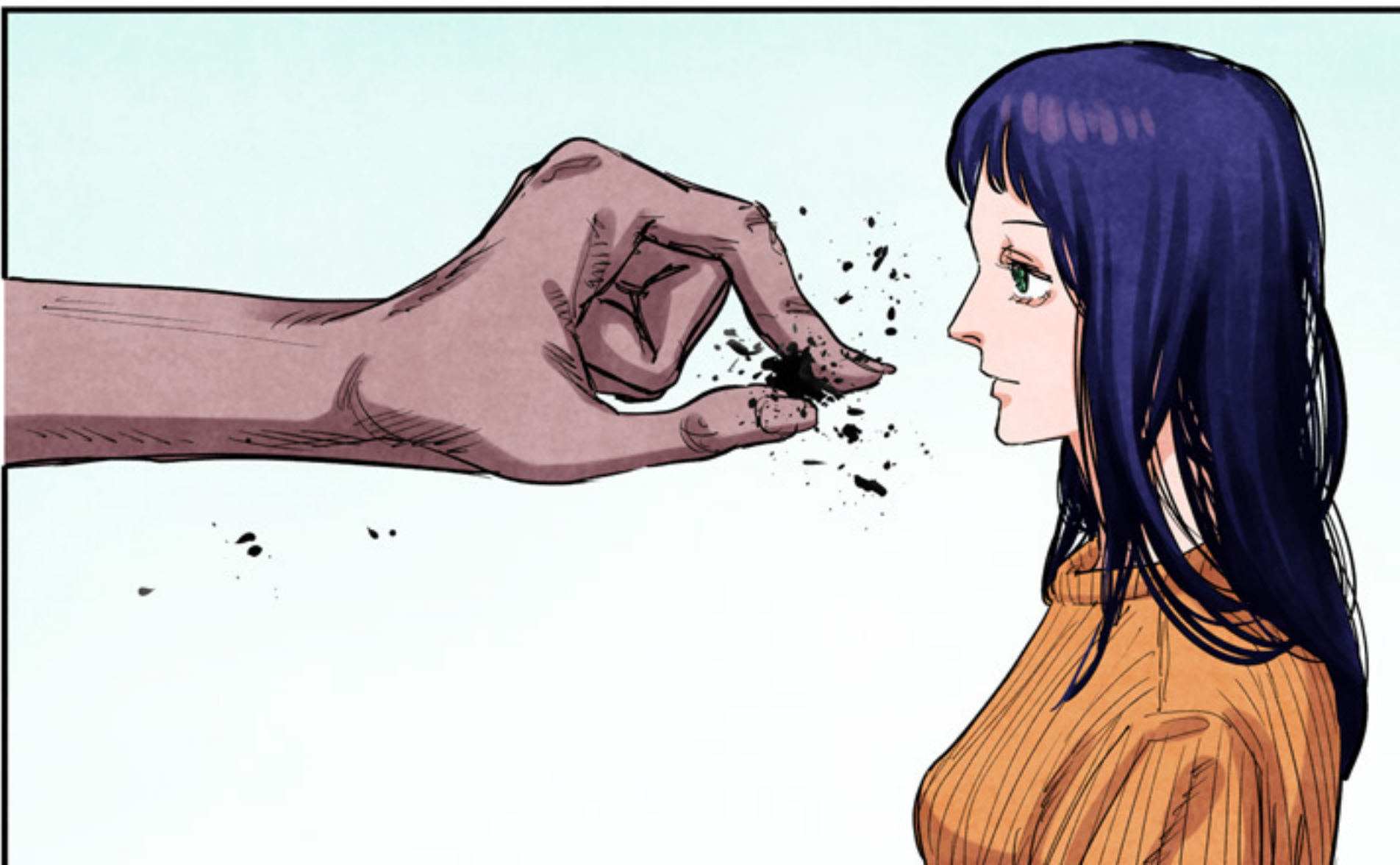
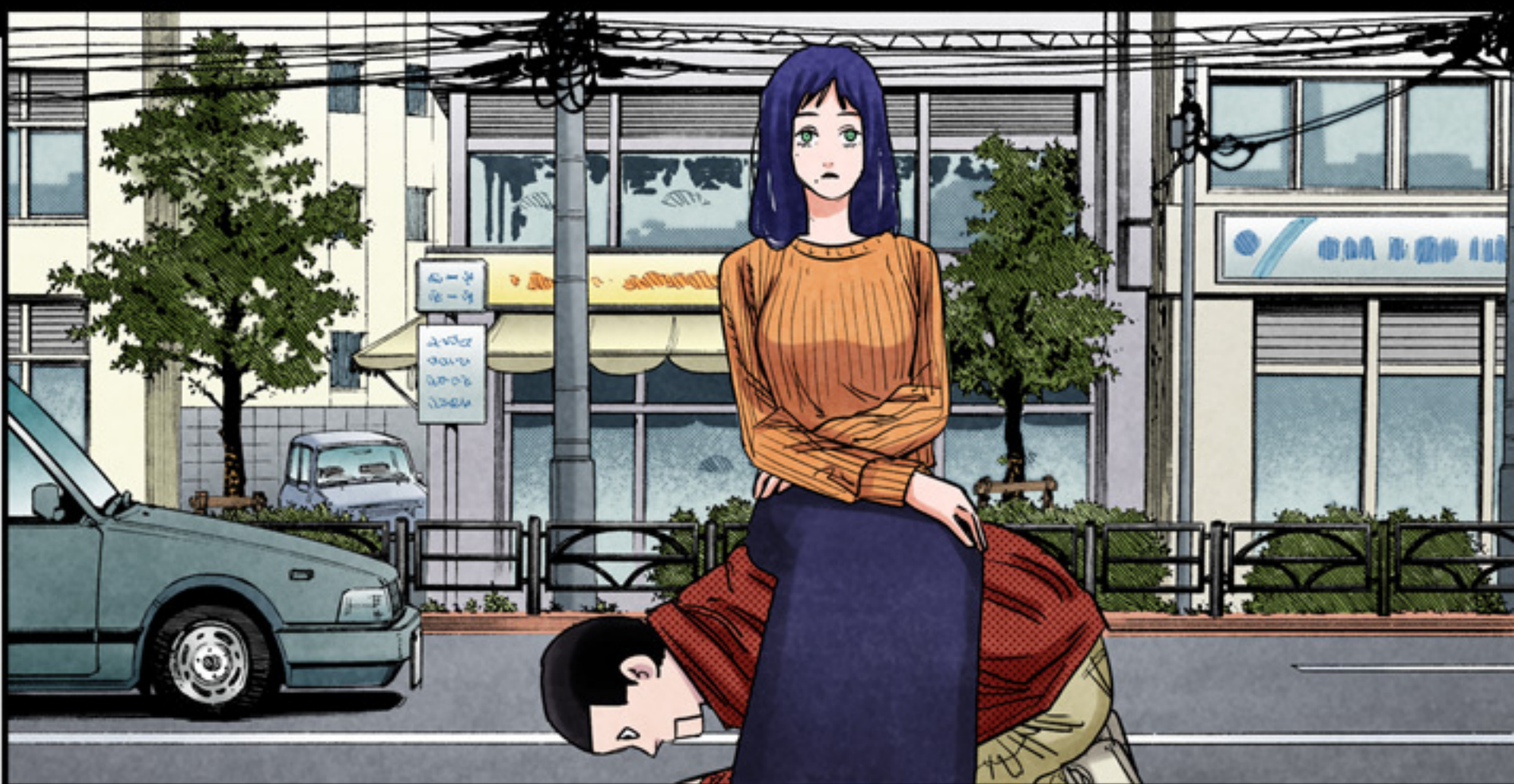
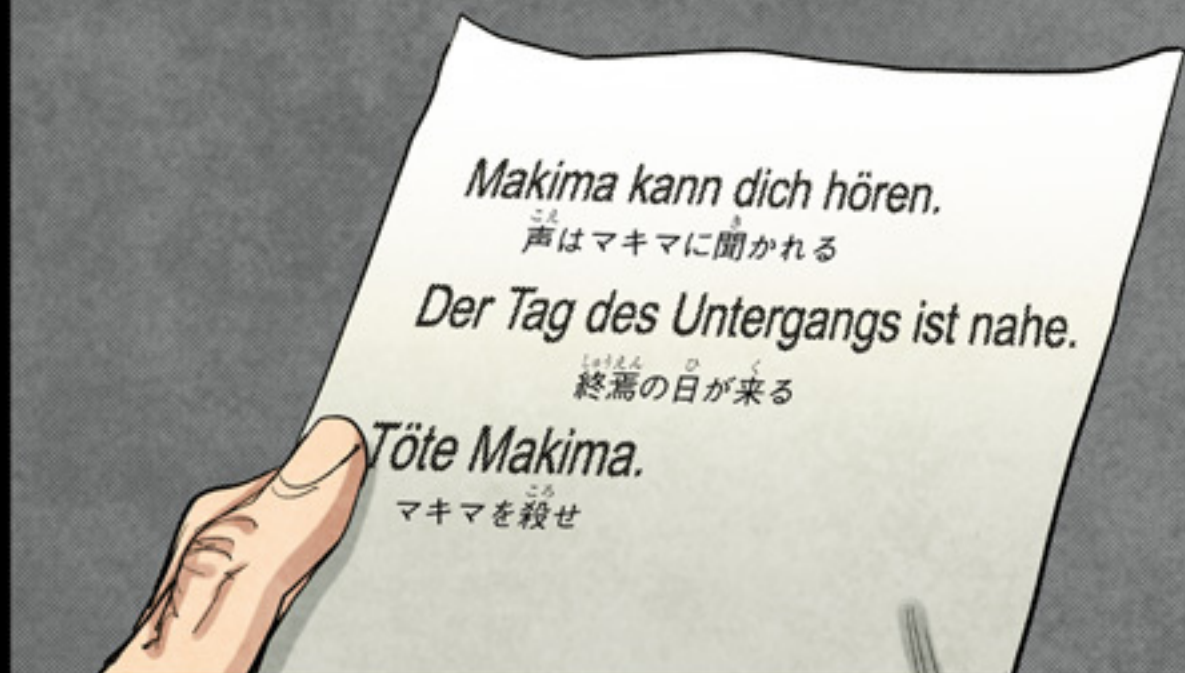
ひとり
一人は
趣味だ

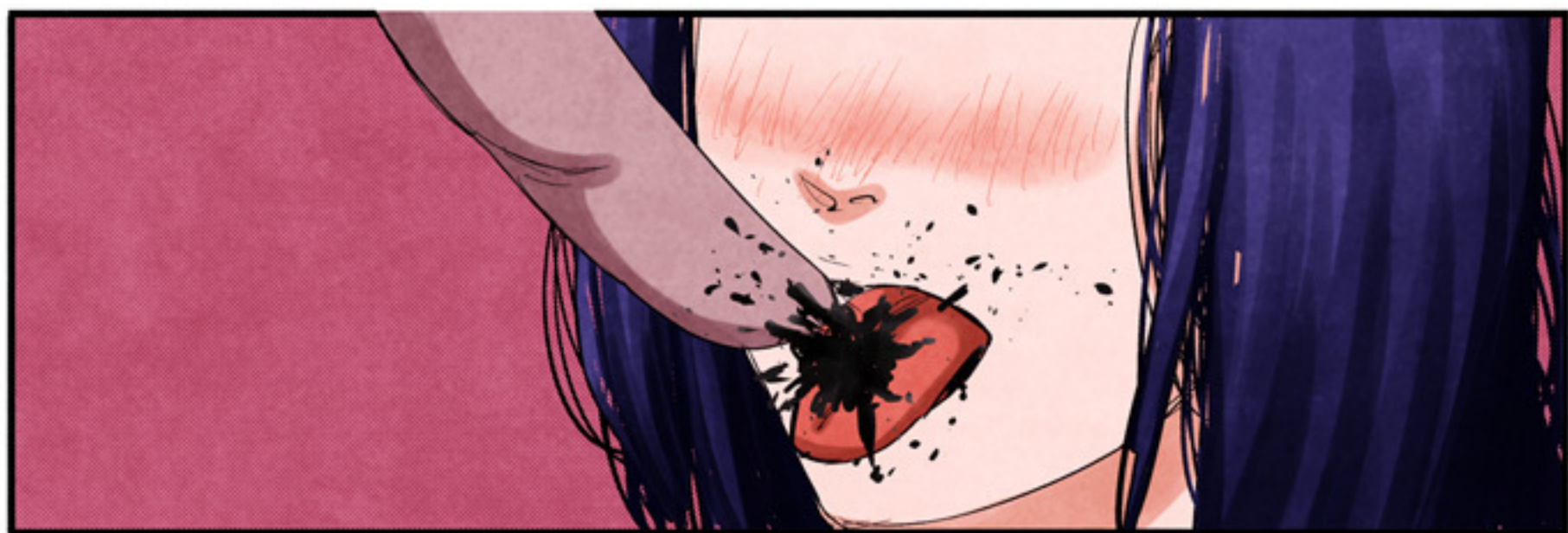
3人
は
契約に
使う

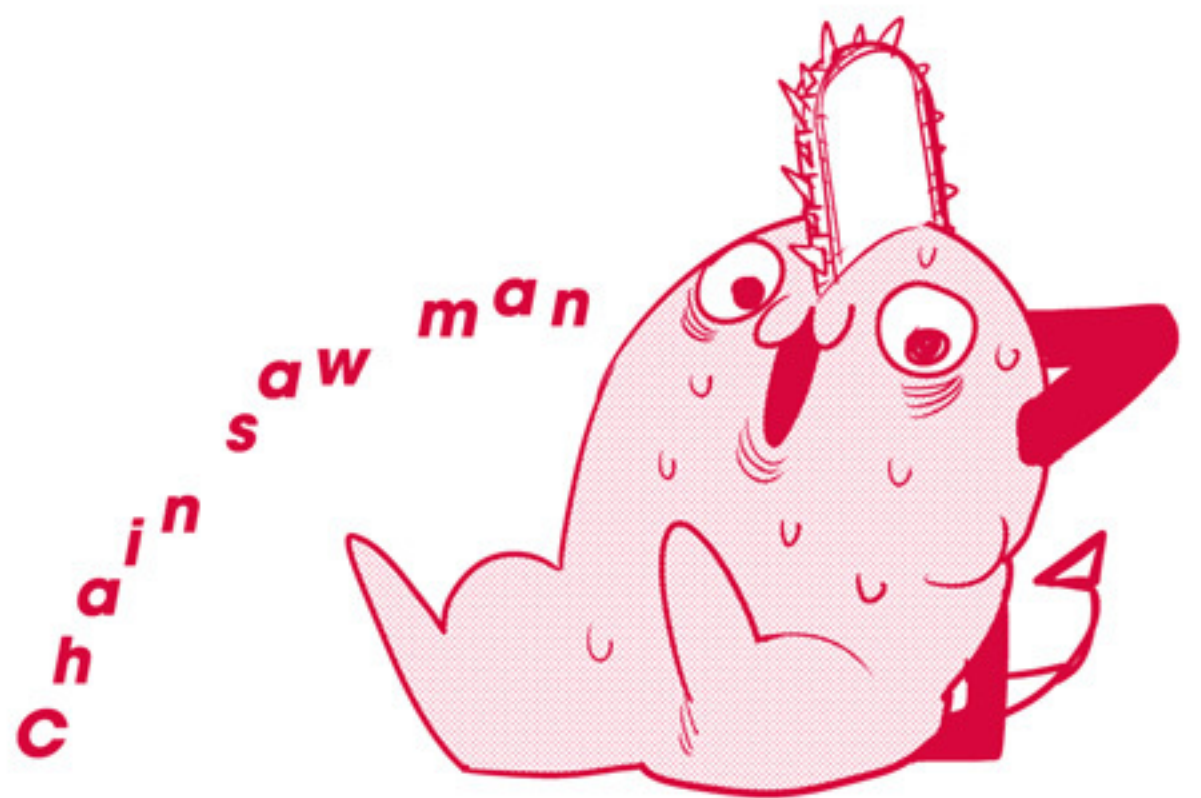


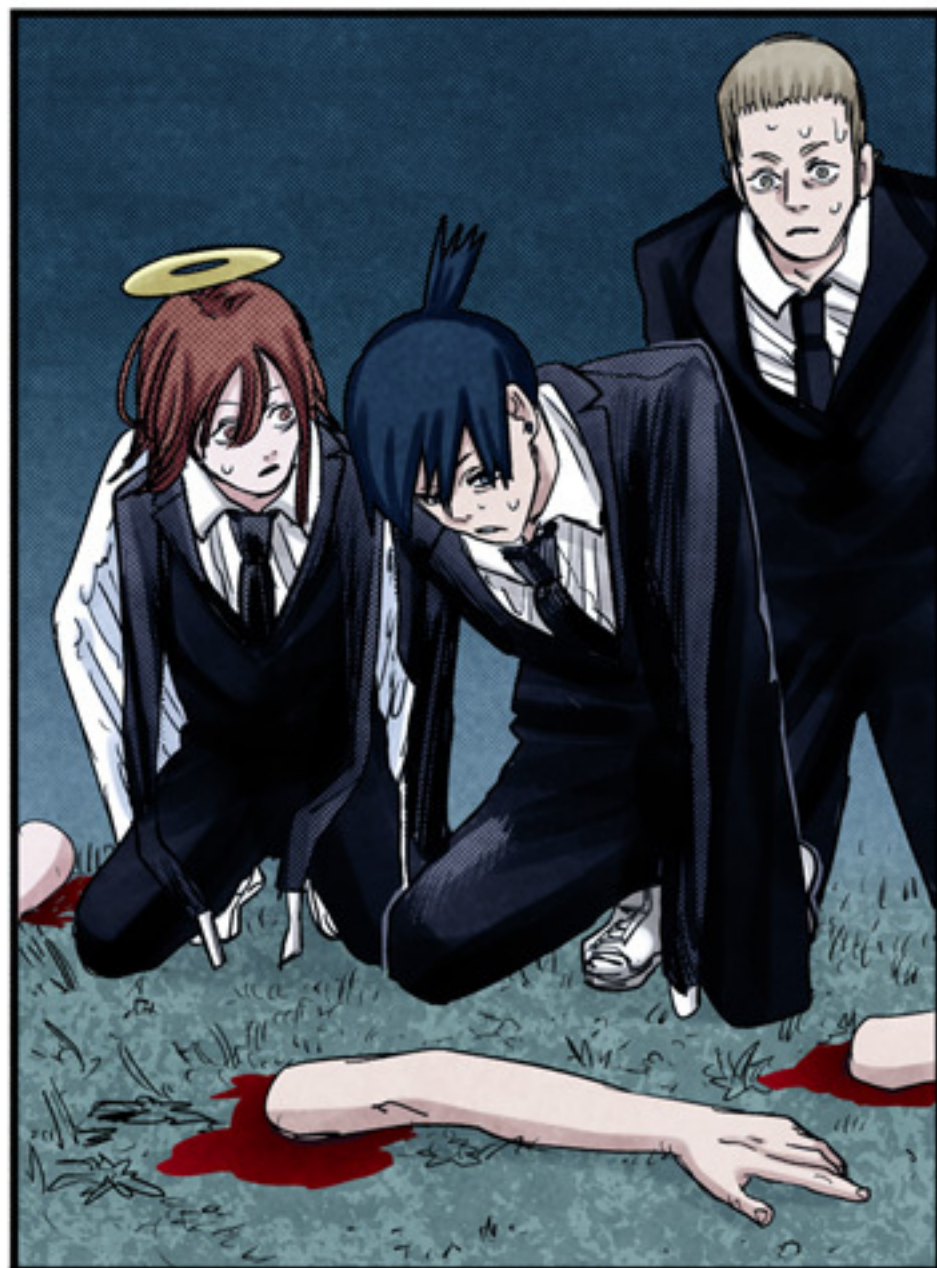
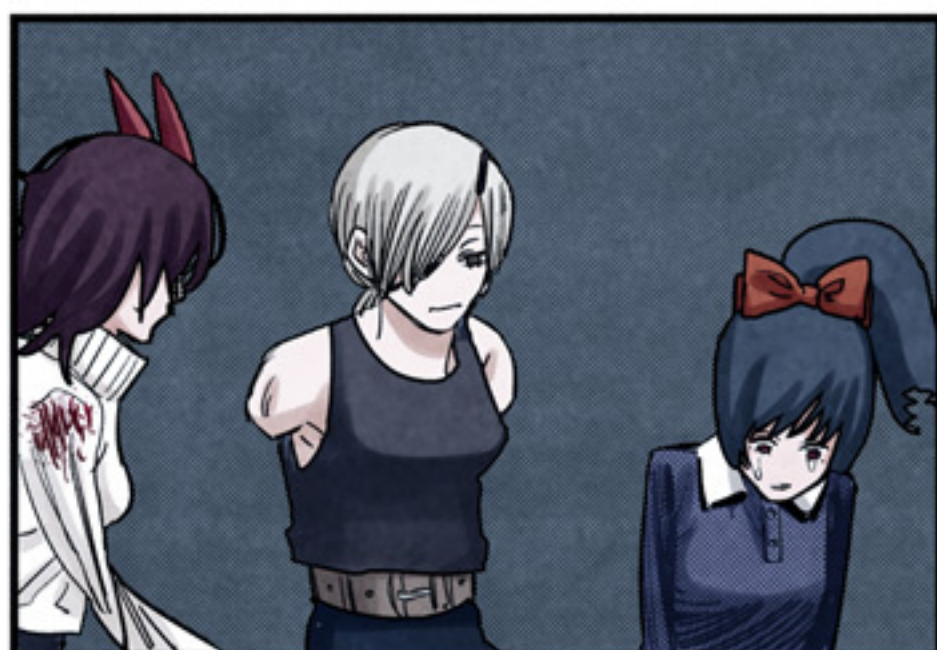
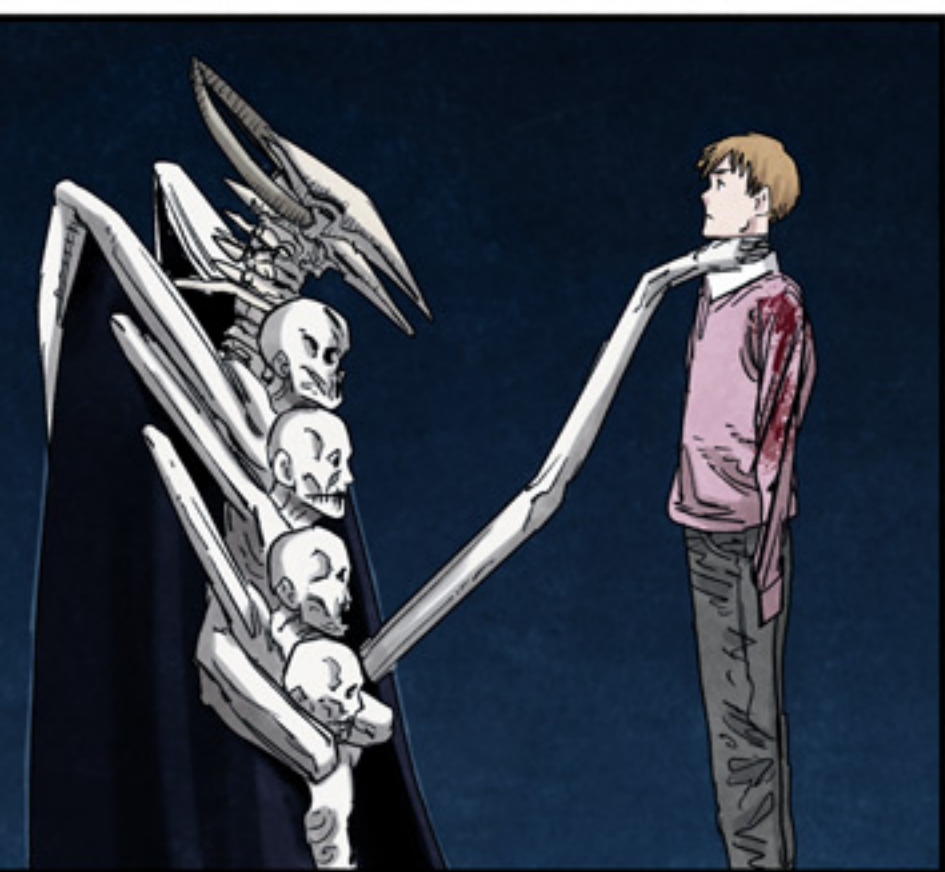
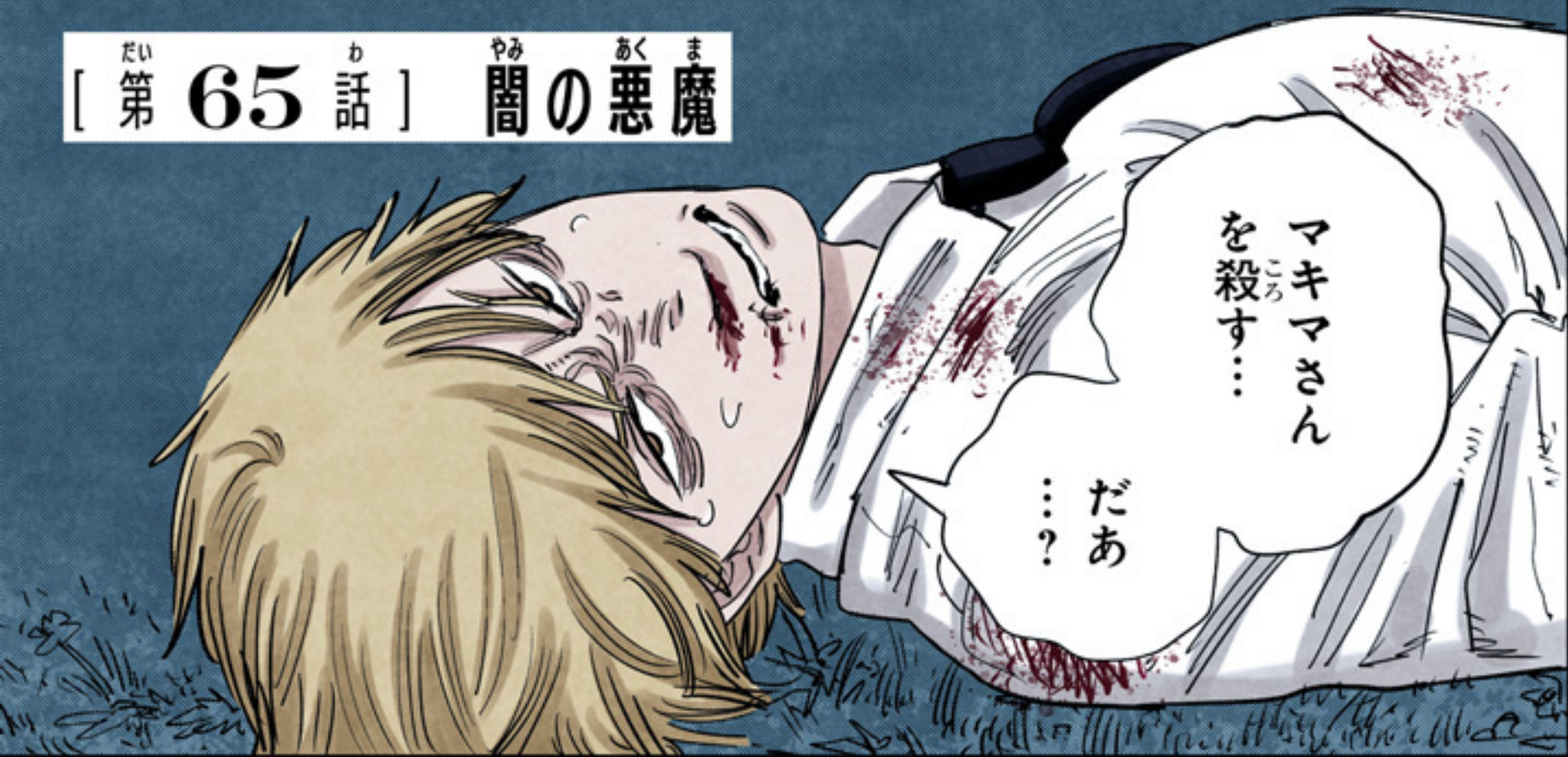
わかった
用意する

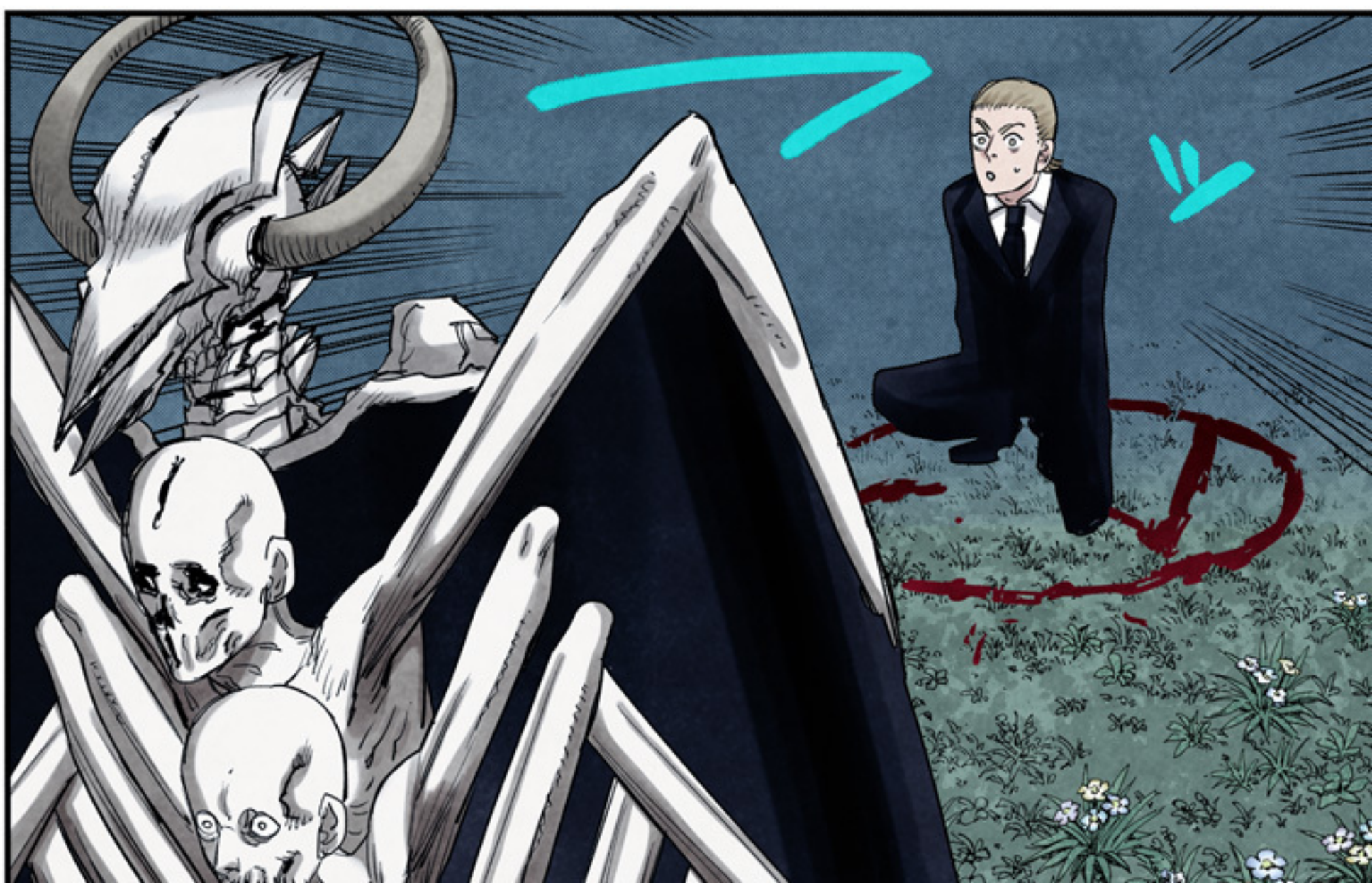
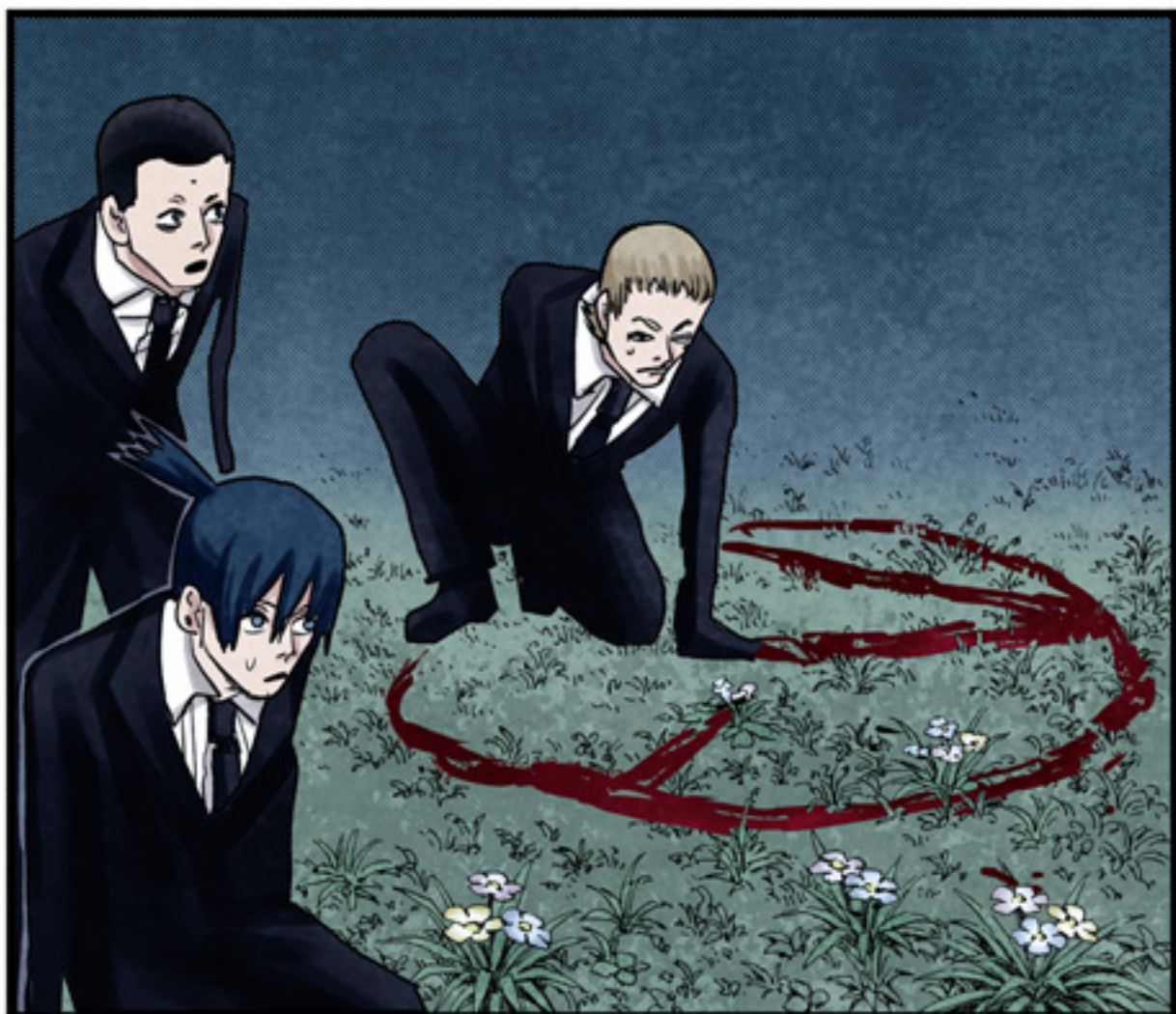


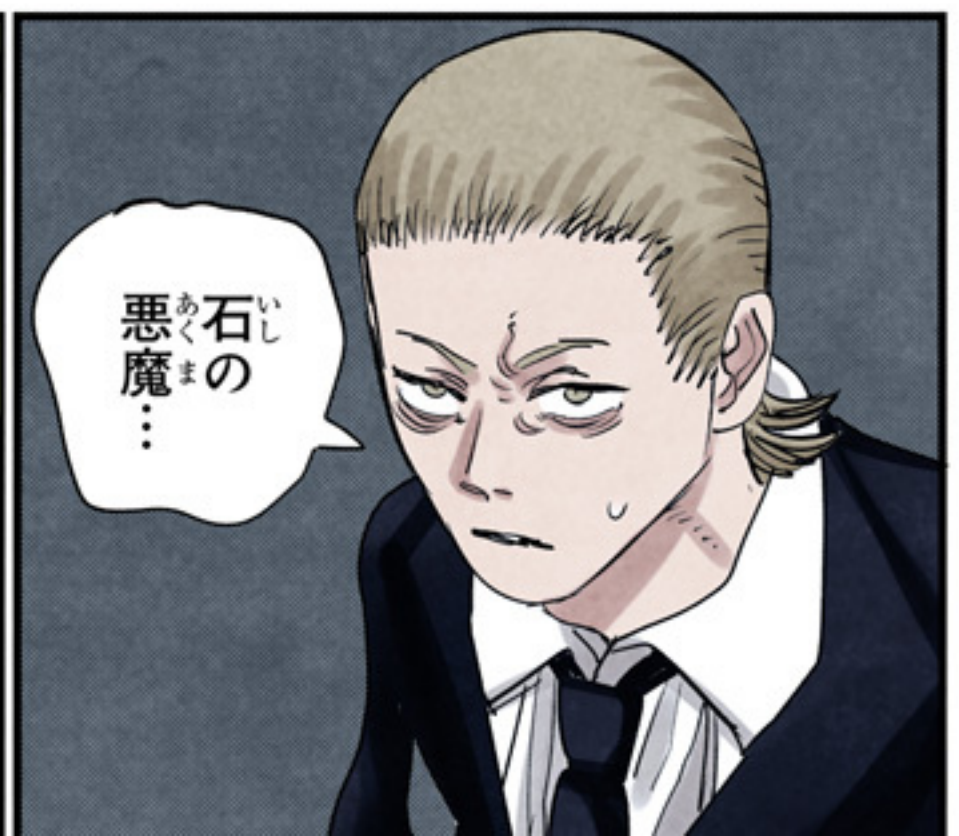
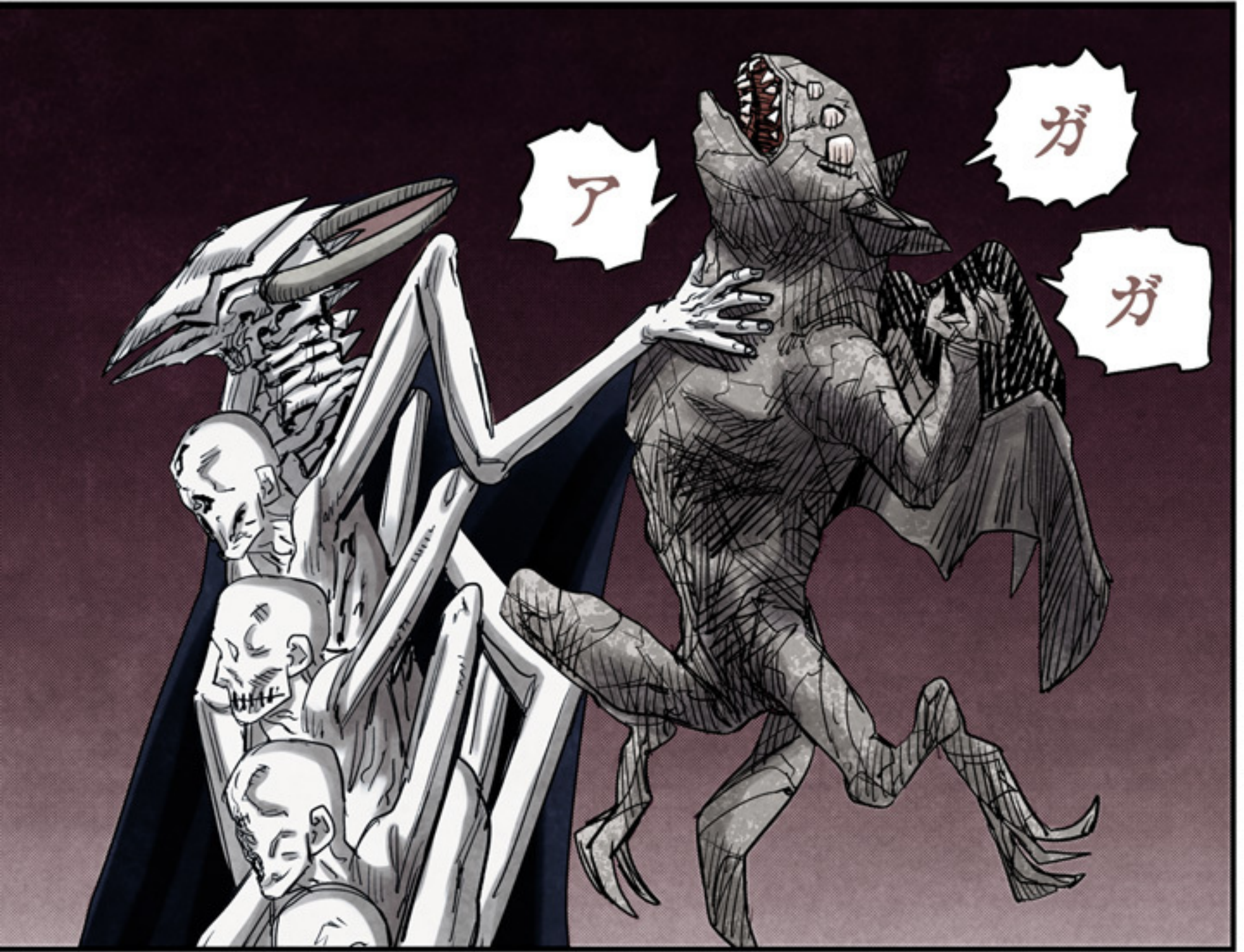


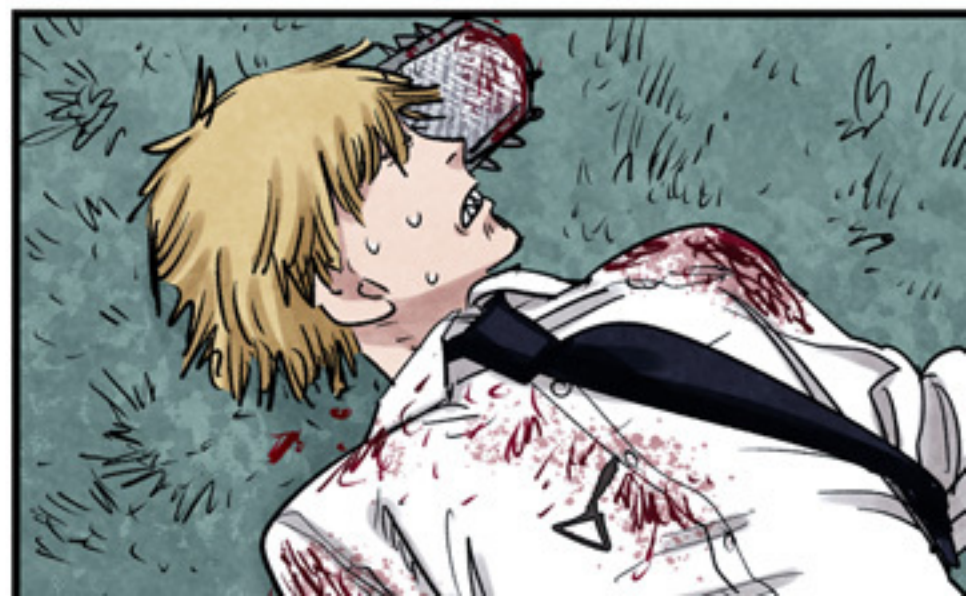
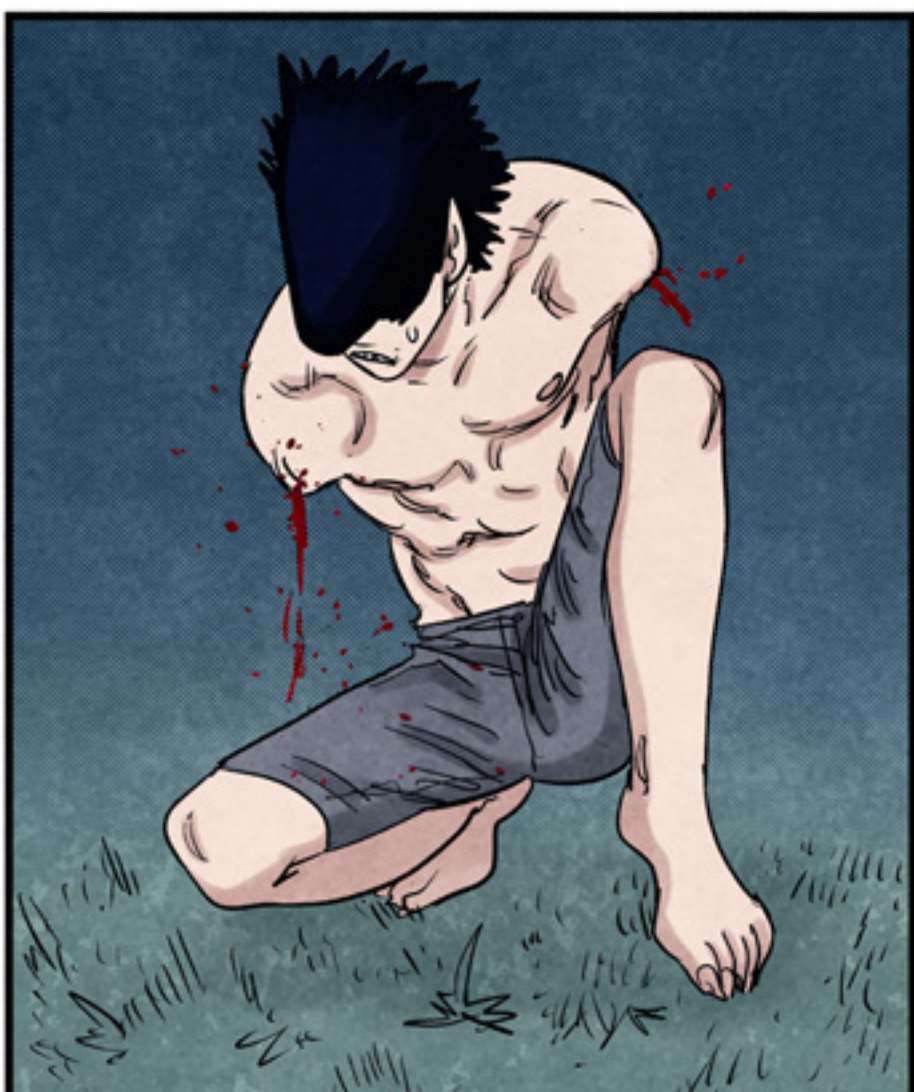


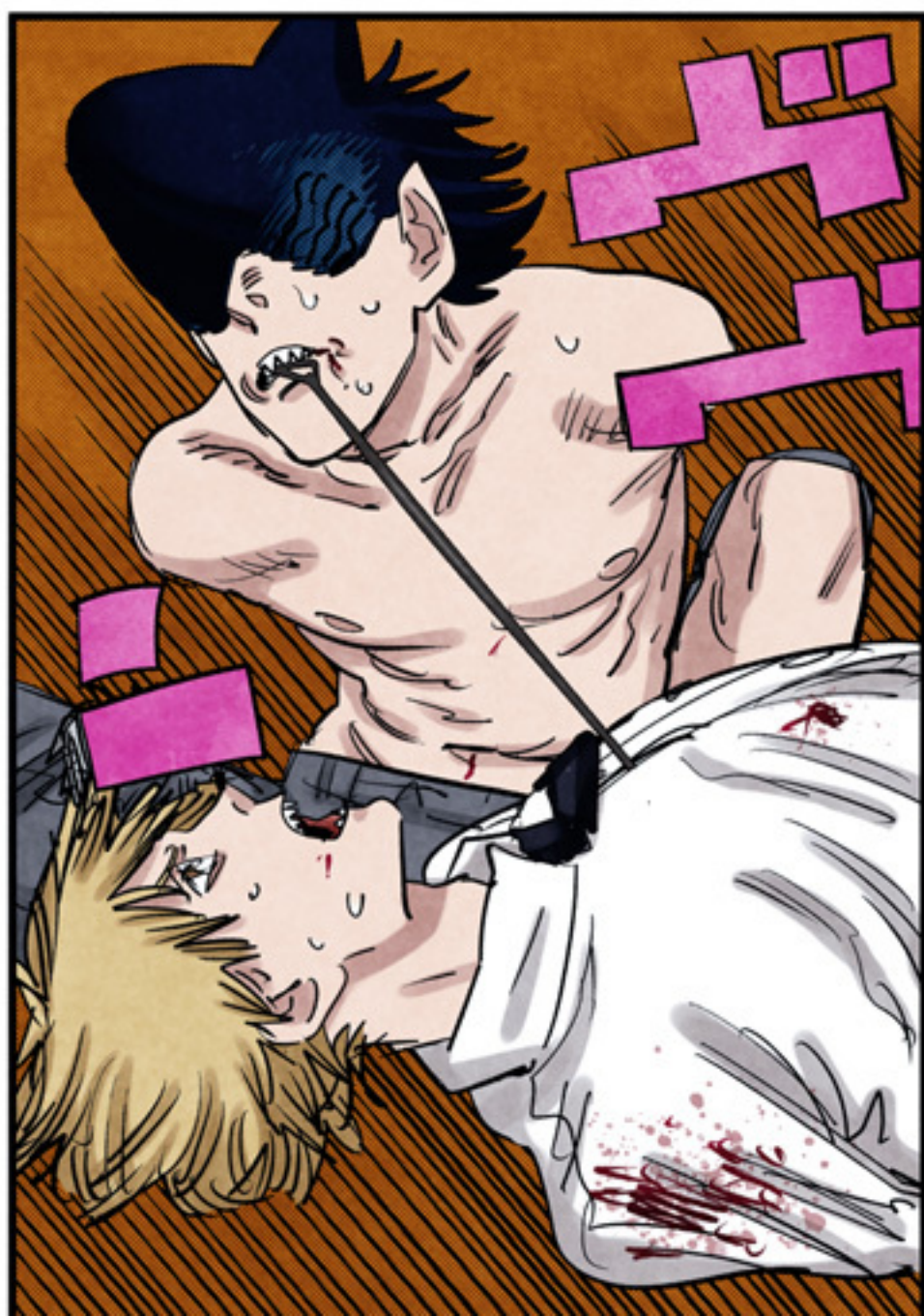
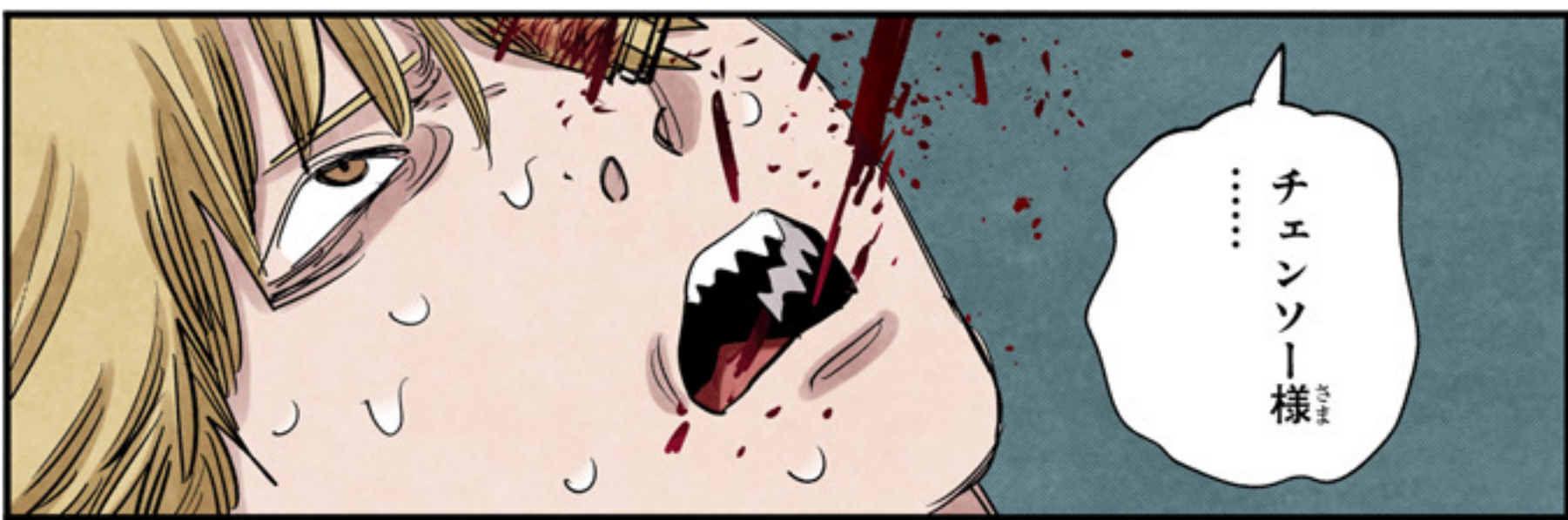
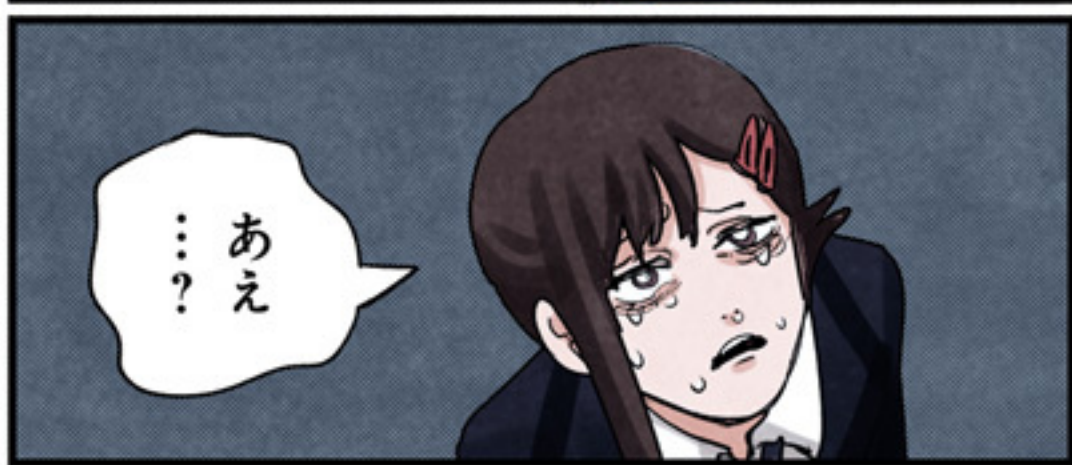
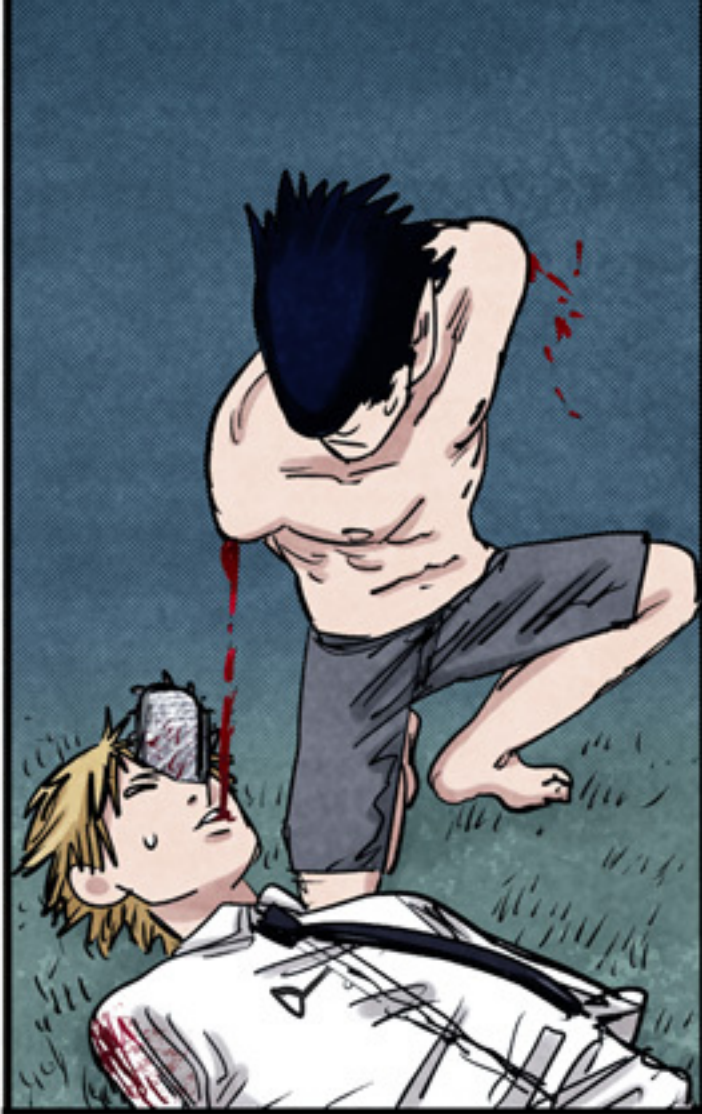




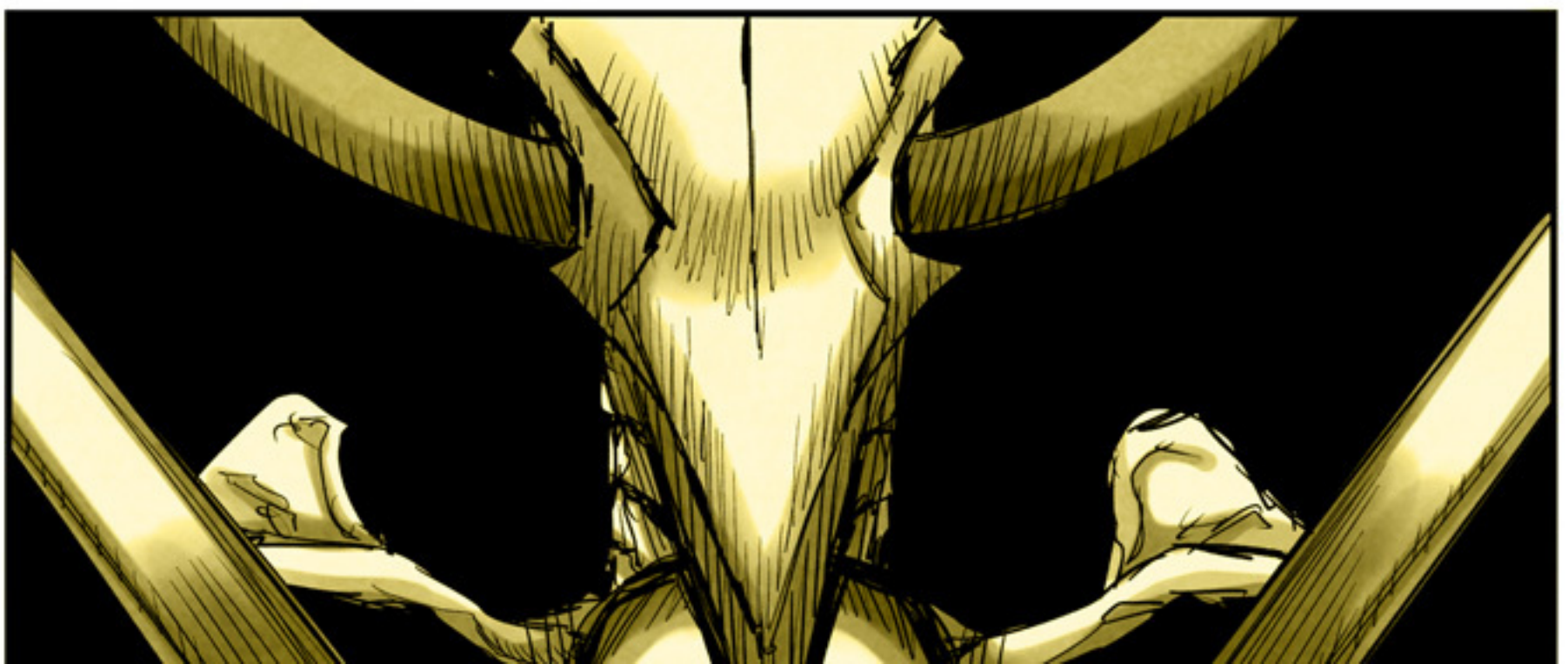
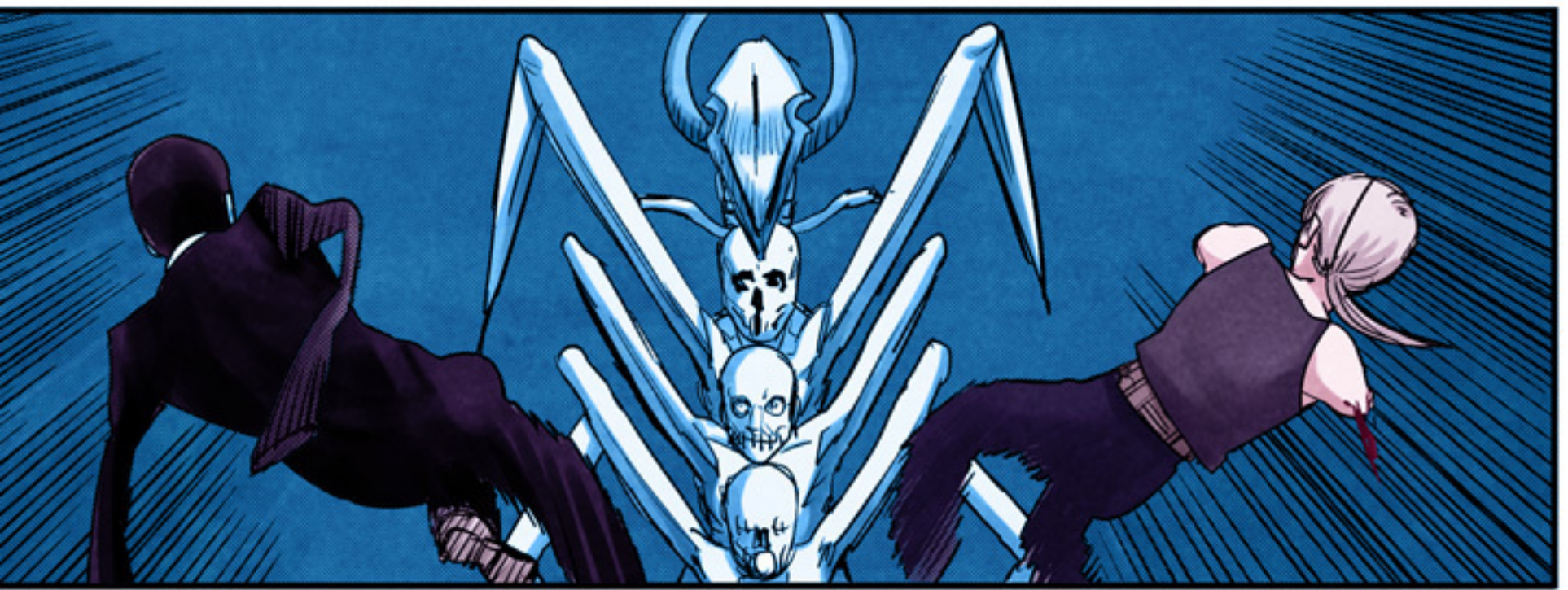
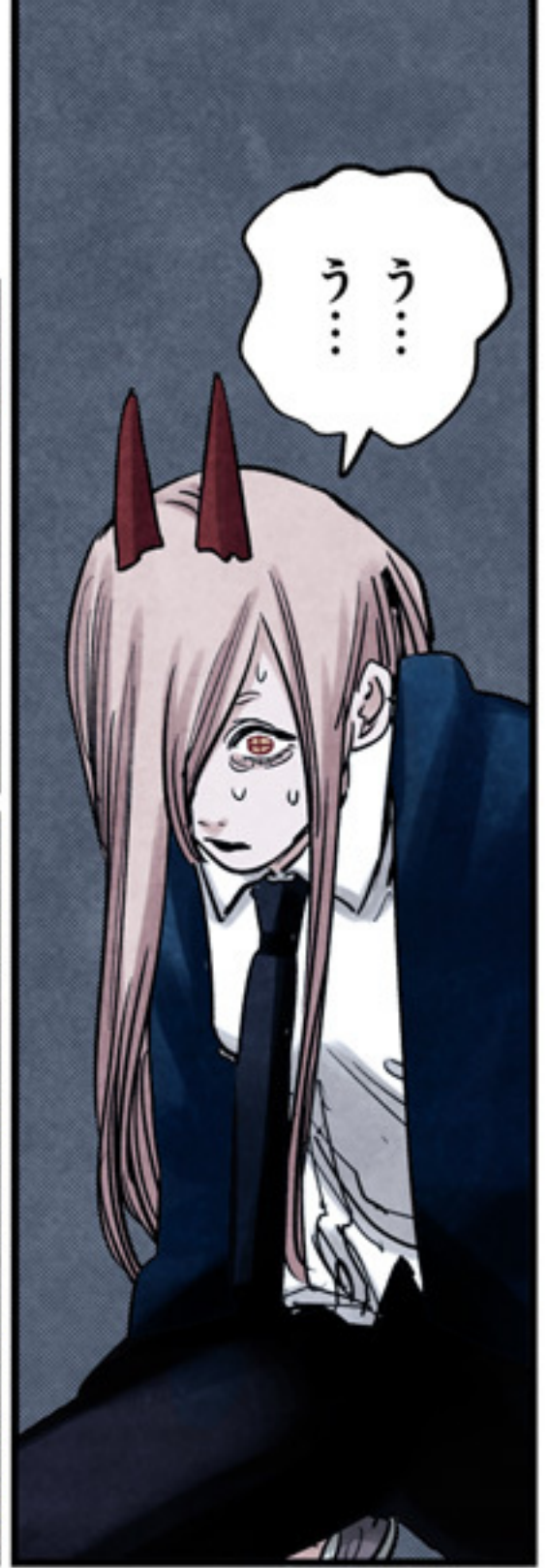
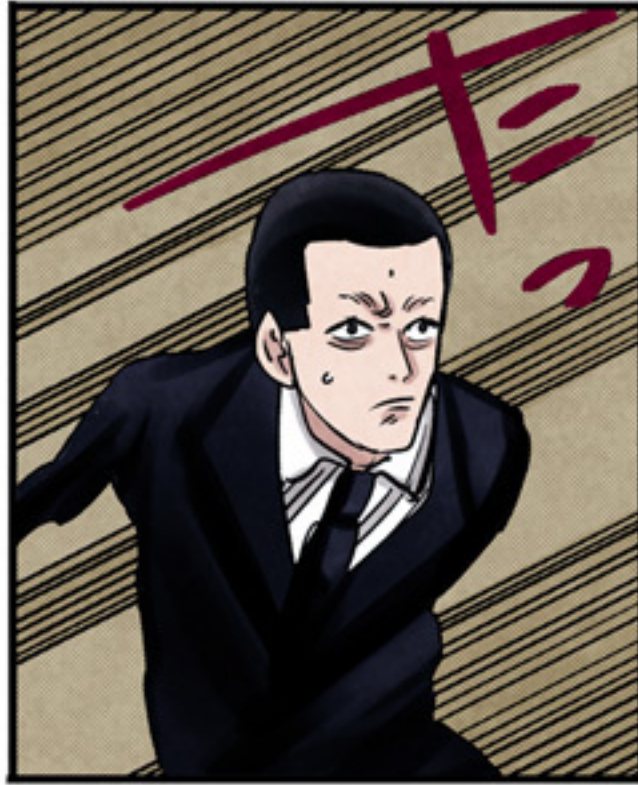


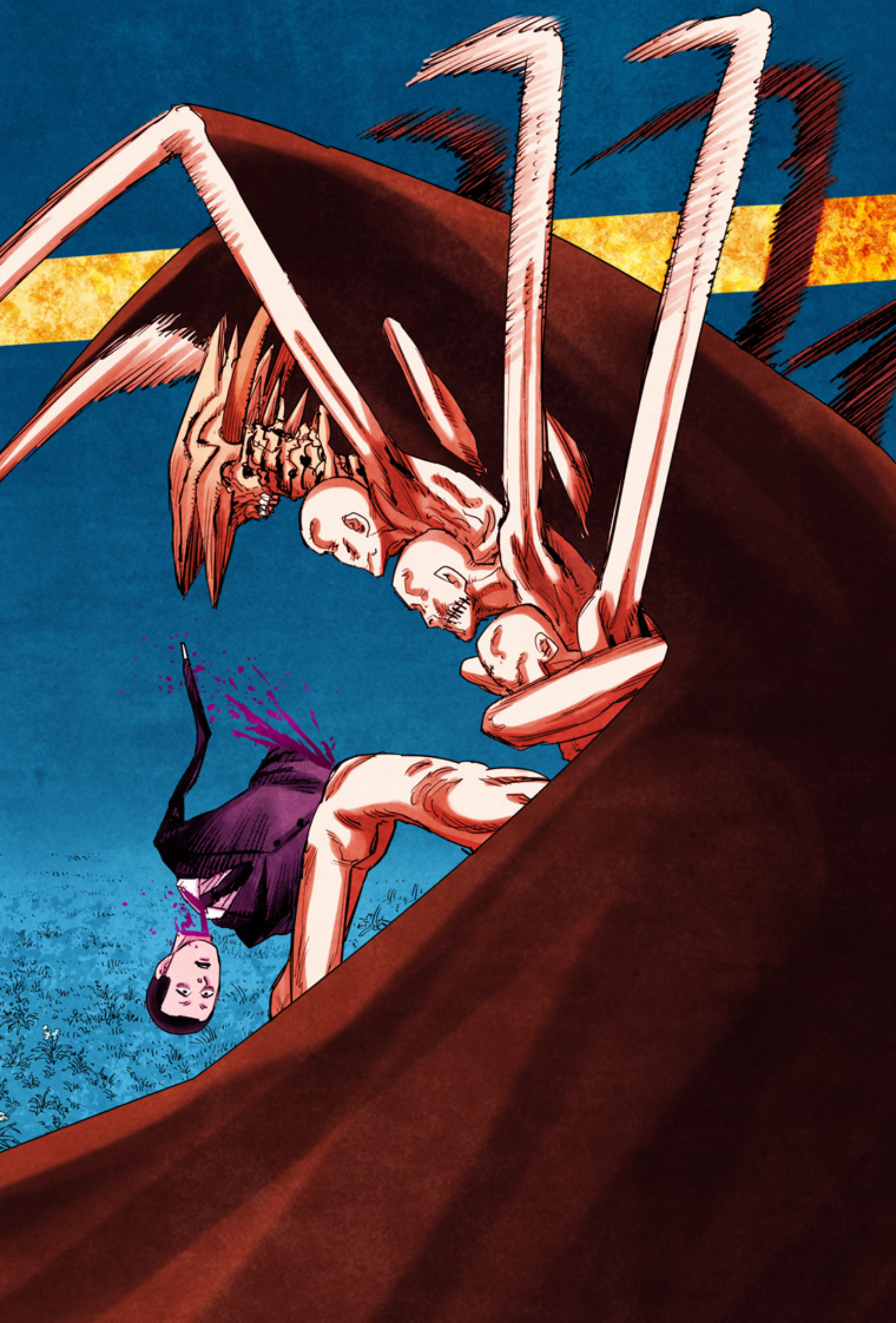




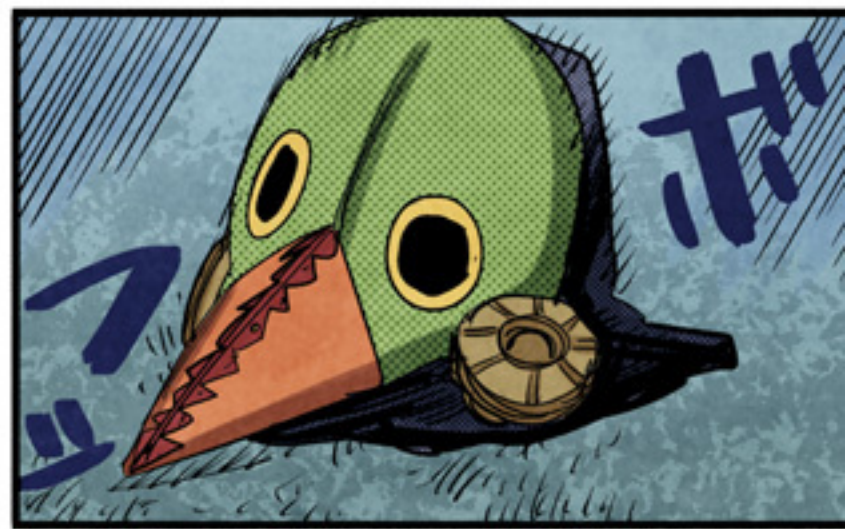
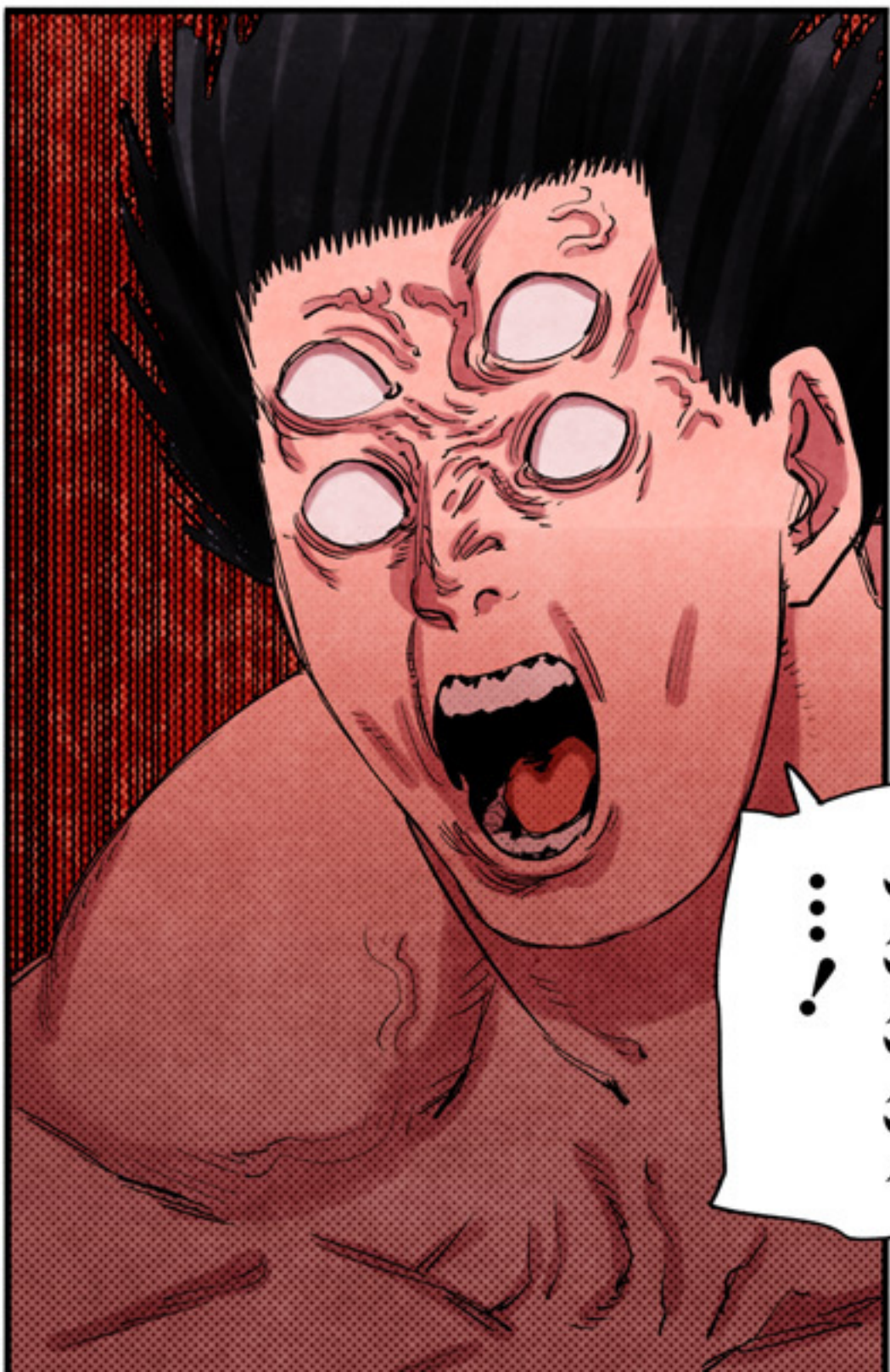




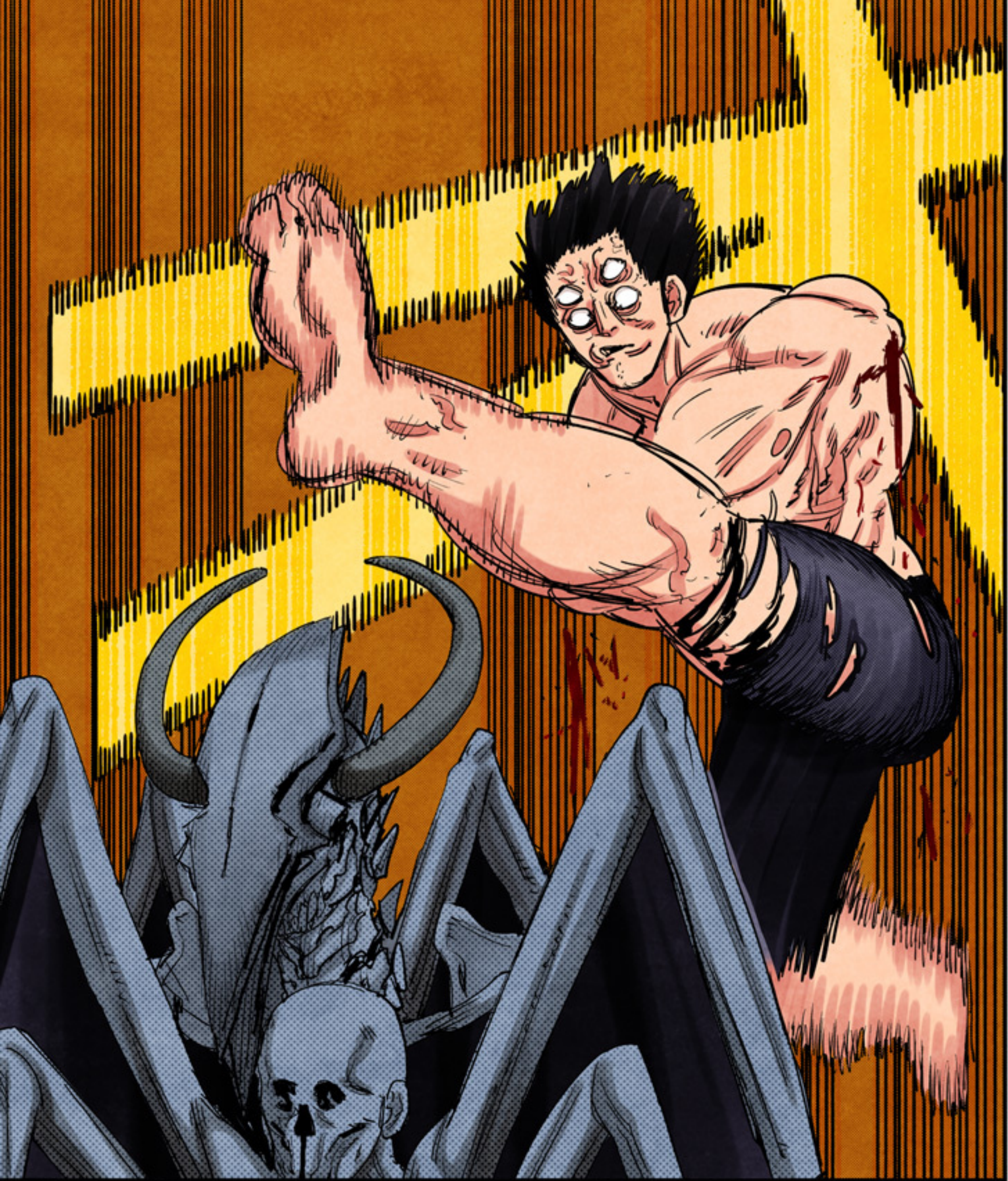






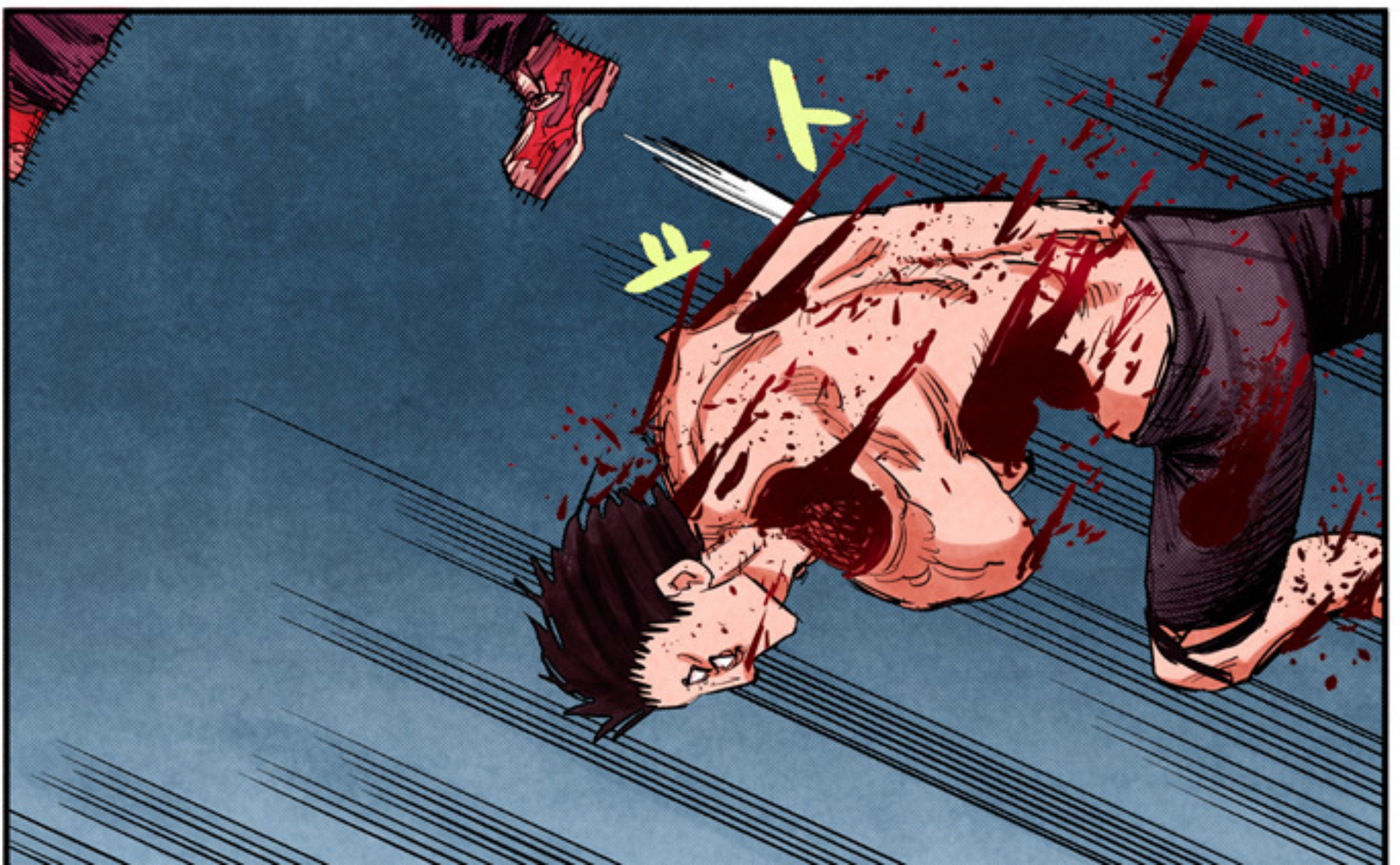


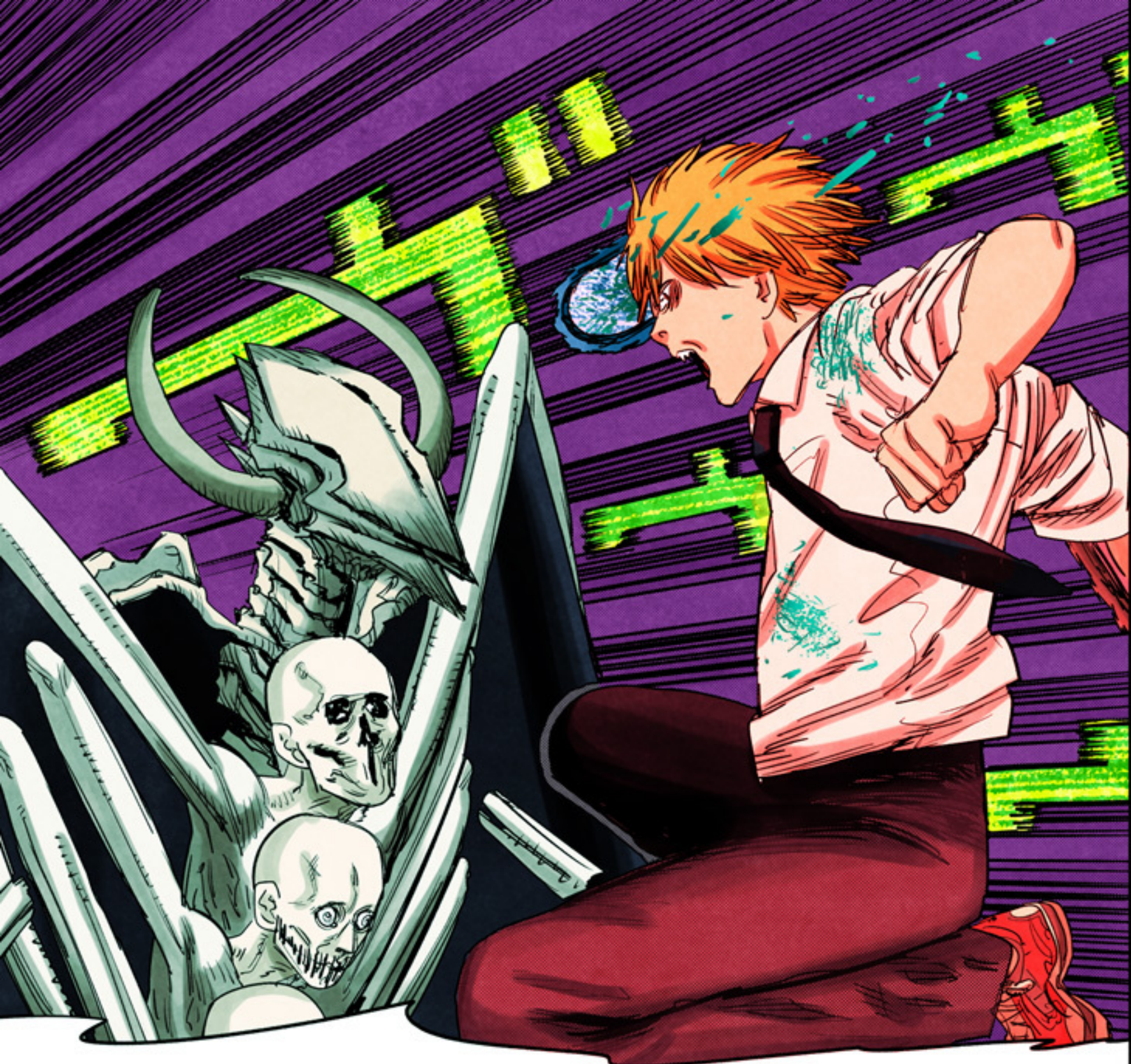
アアアア
ア
!!!



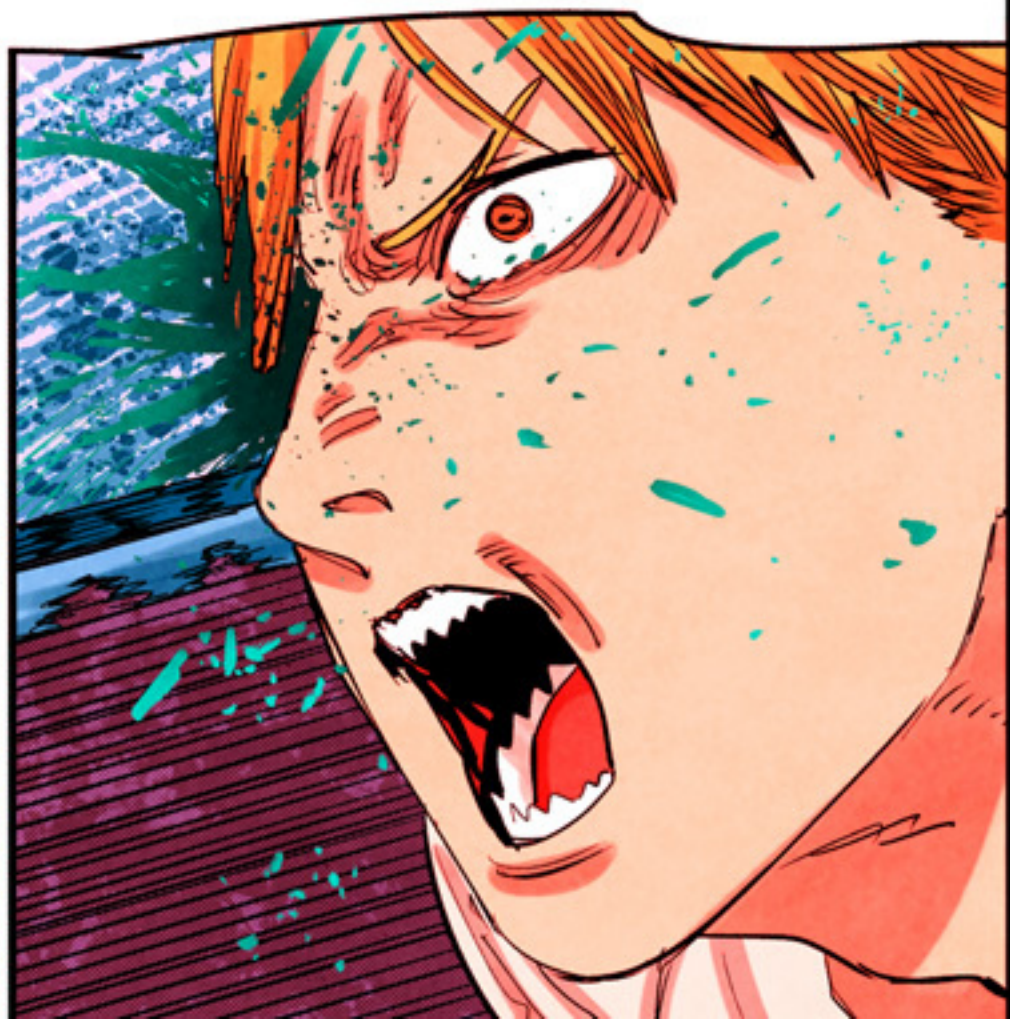
轟







ウラアアアアアア!!



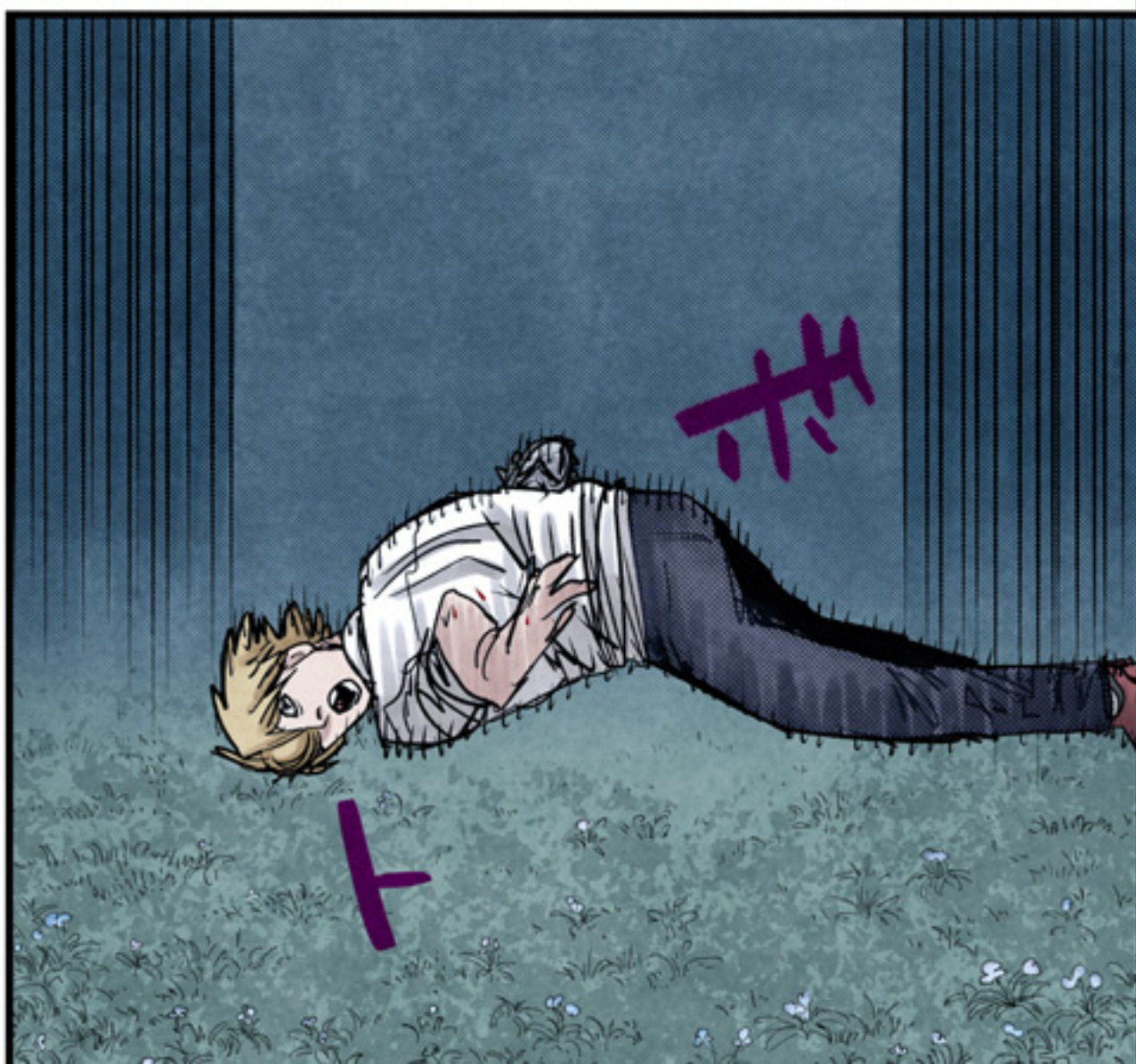


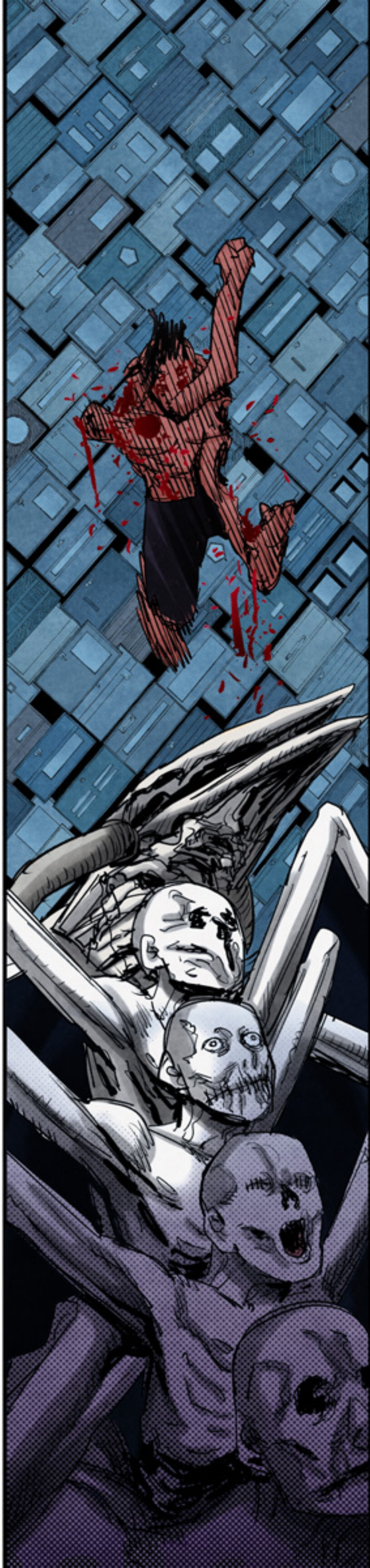
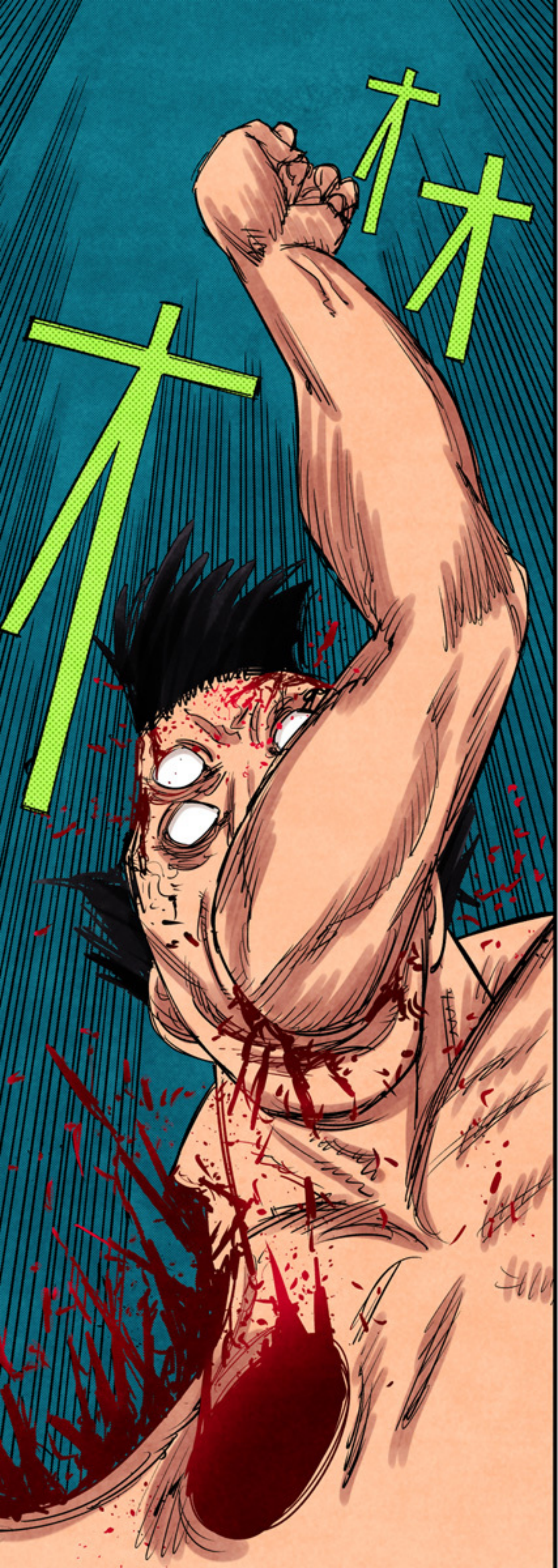


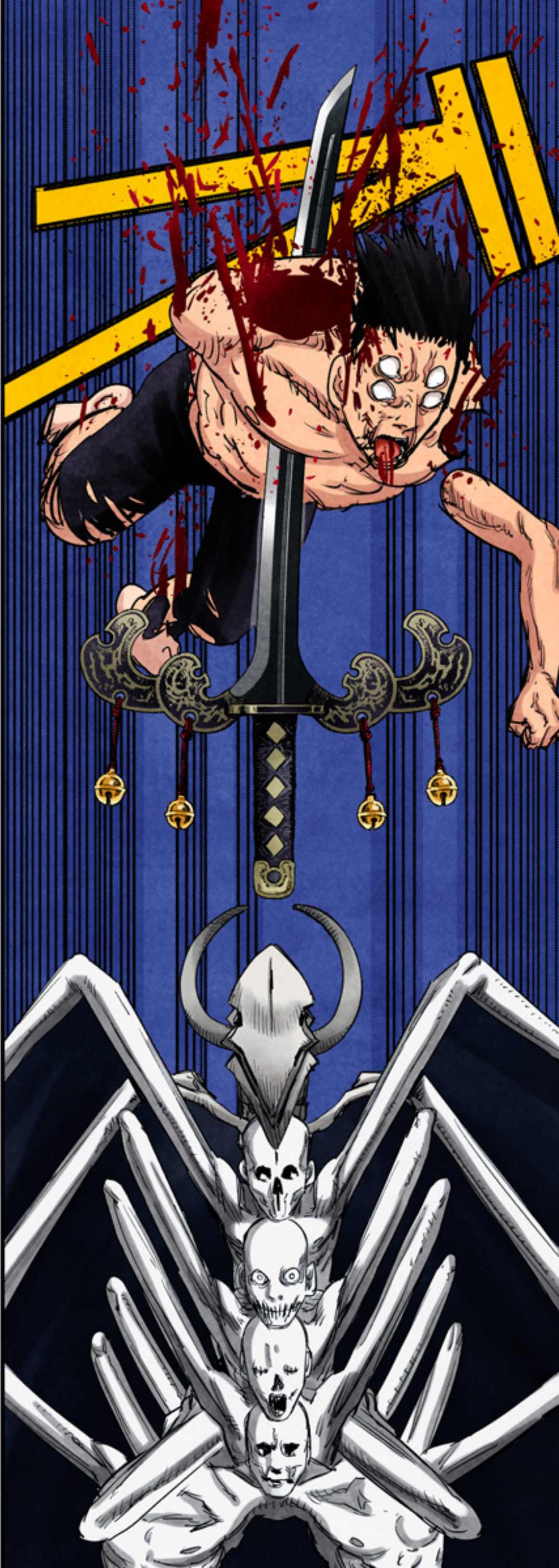
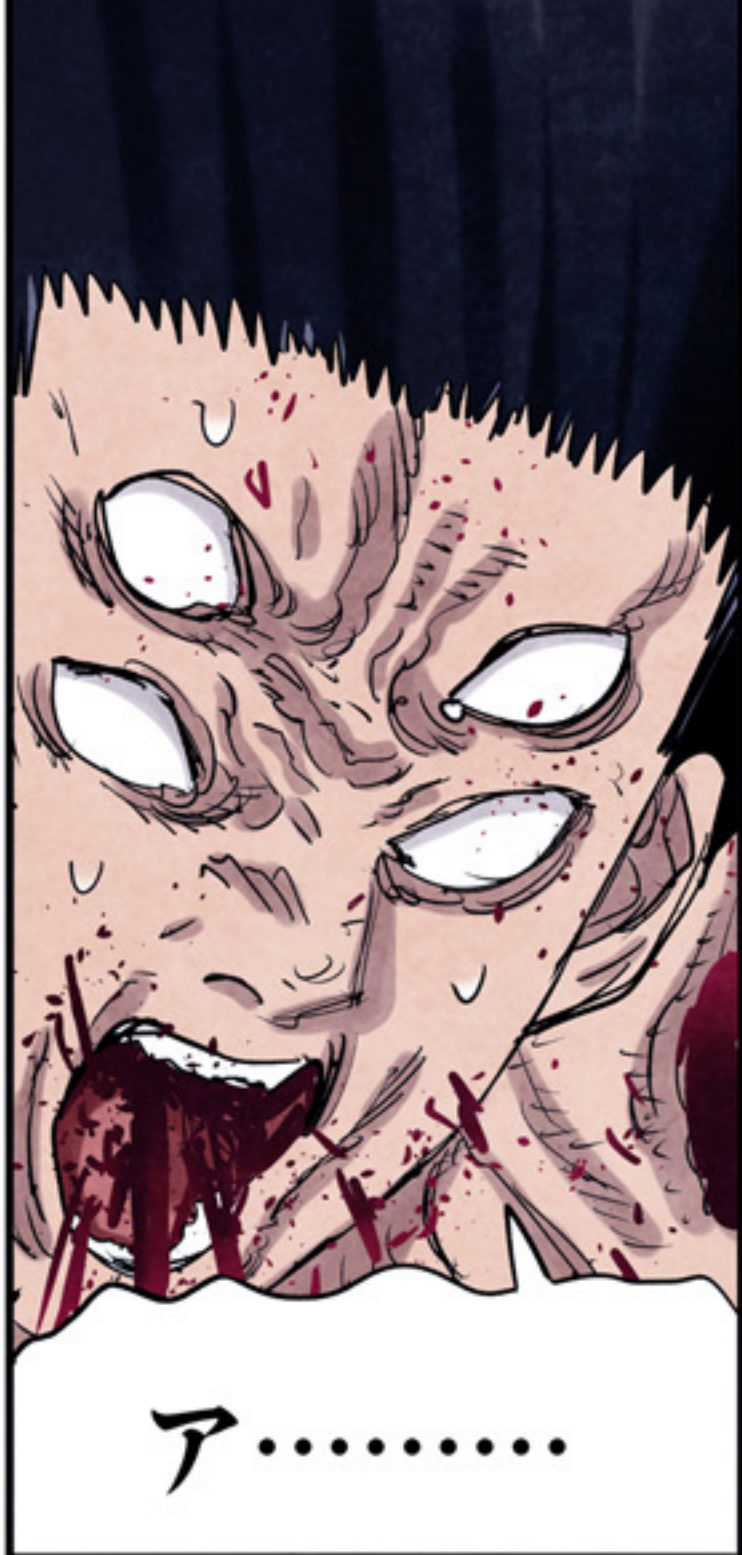
おれ
俺は…
また…

…おれ
俺は

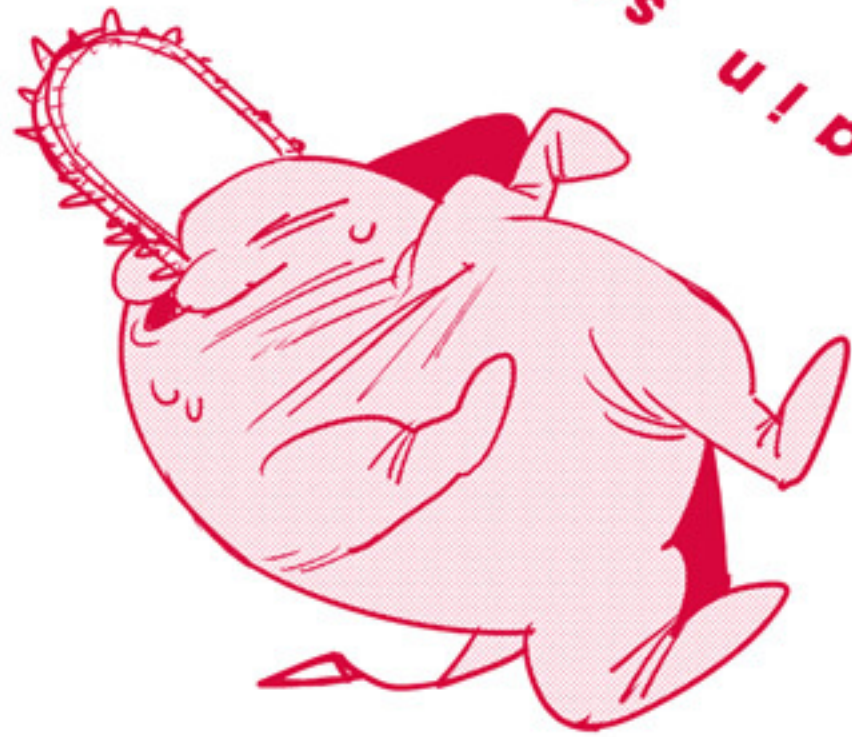




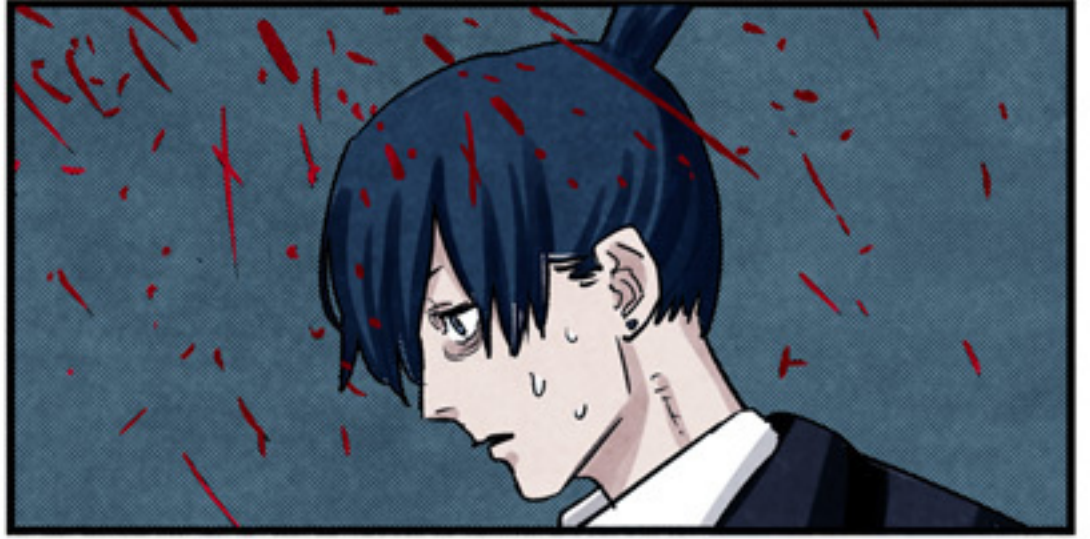
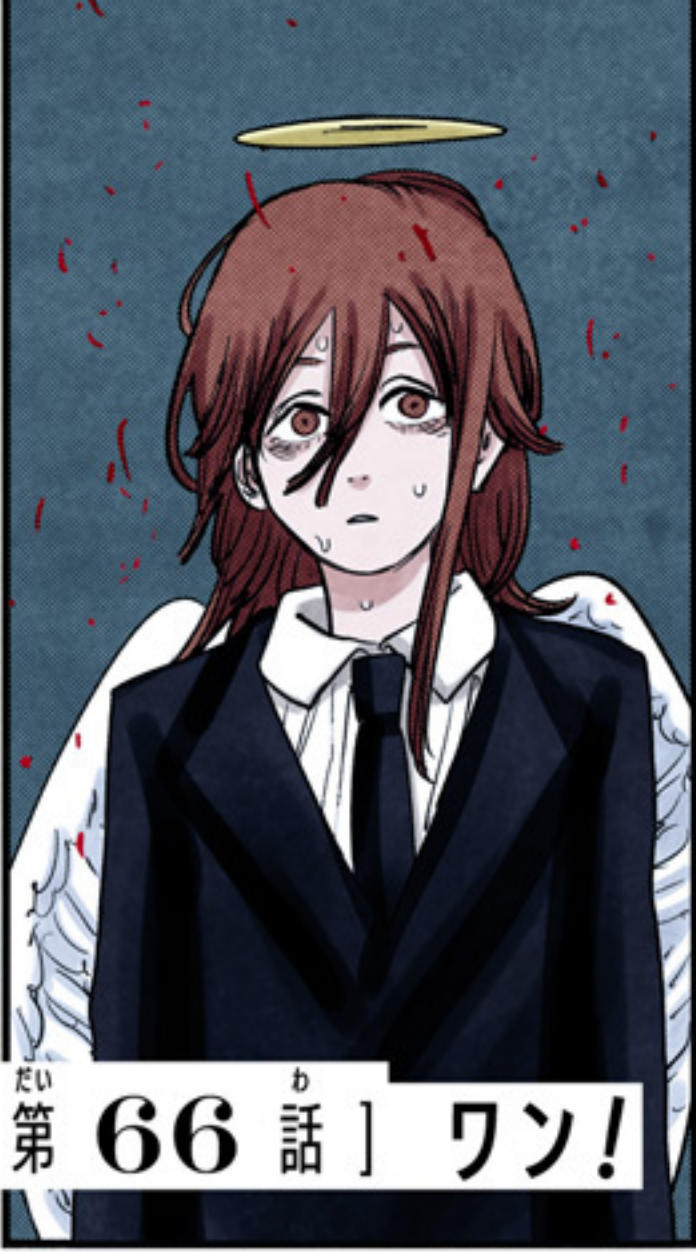




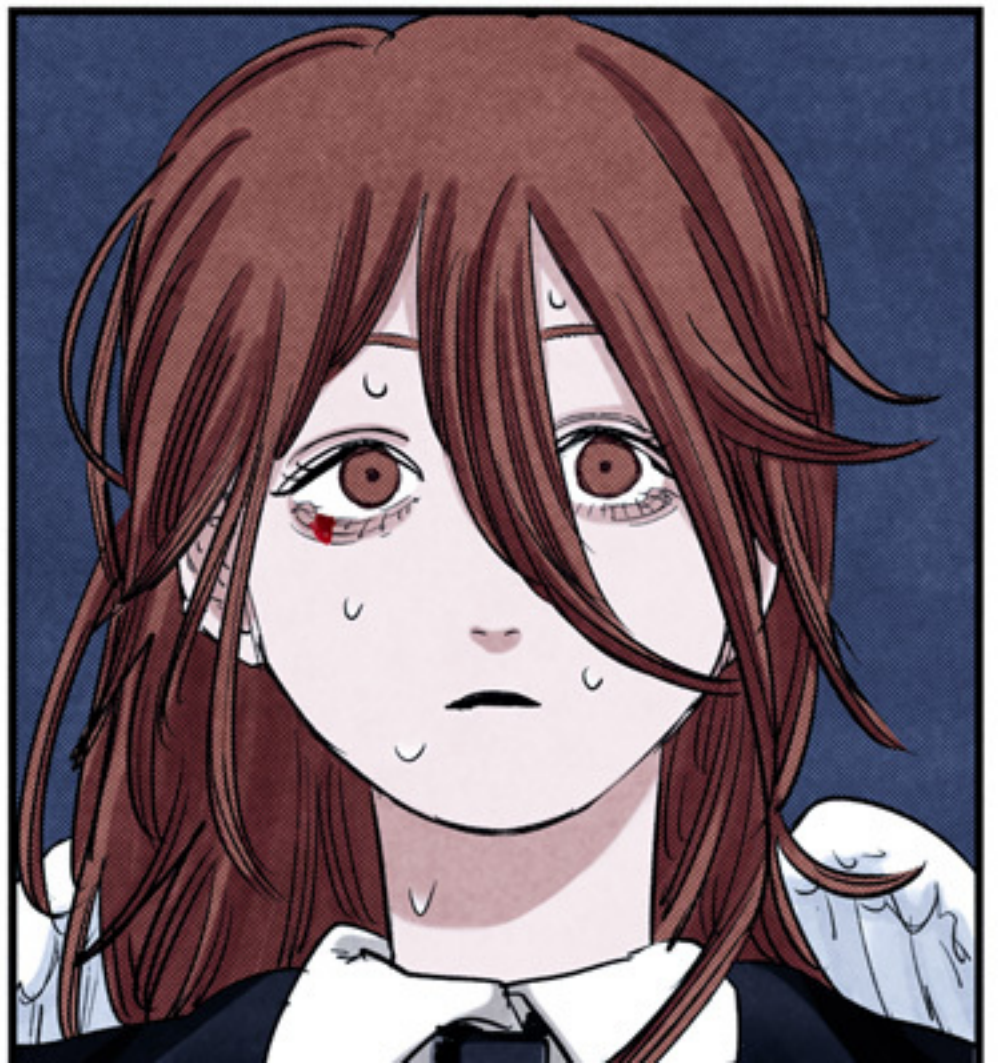
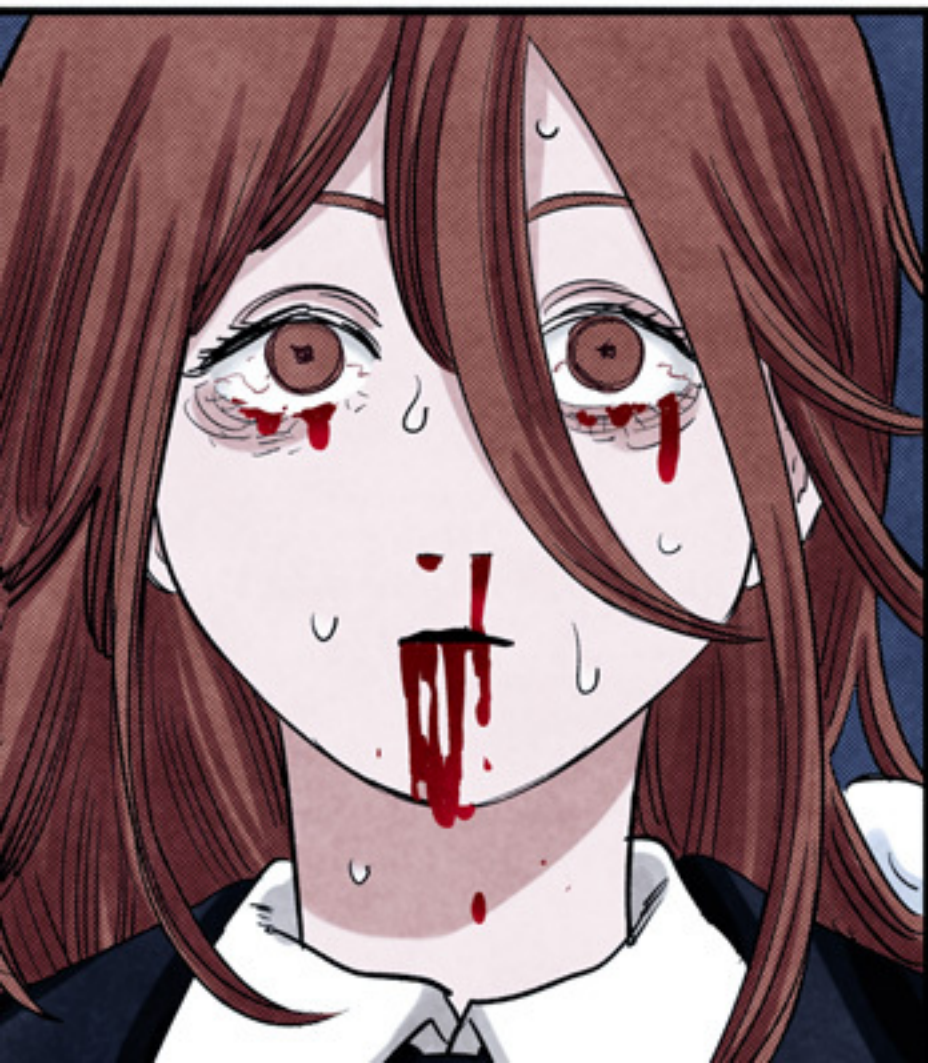
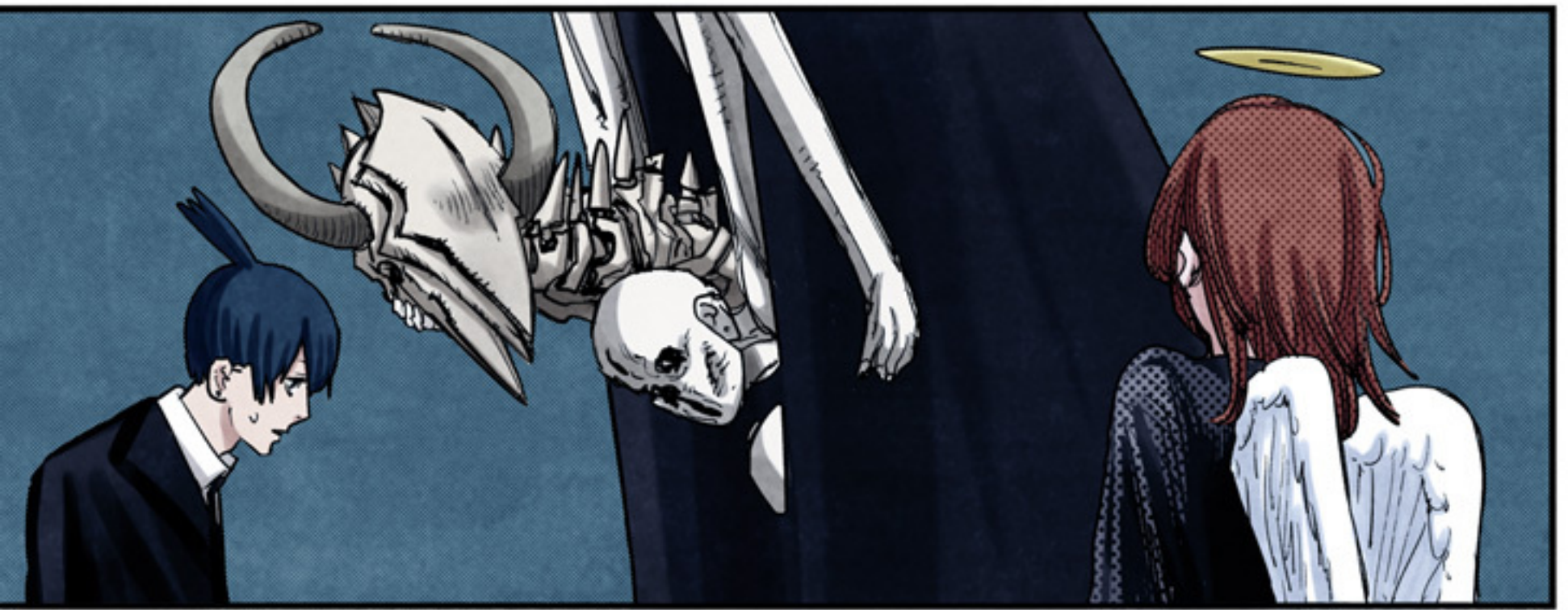


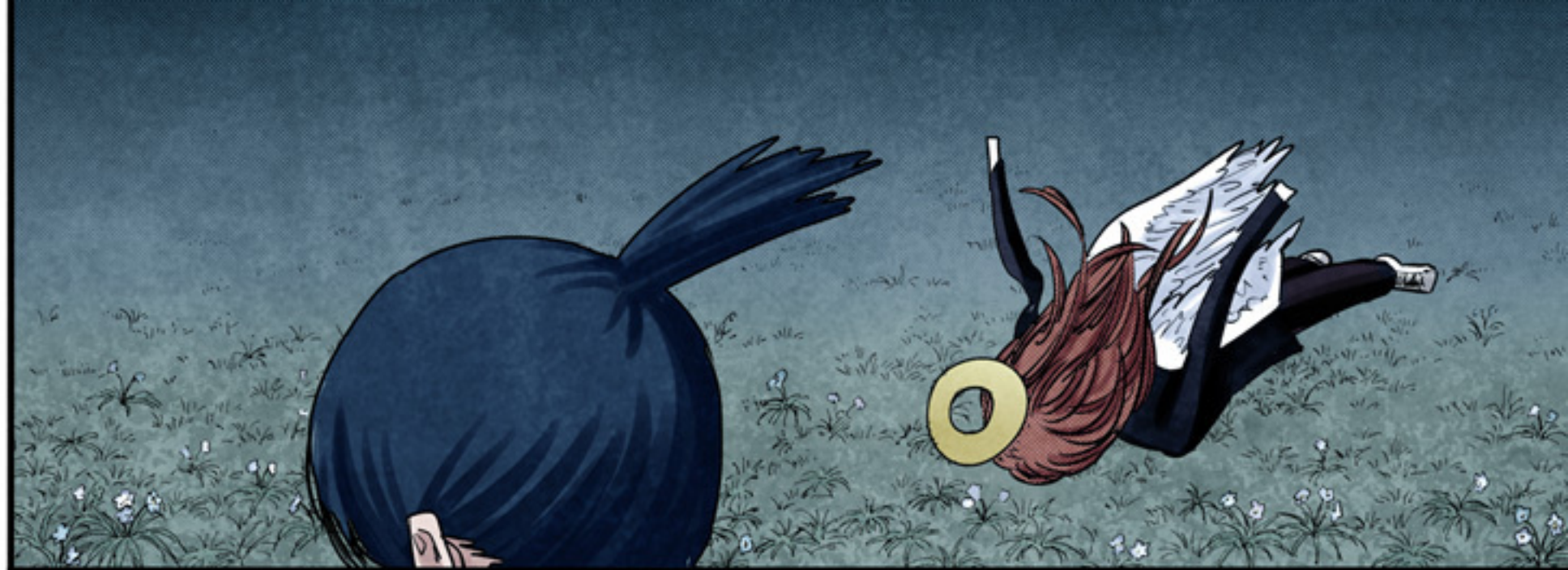


CHAINSAW MAN

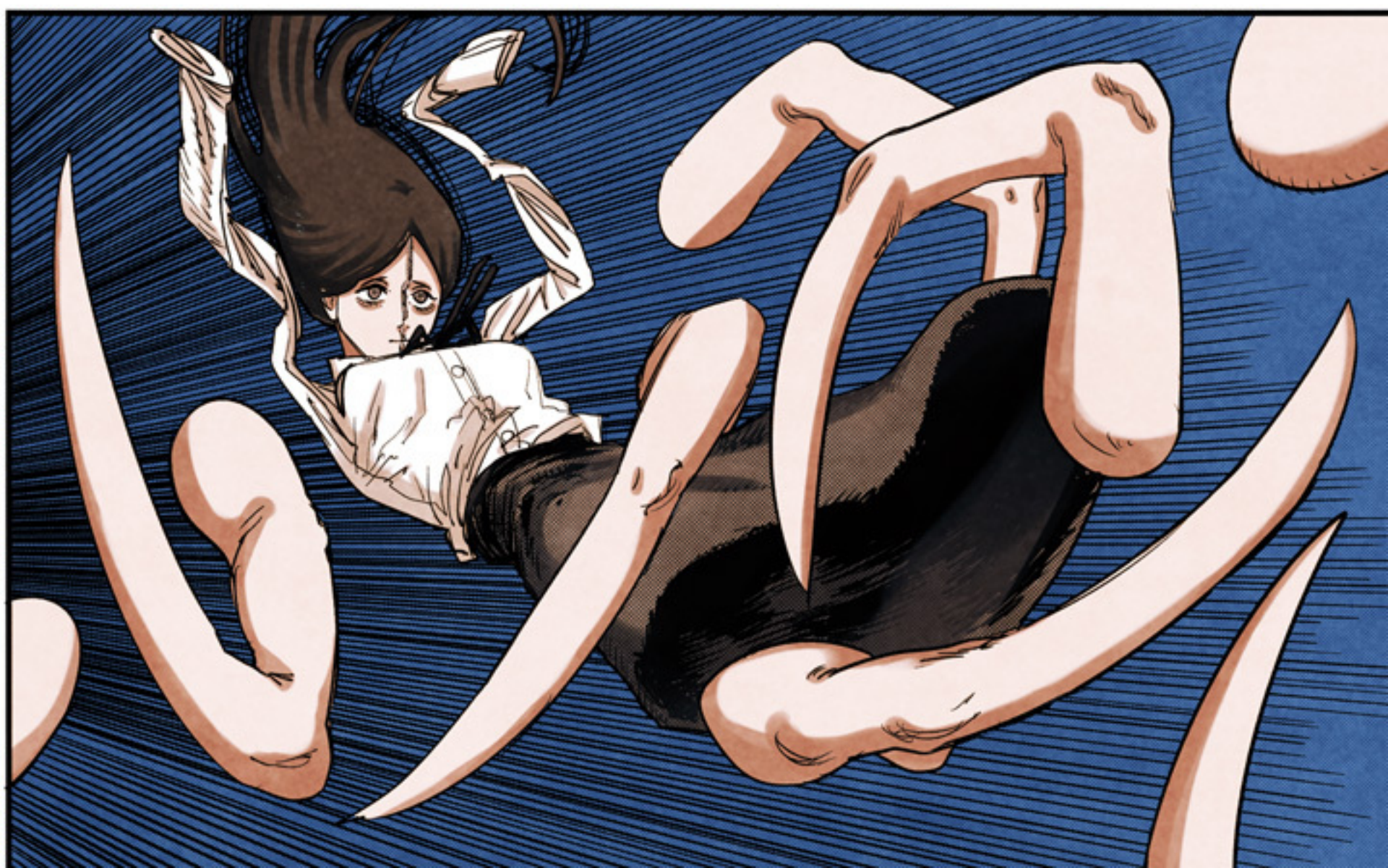


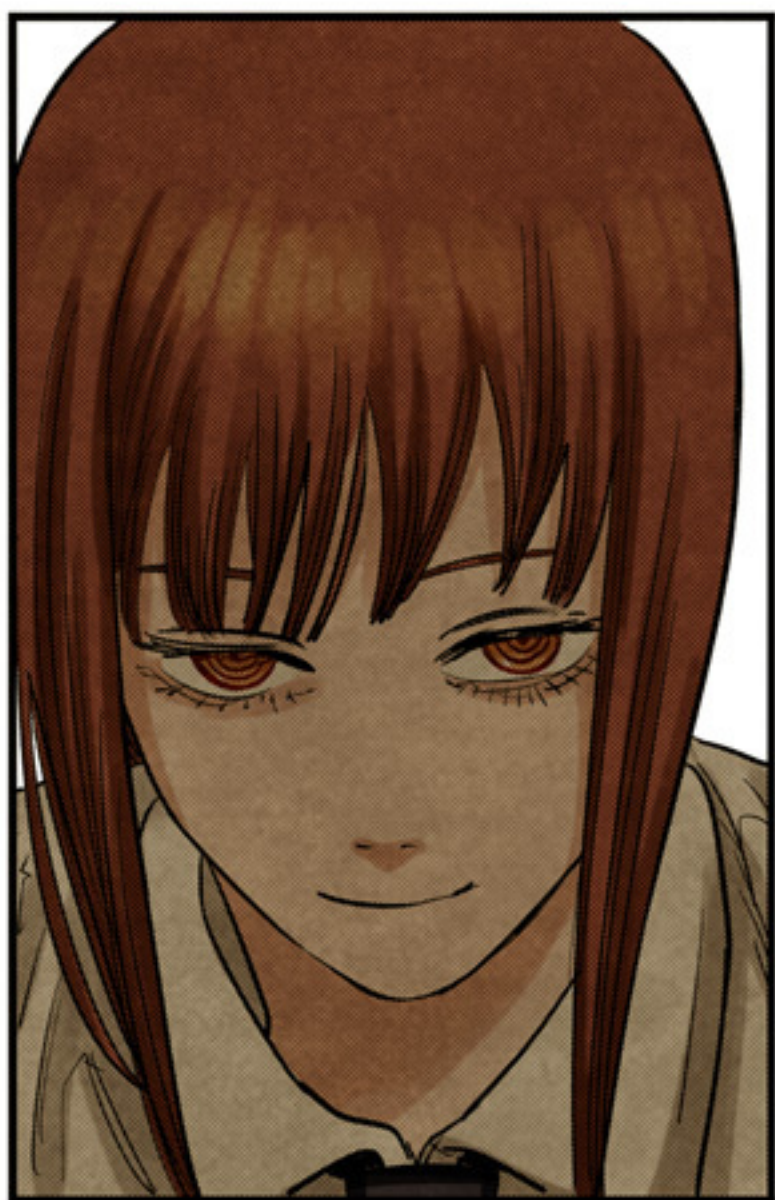
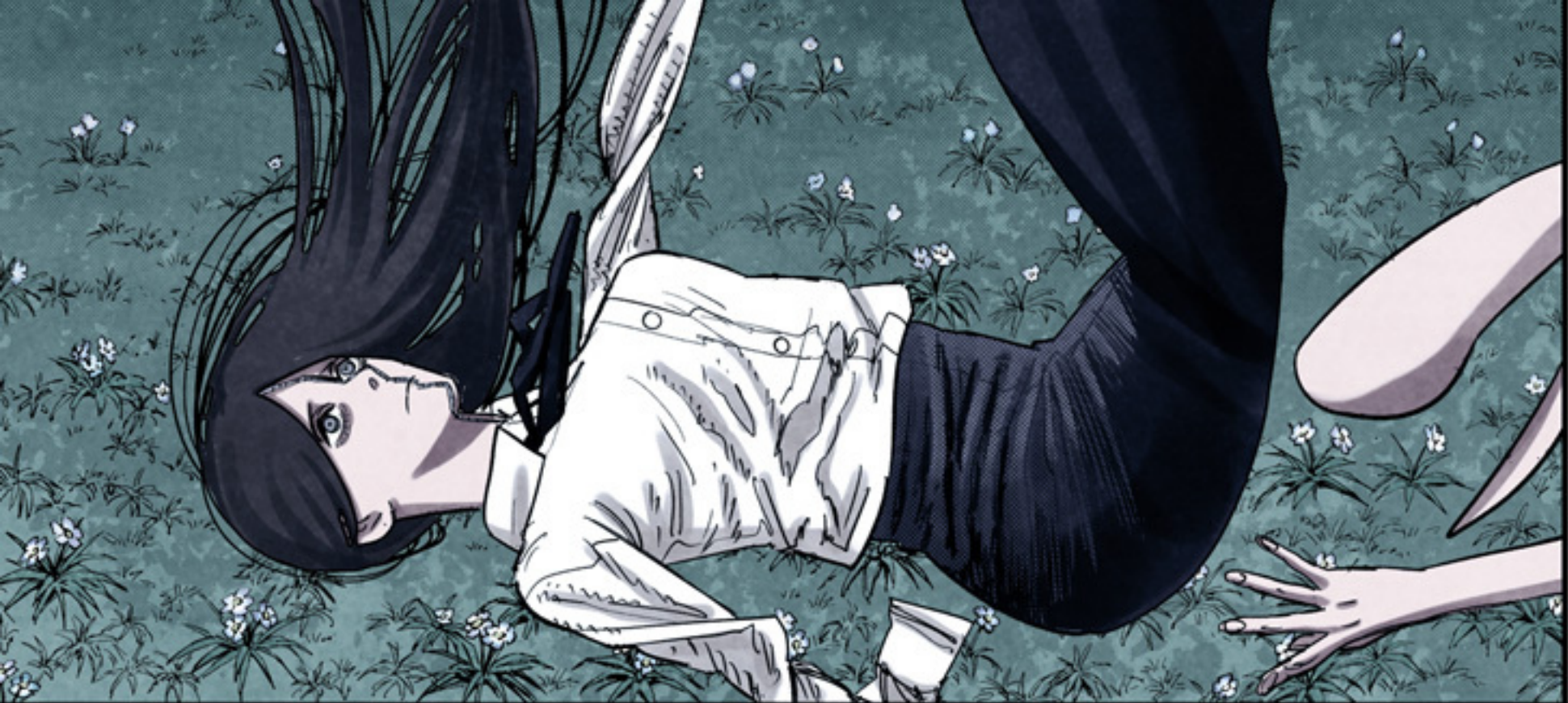
だい
第 66 話] ワン!
わ

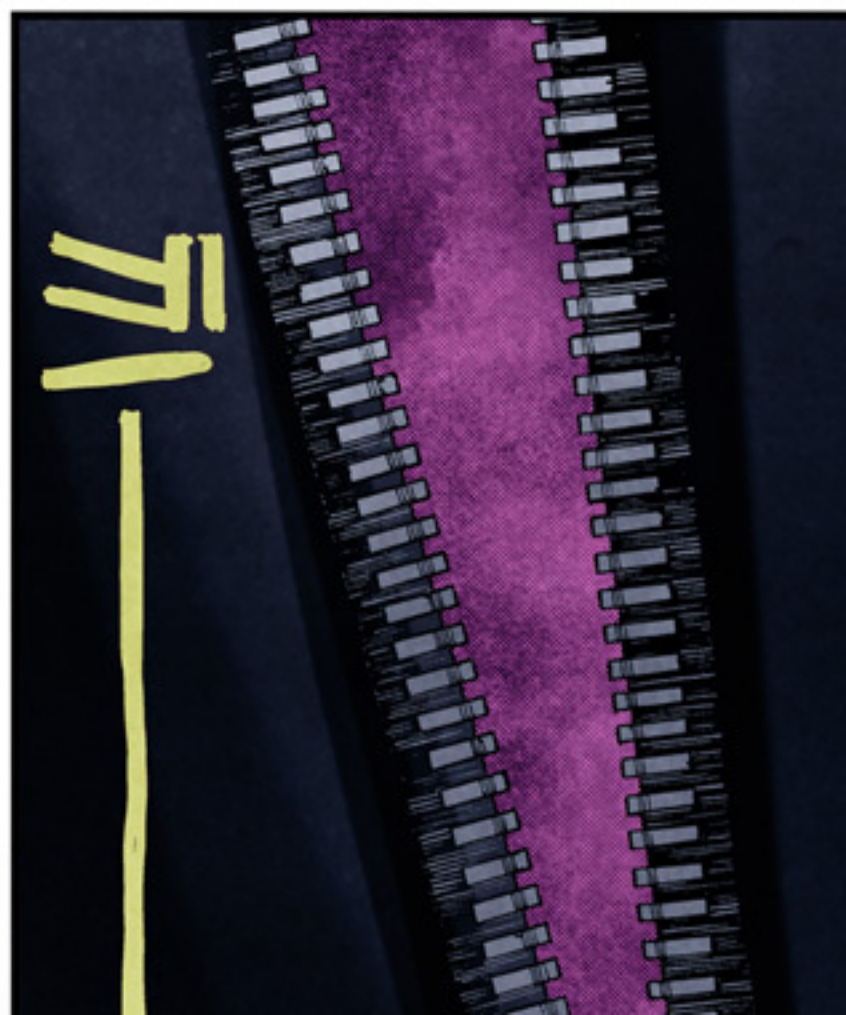
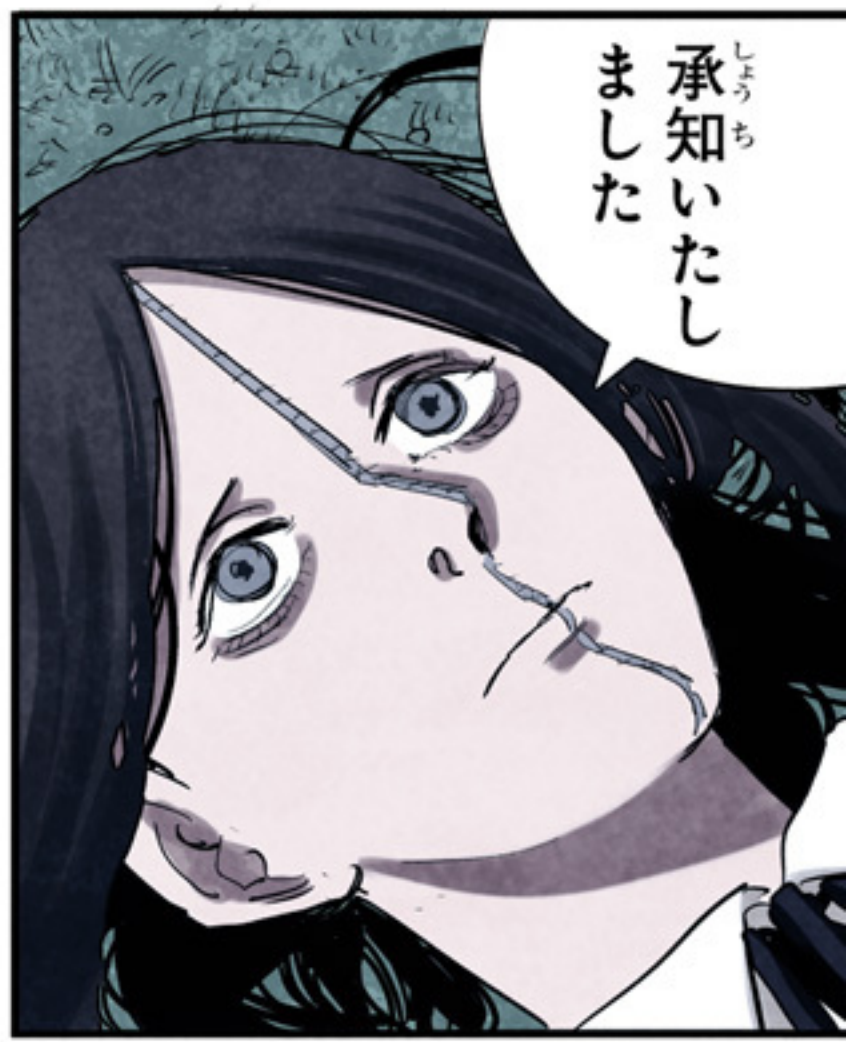
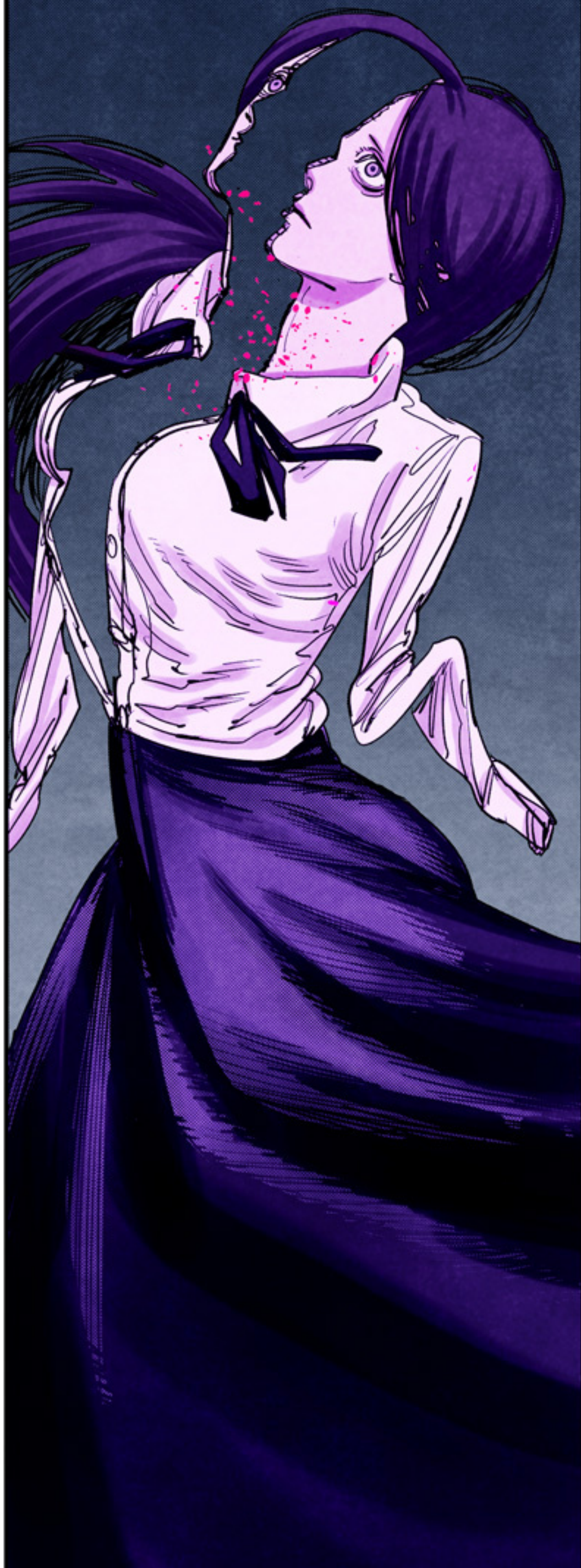


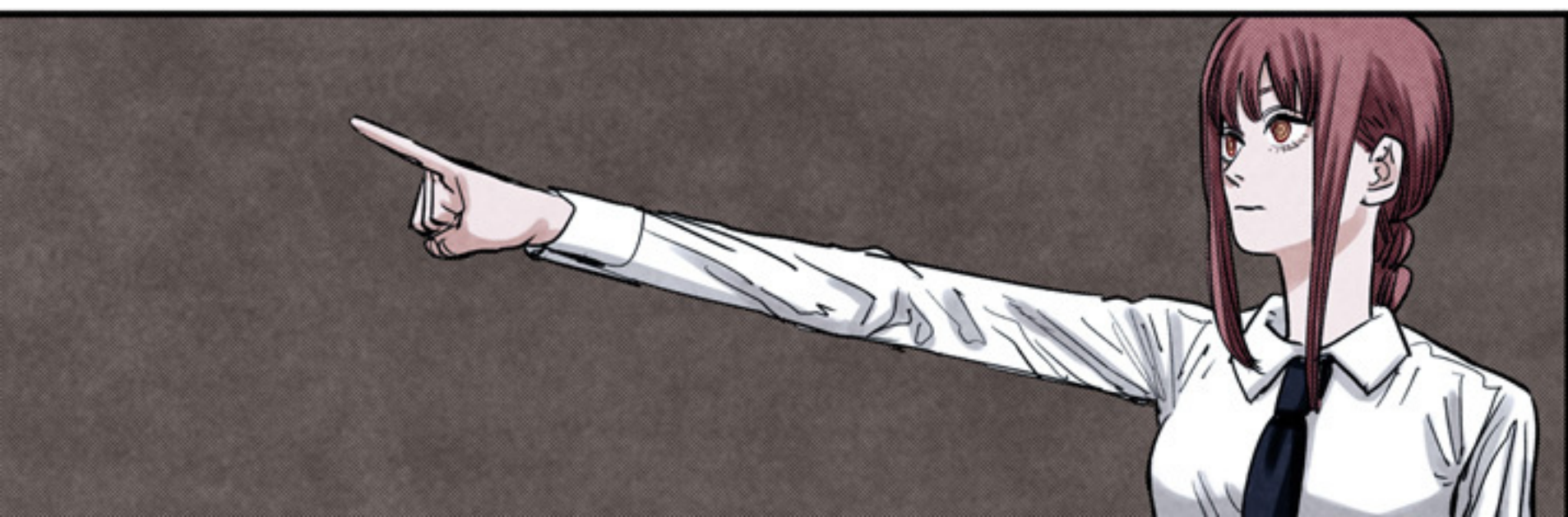
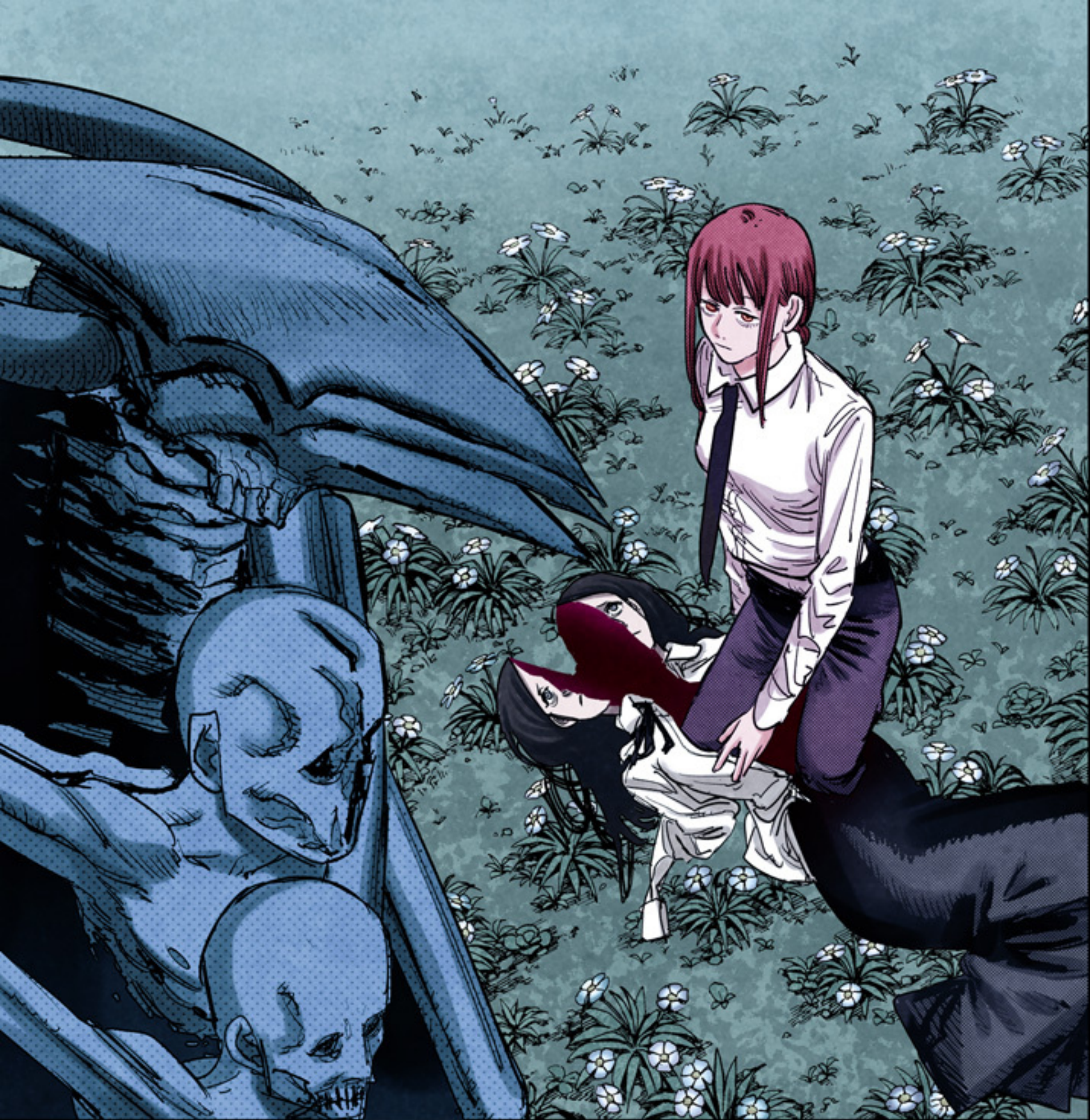


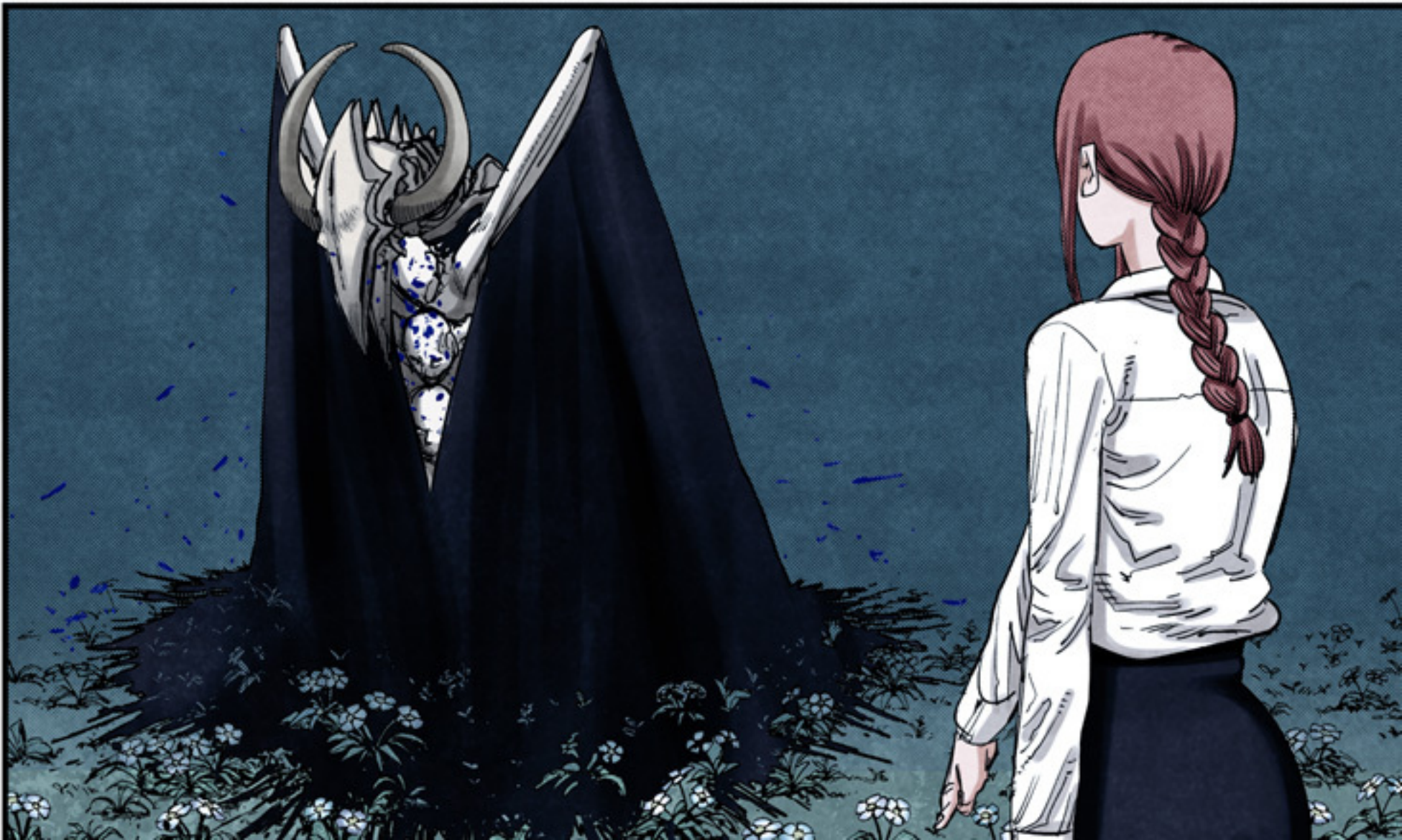
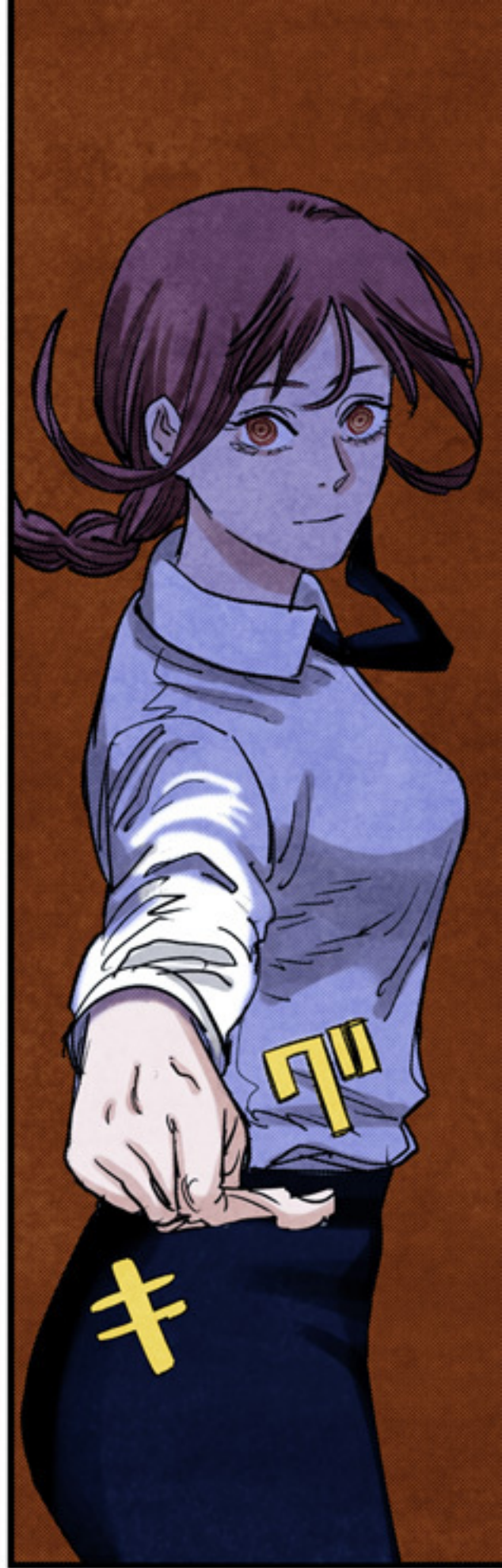
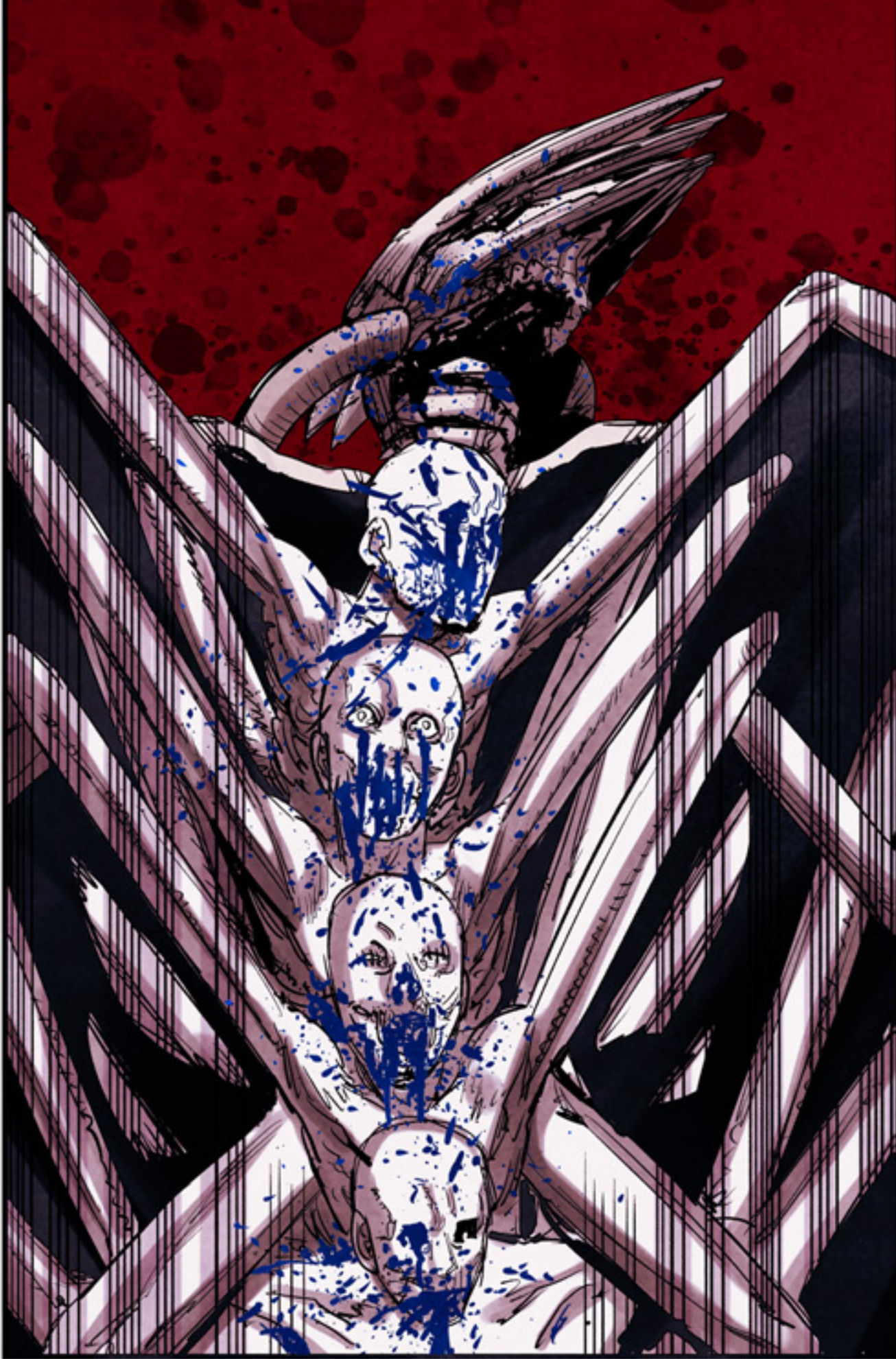


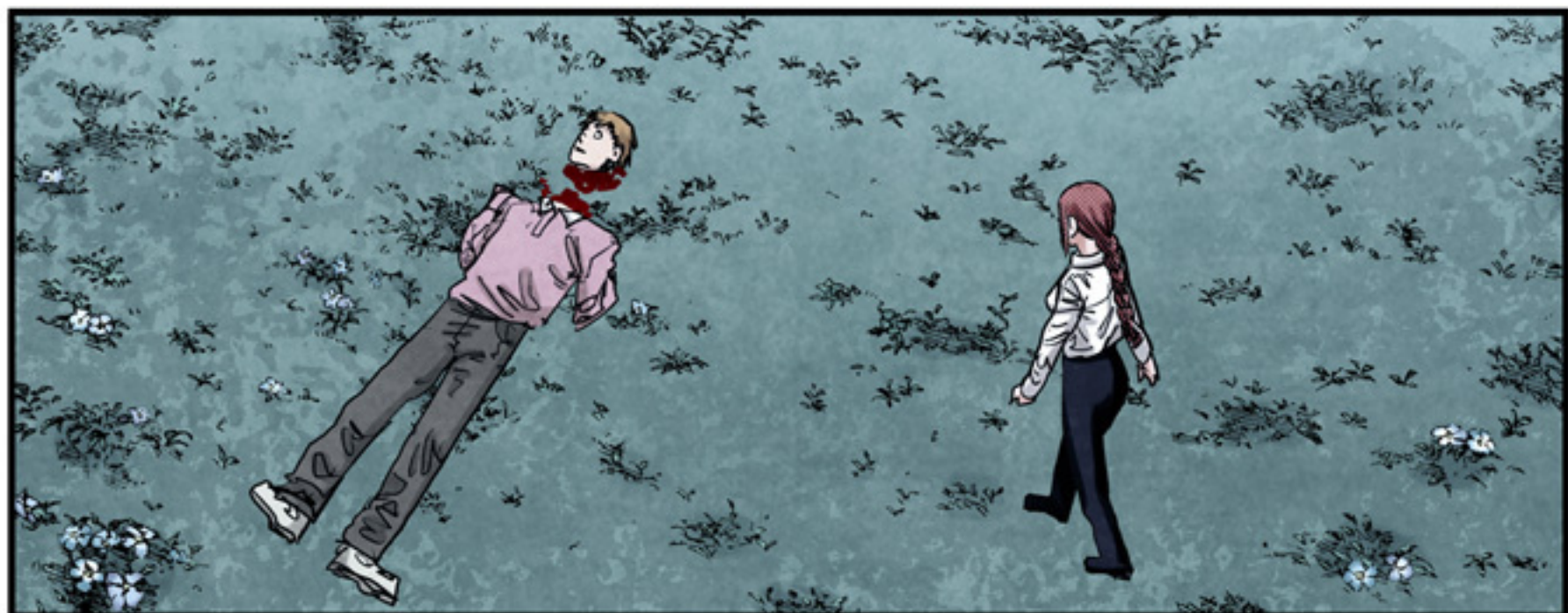
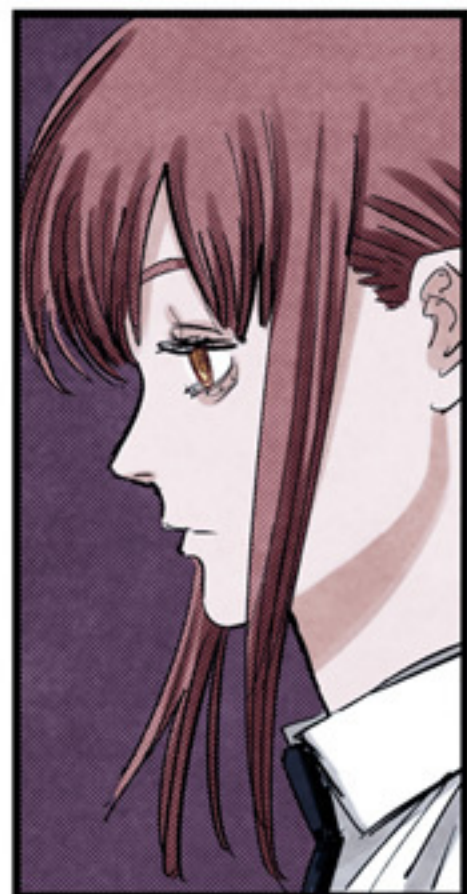
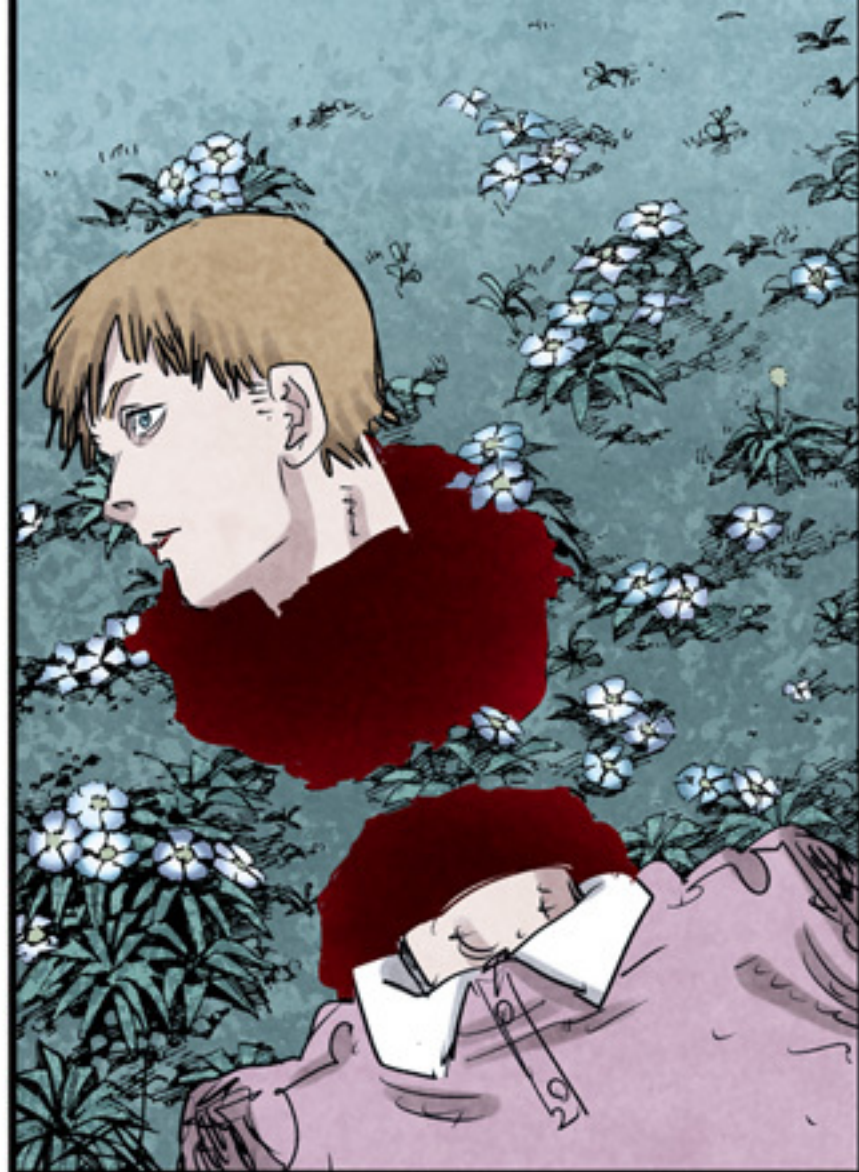


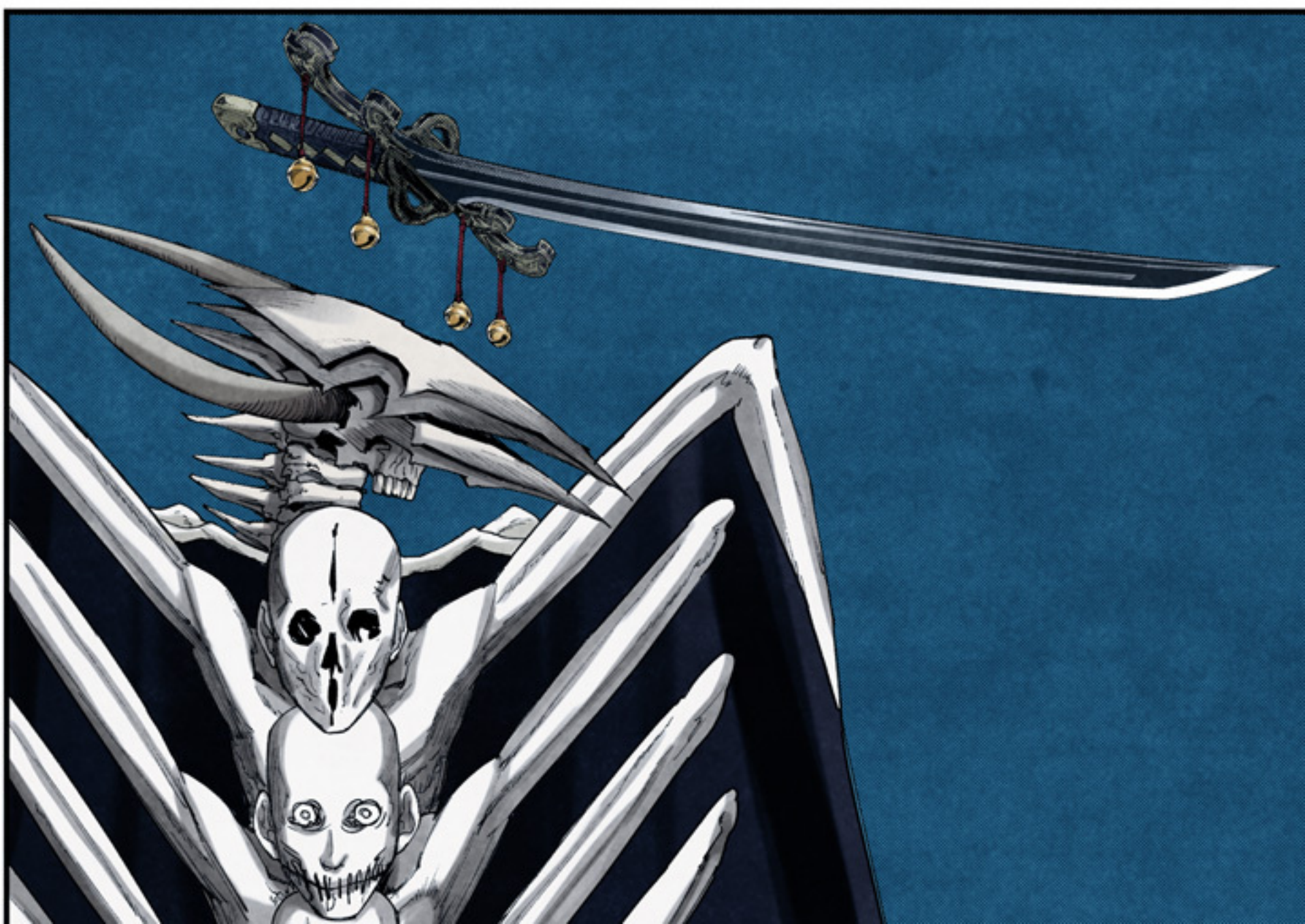
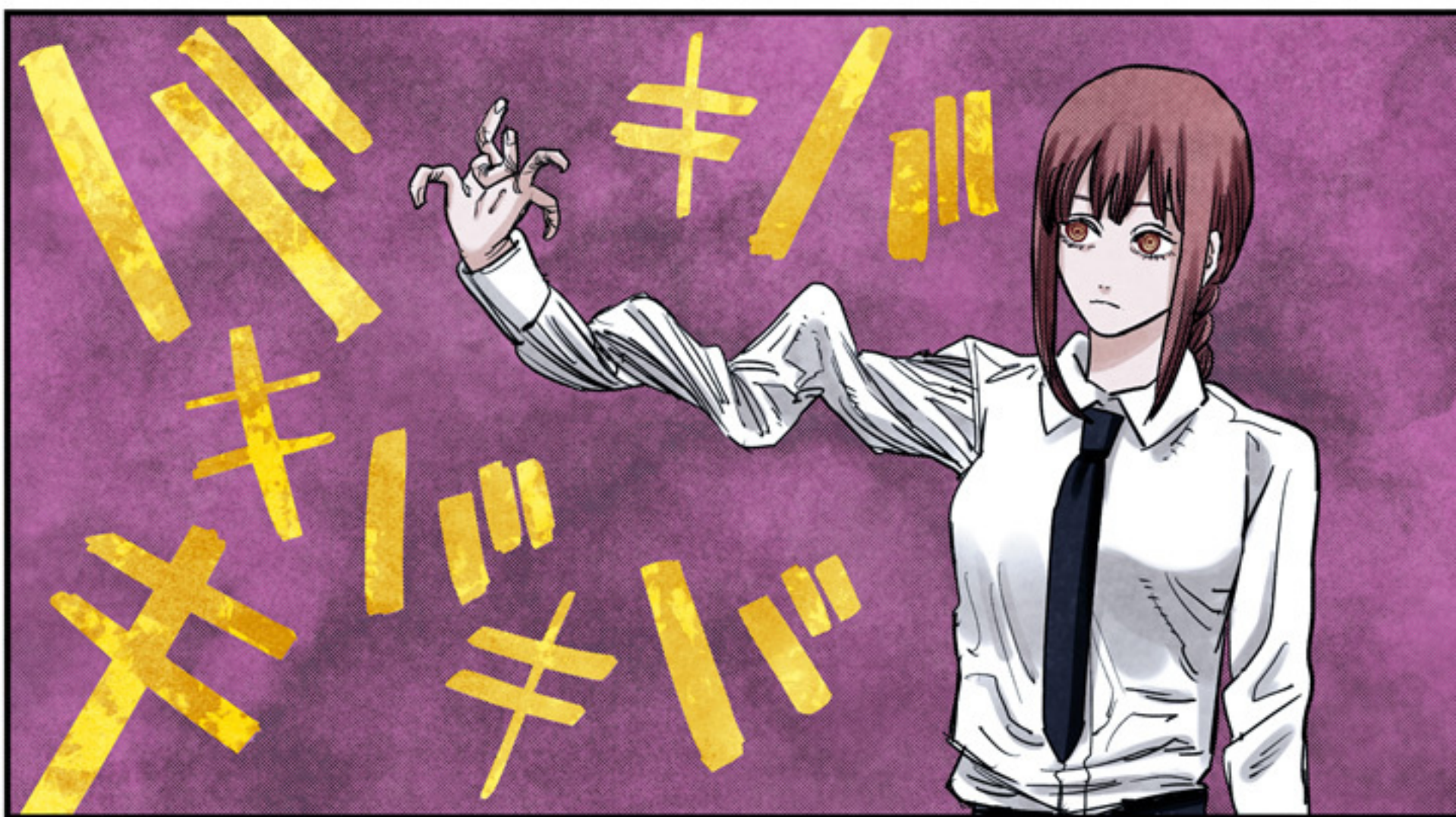






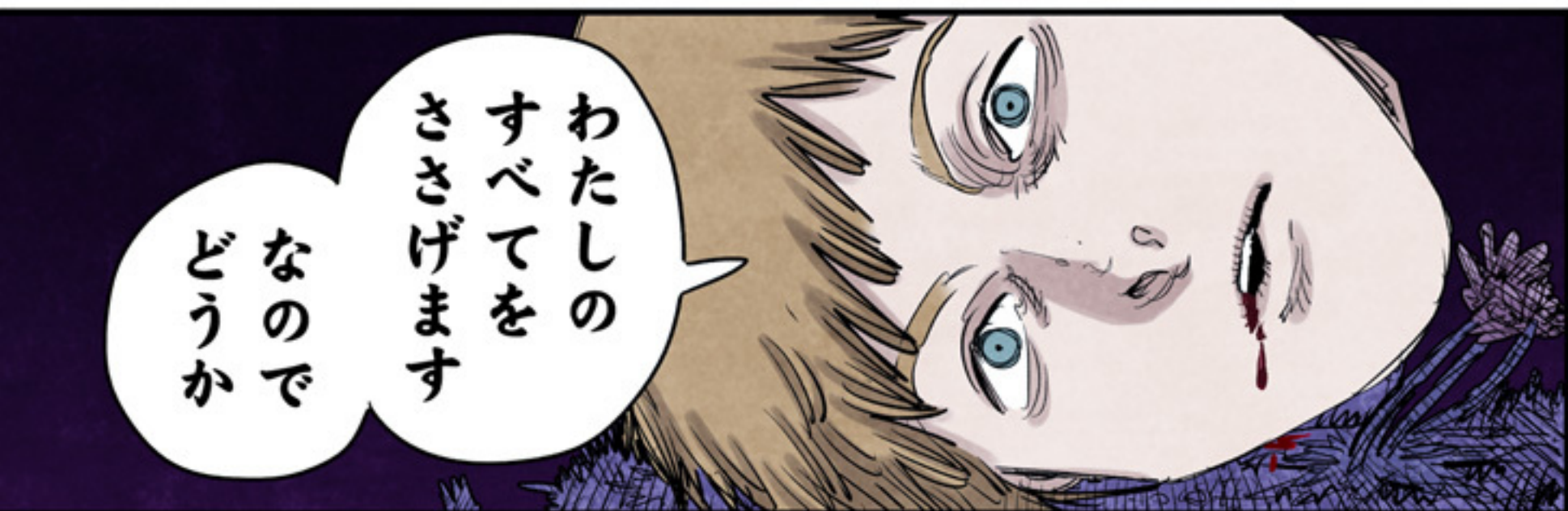








地獄じごくの悪魔あくまよ



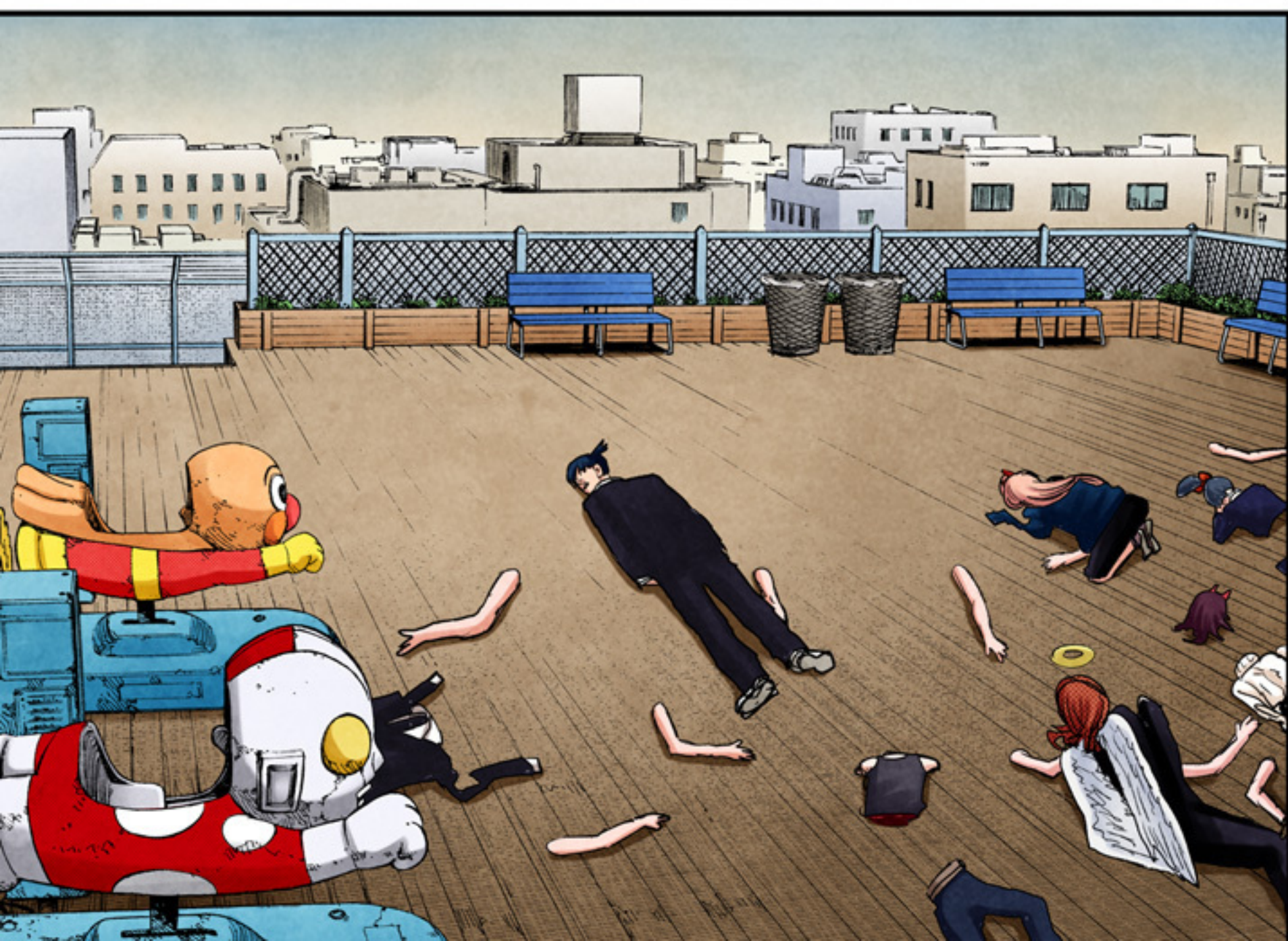
わたしの
すべてを
ささげます

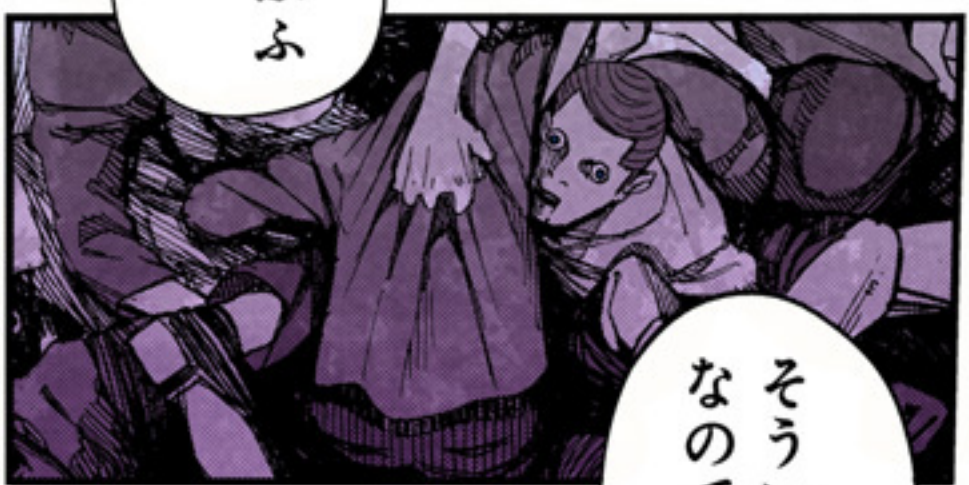
なので
どうか



わたしたち
私達を
お帰かえし
ください

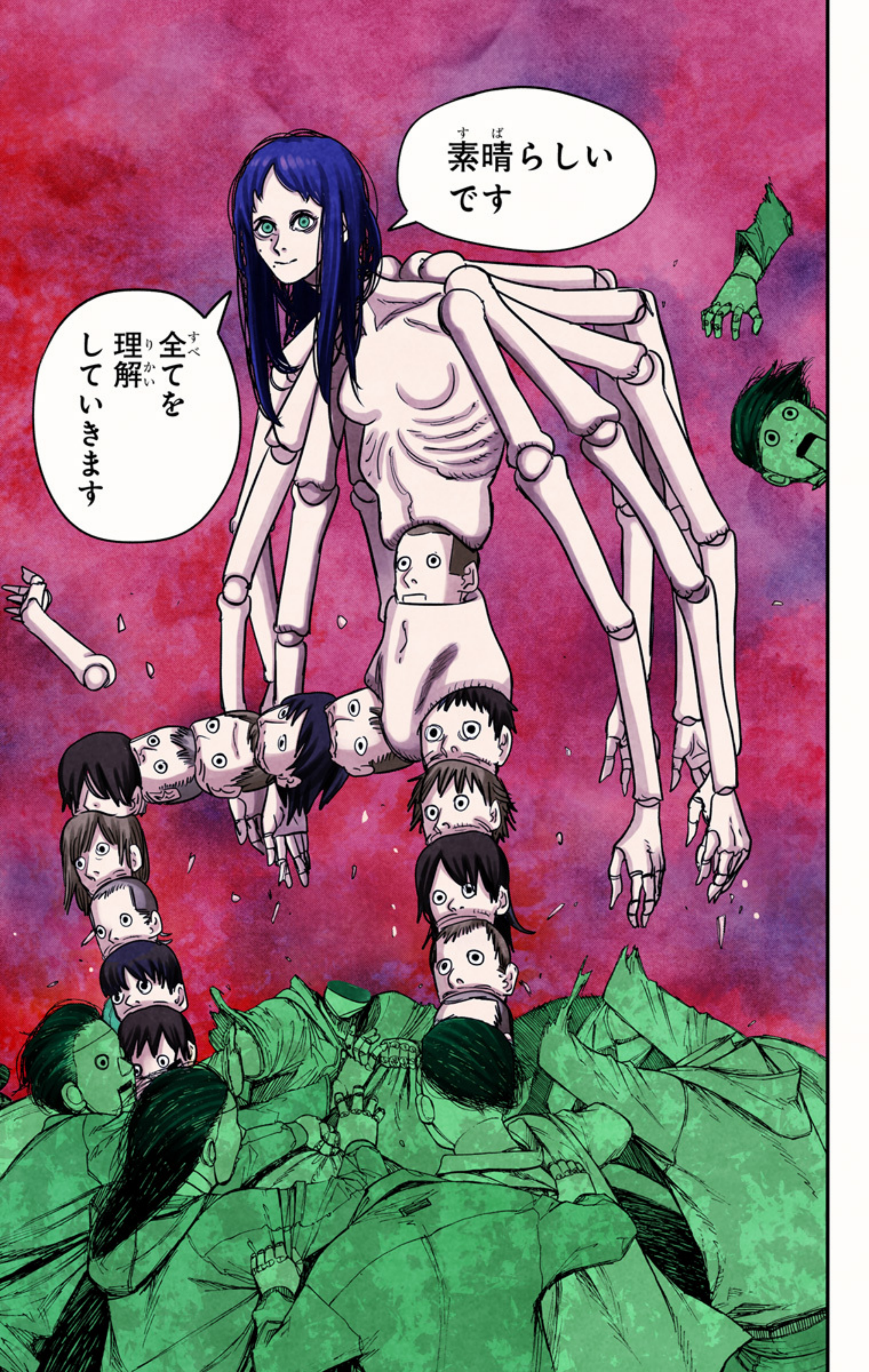


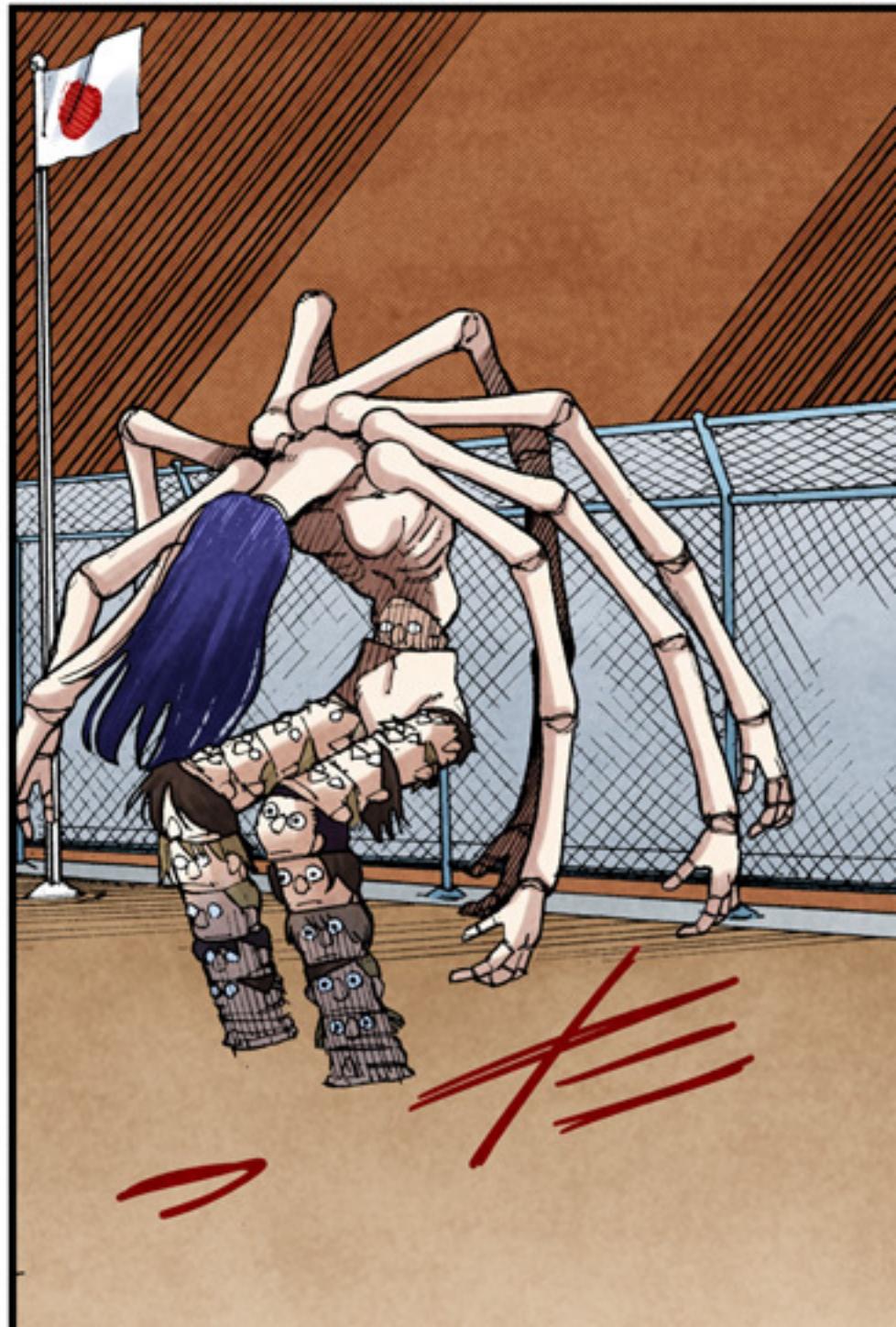




すば
素晴らしい
です

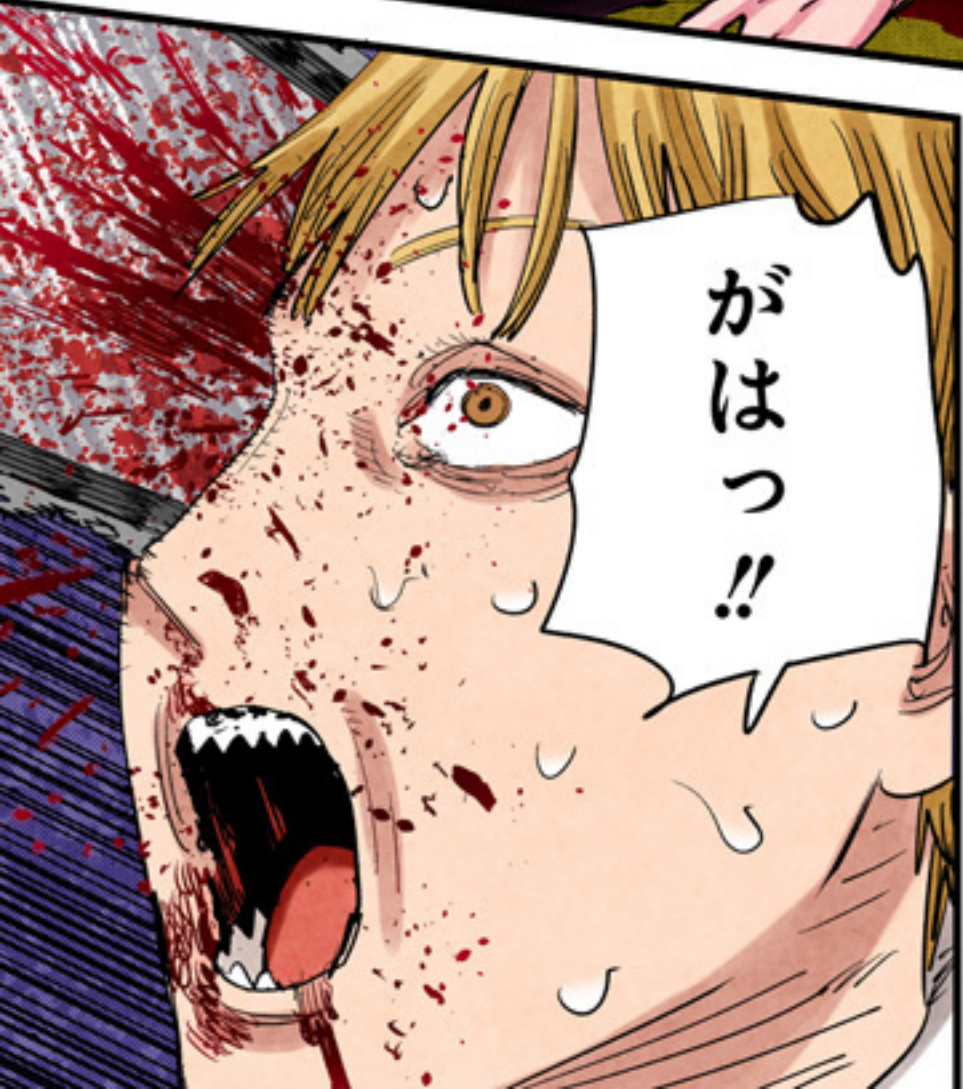
すべてを
理解
していただきます



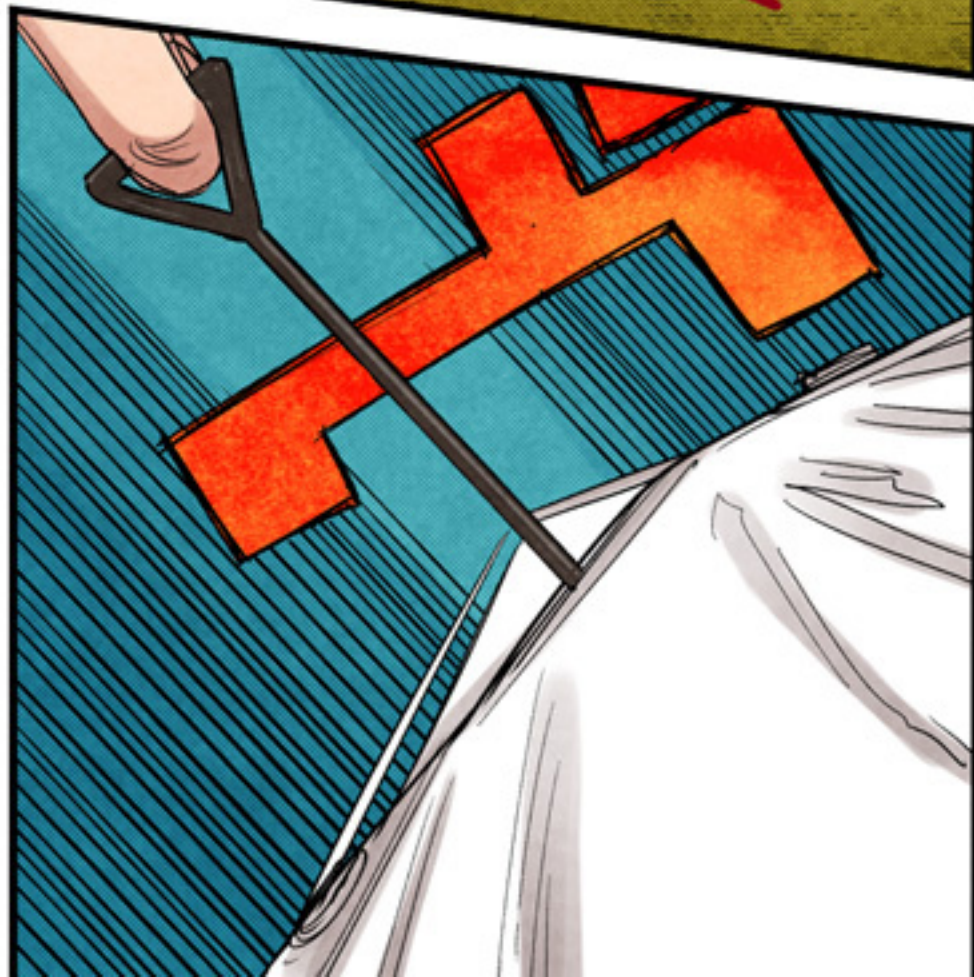




こんにちはは
サンタ
クロース



がはっ!!

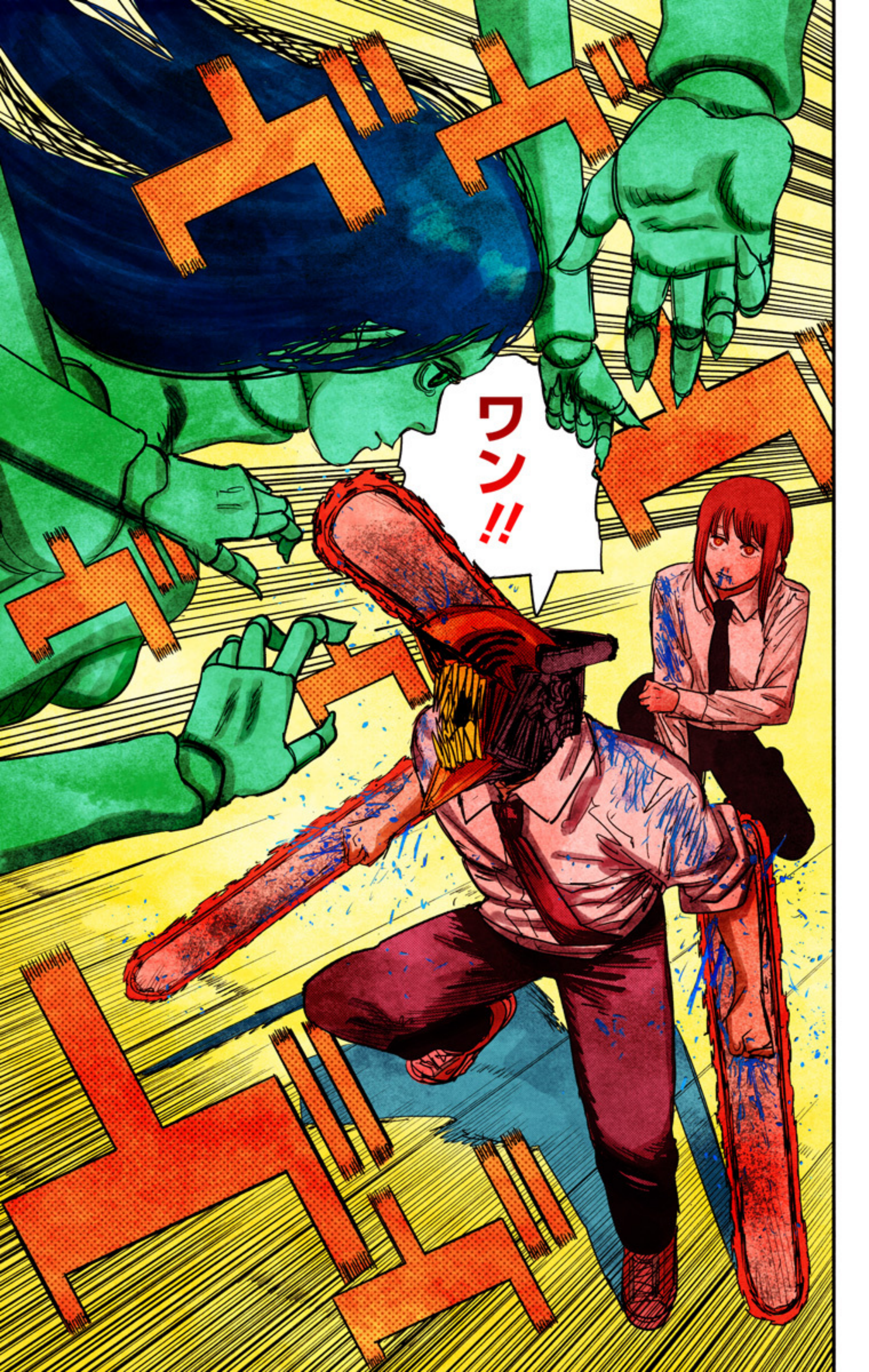


敵は闇の肉片を
取り込んだ

闇の中での
攻撃は一切
通じないよ

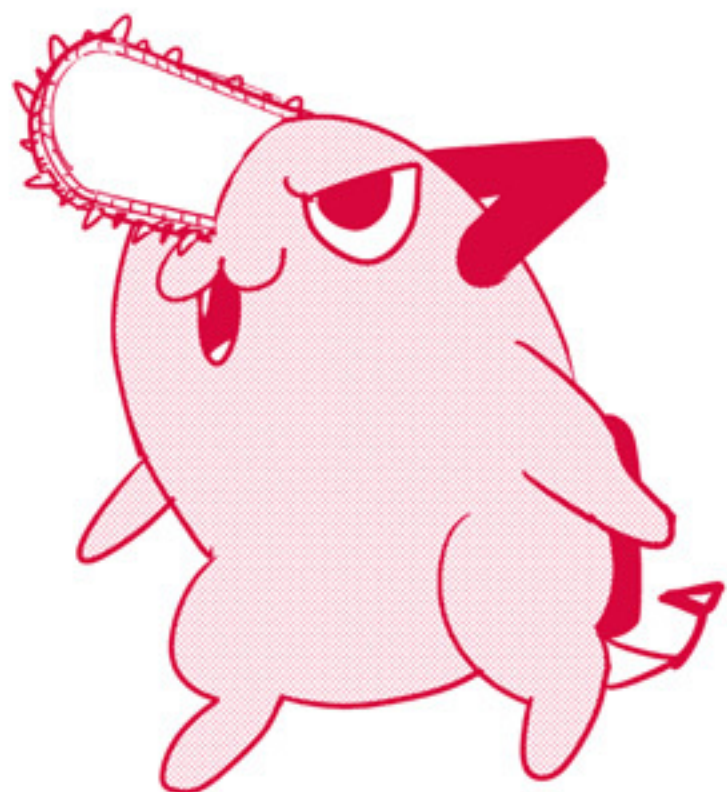
マキマ
あなたの
夢は
ここで
終わり

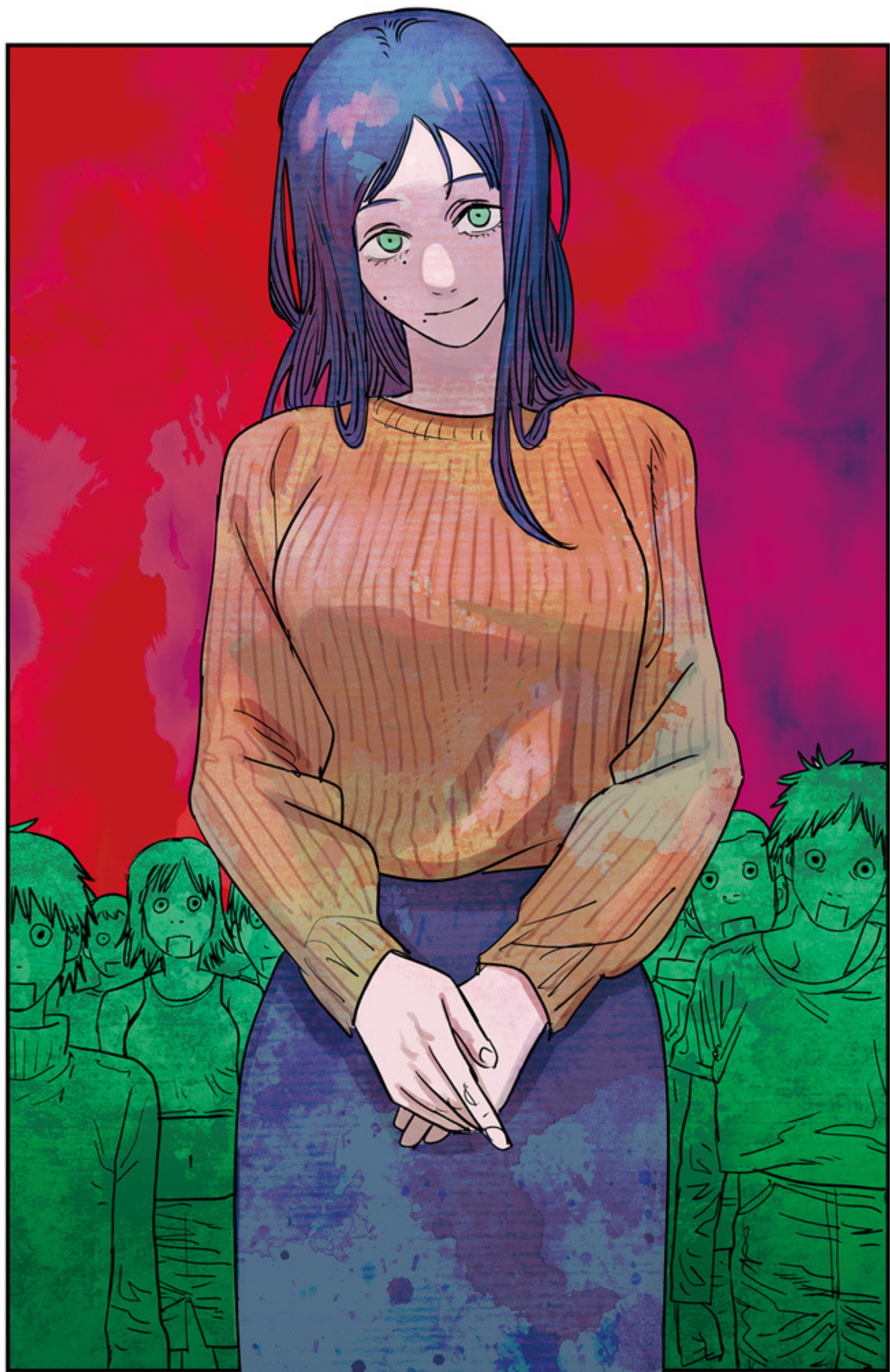
デンジ君
助けて
くれる？



ワン!!

**Chain
saw
man**





だい
第 67 話

さいしょ
最初のデビルハンター



やっぱり
マキマさんの
目的は
デンジ君を
守る事じゃく
ないですね



なら
俺は
4流に
なっち
まうぞ



一流も
老いには
勝てない
でしょう



ごえい
護衛にしては
人数が多くて
目立ち
すぎるし
マキマさんが
護衛を
依頼したの
全員3流の
ヤツらですよ

俺を
含めてね

マキマさんも
サンタさんも
何か俺達の
知らない目的で
動いている

まあ俺は
依頼金
貰えりや
それで
いいん
ですけどね

…本当に
この会話は
マキマには
聞かれて
ないん
だろうな

大丈夫
です

蛸に
確認して
もらいた
ました

周りに
ネズミや
鳥とかは
いない

マキマは
下等生物の
耳を借りる
……

つつこむ
暇なんて
ありませんよ

お前は
あまり
首つつこむ
なよ？

でしょ？

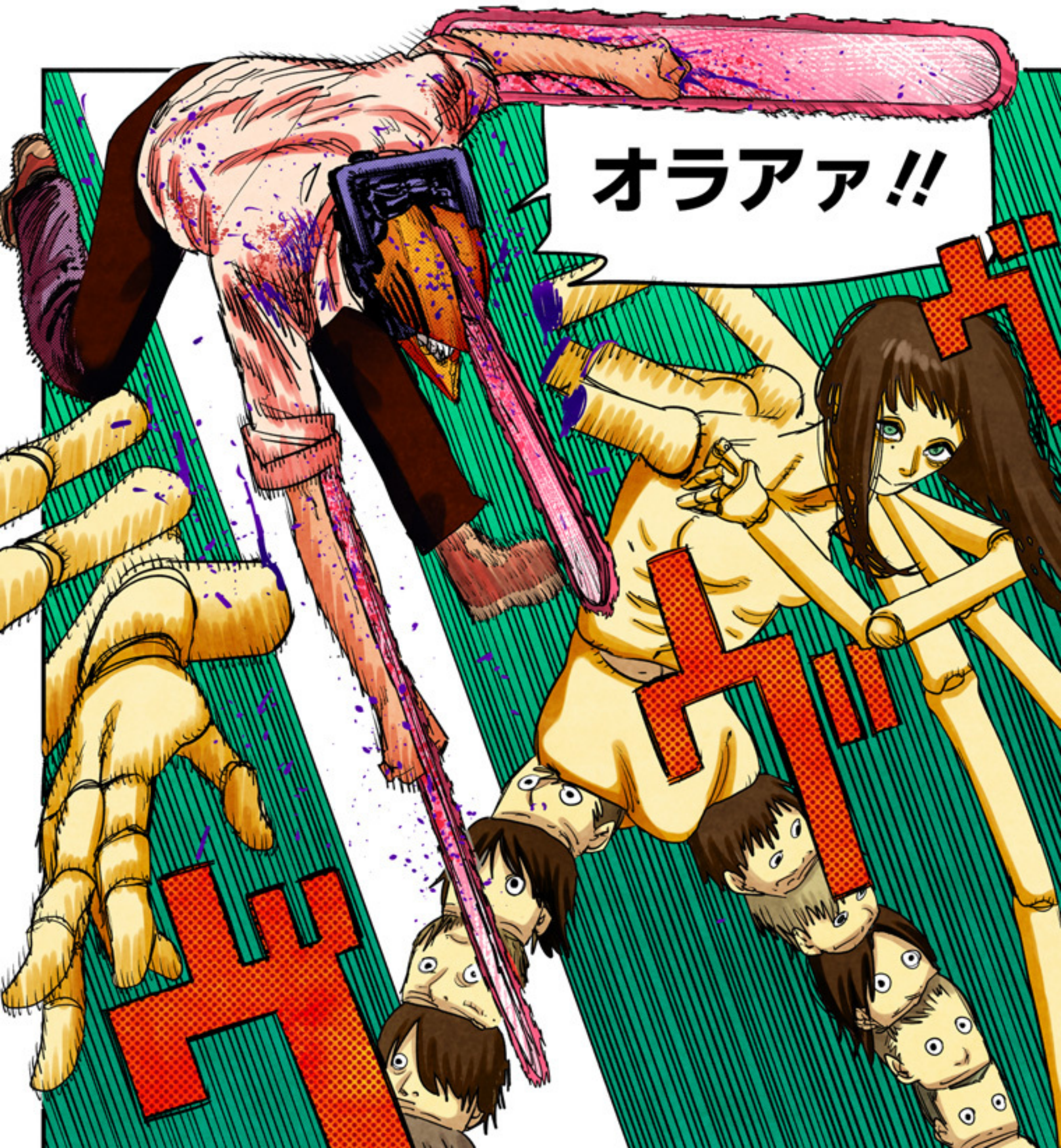


馬鹿ですか
アンタは

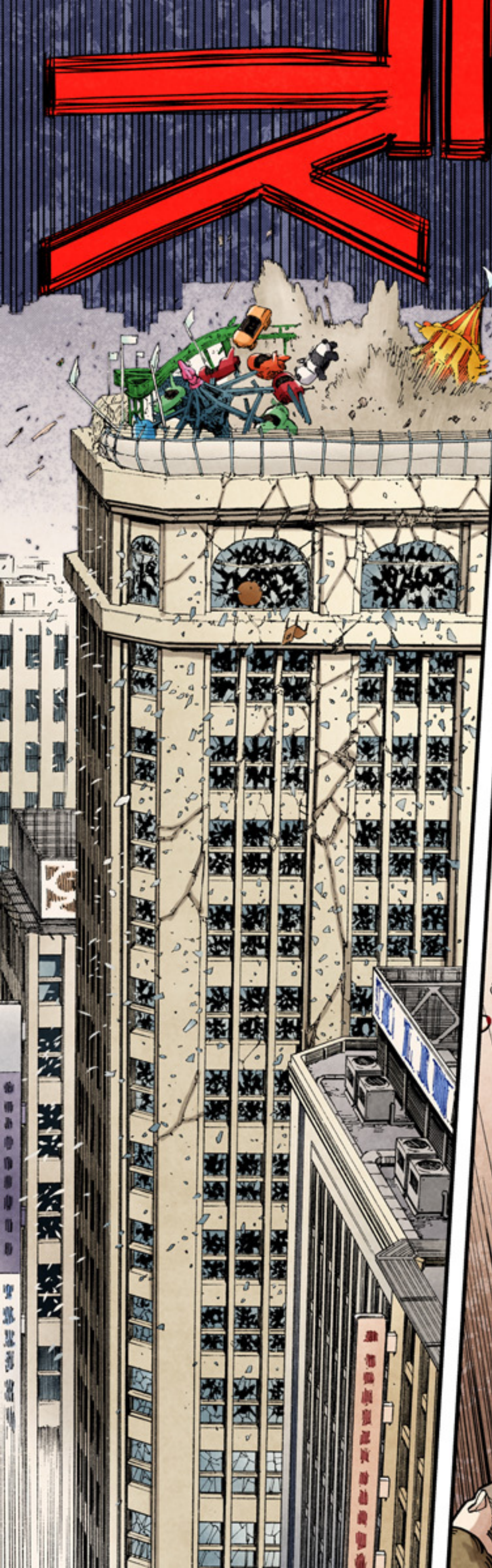
そういや
お前まだ
高校生
だったな



こっちは
もうすぐ
期末テストが
あるんですよ

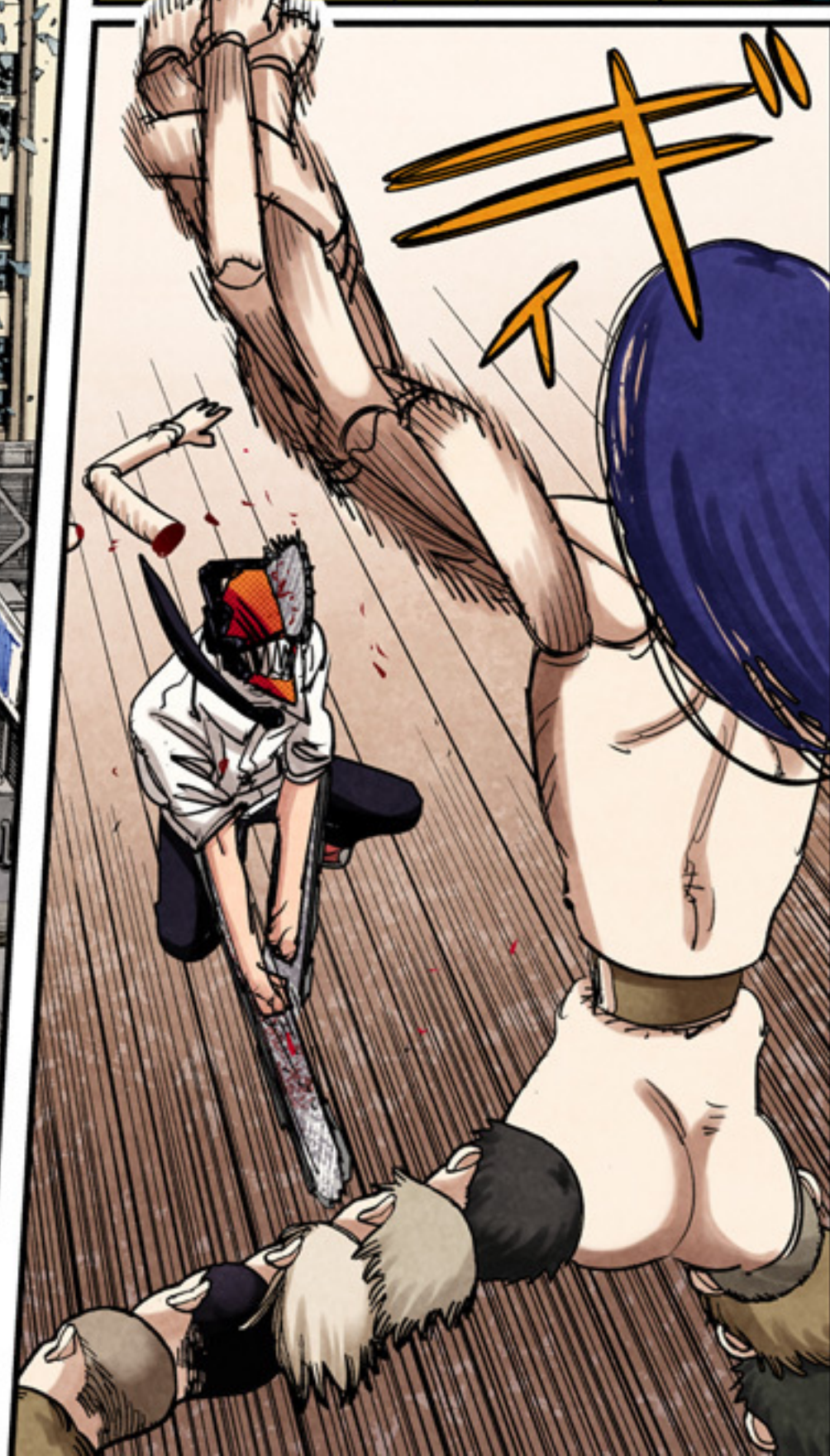
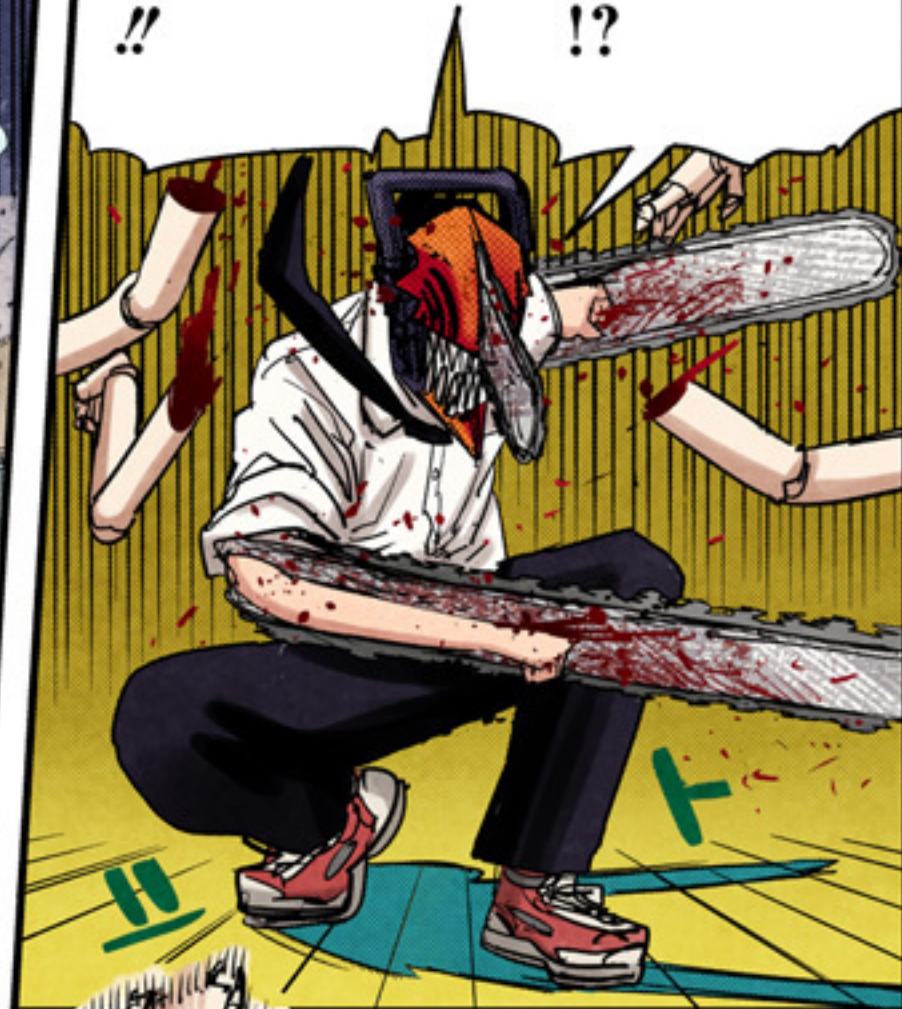


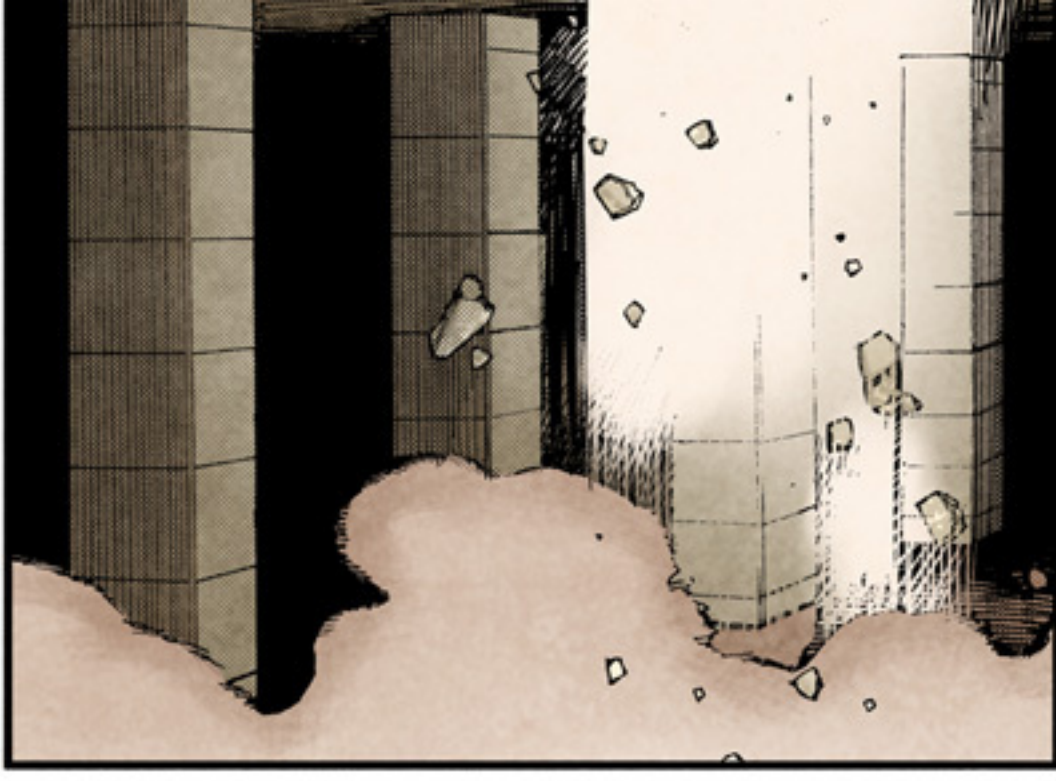
オラアア!!



パワー達たち
大丈夫だいじょうぶ
なのかあ!?

よくくも
地獄じごくに
落とおし
やがって!!



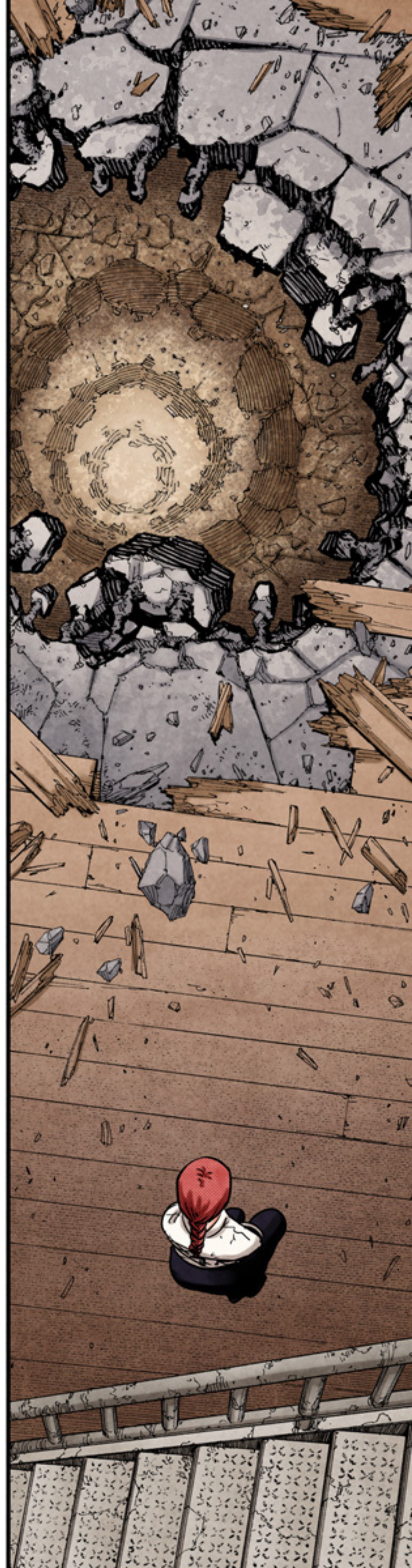


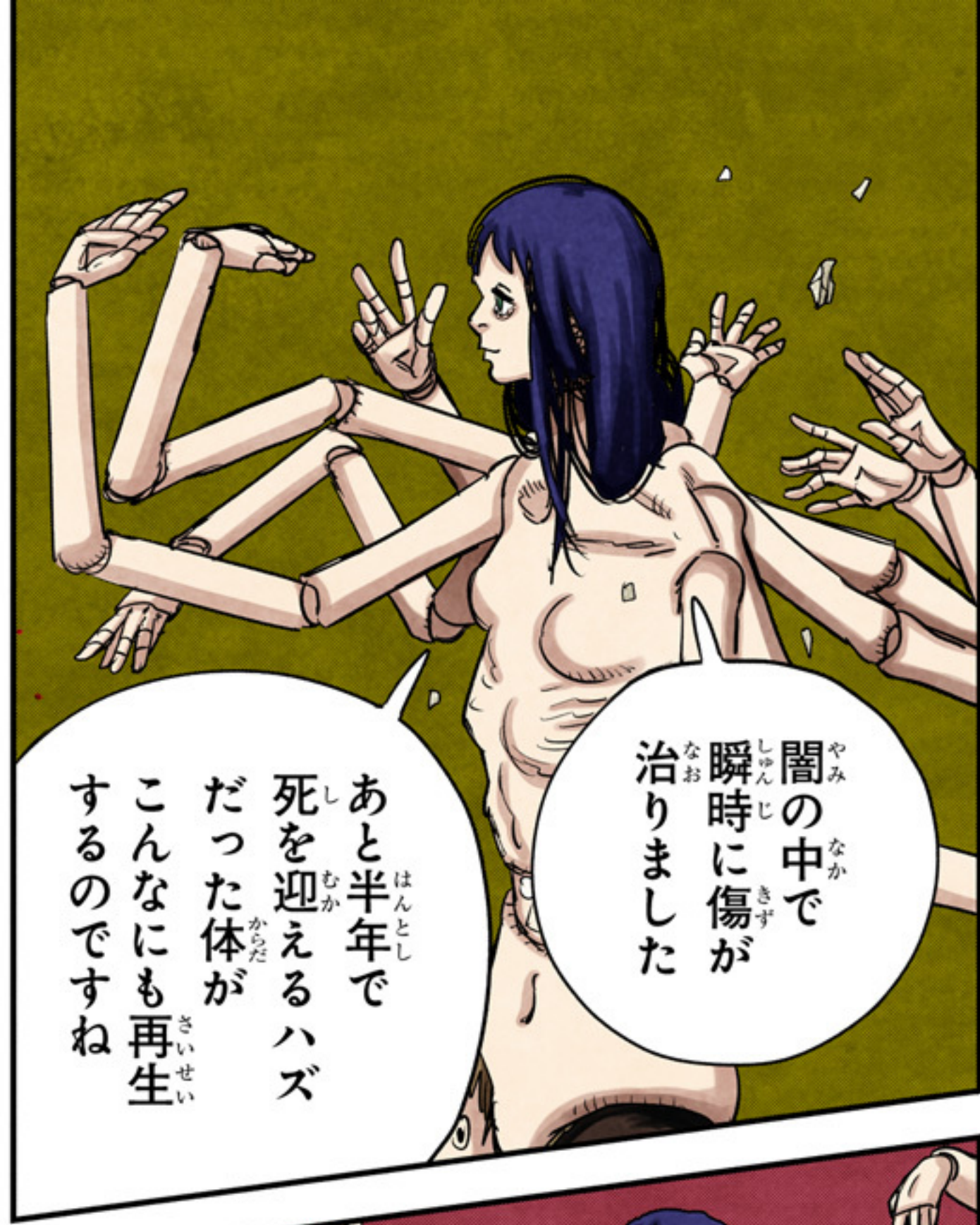
素晴らしい
……

私を見て
ください
……



……
いてえ

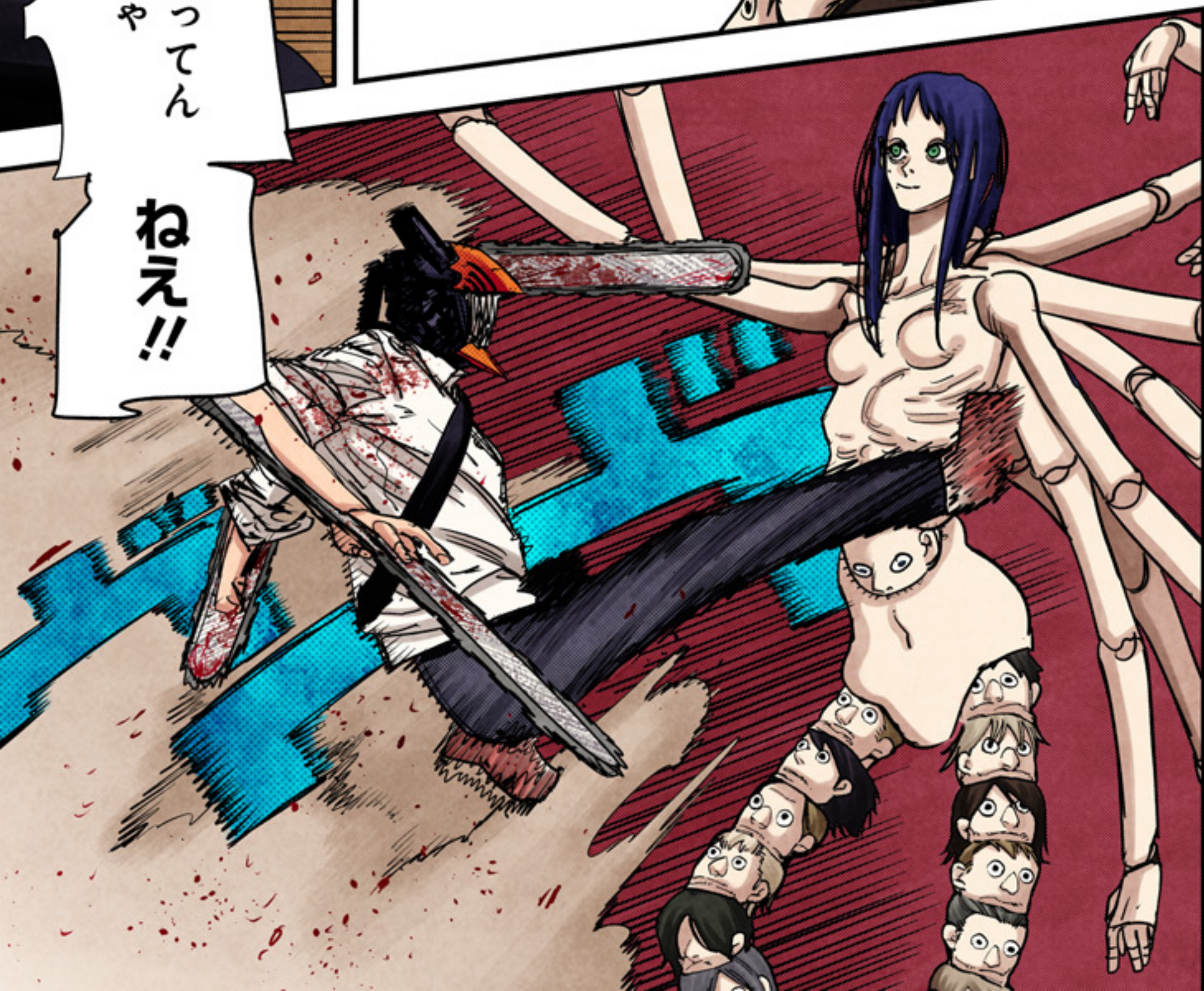


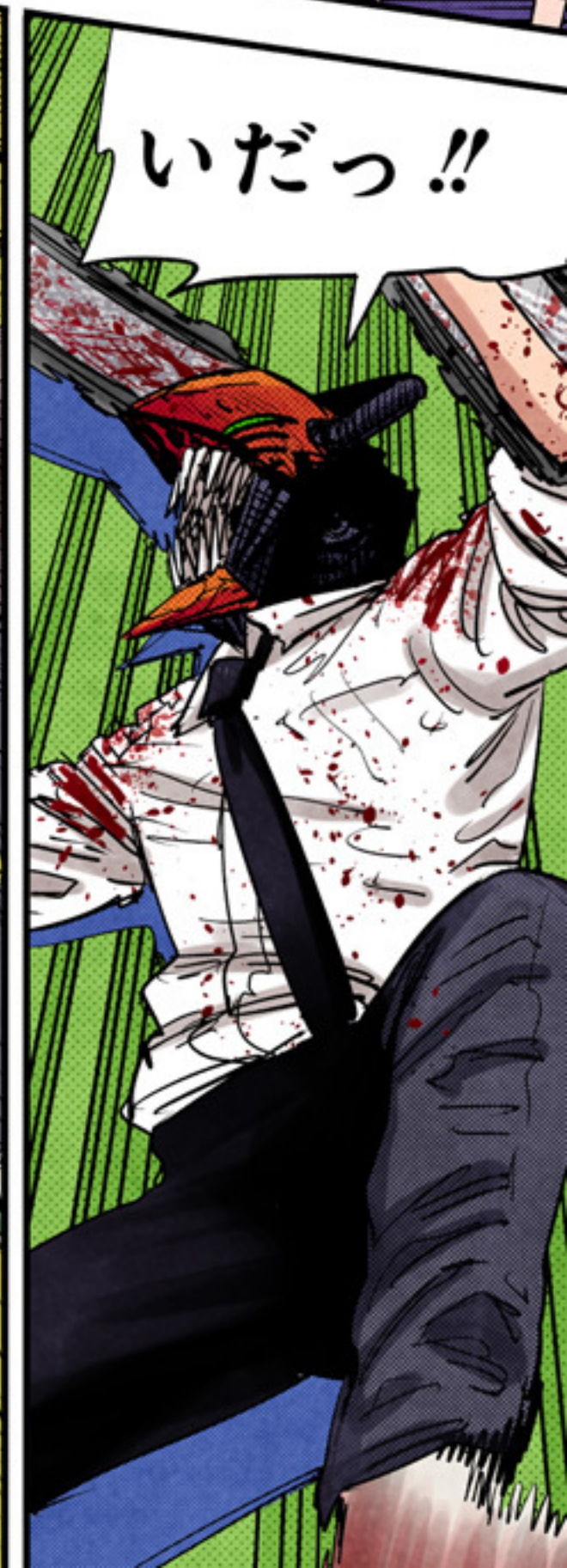
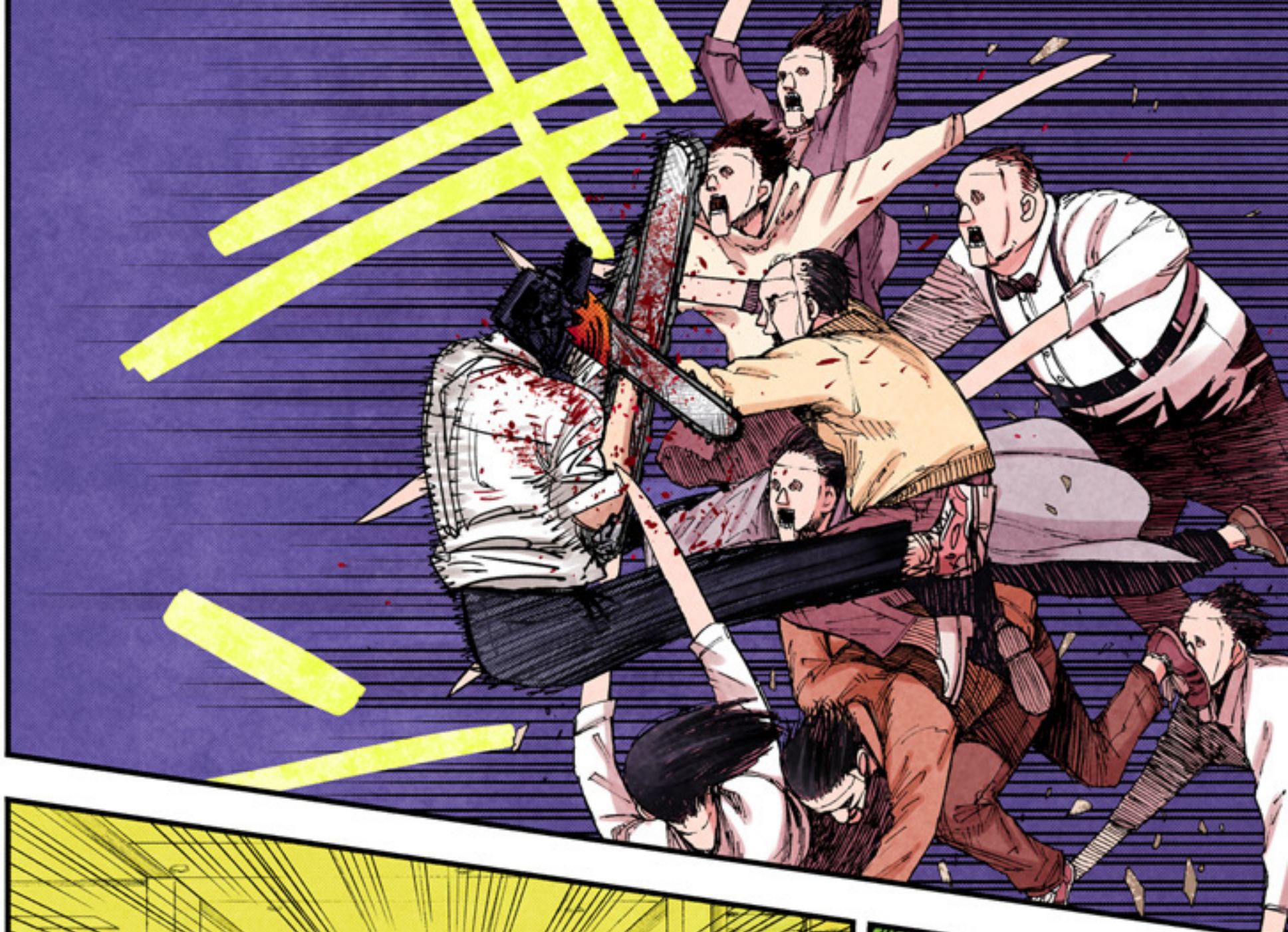


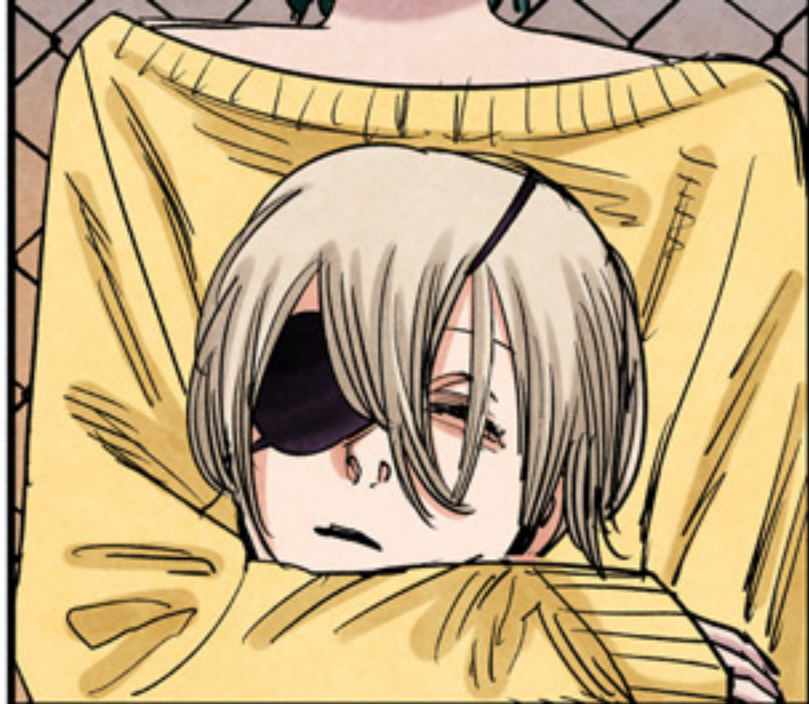
闇やみの中なかで
瞬しゅん時に傷きずが
治なおりました

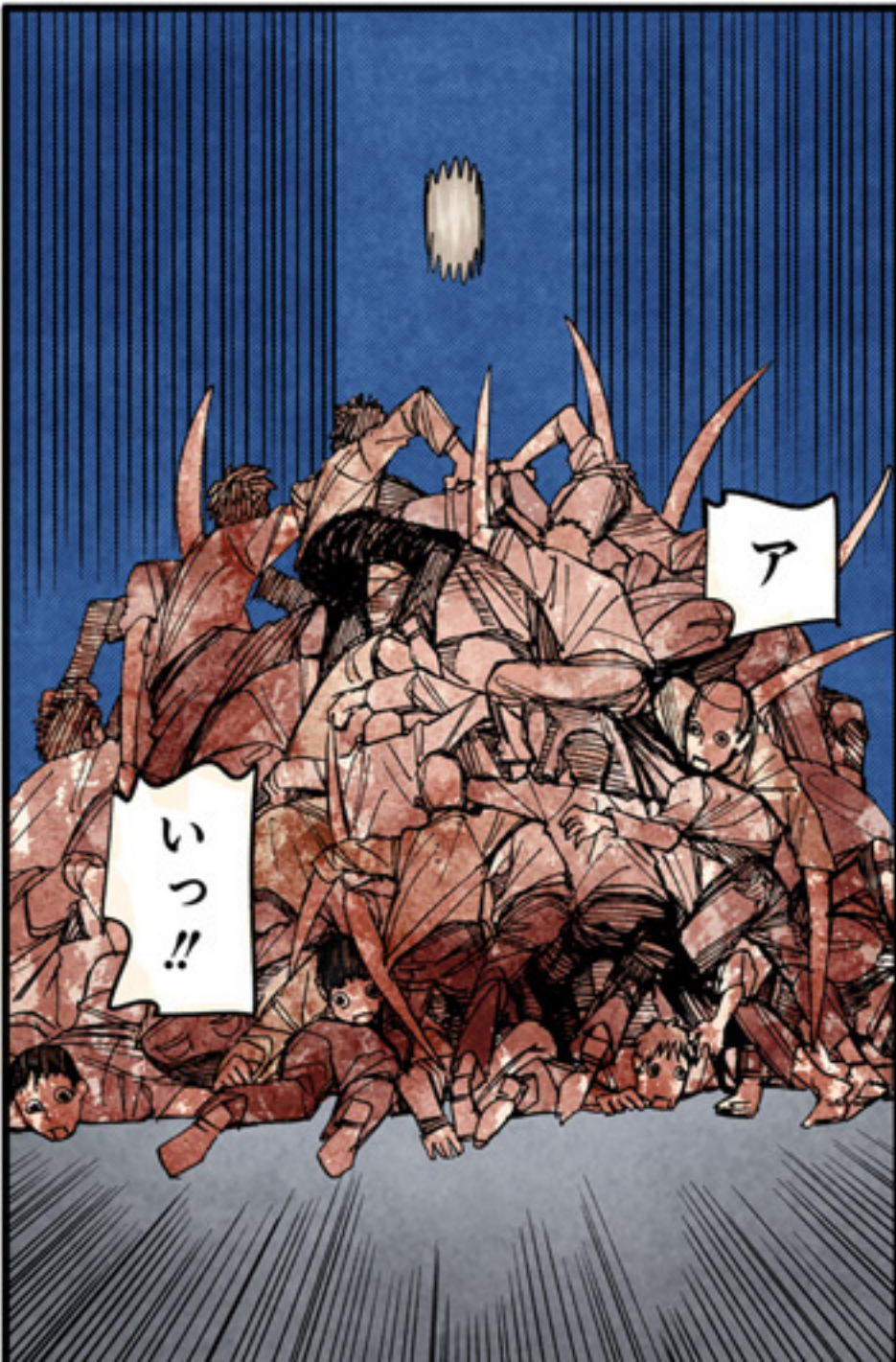
あと半年はんとしで
死しを迎むかえるハズ
だからった体からだが
こさいんなにも再さい生せい
するのですね

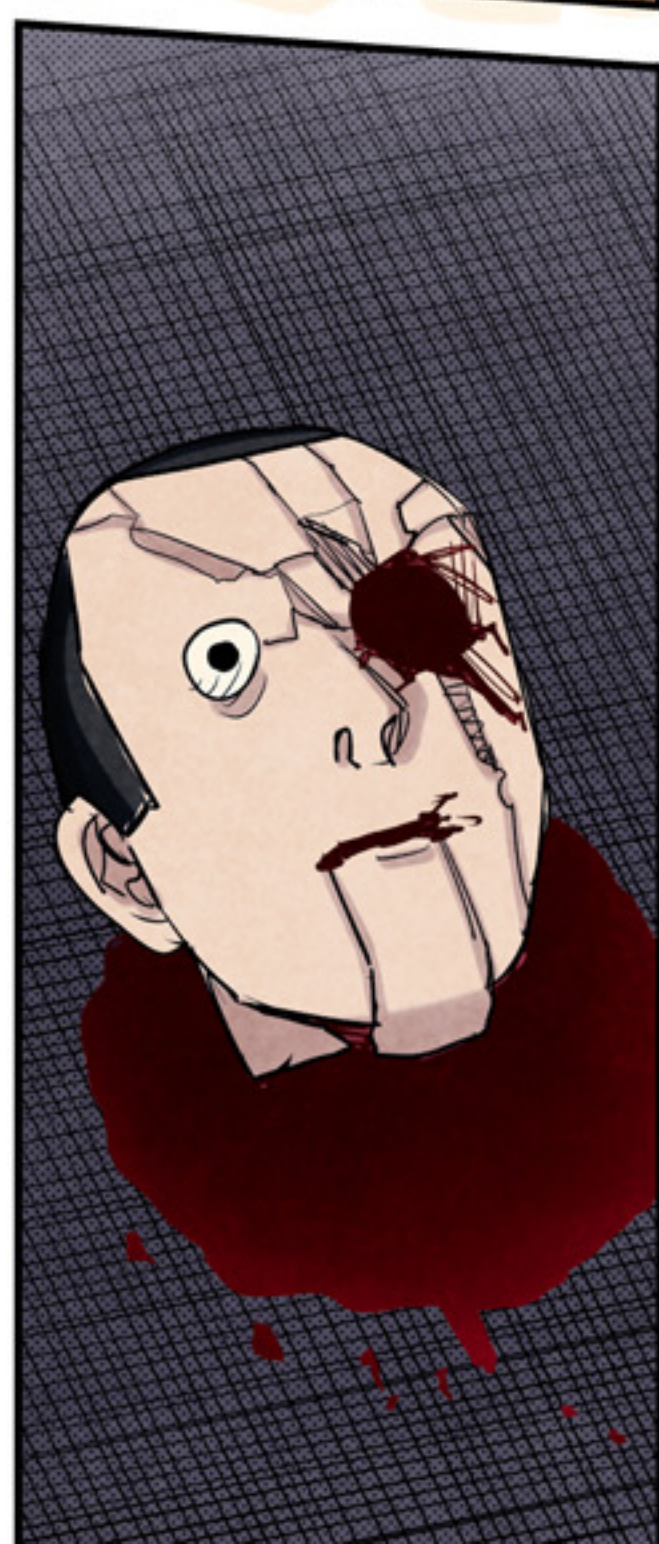
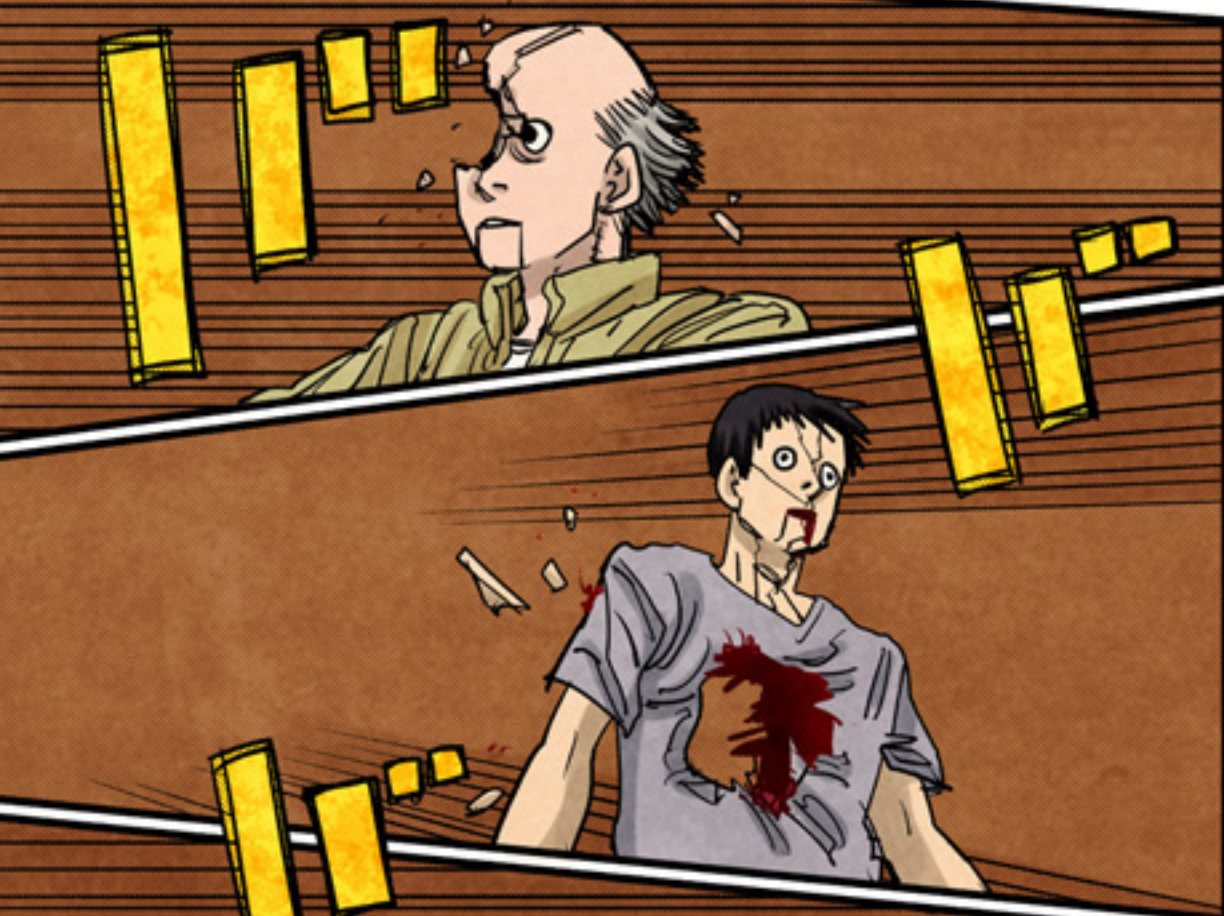
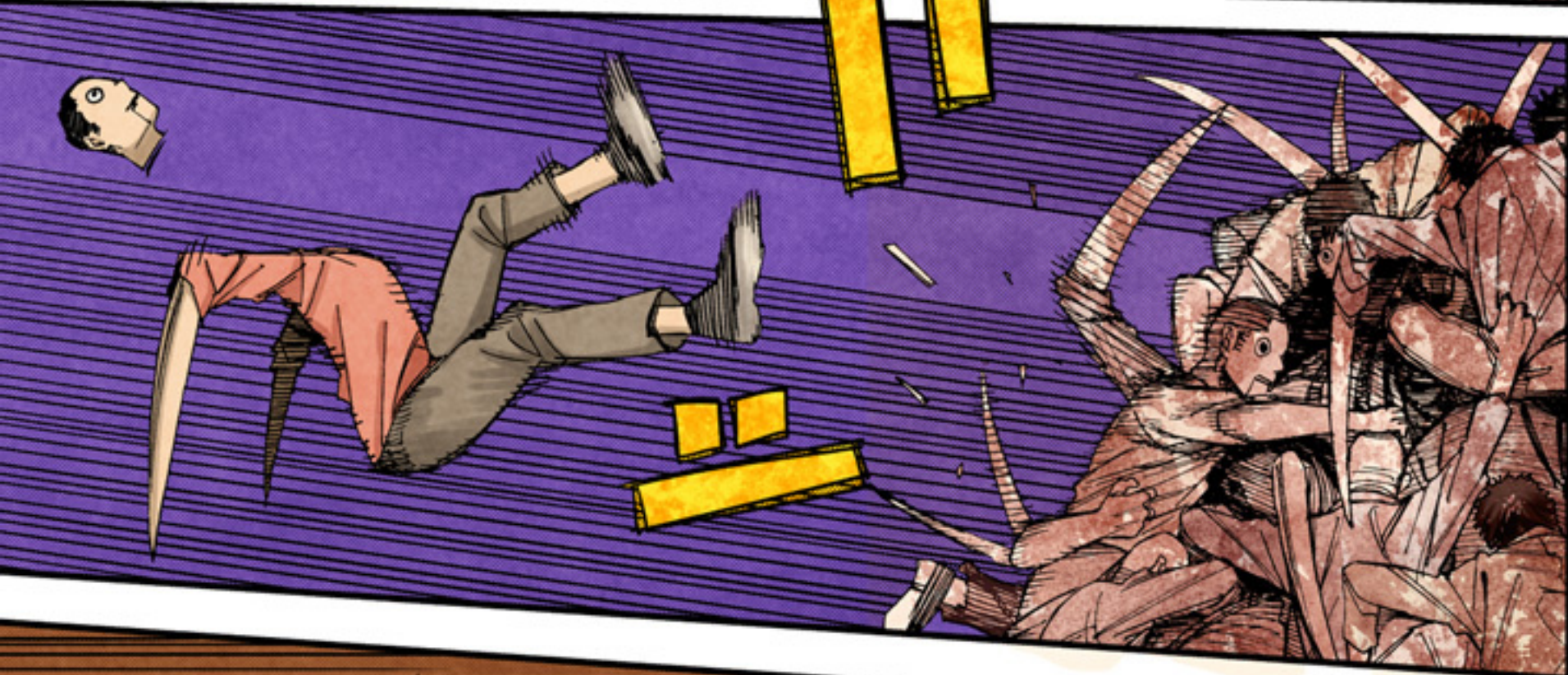
喋しゃべってん
じや
ねえ!!





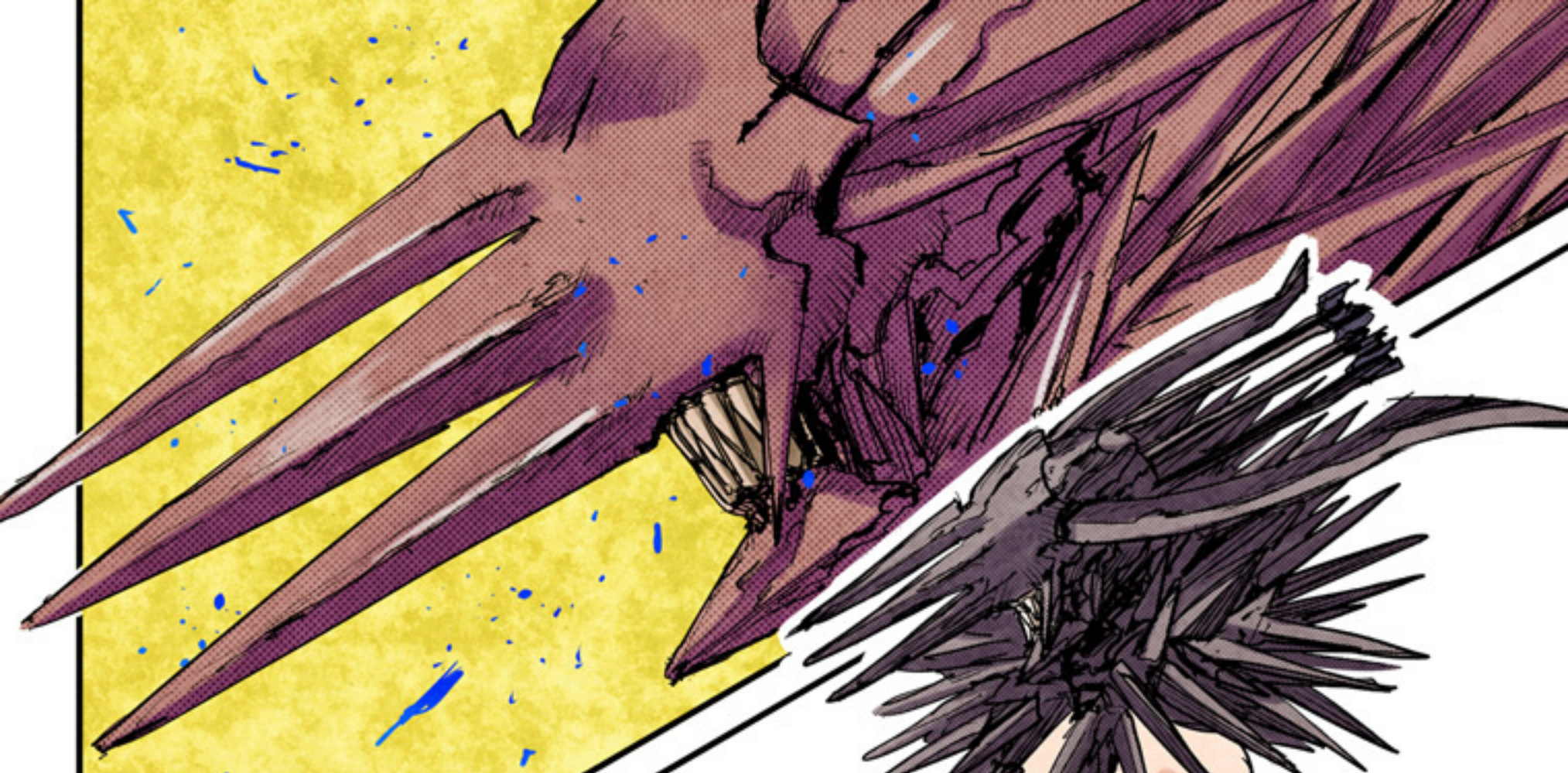








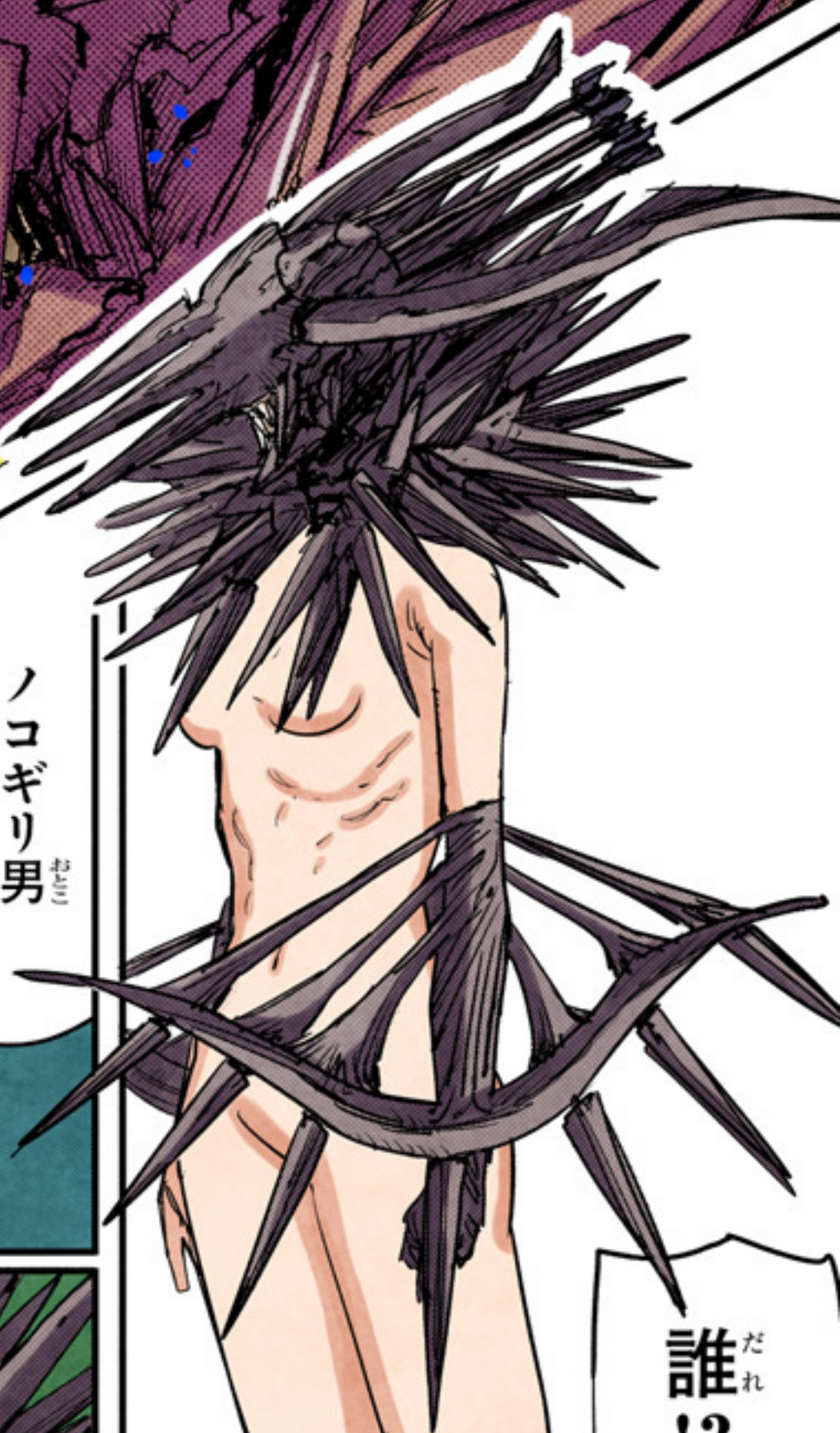




ノコギリ男 おとこ
 アイツを
 ぶつ殺すまで
 手を貸せ



アイツ わたし
 私の女達を おんなたち
 殺しやがった
 ……



誰!?

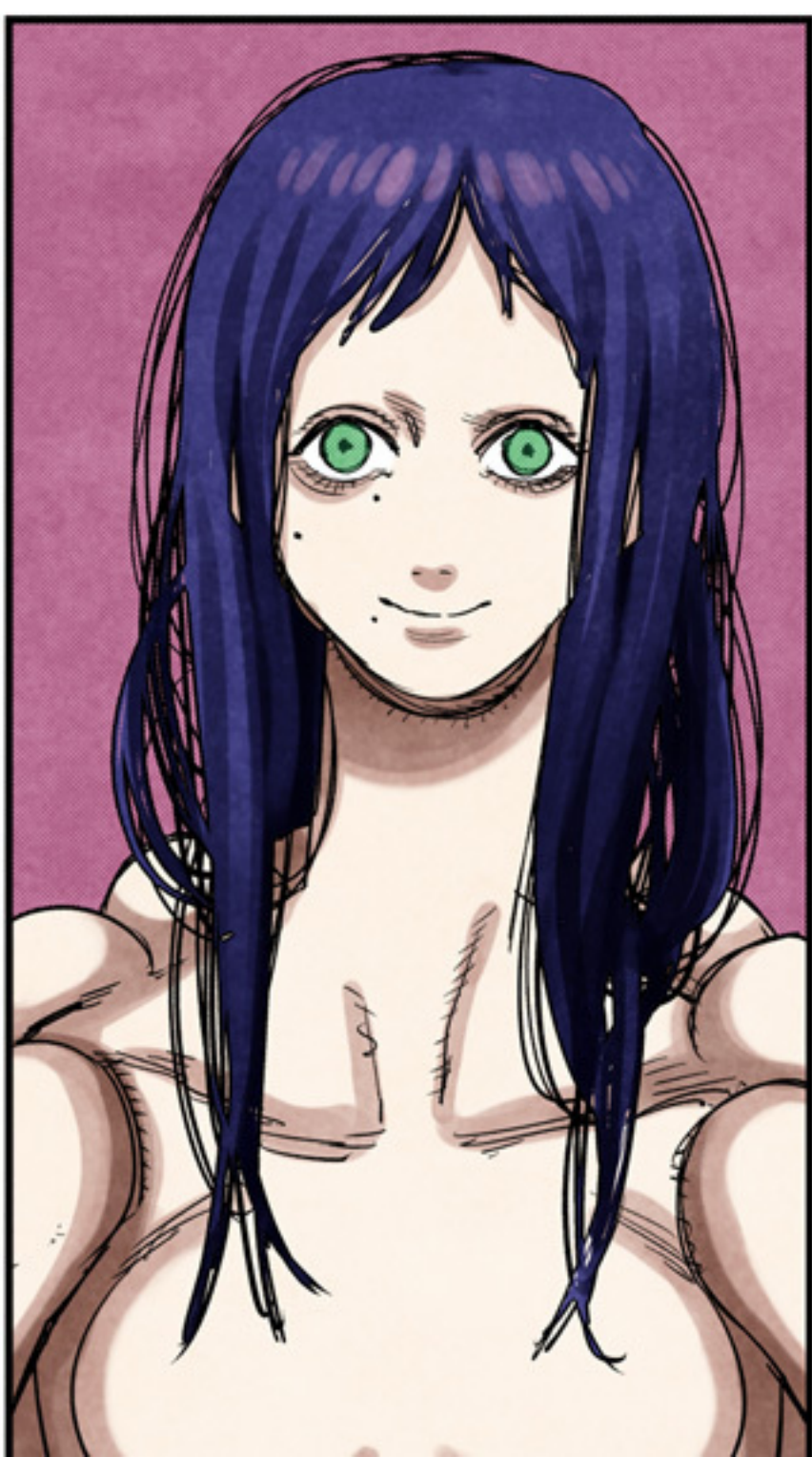
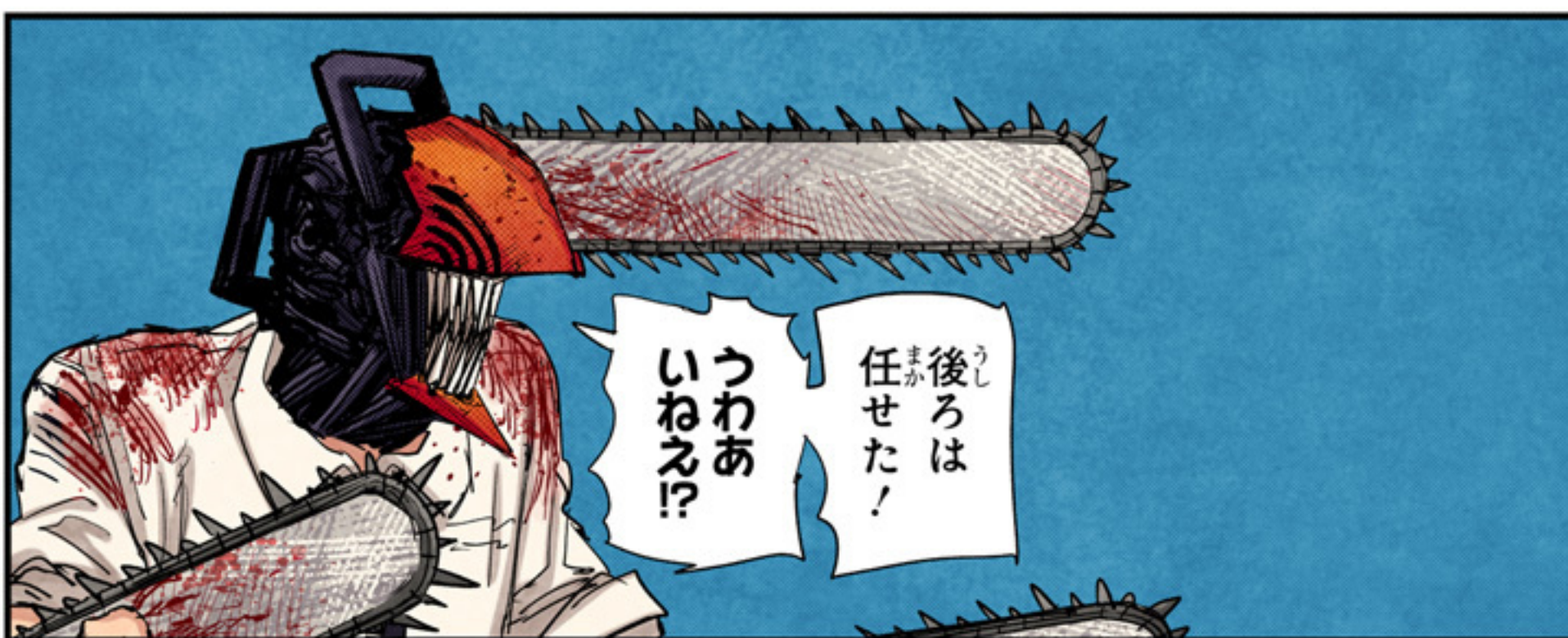


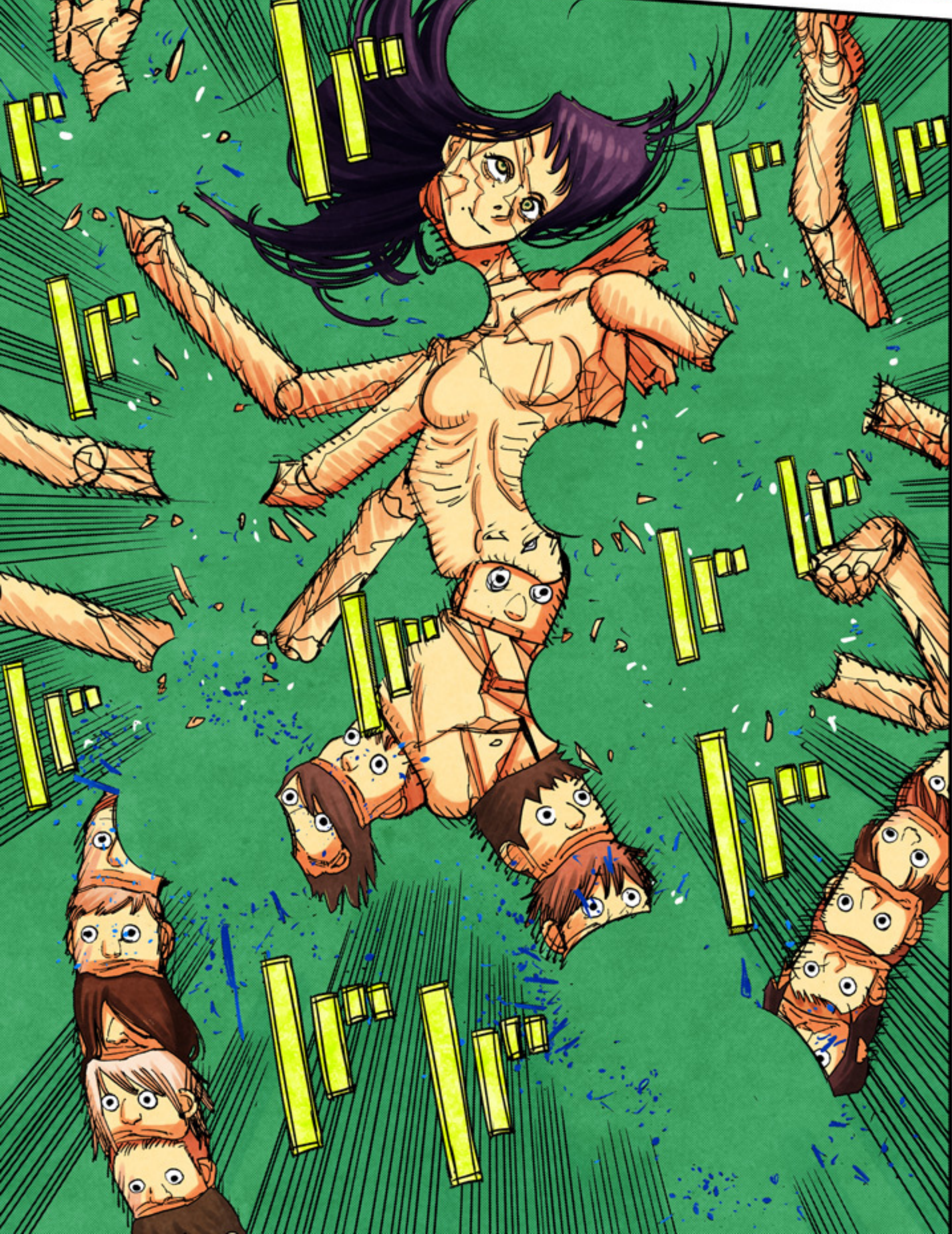


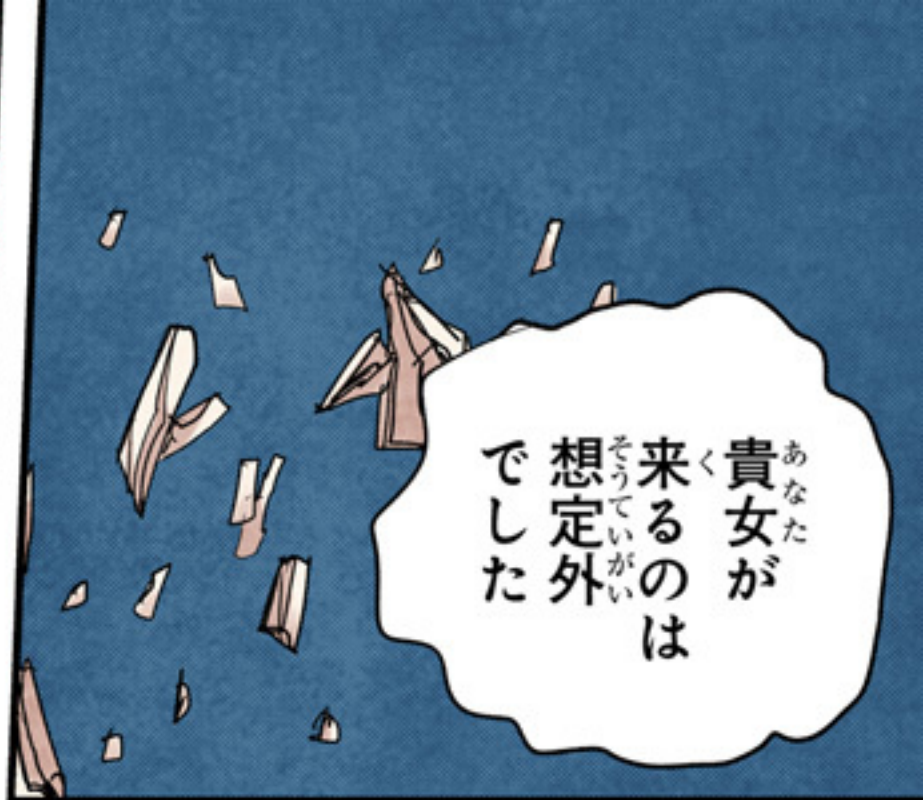
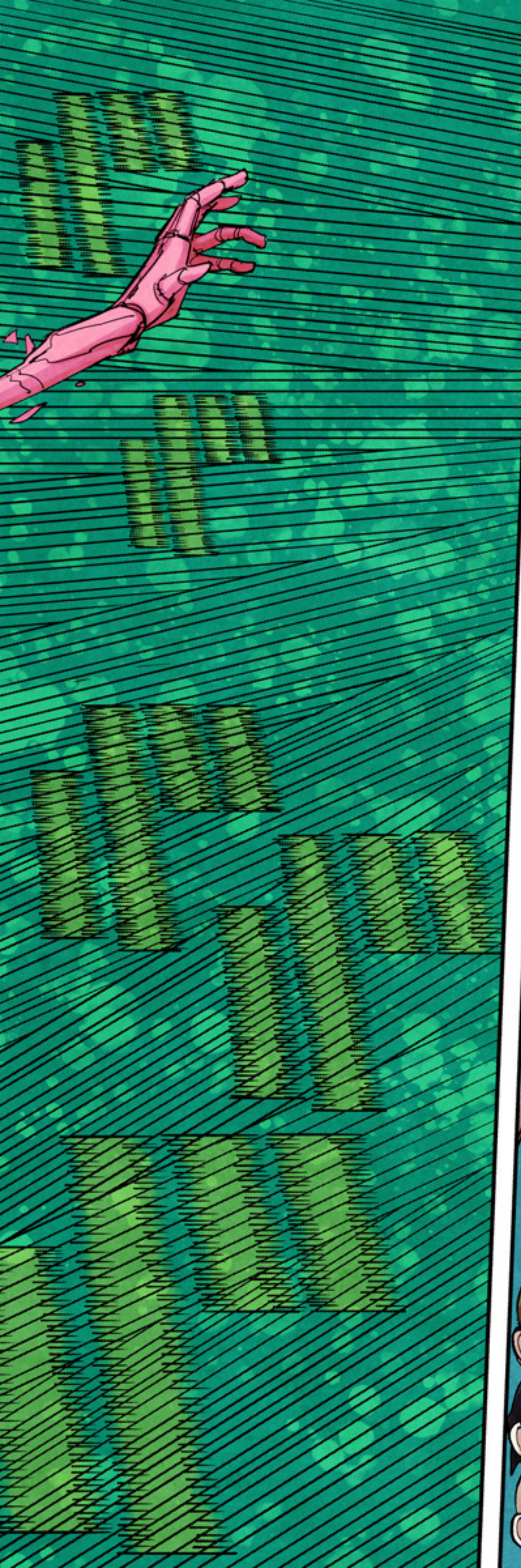
人形が強化されている

本体を殺さないという意味がないみたいだな

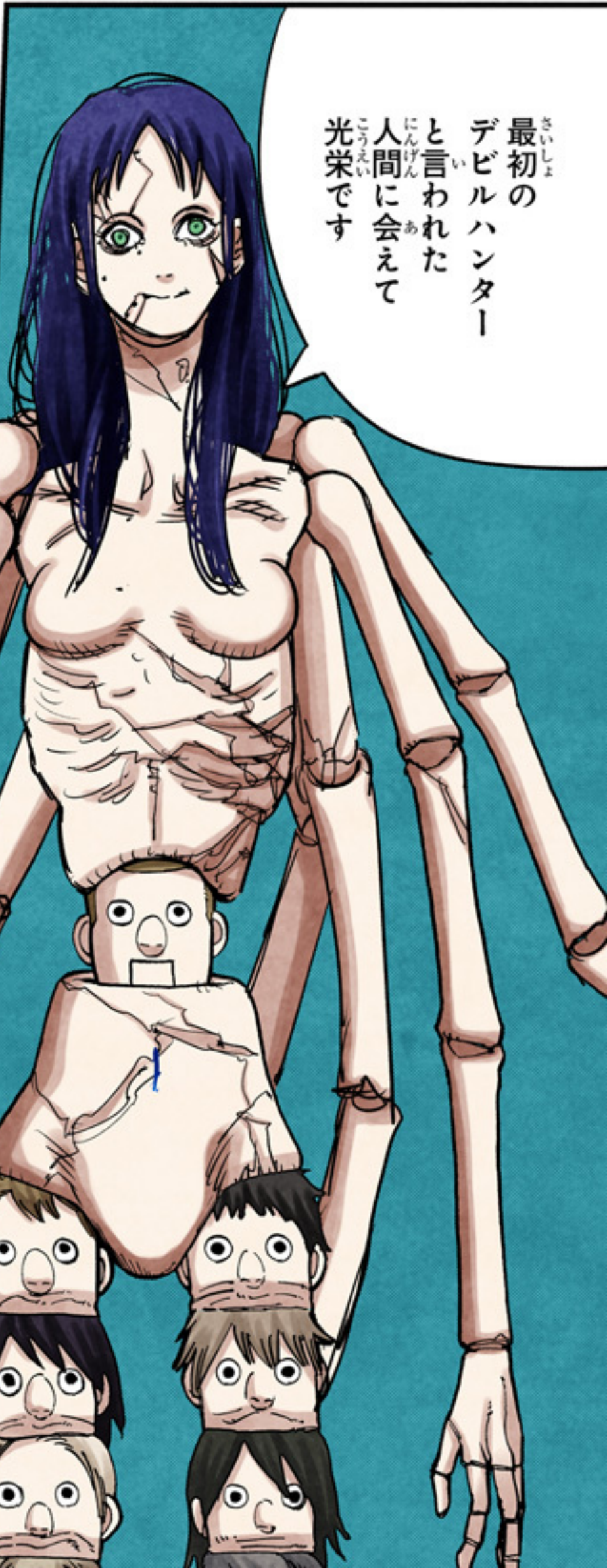
それかミキサーにかけりや起き上がったこないぜ



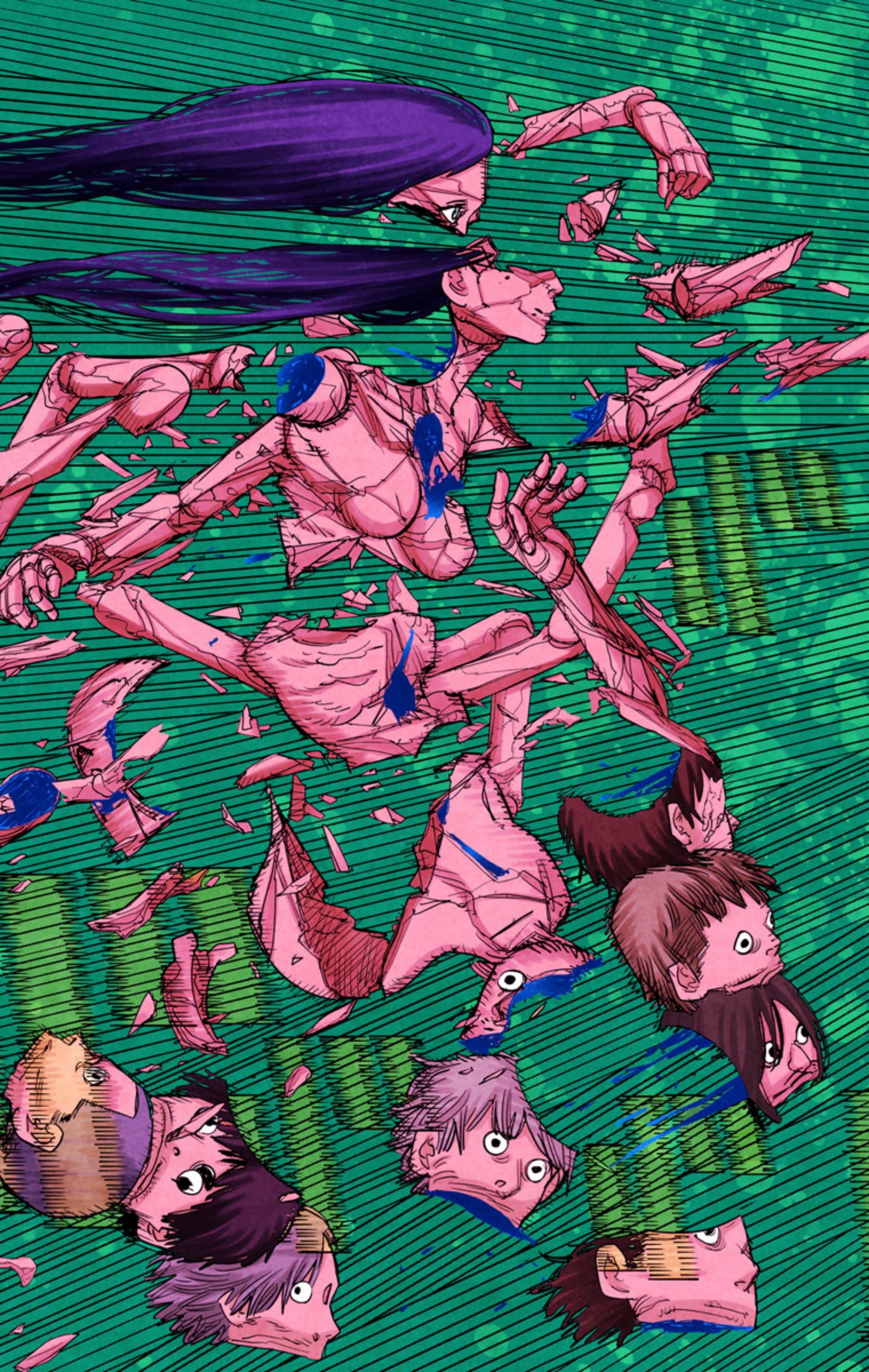


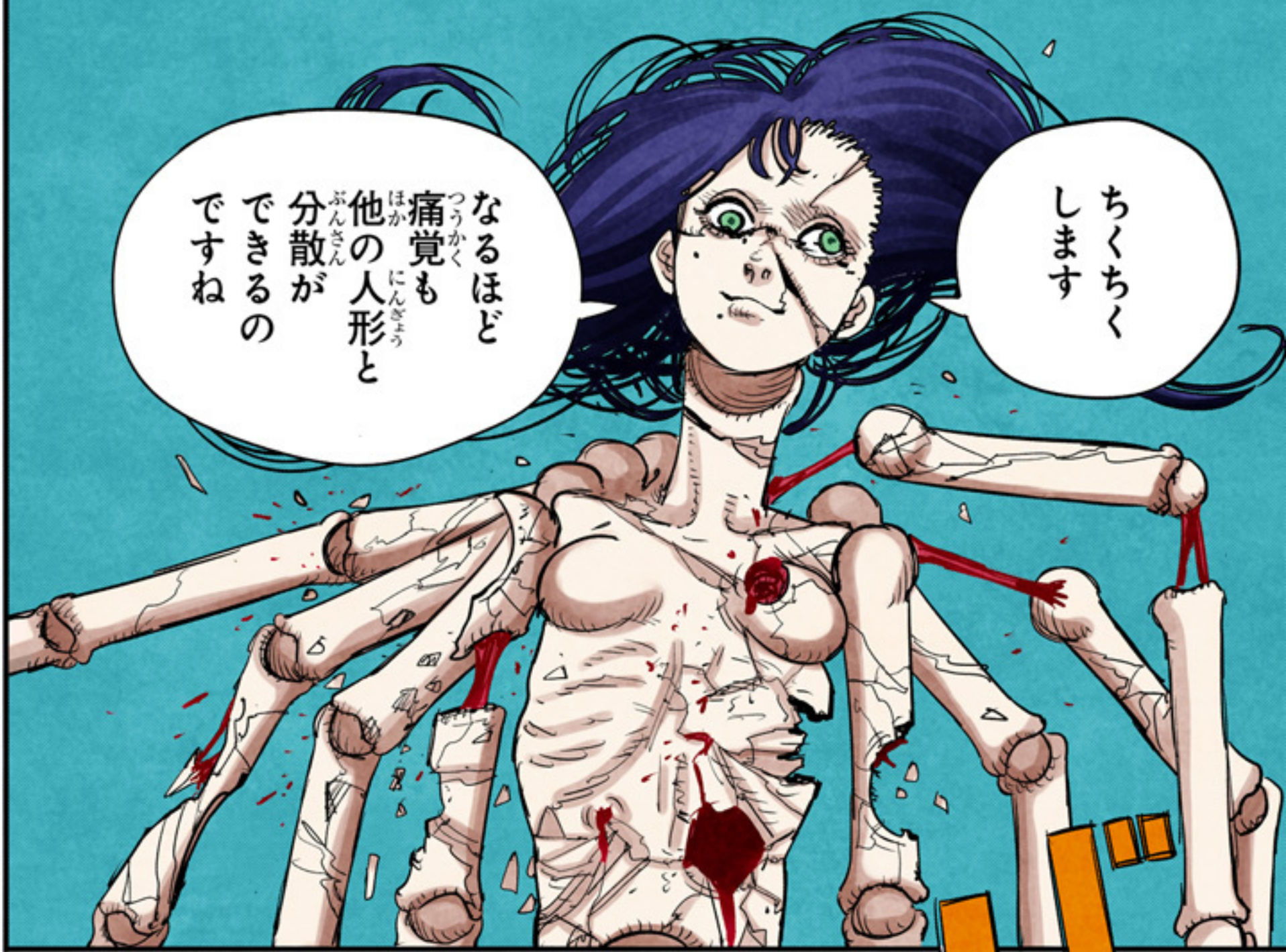


あなた
が
貴女が
来るのは
想定外
でした



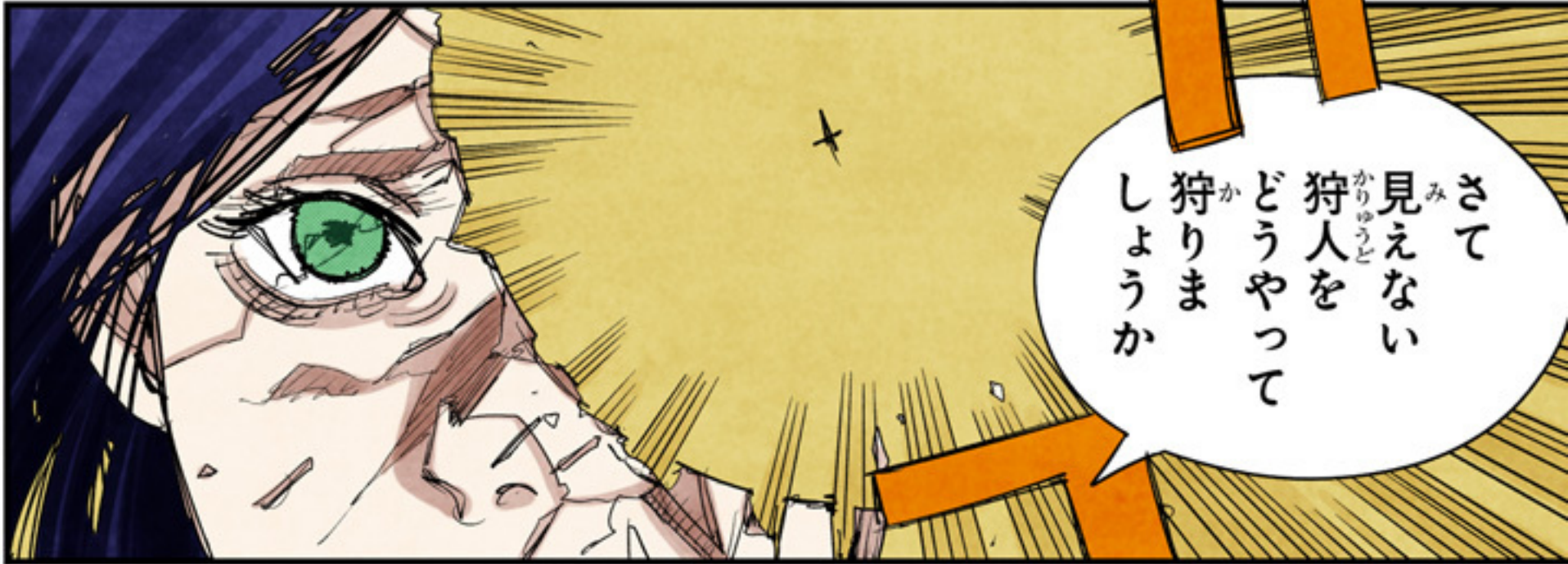
最初の
デビルハンター
と言われた
人間に会えて
光栄です





ちくちく
します

なるほど
痛覚も
他の人形と
分散が
できるの
ですね



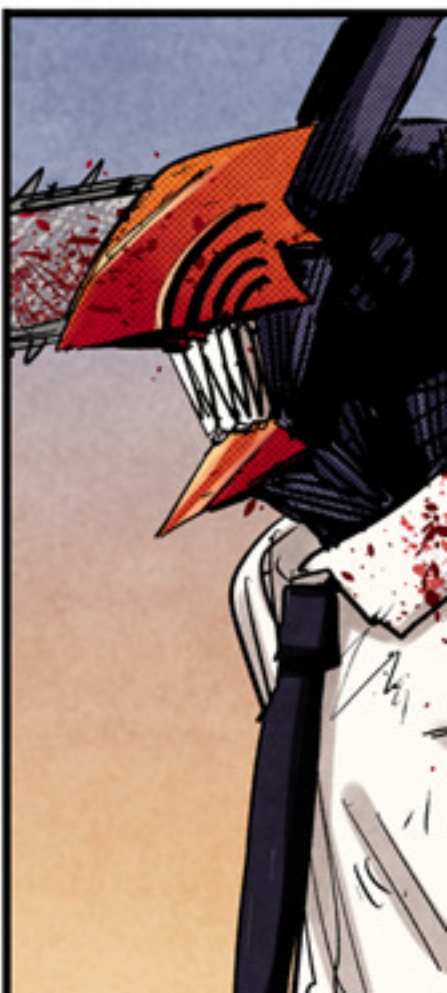
さて
見えない
狩人を
どうやって
狩りま
しょうか



うわあ〜...



ノコギリ君は
この人形を
殺せますか？





からだ
体なんか
かって
勝手に
動くぞ!?



あああ
!!!

なんだ
なんだ!?



あれ...?
私のウデ
...?
私のウデ...



あくま
悪魔!
あくま
悪魔だ!

いやああああ

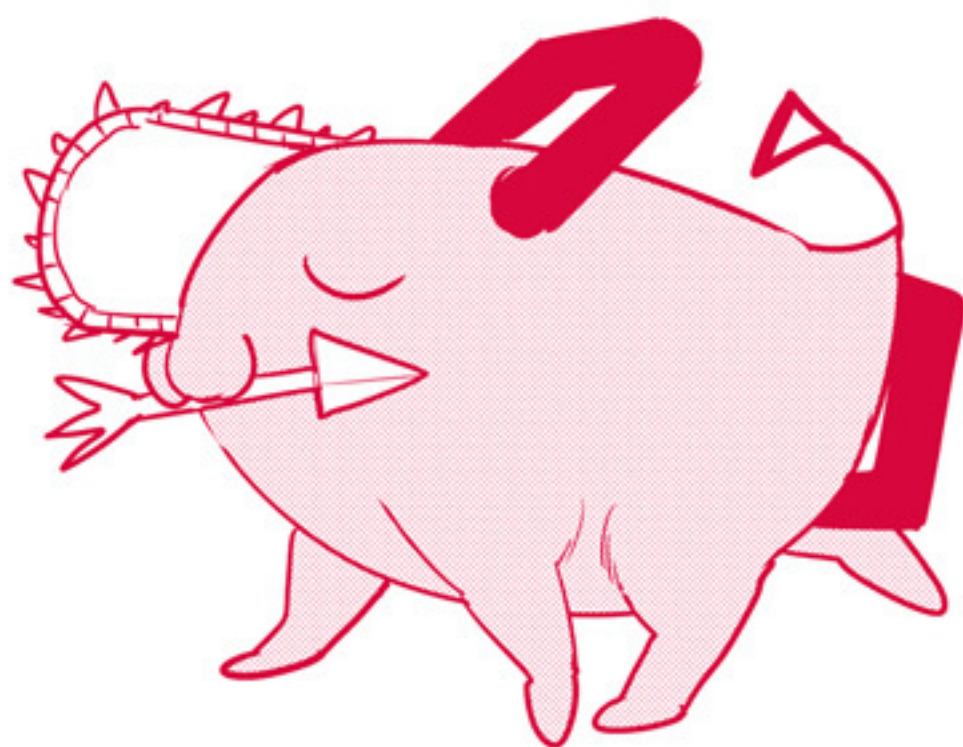
あああ
ああ!

なんで
ええ!?
ええ!
足動かつ
ええええ!?

うわあ
ああ!

マジ
かよ〜!?

すっげえ
ワルの敵が
使ってくる
ヤツ
じゃ〜ん!!



Chain saw man

きゃああああ

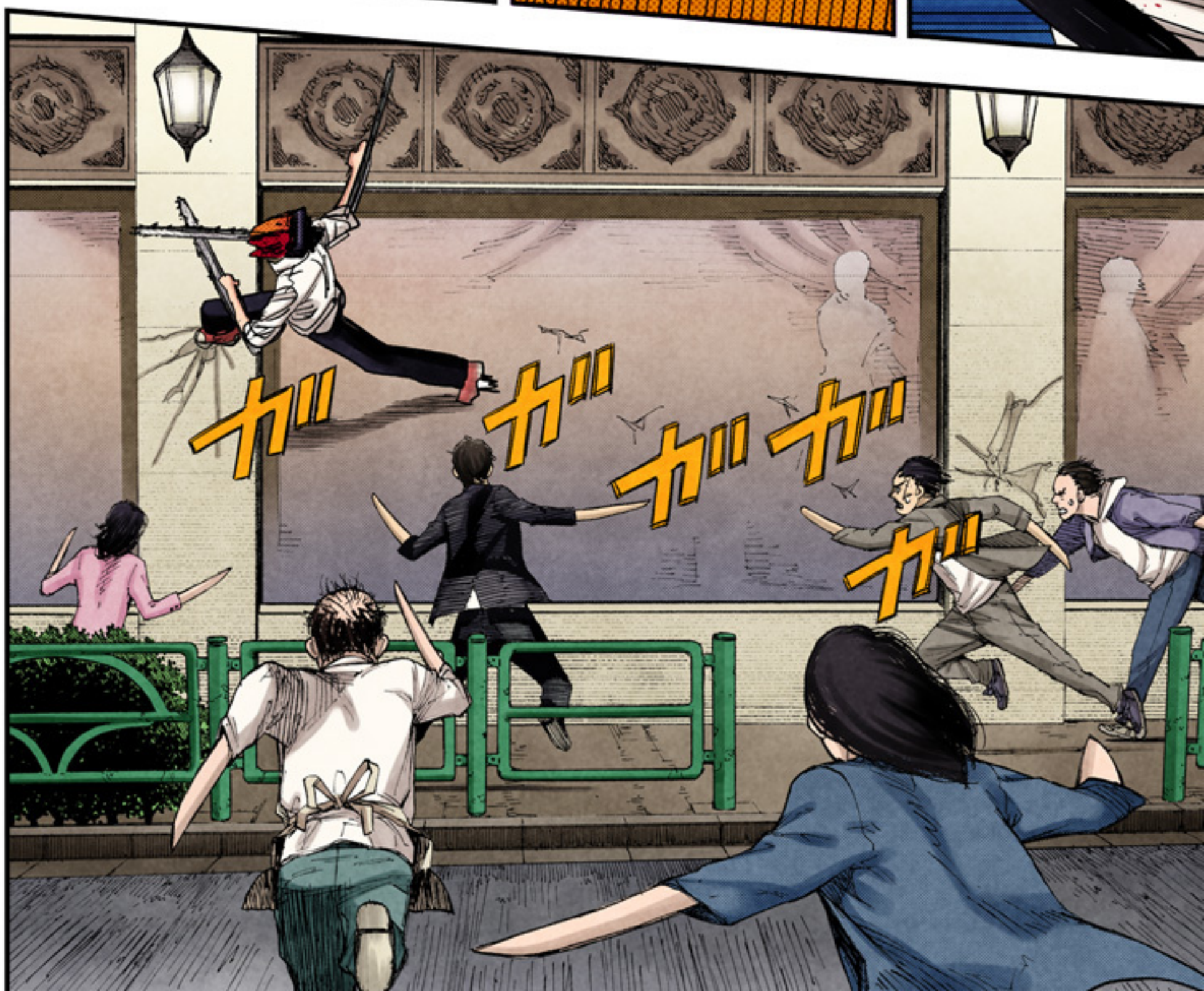
いやああ!

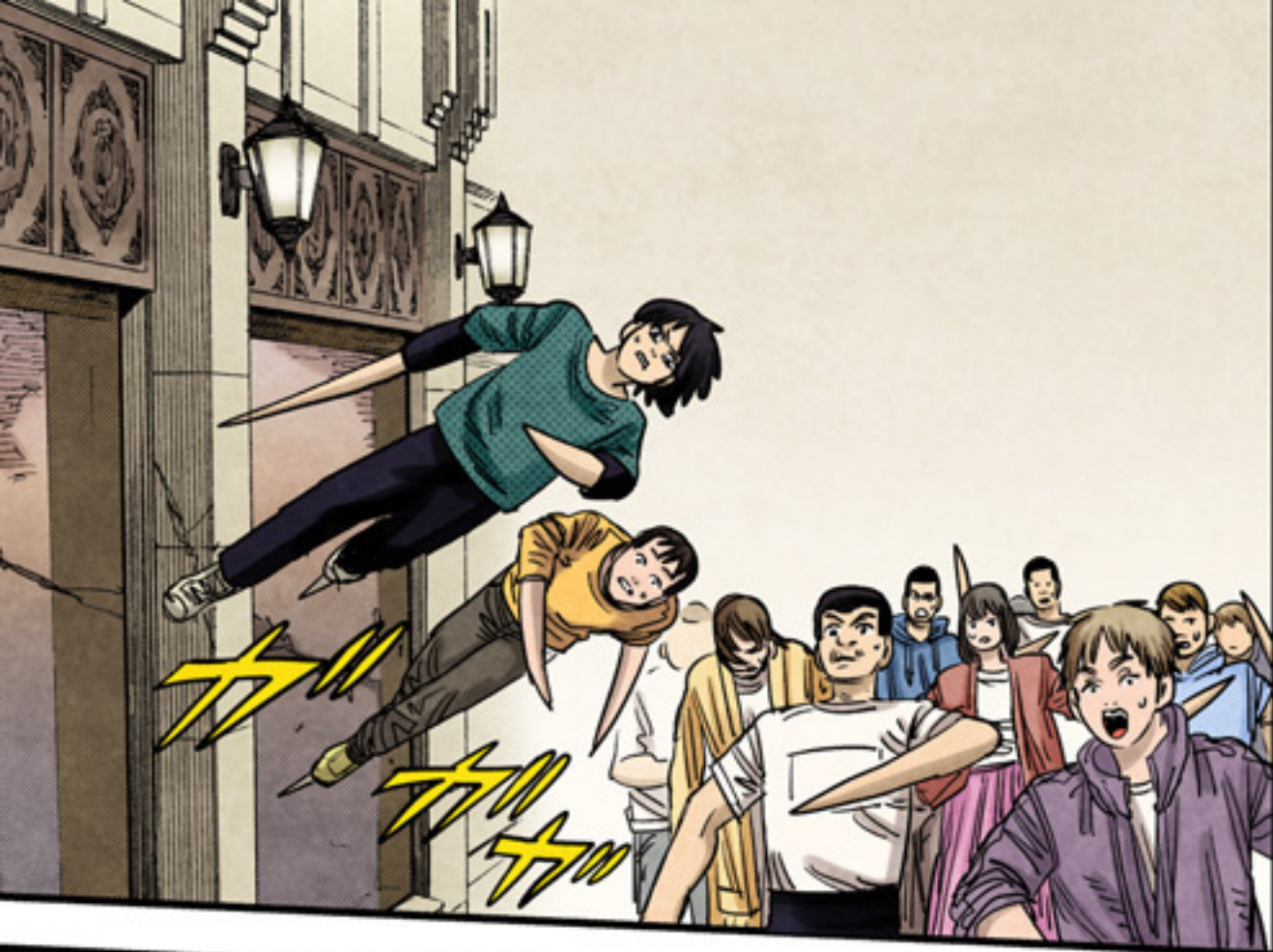
マジか
く!?

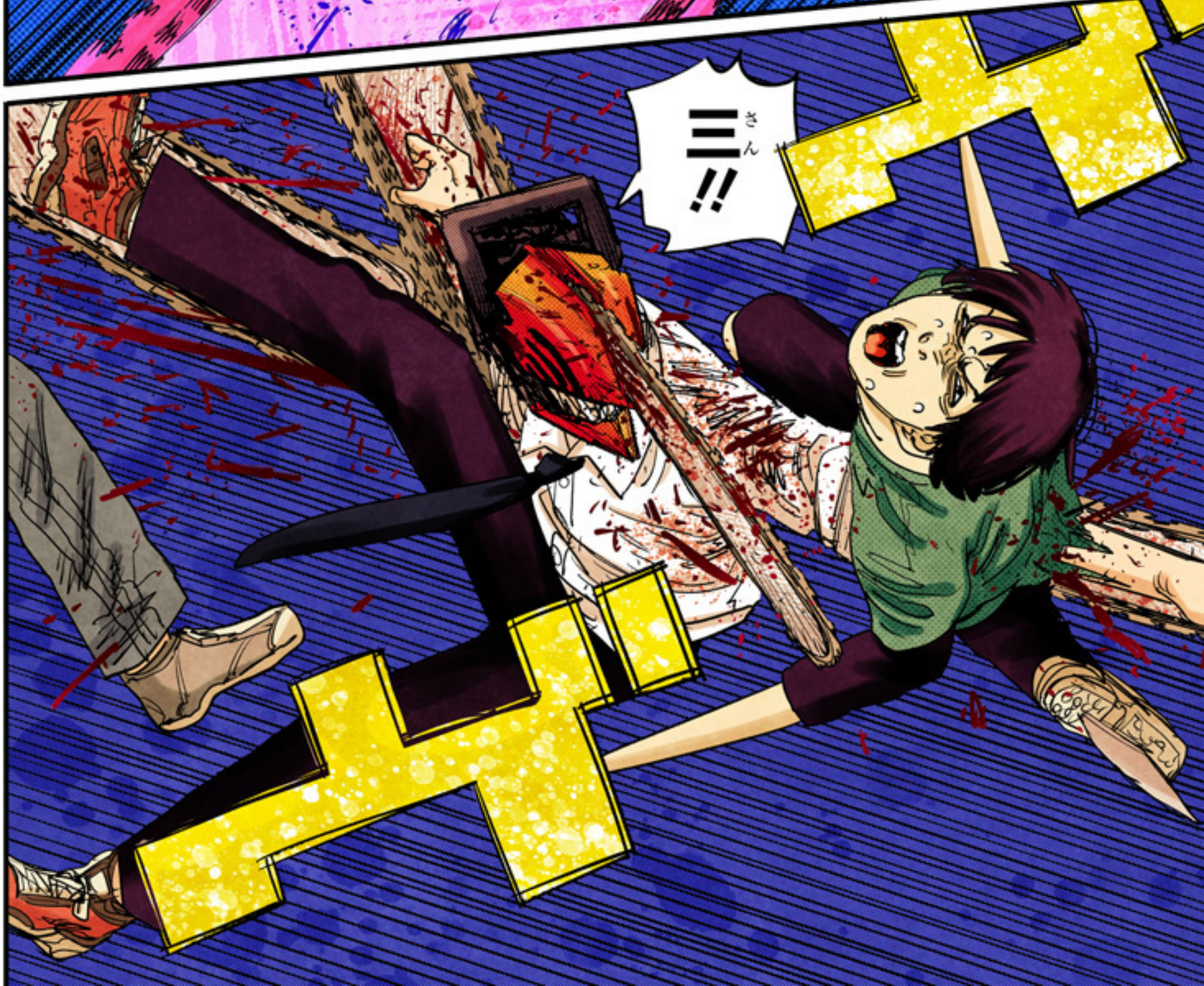
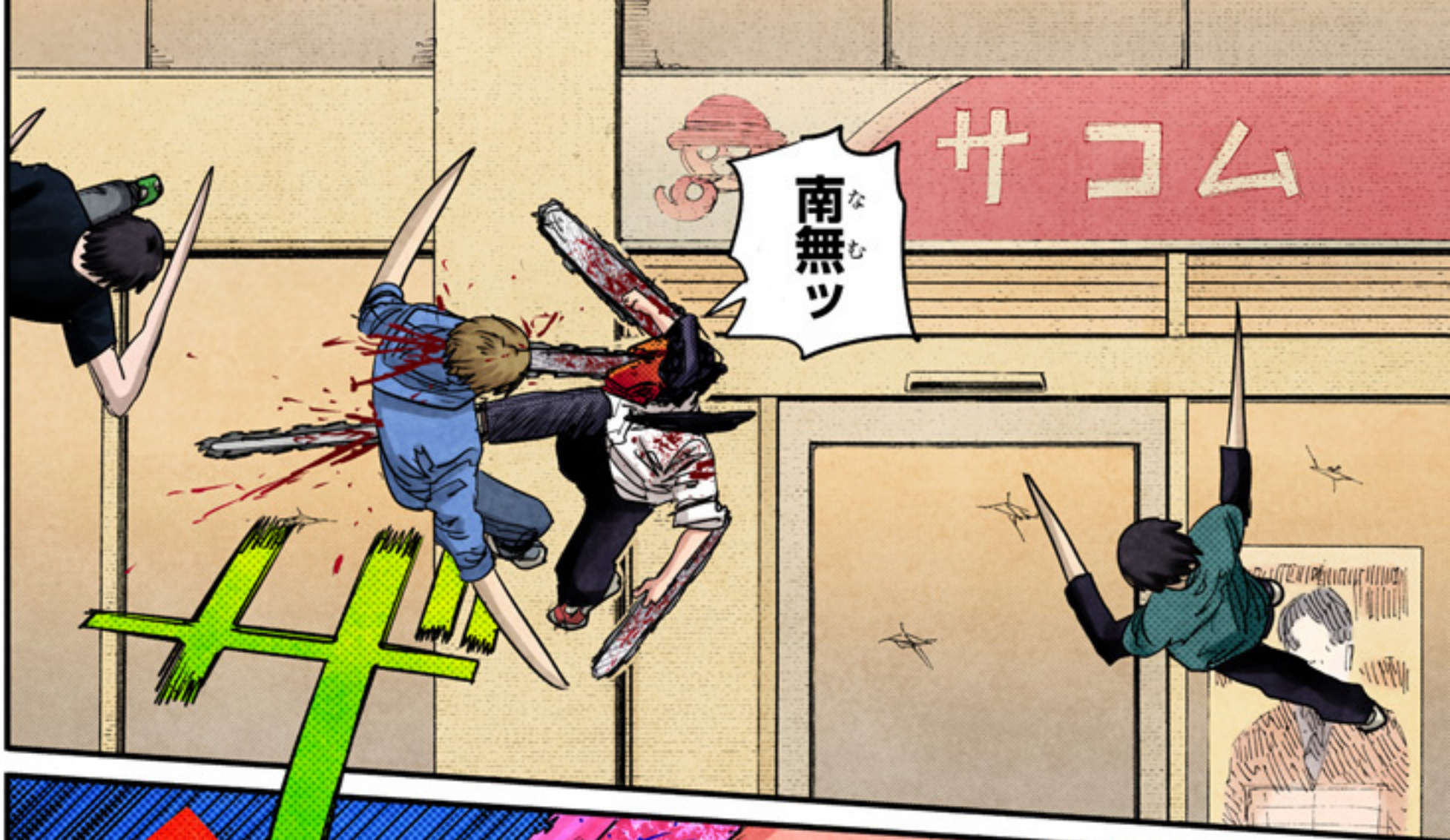
【第 68 話】 ダークパワー

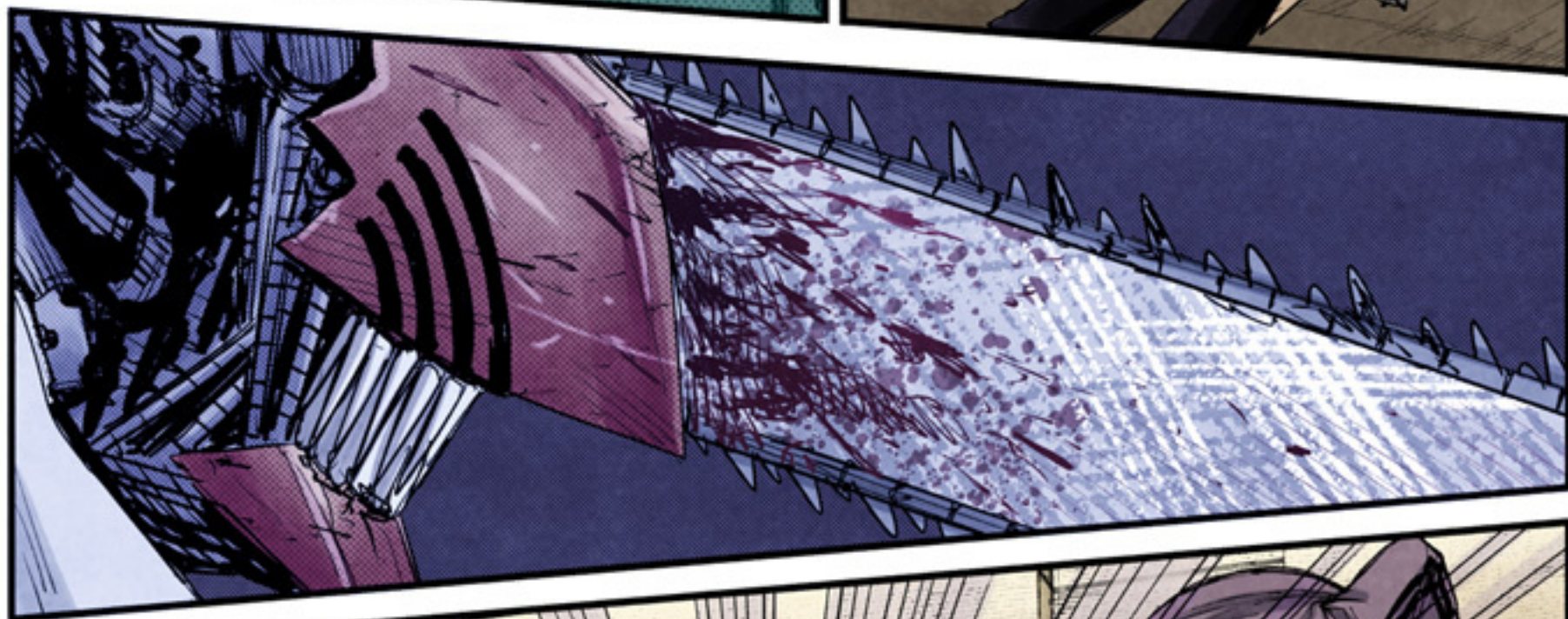
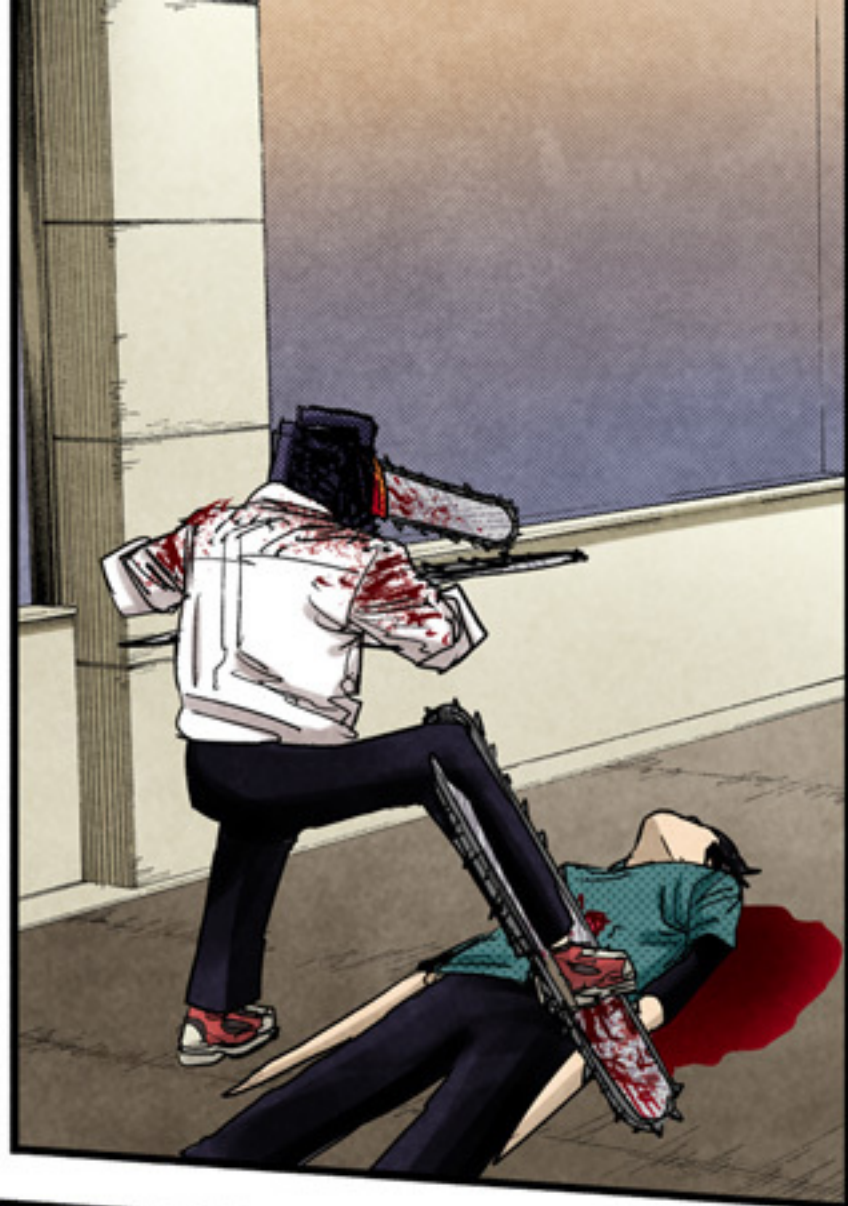
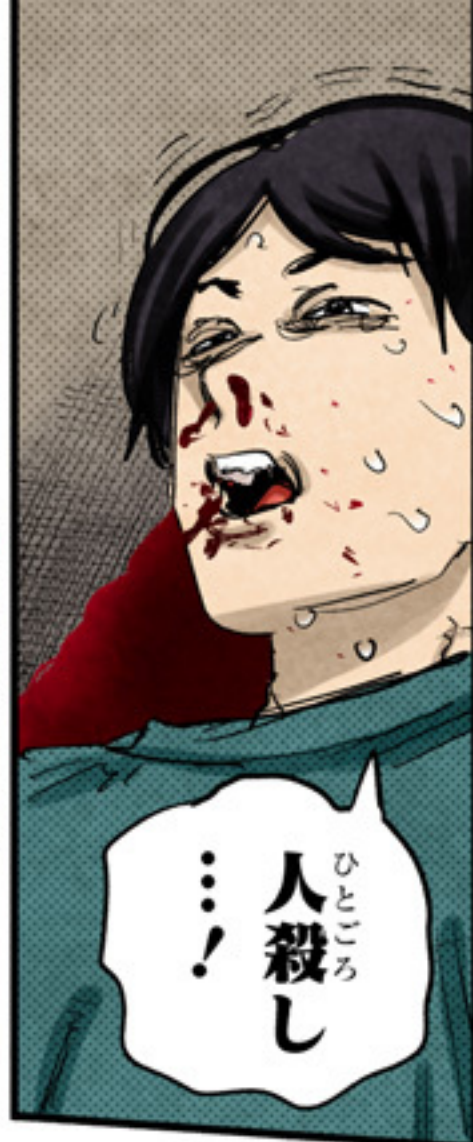
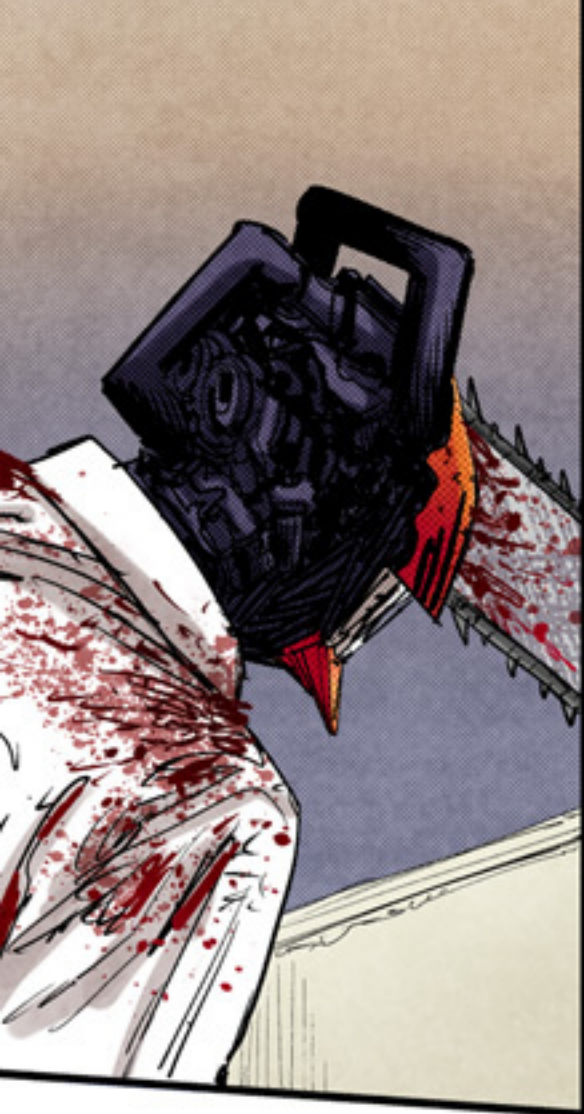
無理
無理
無理!!

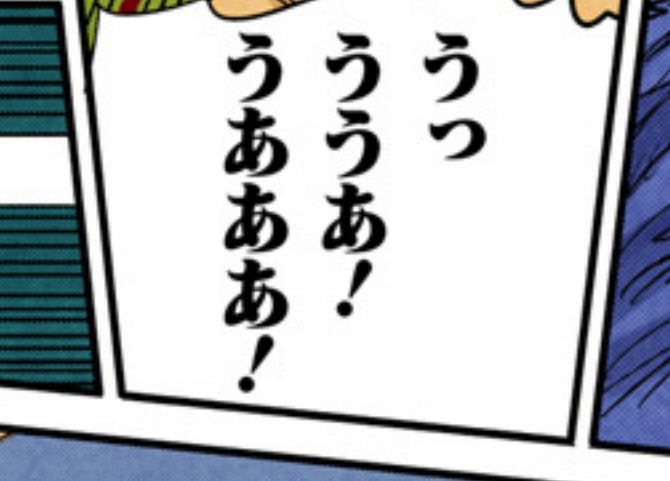
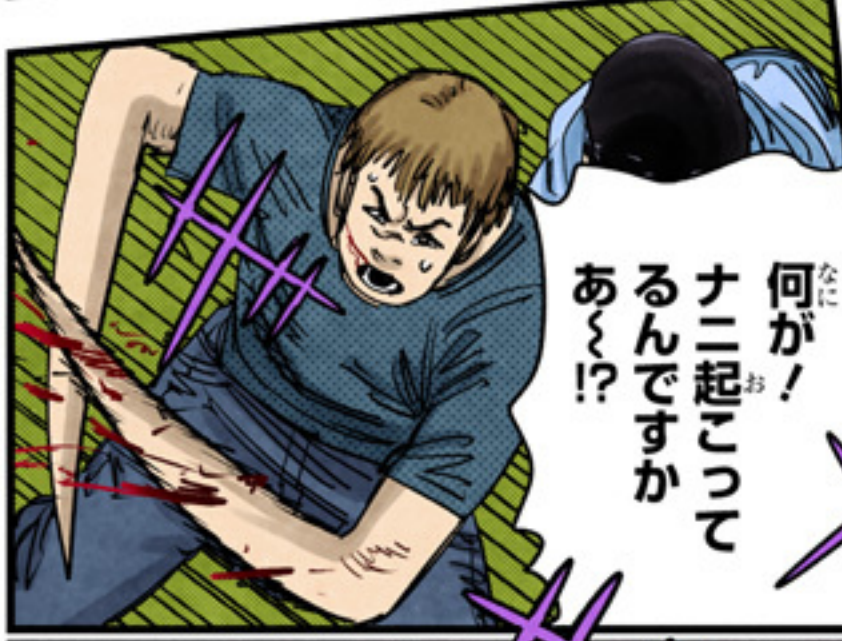
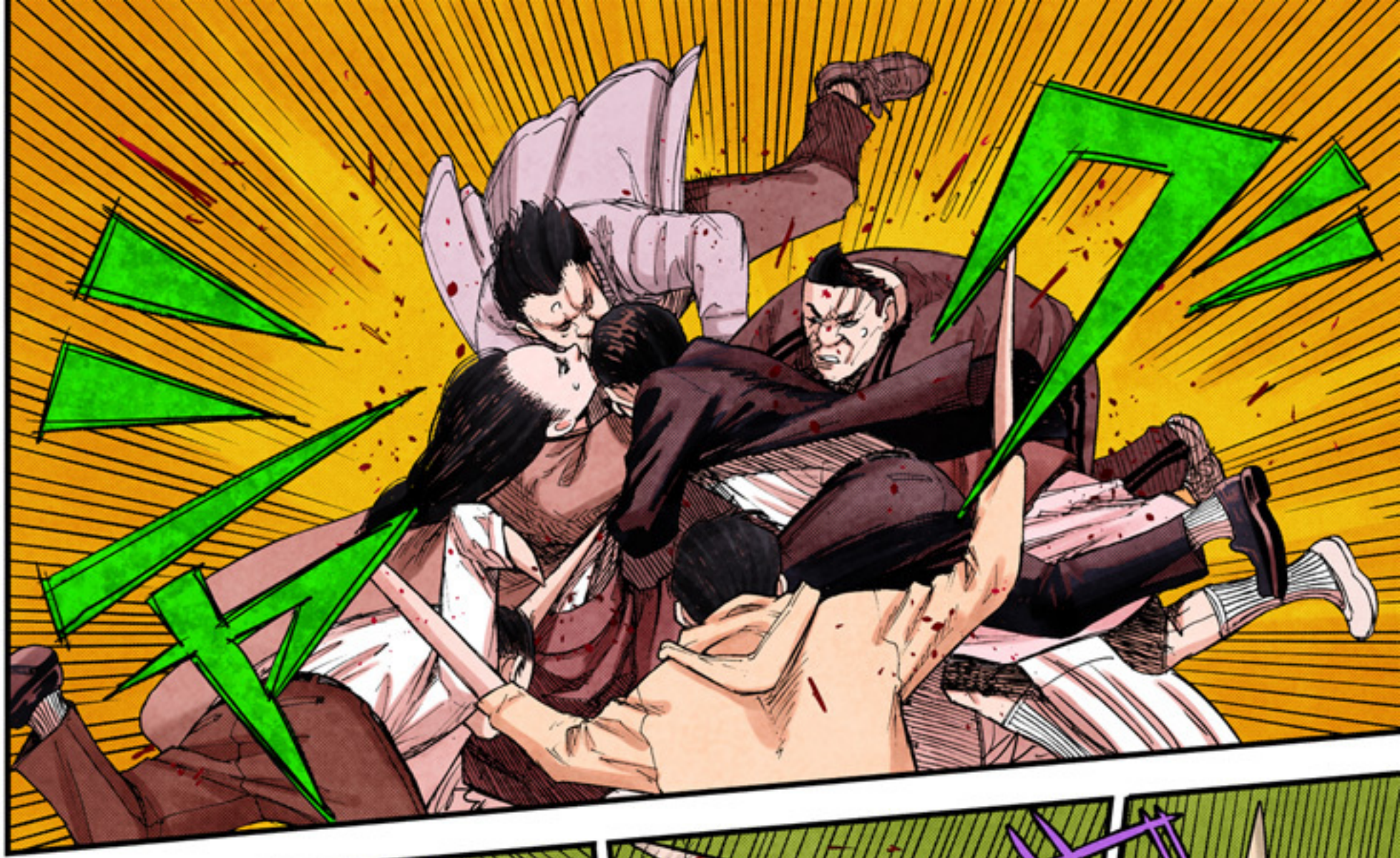
デビル
ハンターに
これを
殺せ
ますか?

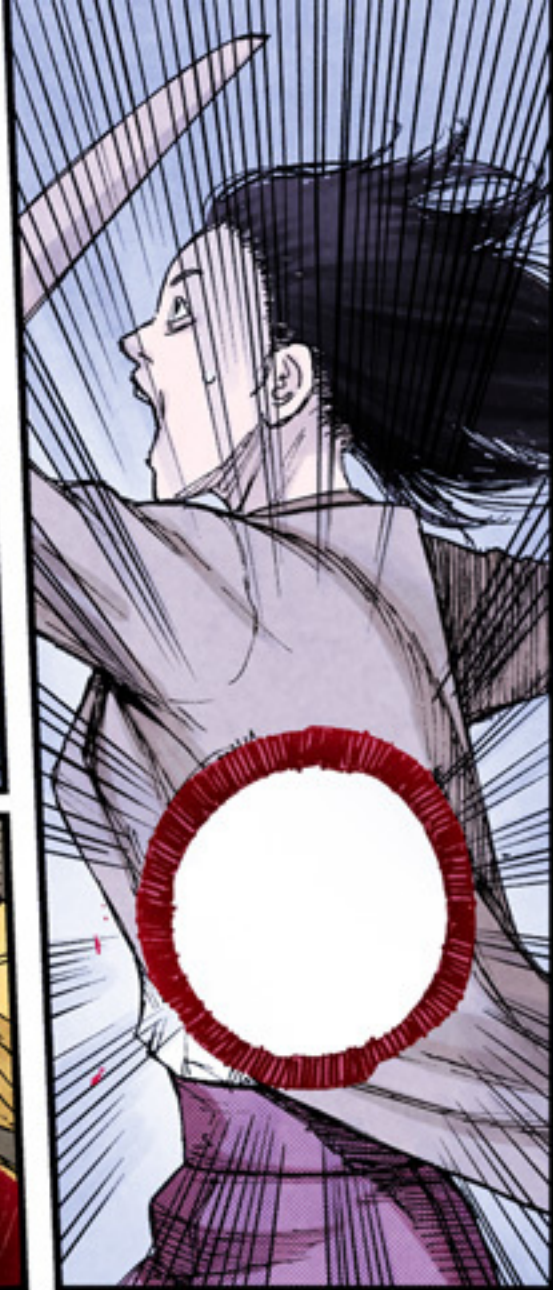










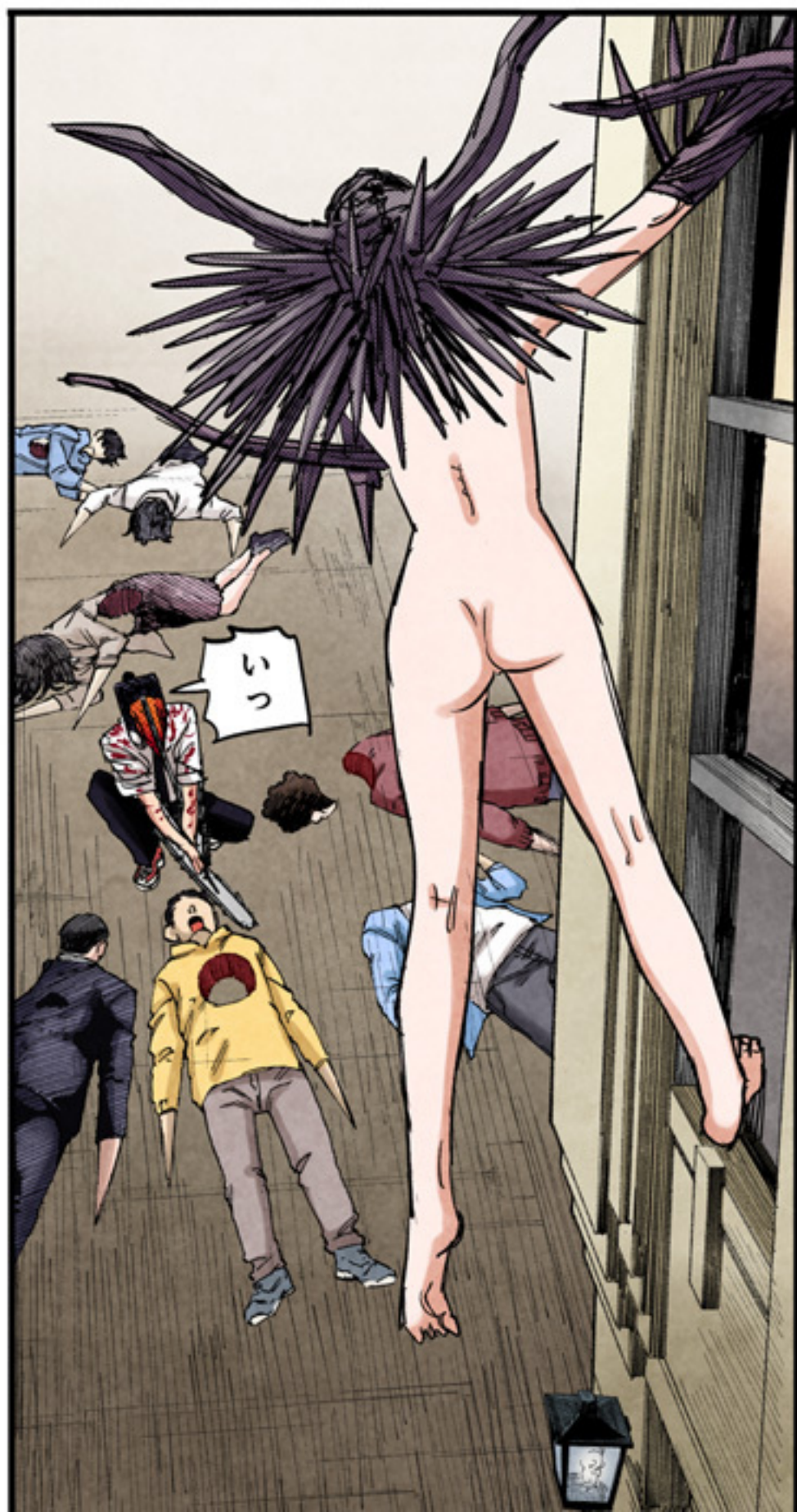


あう…
あう…



人形が
人のマネを
している
だけだ

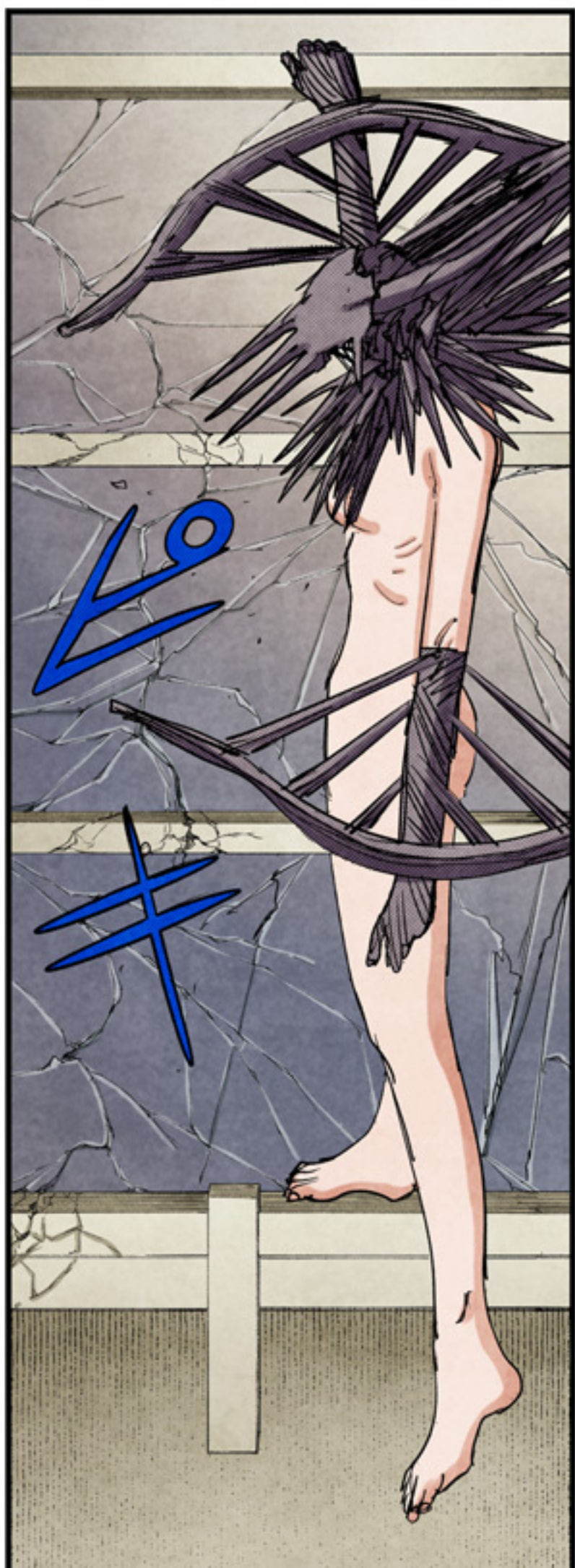
躊躇せず
殺せ



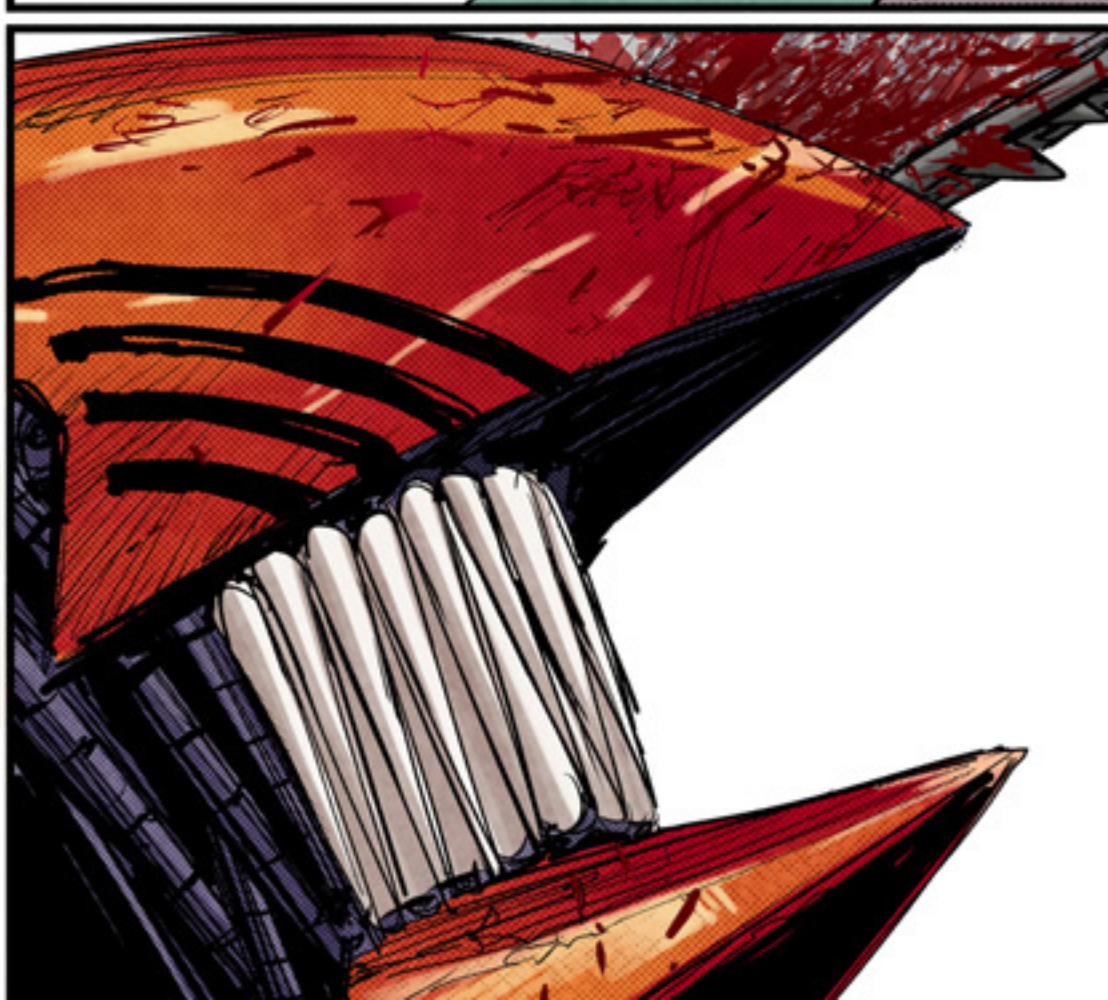
なんで
んな事
てメエが
わかん
だよ!!

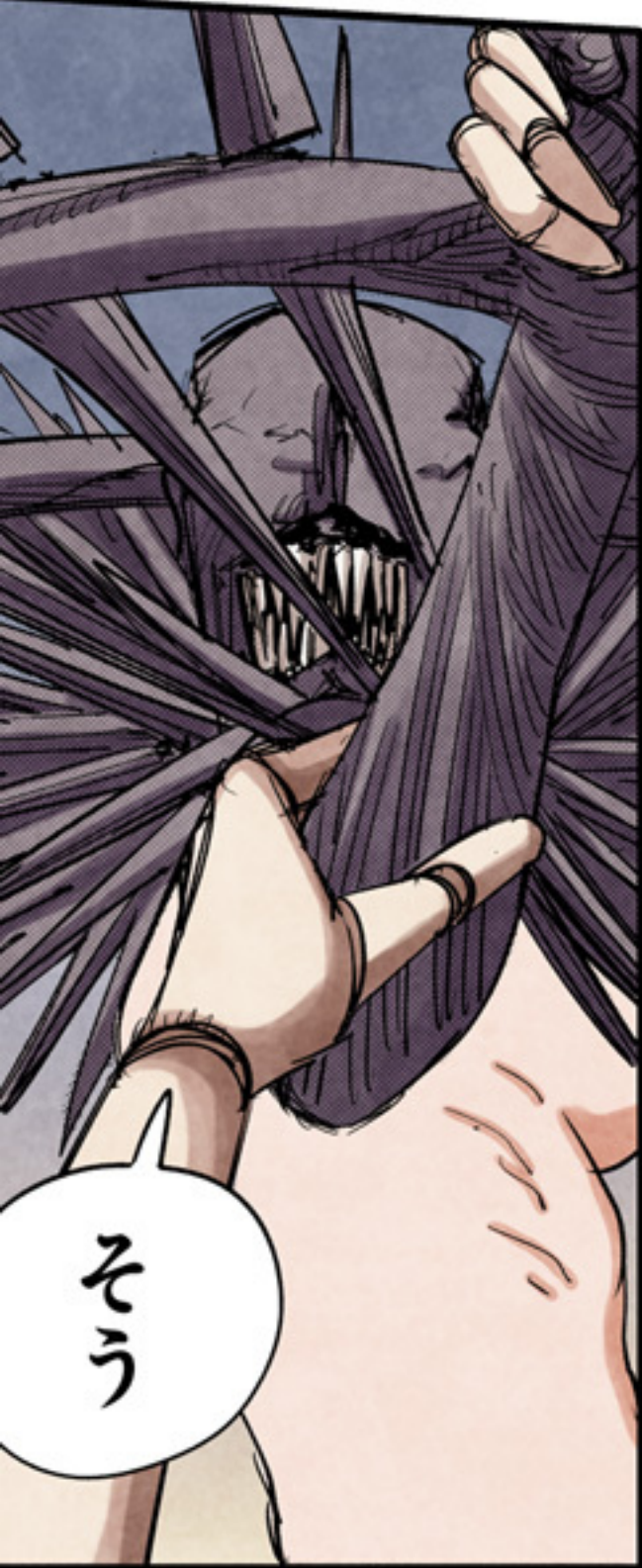
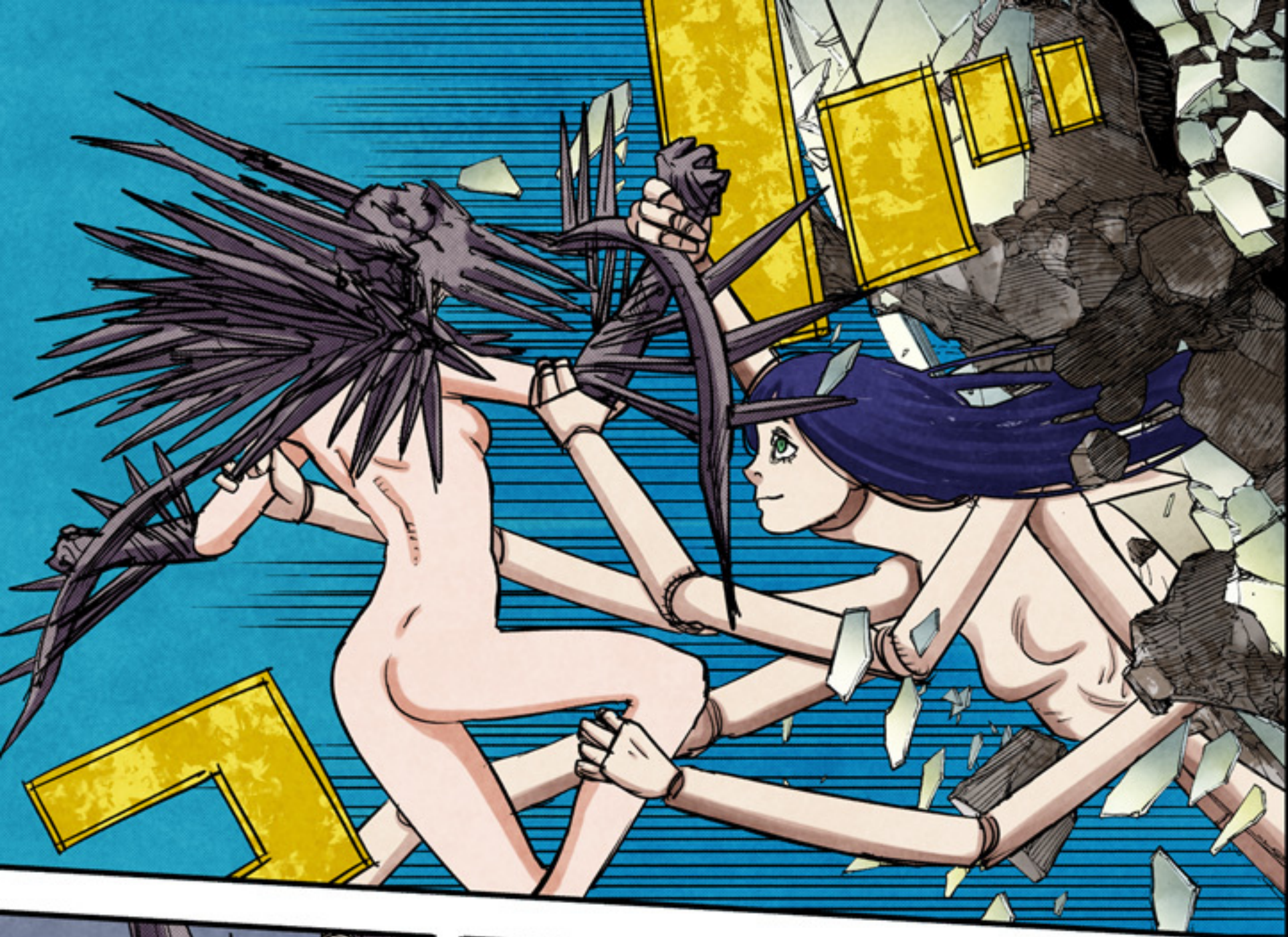


そういう事^{こと}で
理^り解^{かい}すれば
殺^{ころ}せるだろ



バカに
なれ
デンノユ

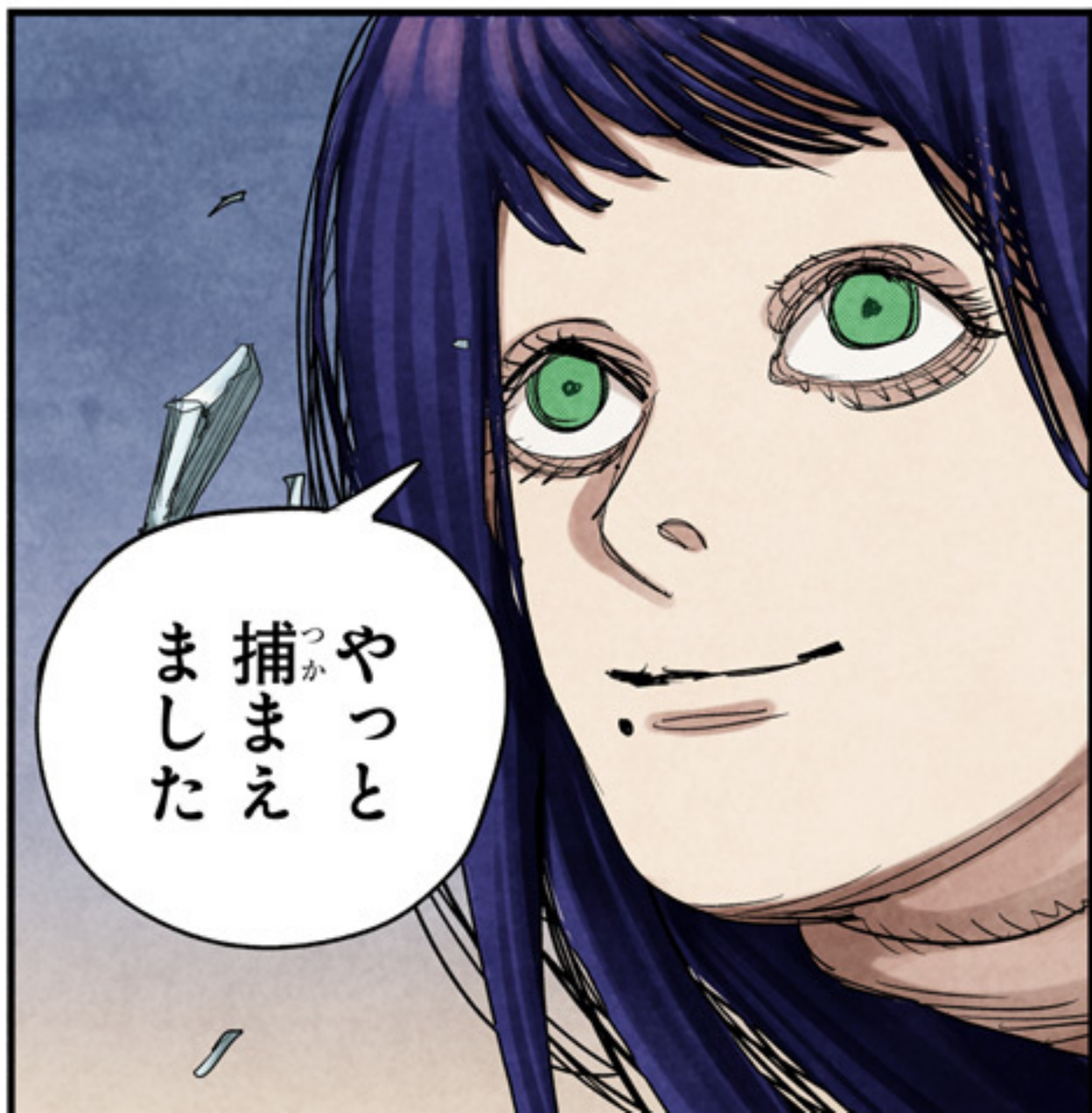




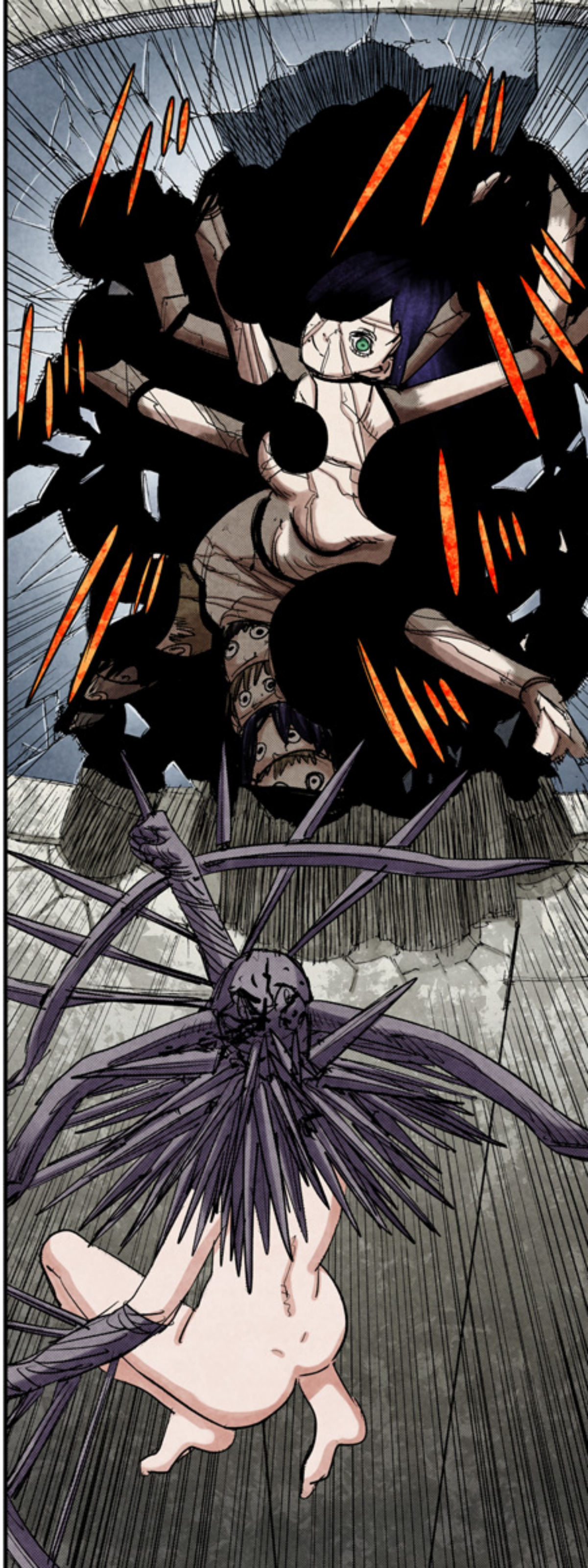
そう



あ!?



やっとつかまえました





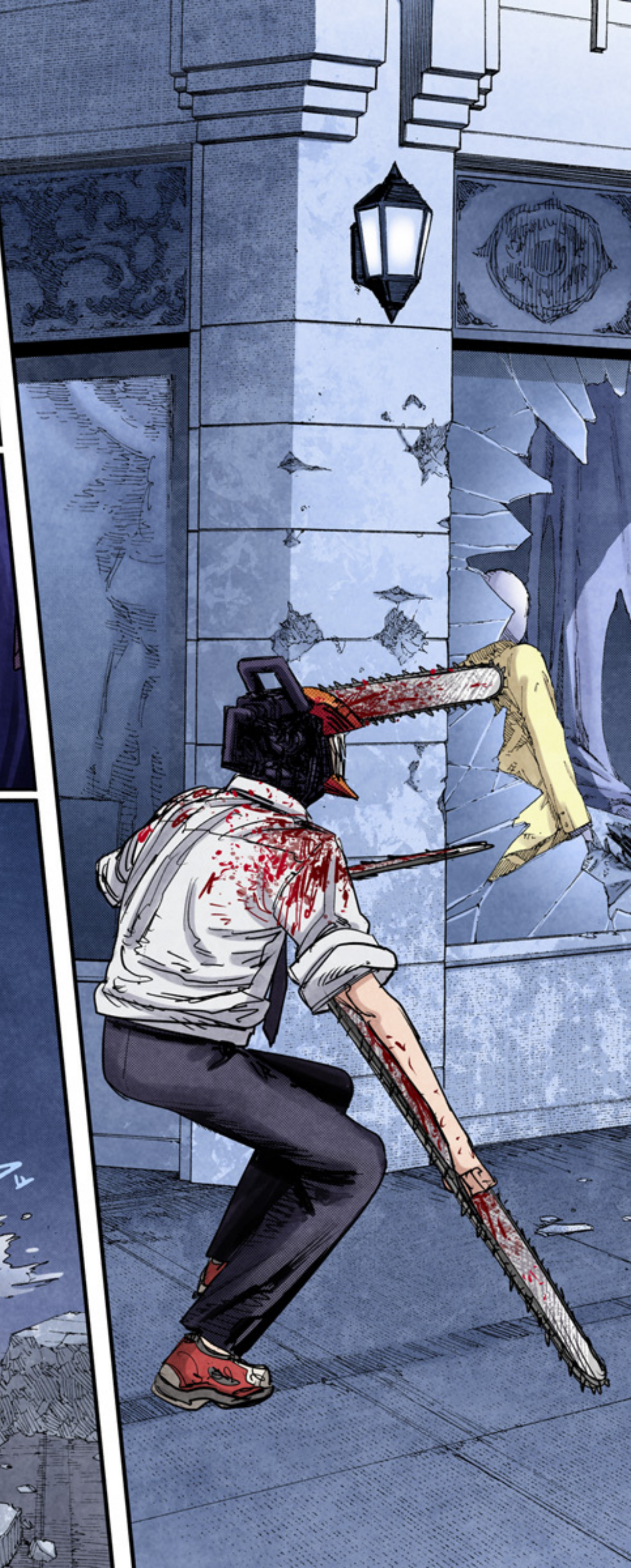
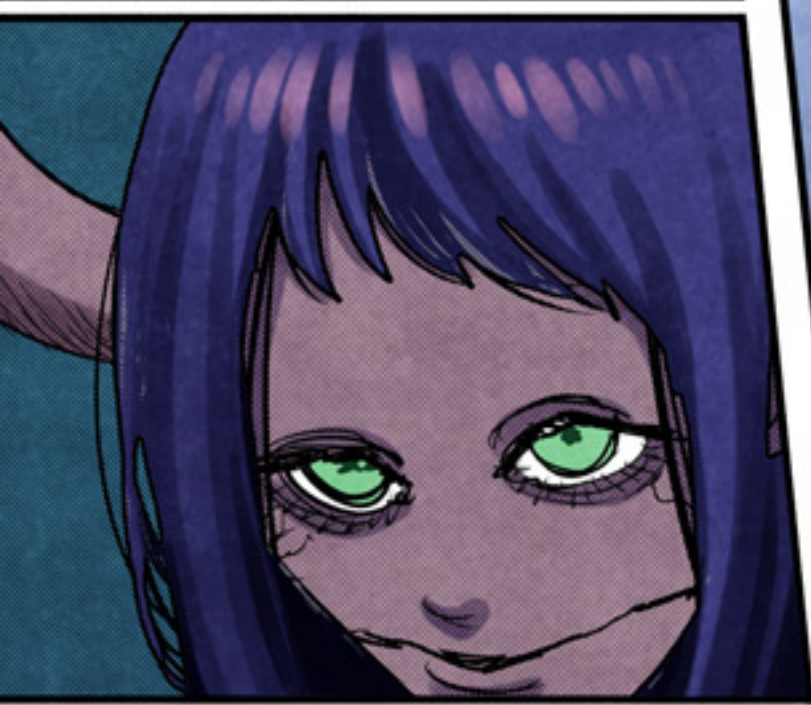
よる
夜が
くる…

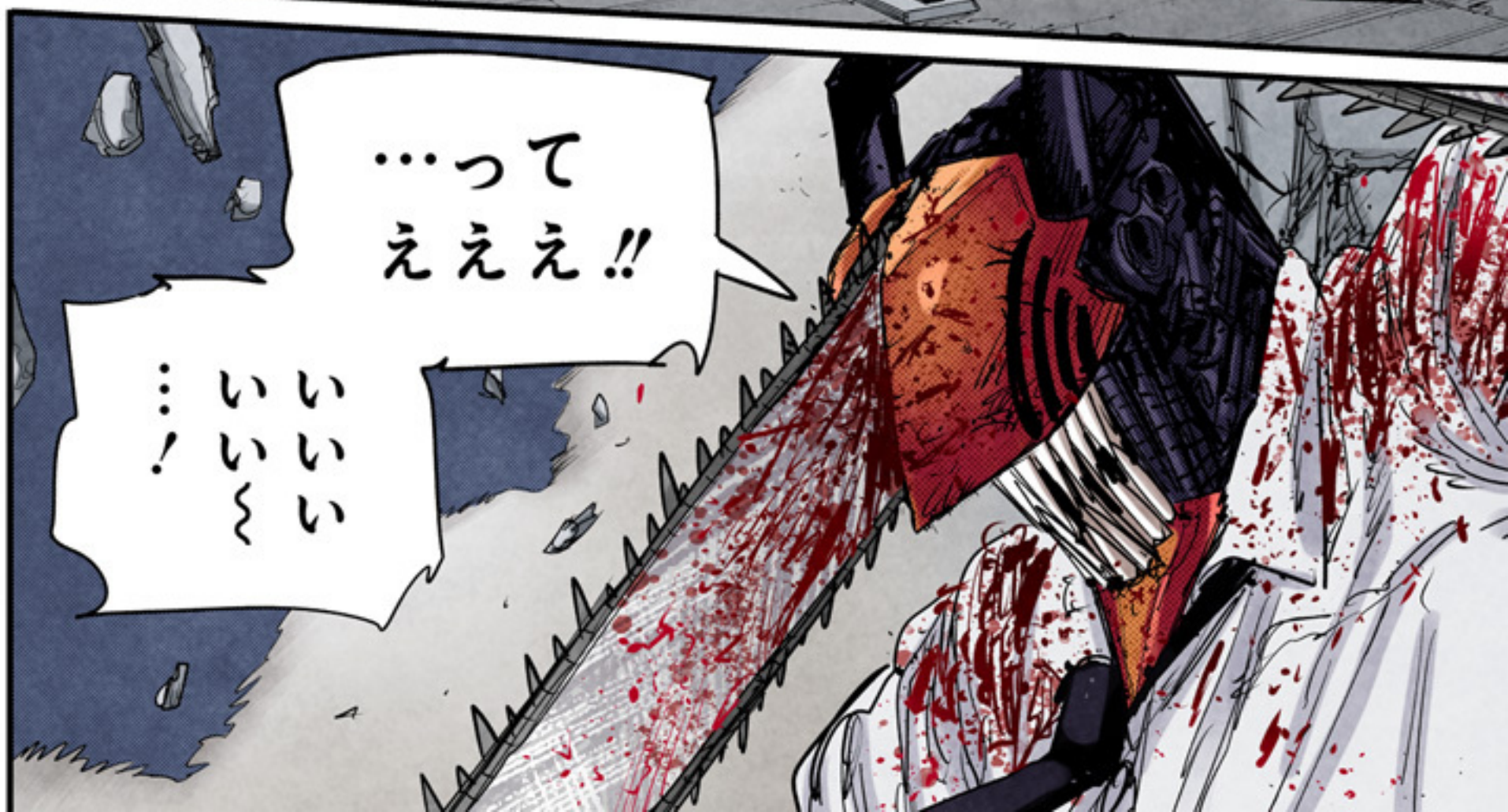
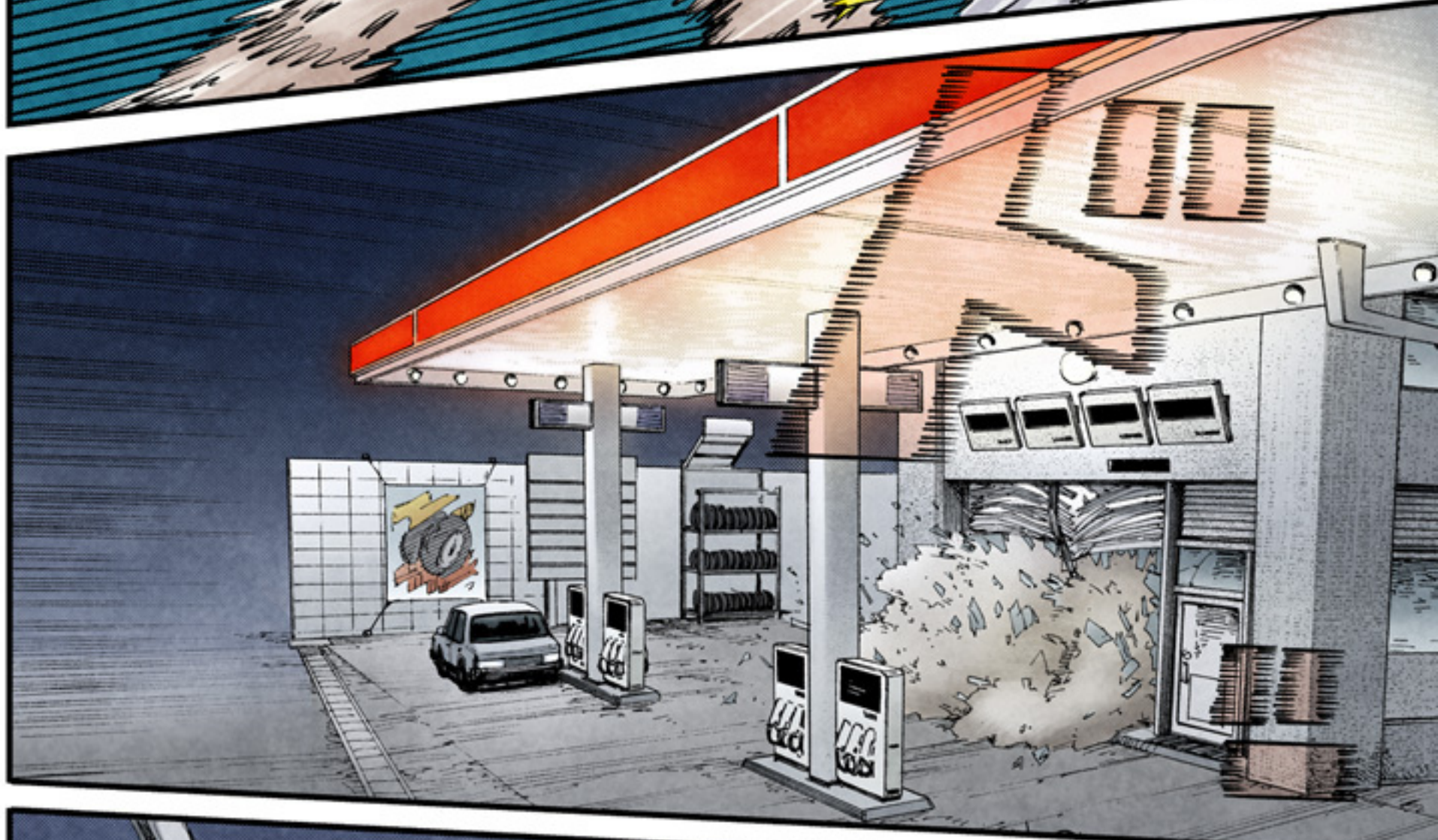
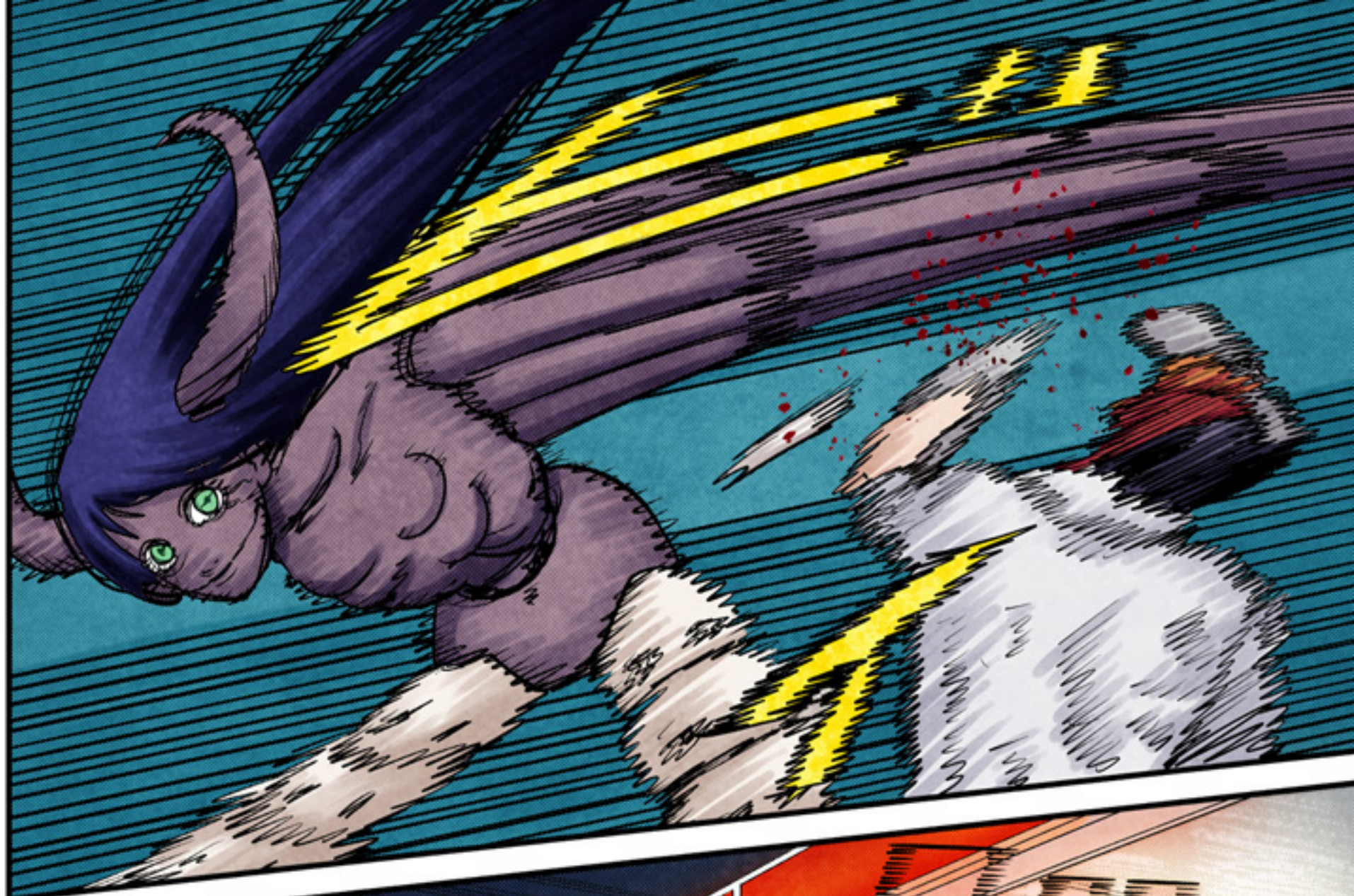


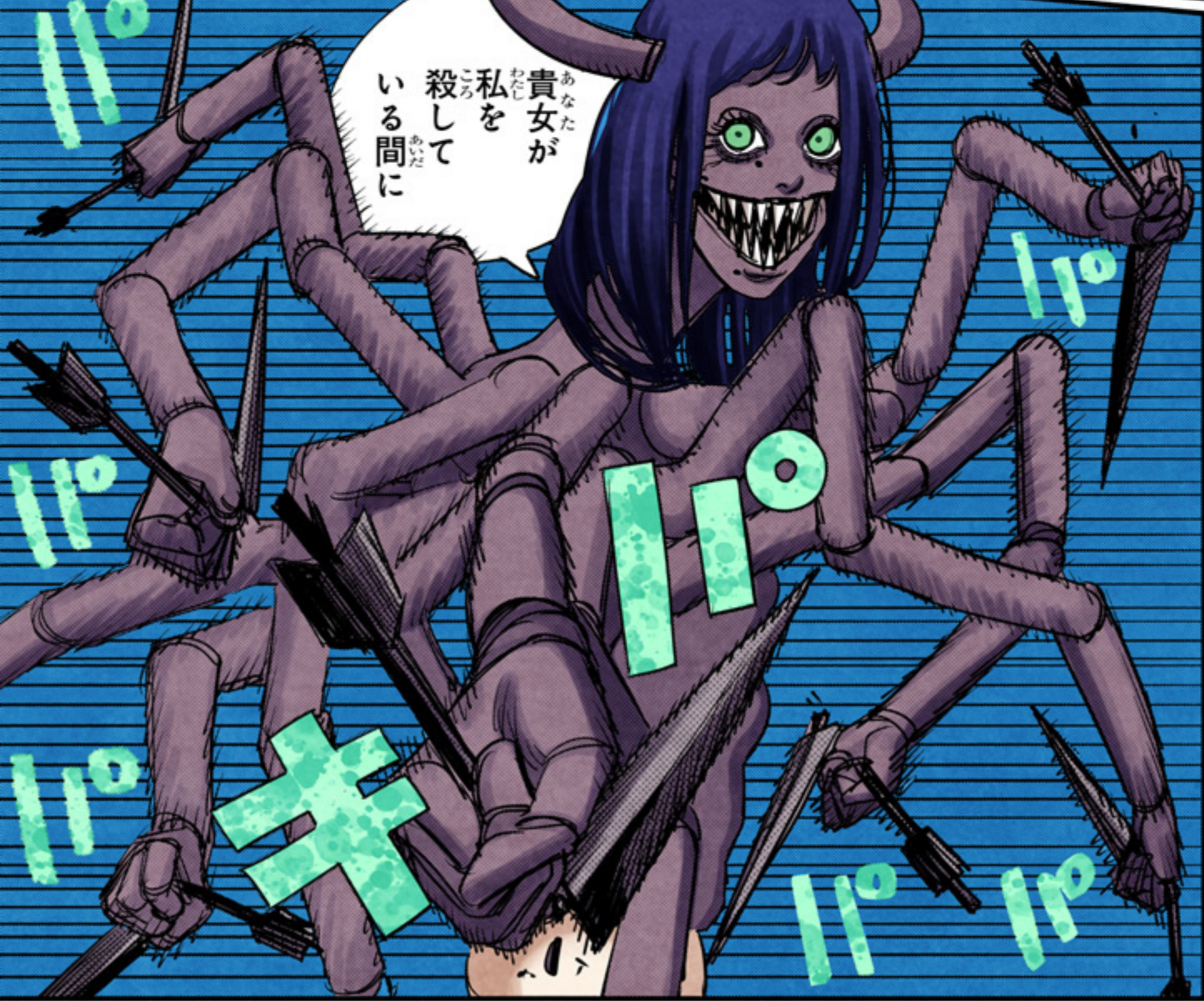
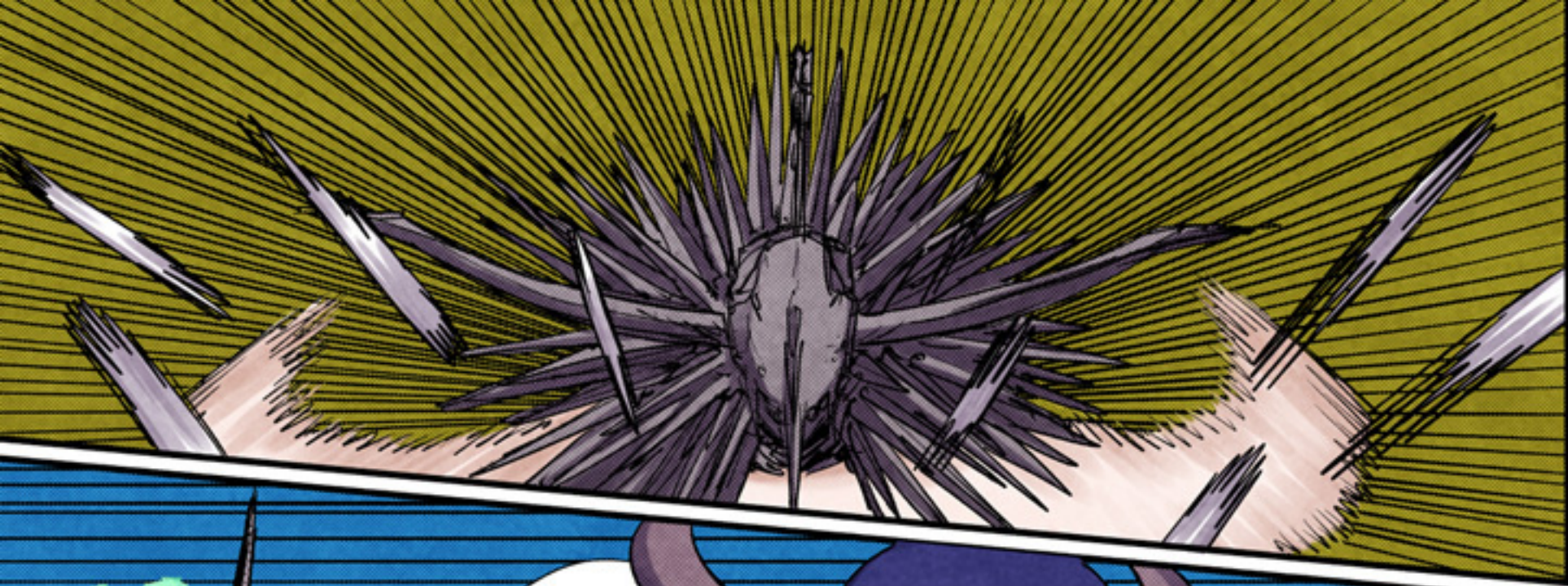
ふ
ふ
ふ
ふ
ふ

これが
やみの
闇の力
なの
ですね

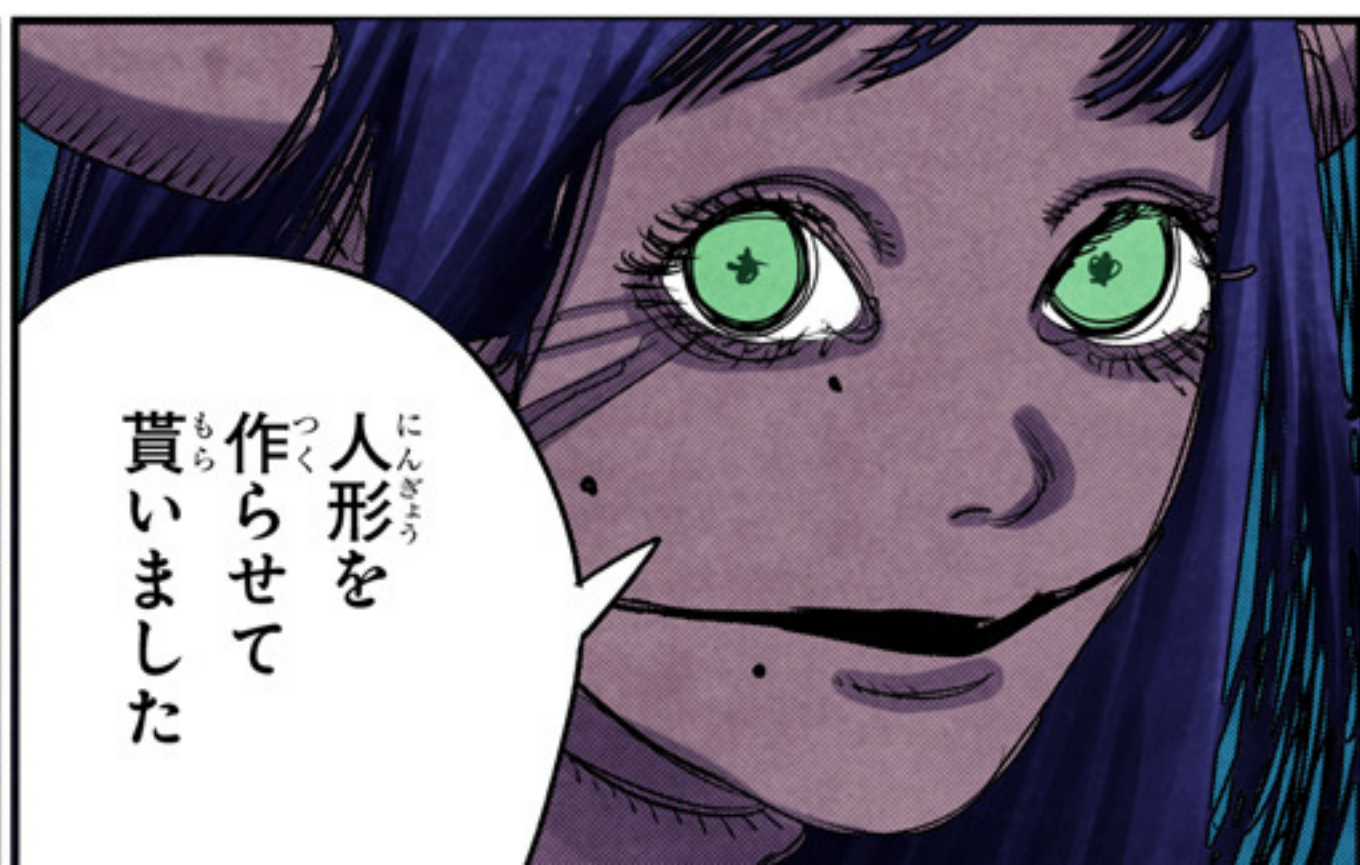




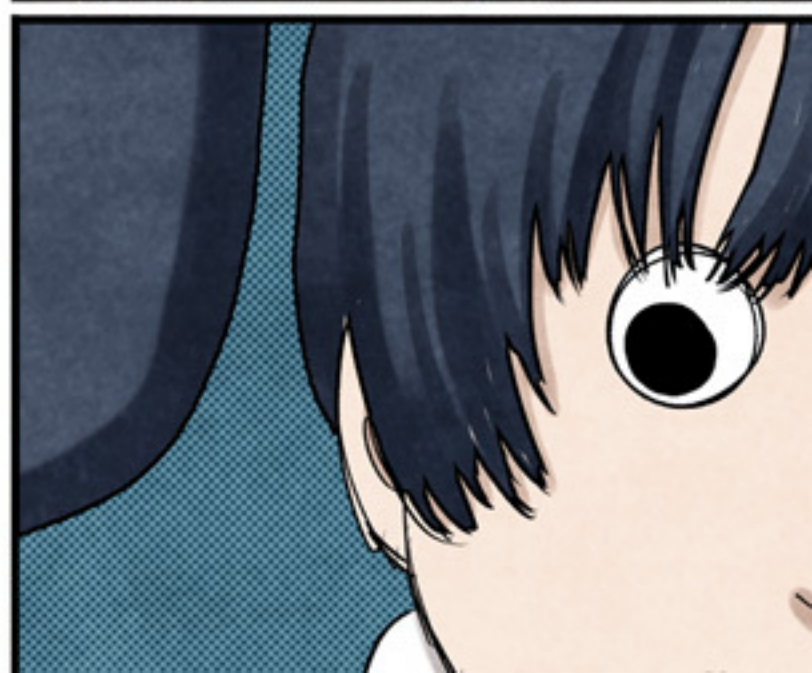
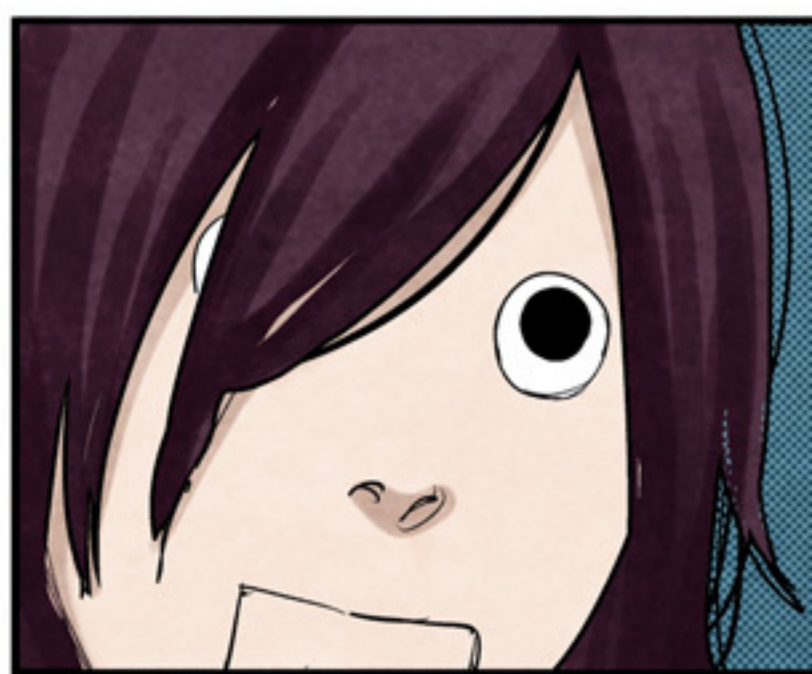
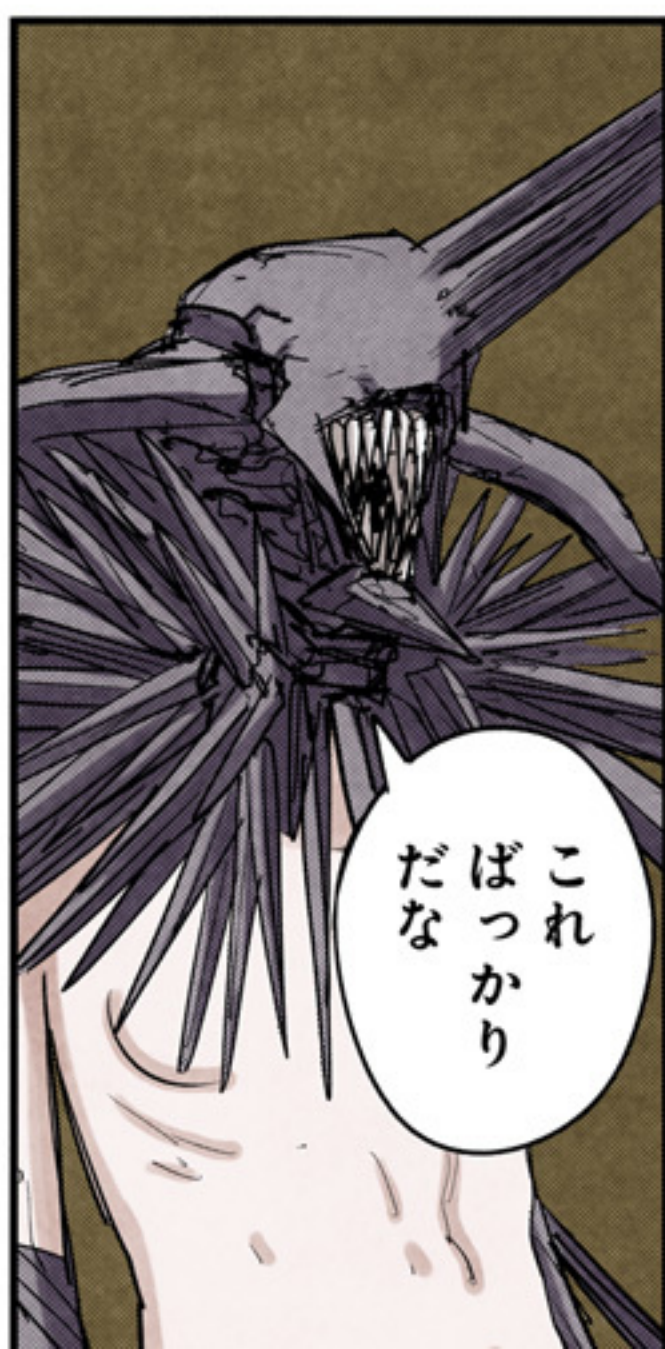
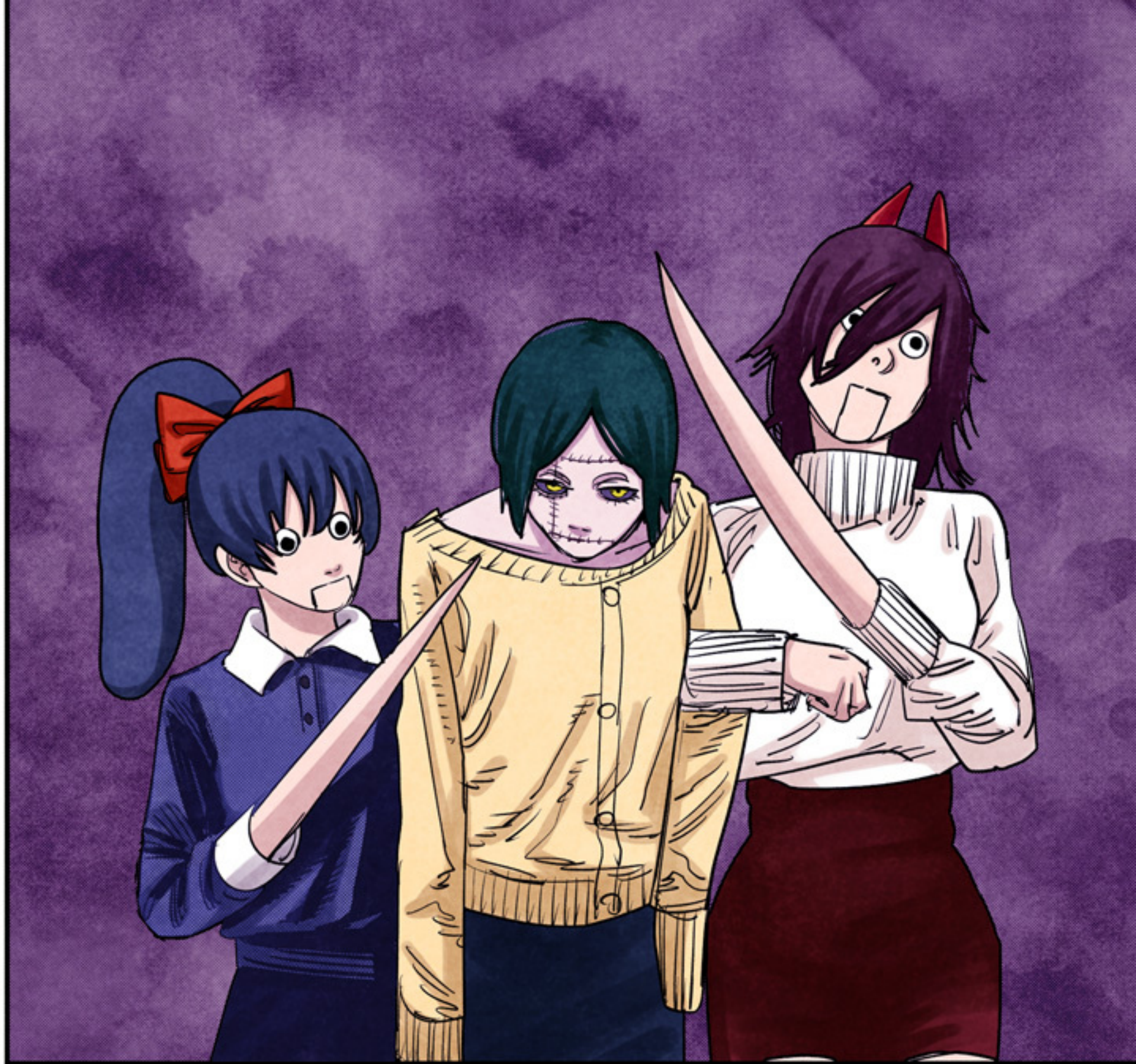


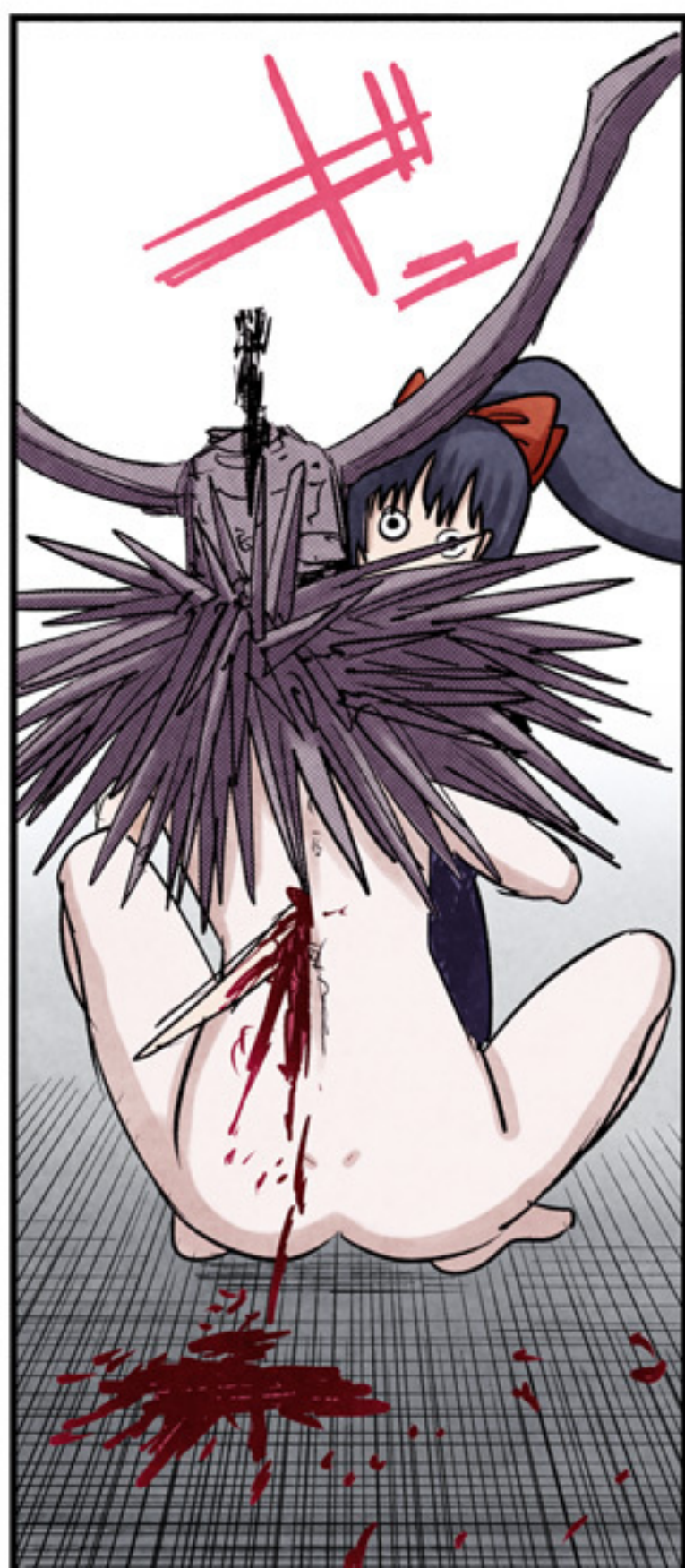
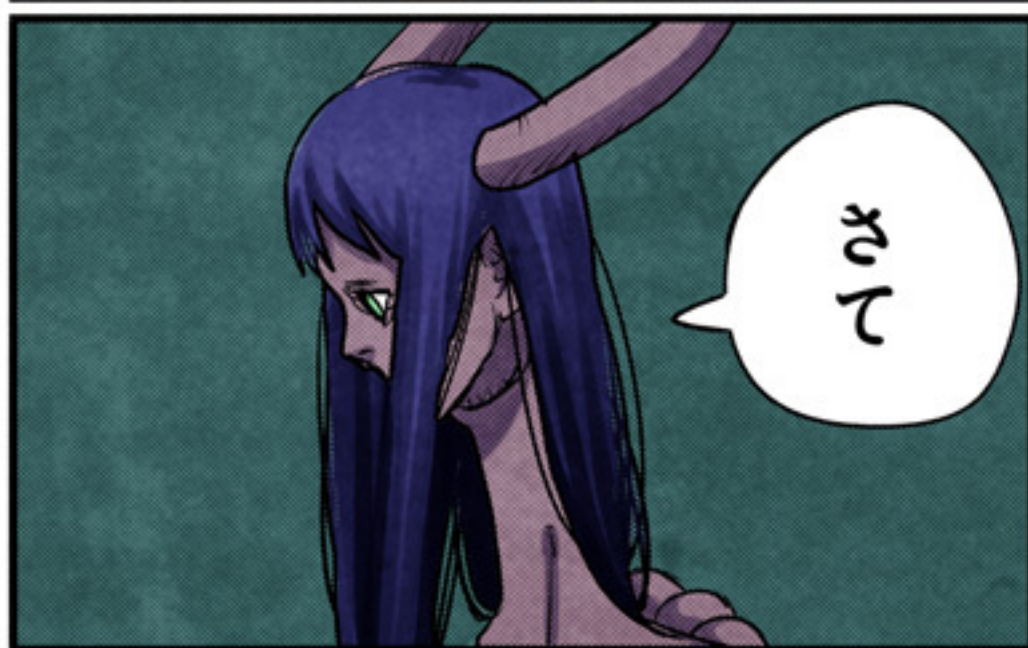
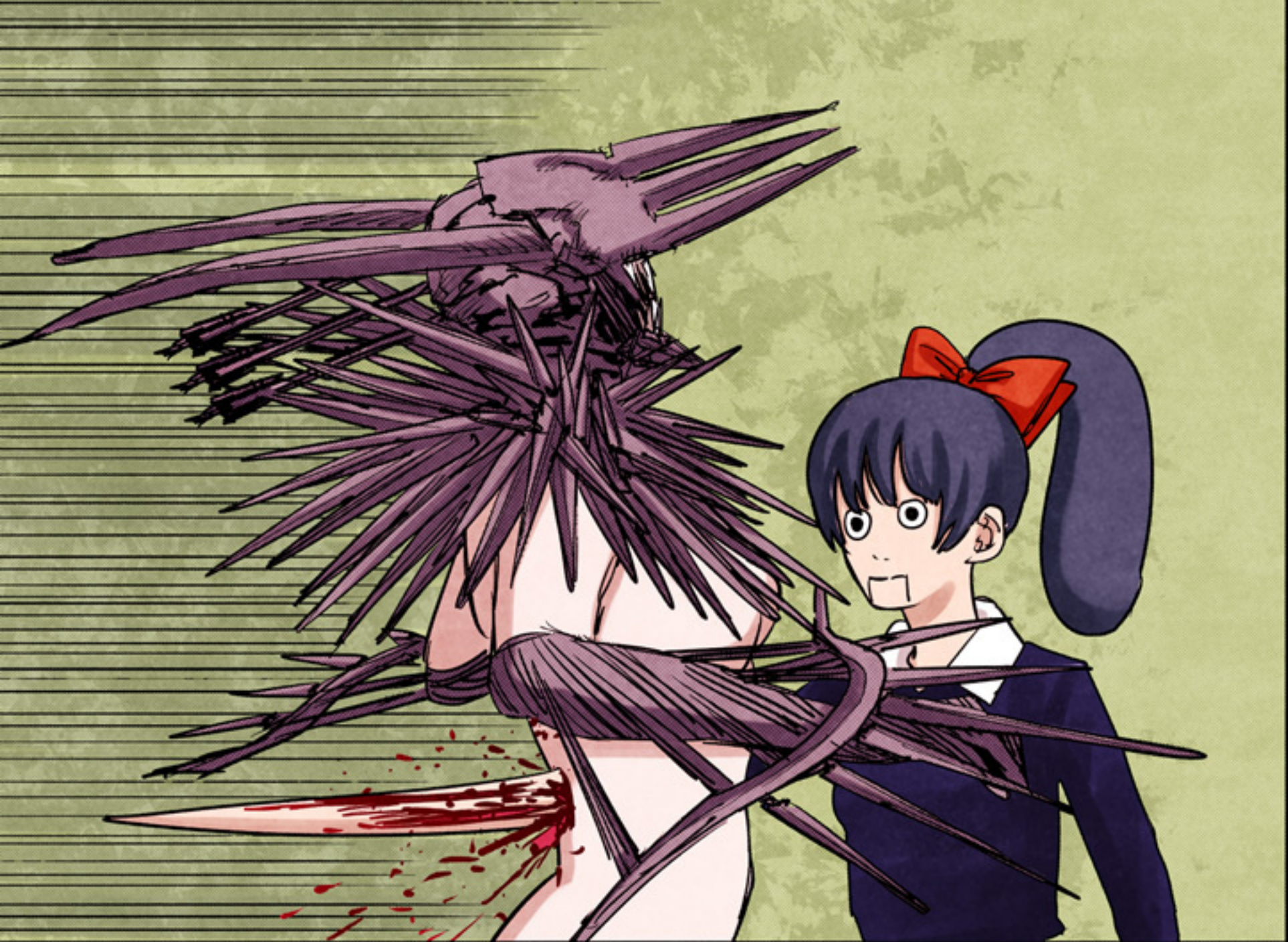


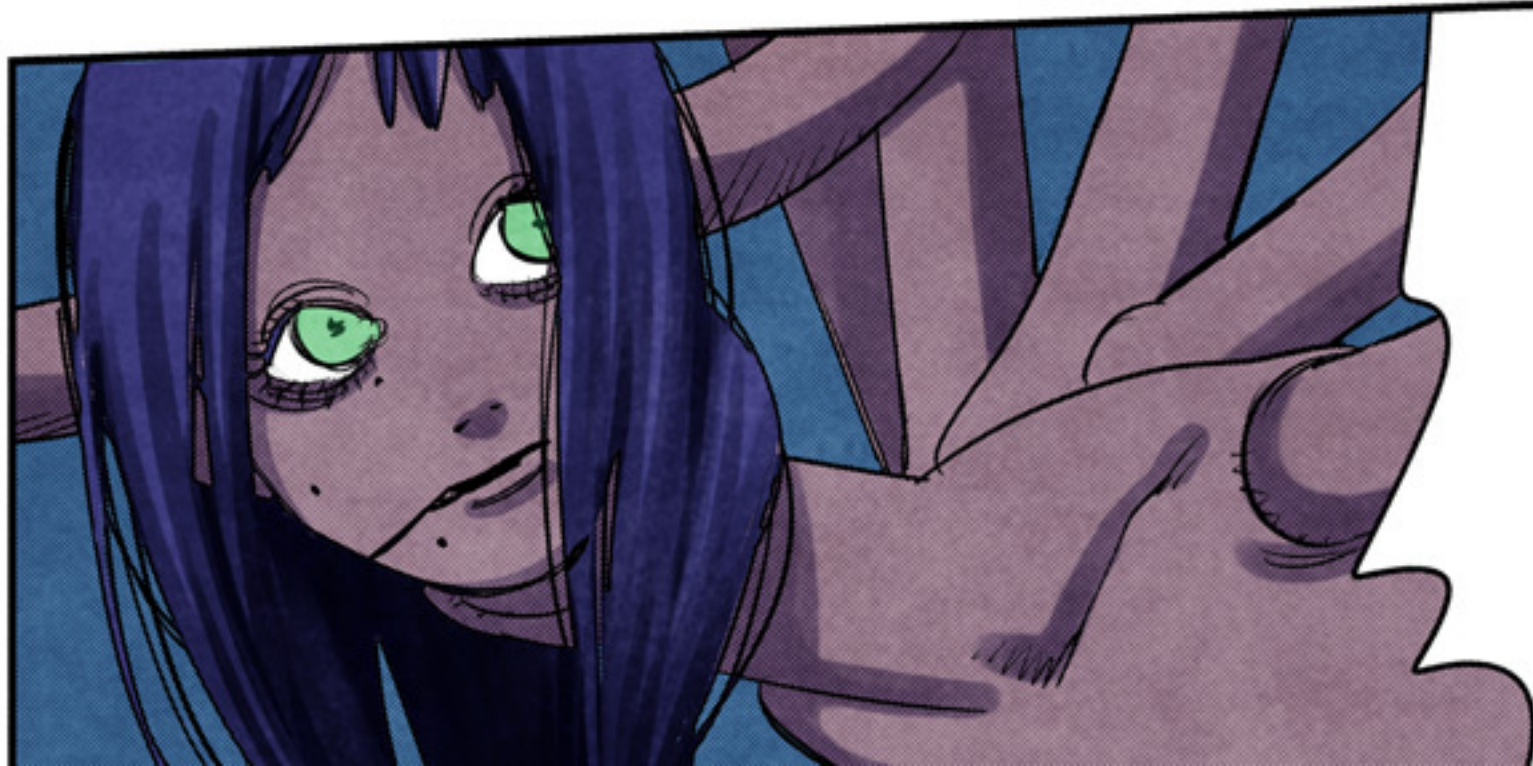
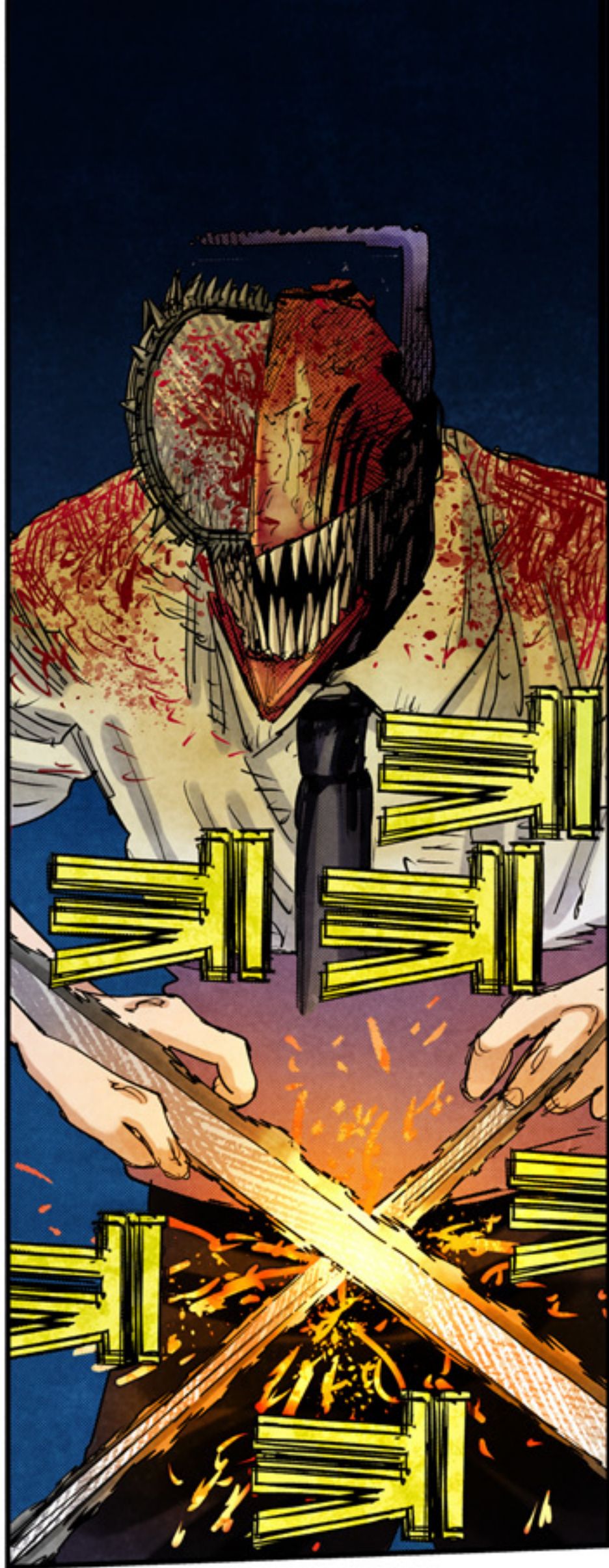
あなた
貴女が
私を
殺して
いる間に



人形を
作らせて
貰いました







これがア!!

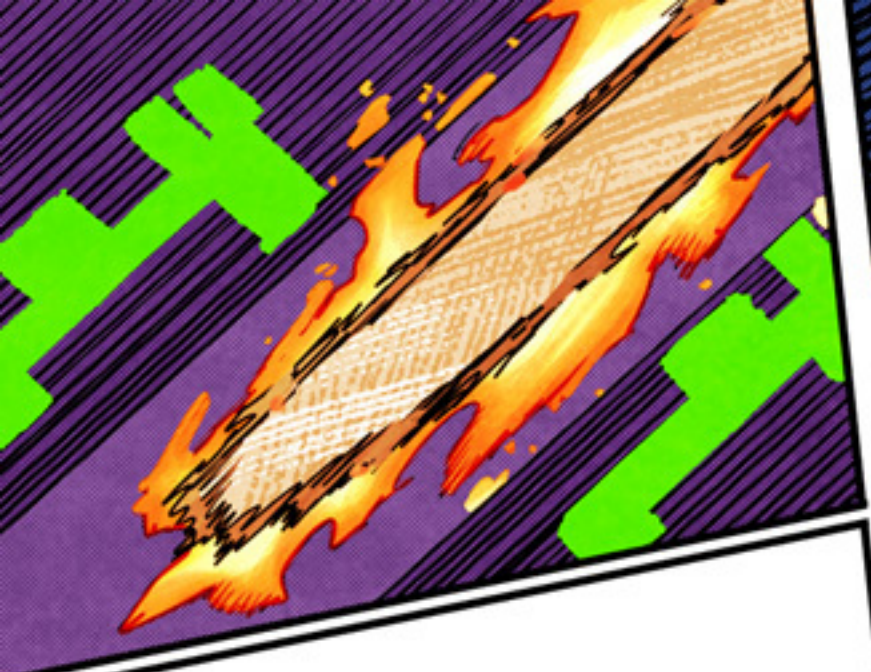
ひかり ちから
**光の力だ
ああああ!!**

**ア
ああ**

**ア
アアア
アアああ**



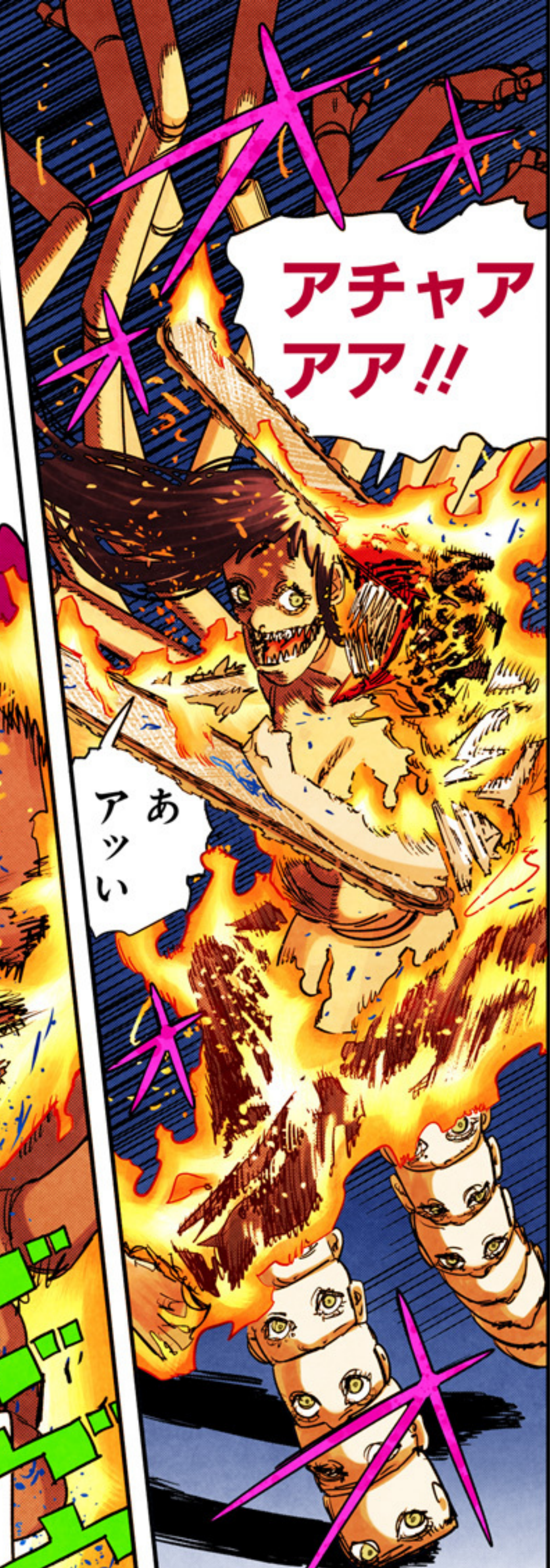




アアチャアチャ
アチャアチャ!!

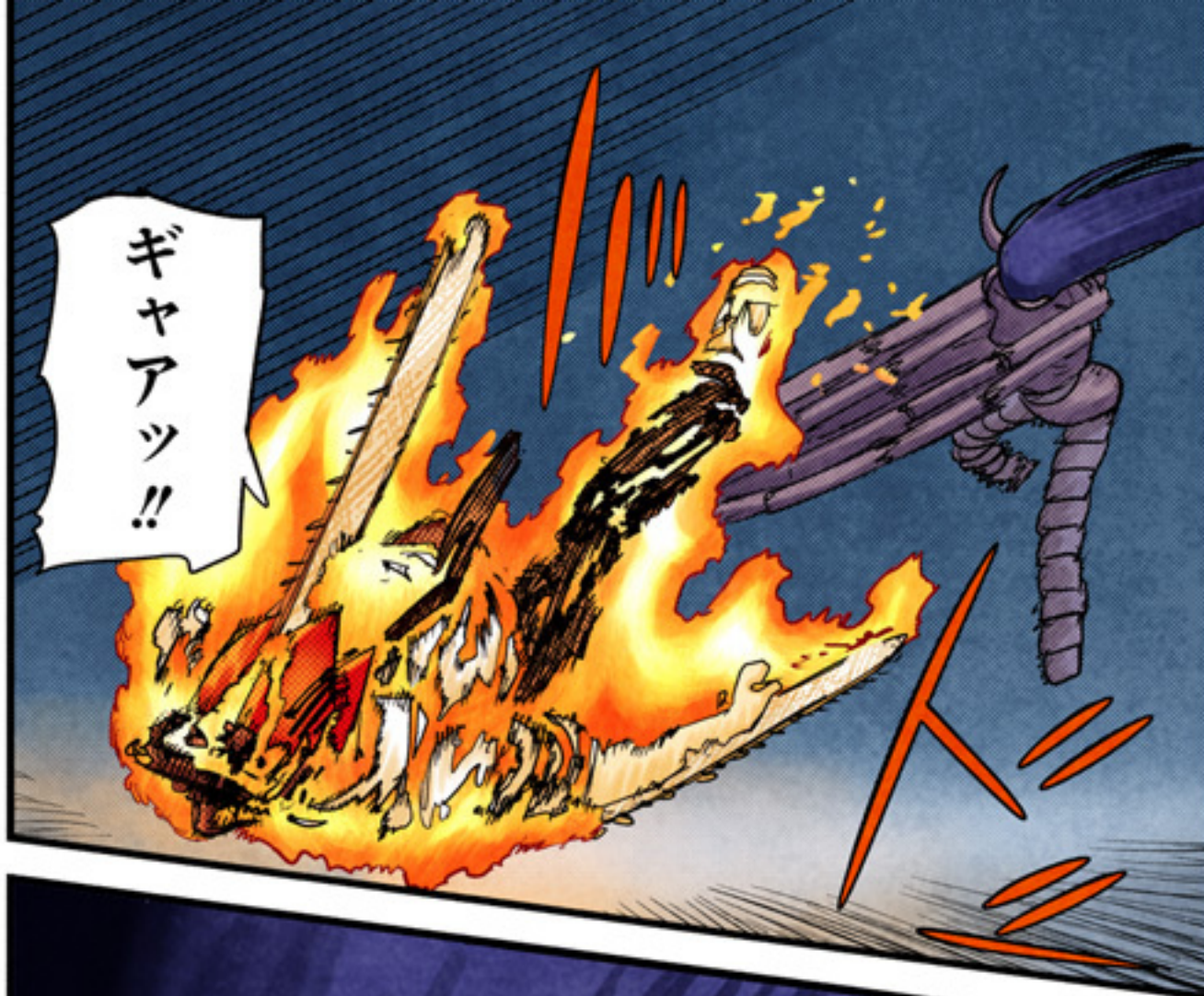


いいいいっ

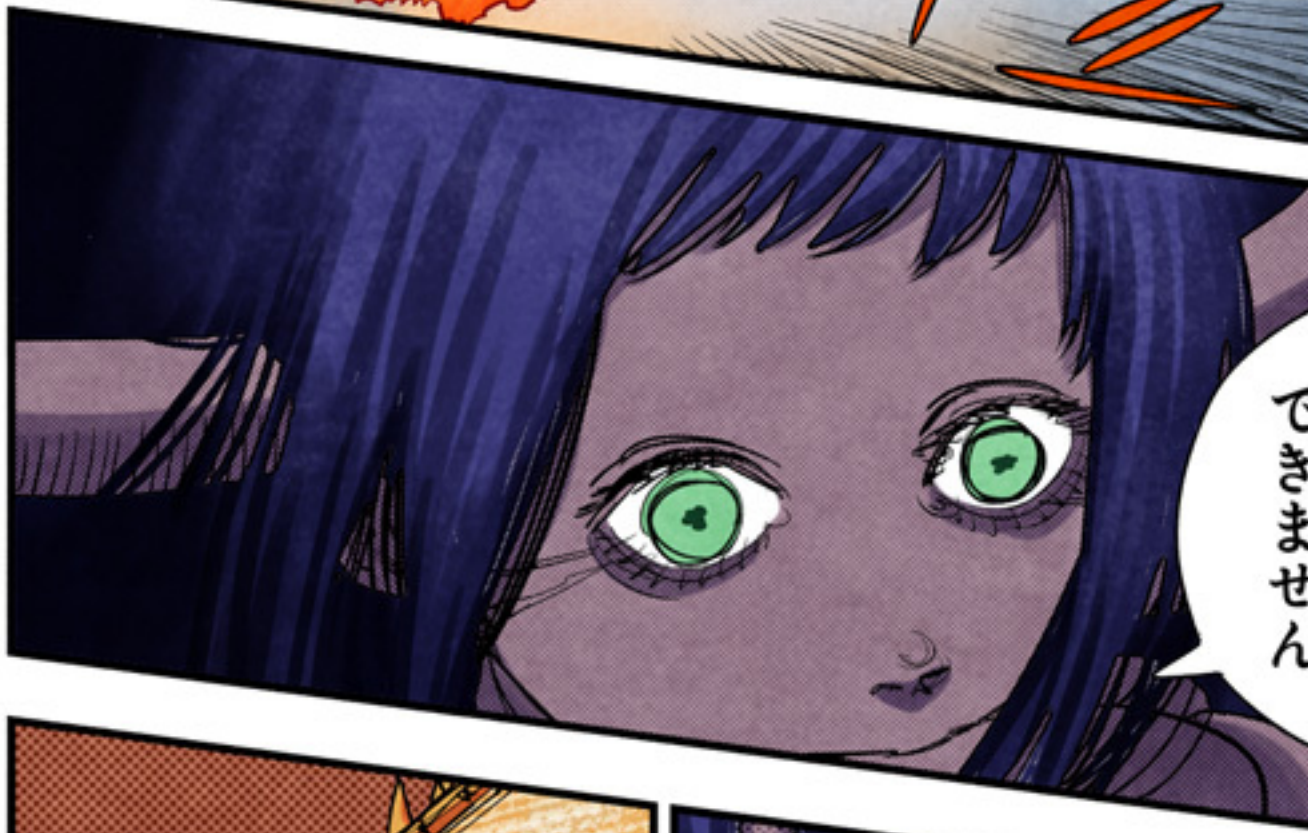


アチャア
アア!!

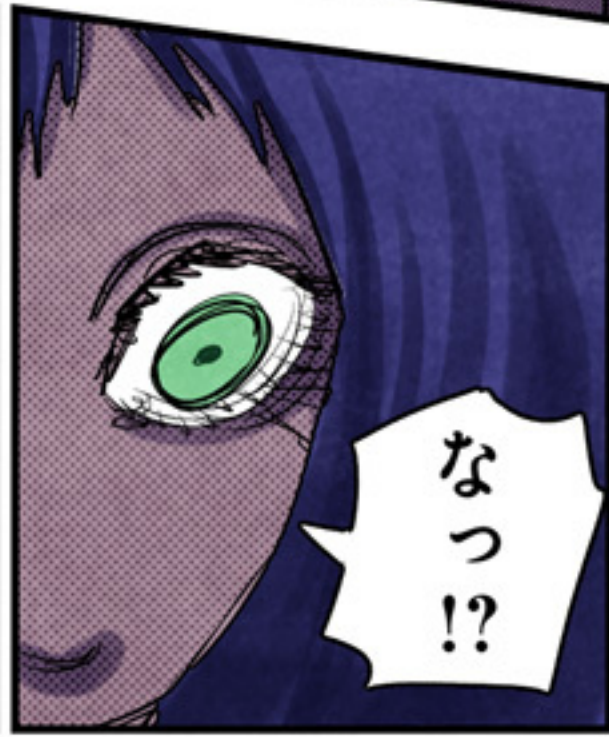
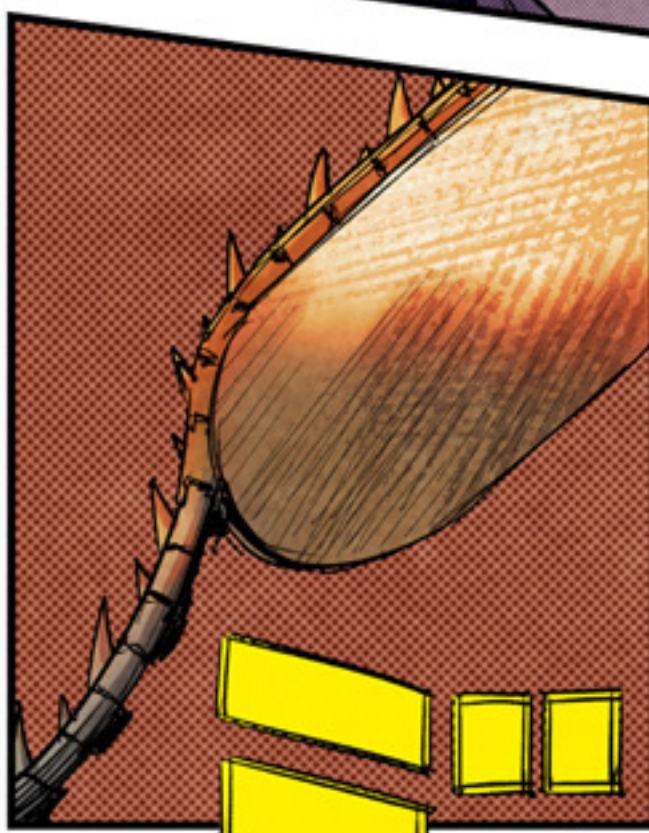
あ
アッ
い



ギヤアツ!!



闇の力で
智見を
深めて尚
馬鹿の
行動は理解
できません

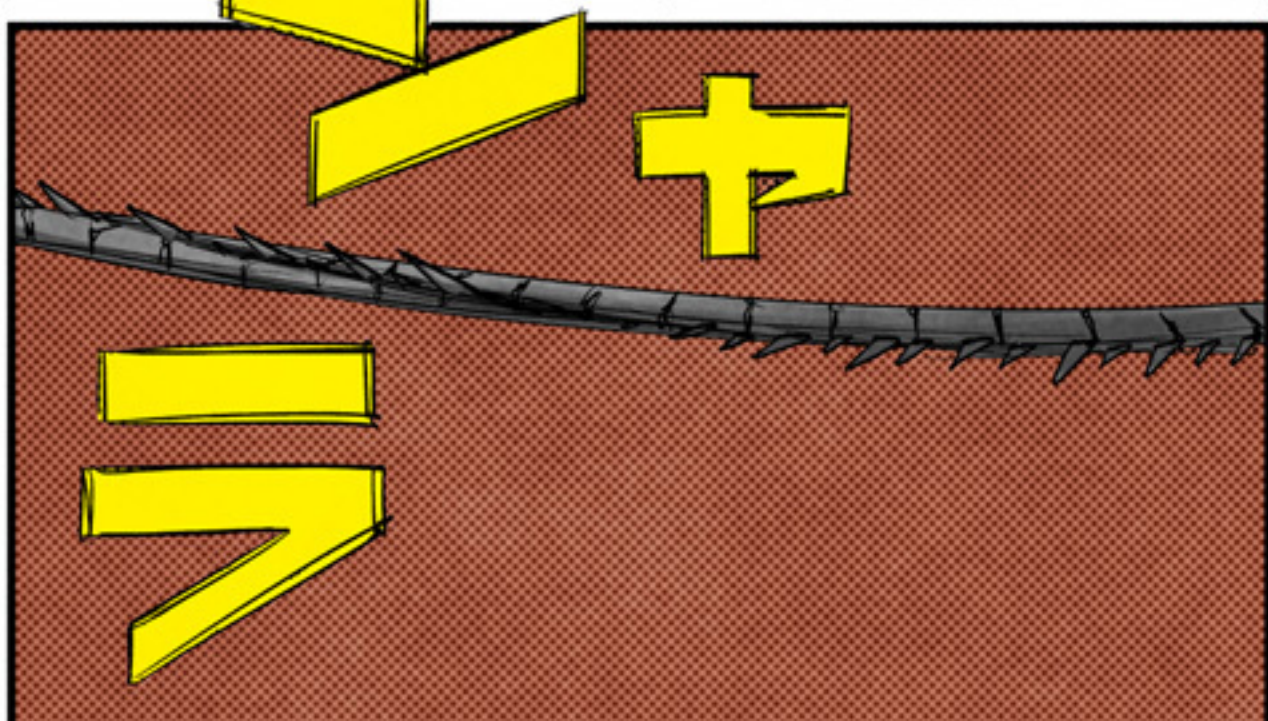


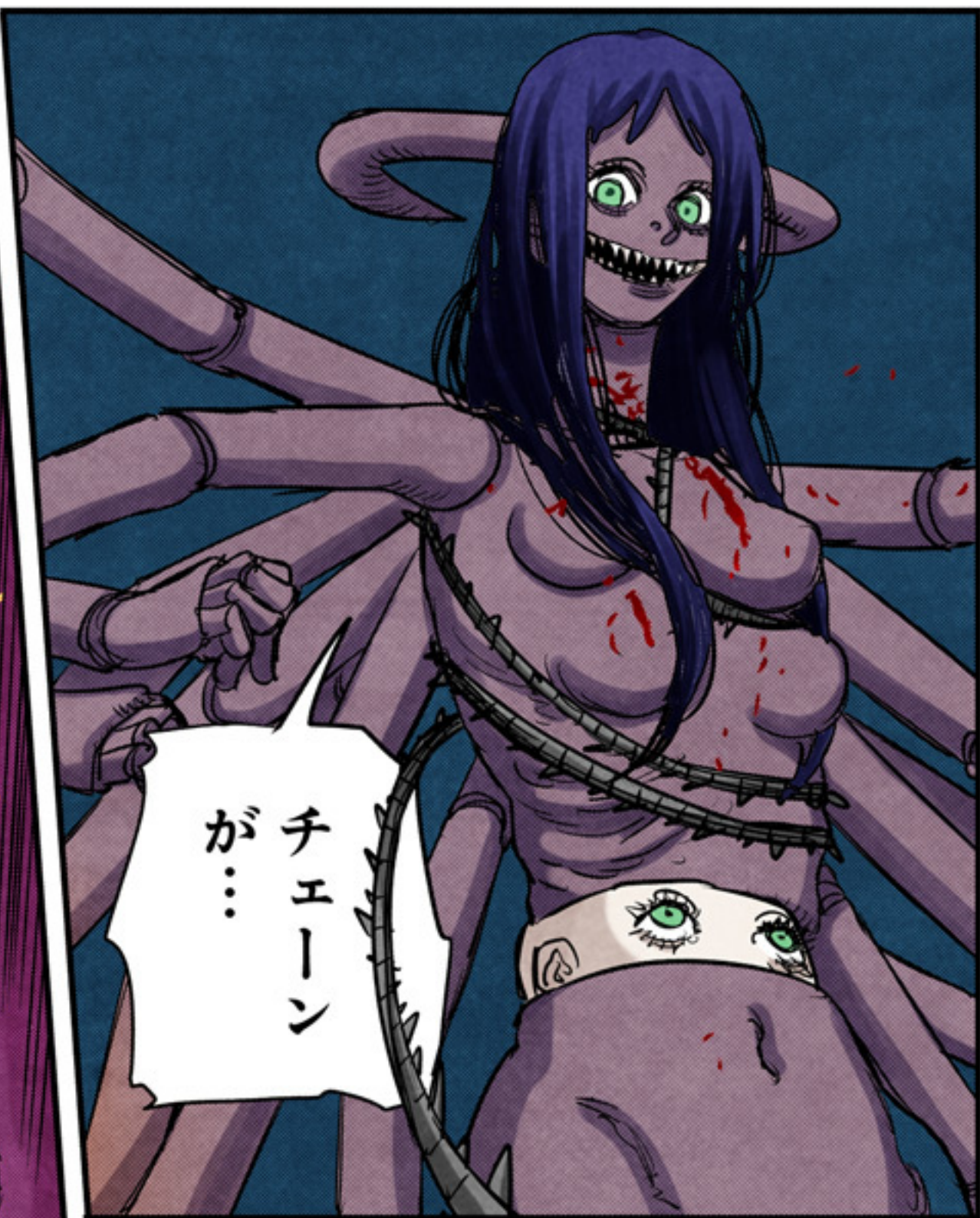
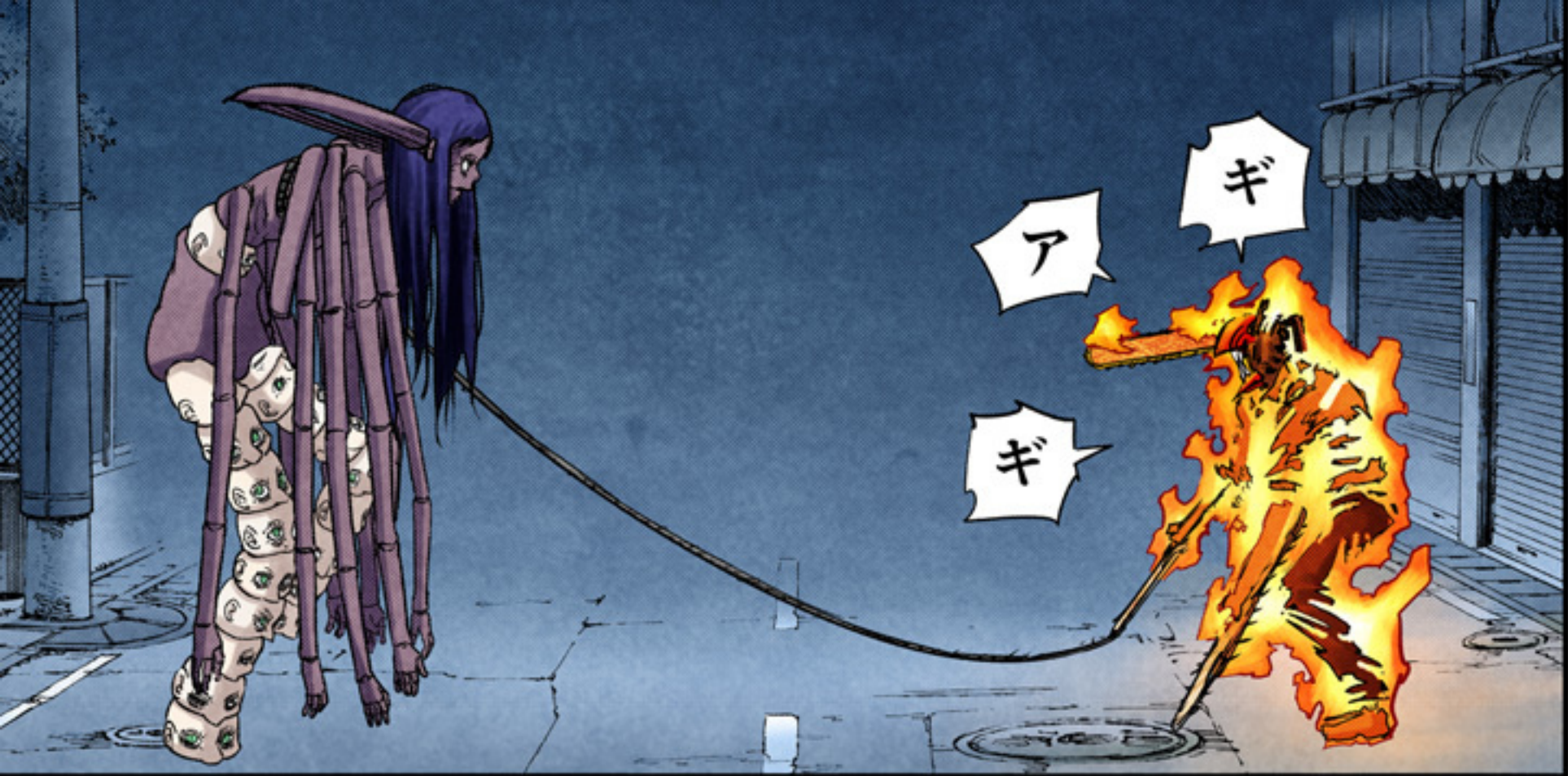
なっ!!



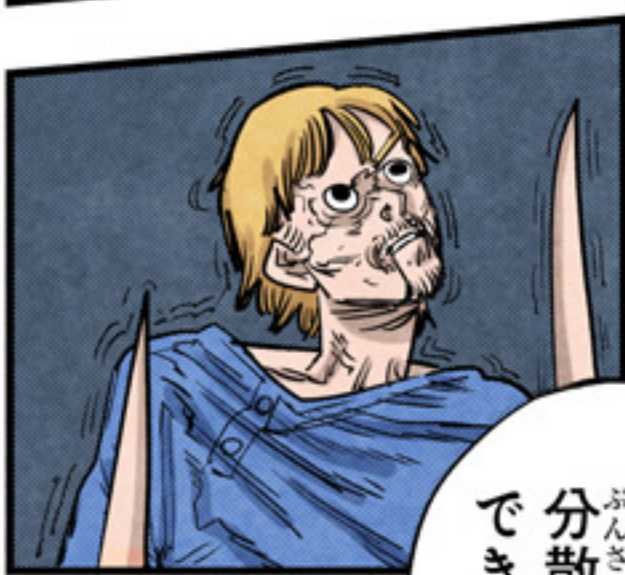
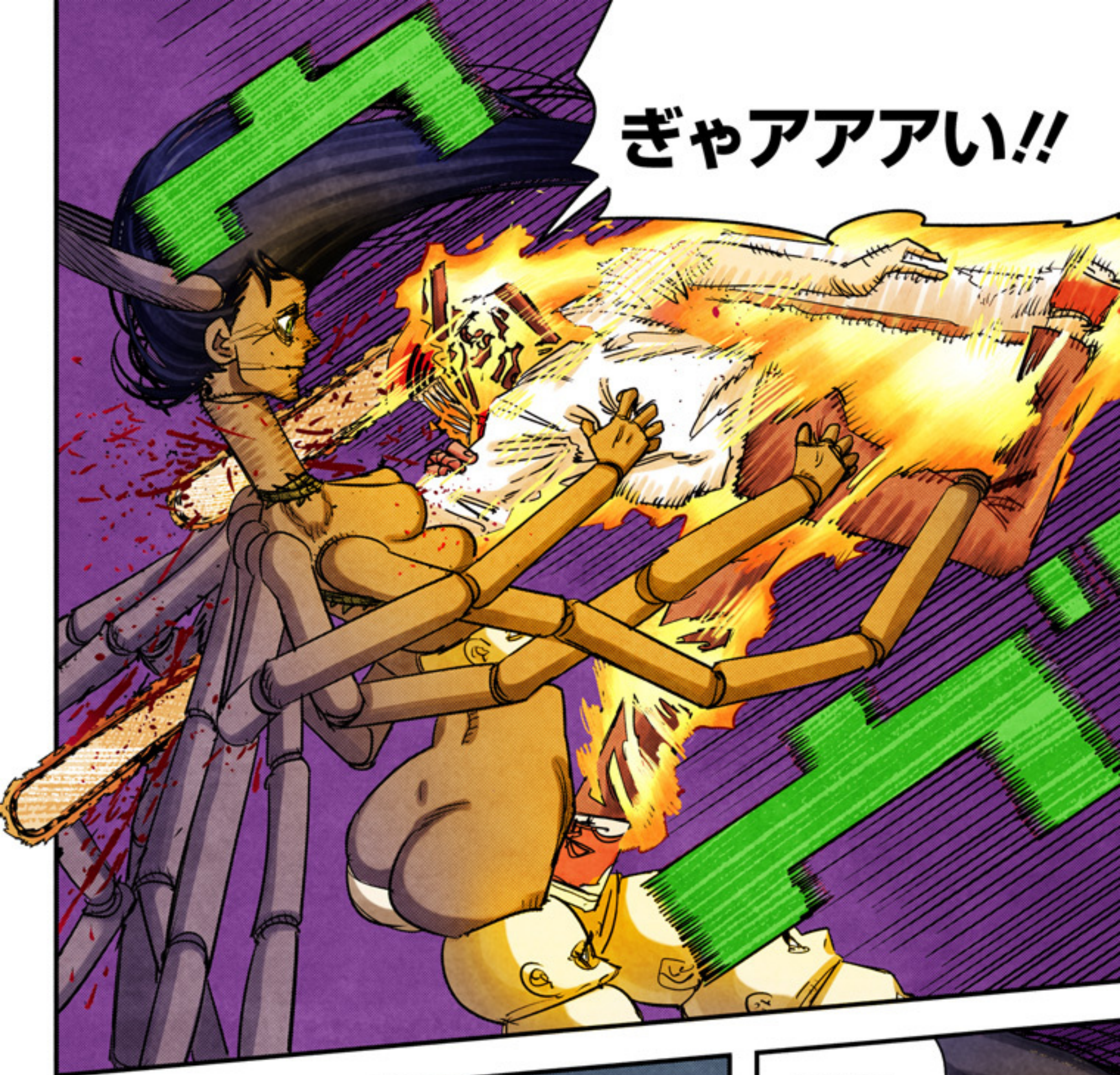
アっちいいい!!

馬鹿じゃねえ!
こちとら毎日
教育テレビ
みてんだぜ!!

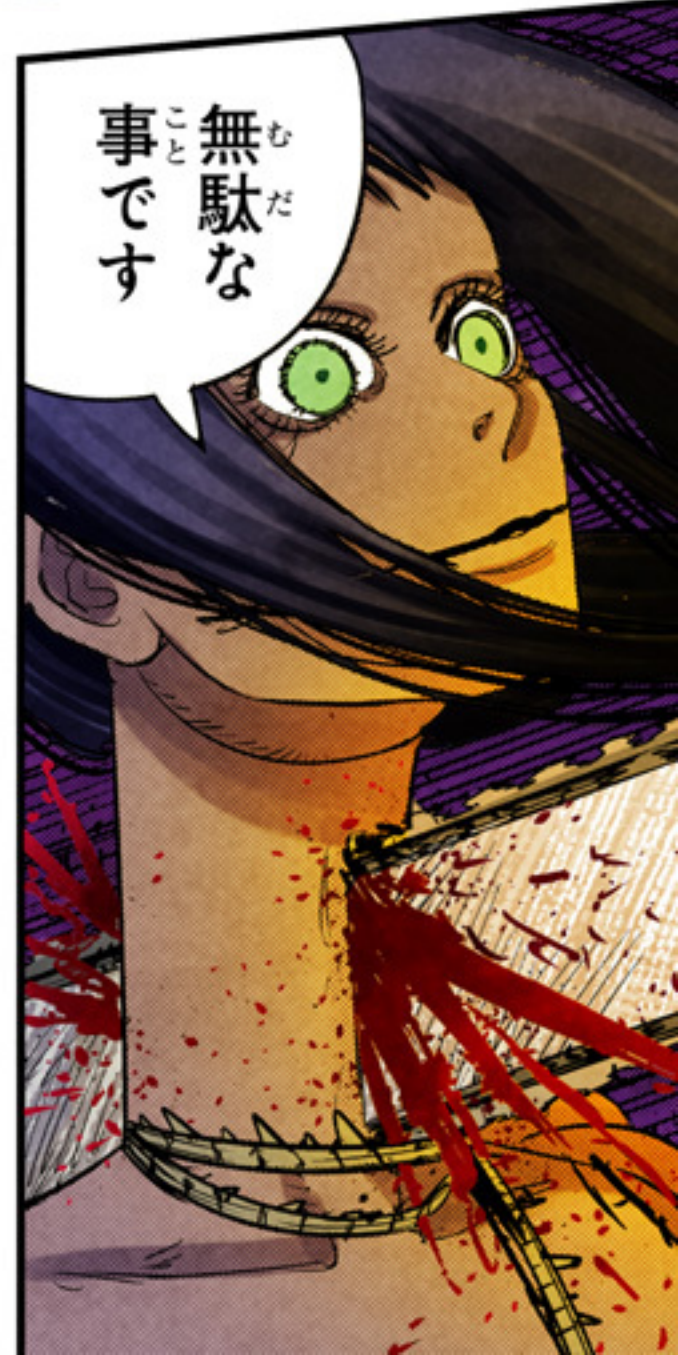
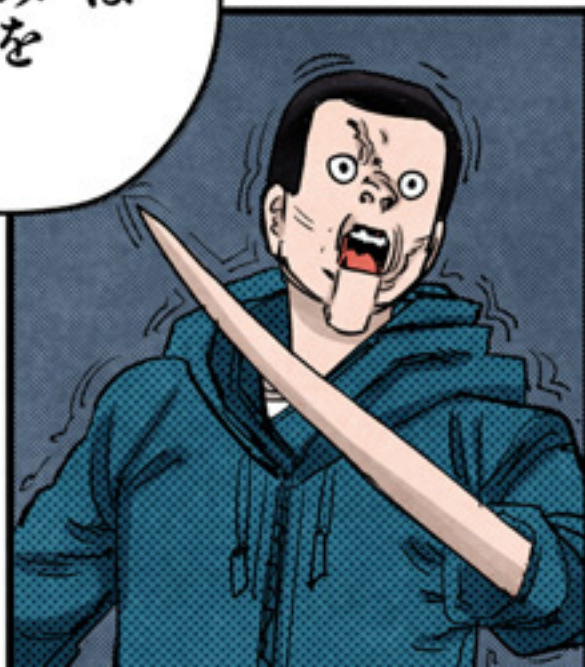
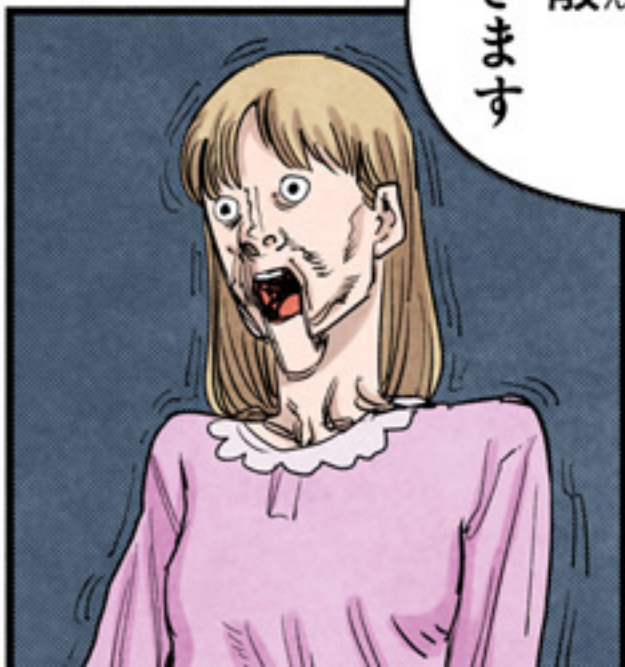




ぎゃアアアい!!



わたしは
いた痛みを
分散
できます



無駄な
ことです



アチッ ギ

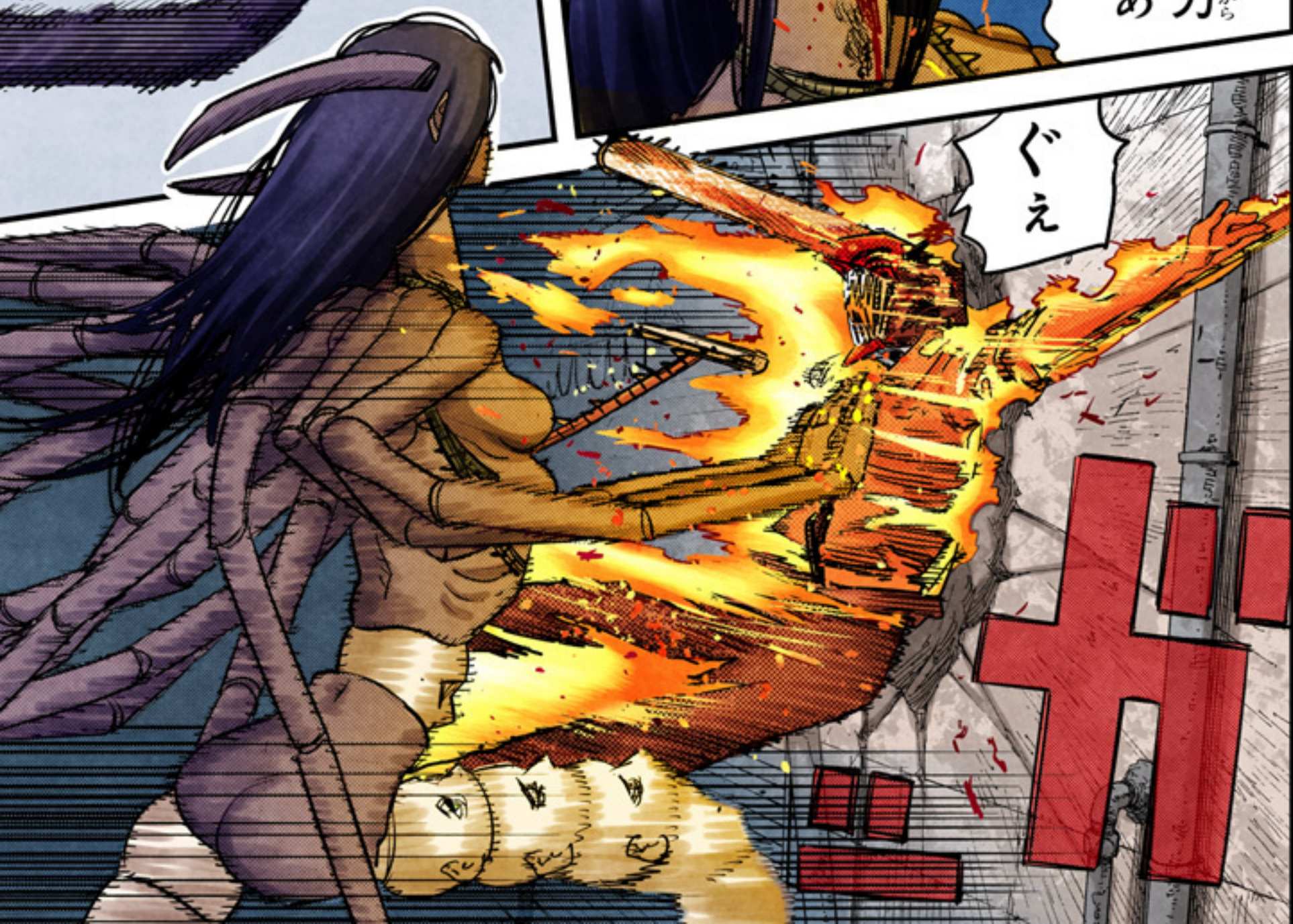
ギイイ



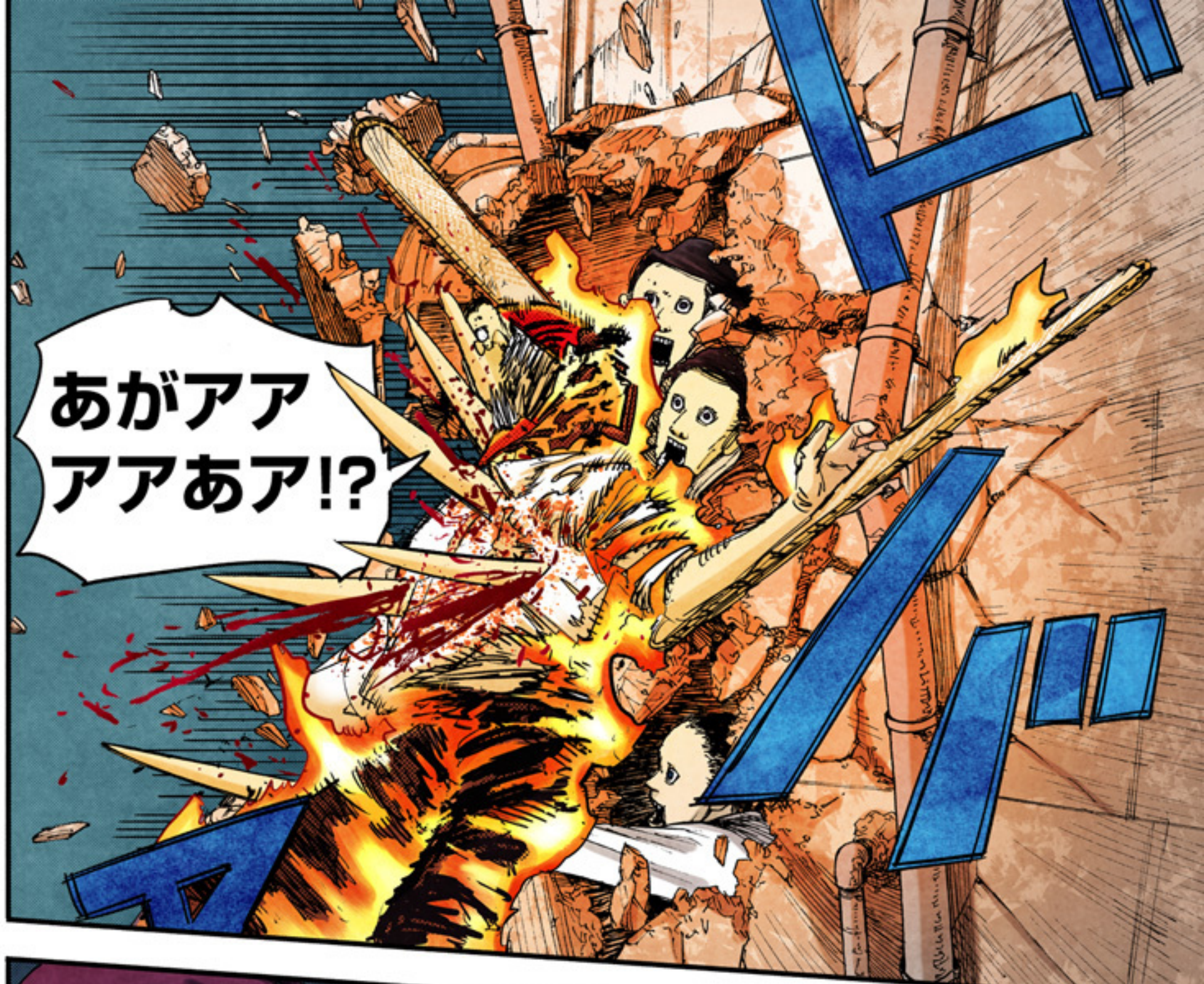
テメ：エ
からだ
なお
体ん
治り
おそ
遅く
なっ
てる
ぜ：：！



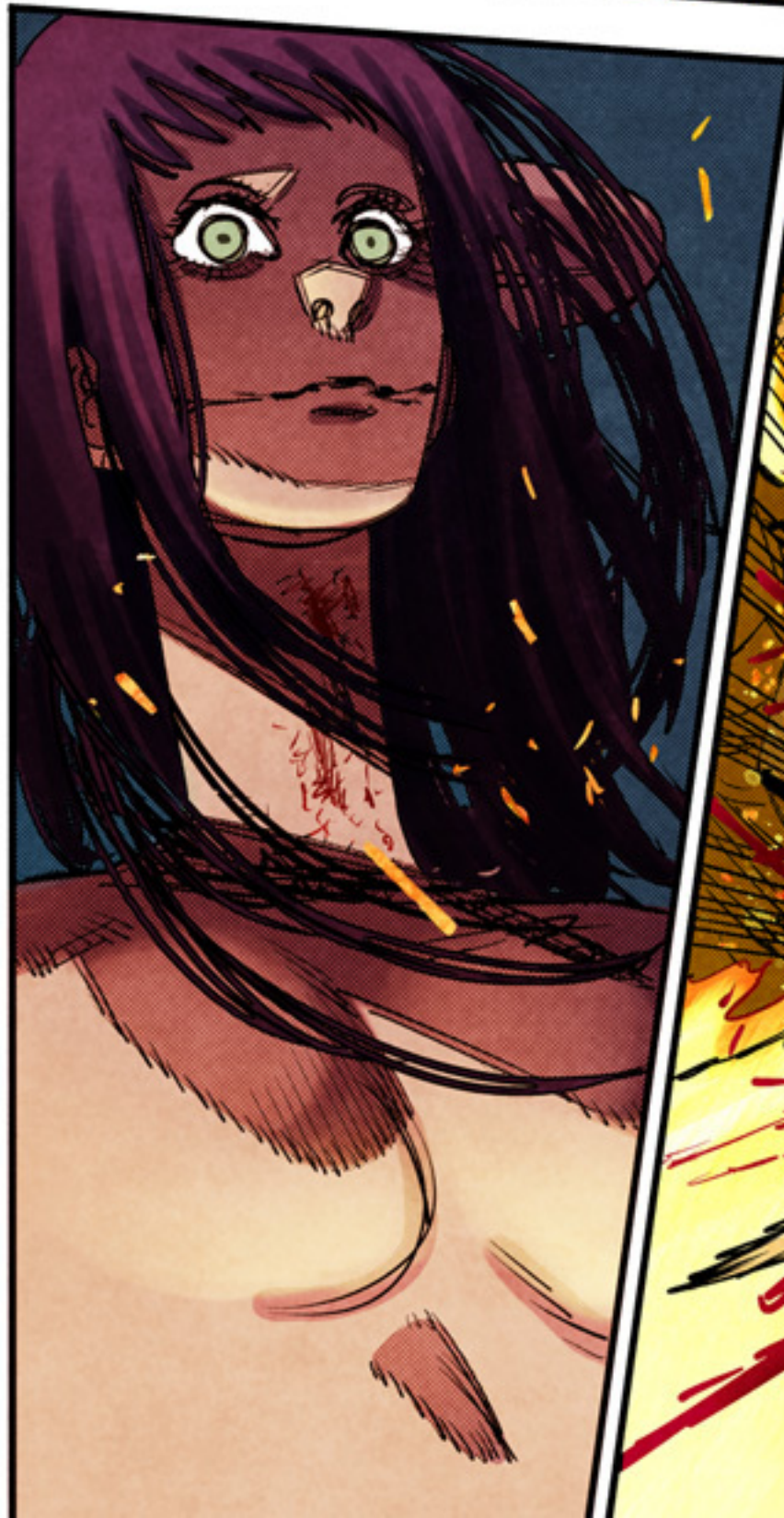
ひかり
ちから
光ん力
でなあ



ぐえ



あがアア
アアあア!?



オンギアアアアア!?



そのまま
焼死んで
ください



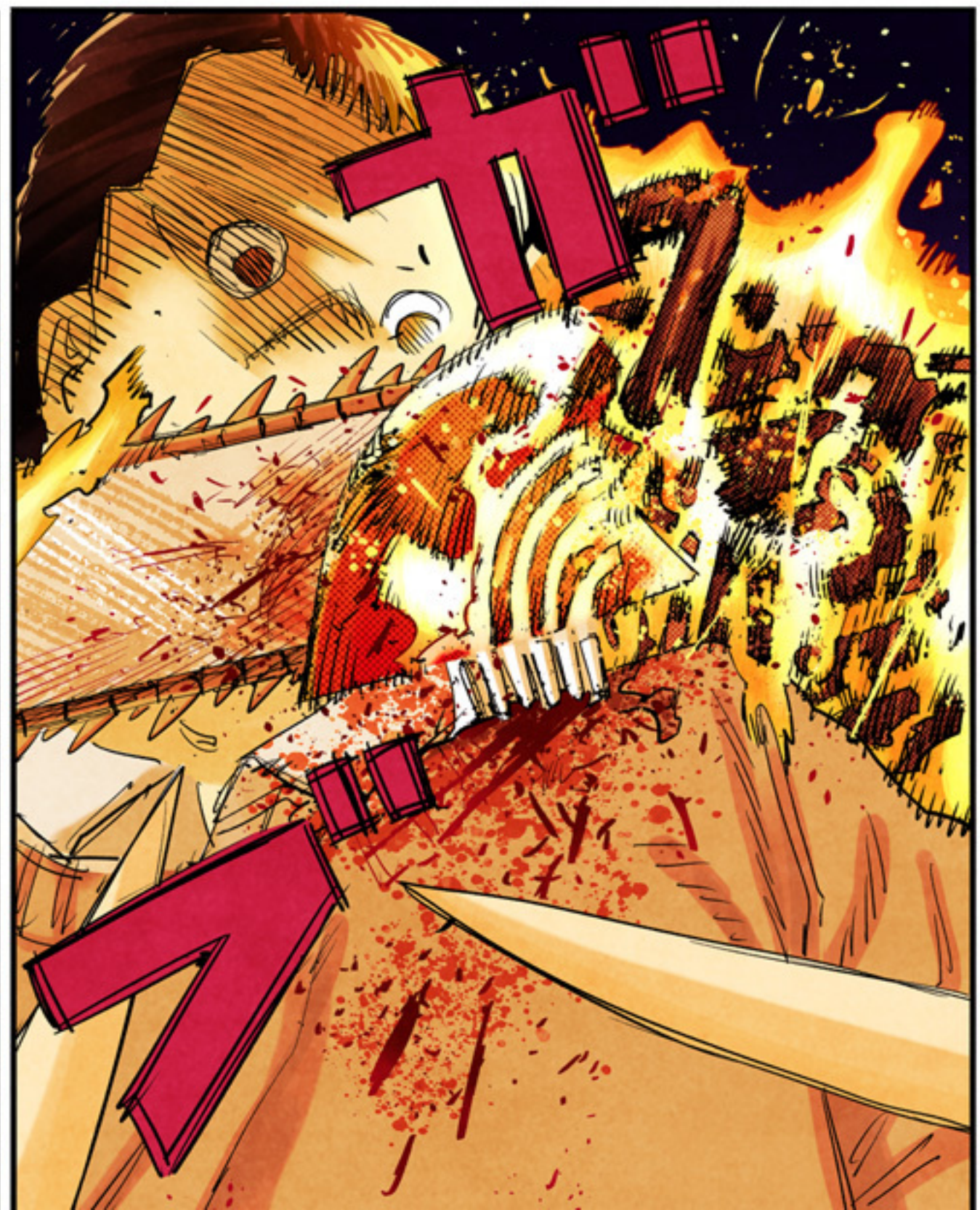
何も知らず
マキマに尻尾を
振る犬には
ふさわしい
死に方ですね

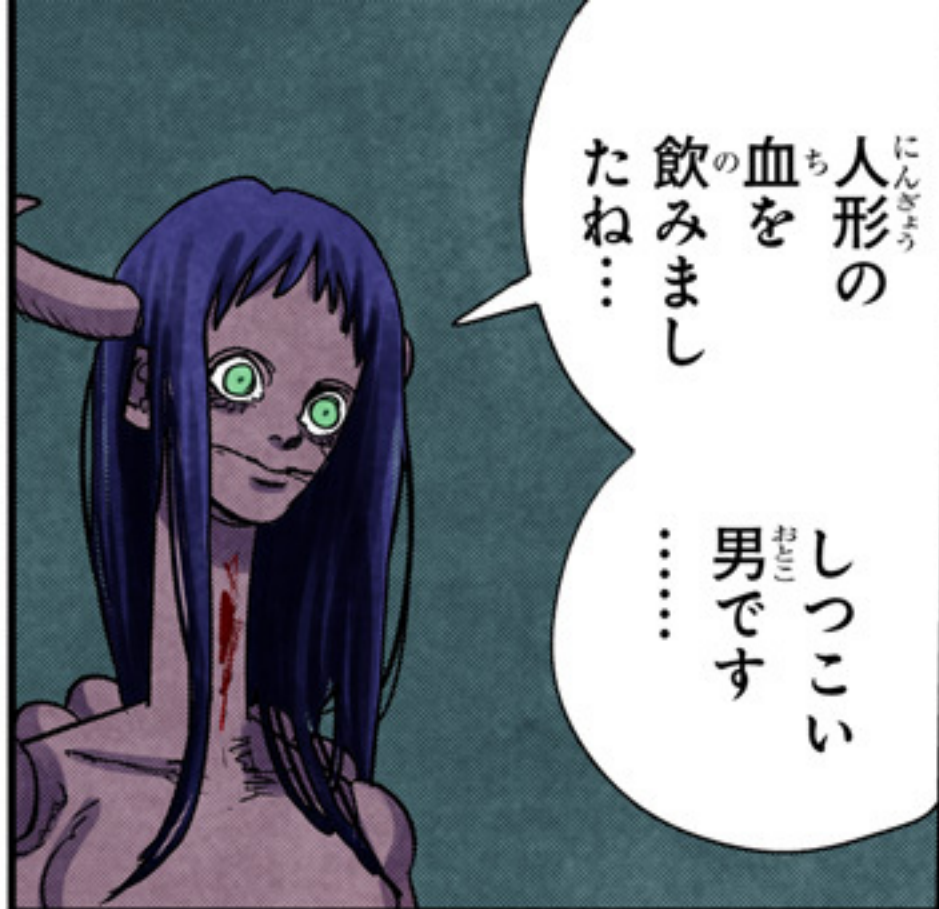


ああ…
ア…!



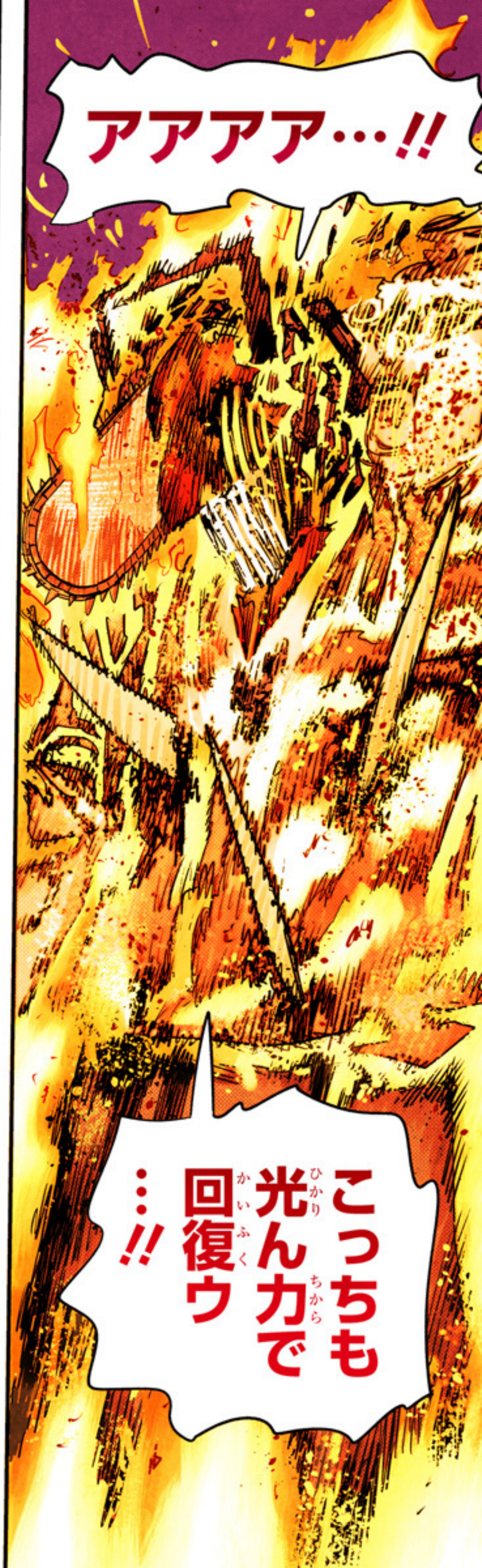
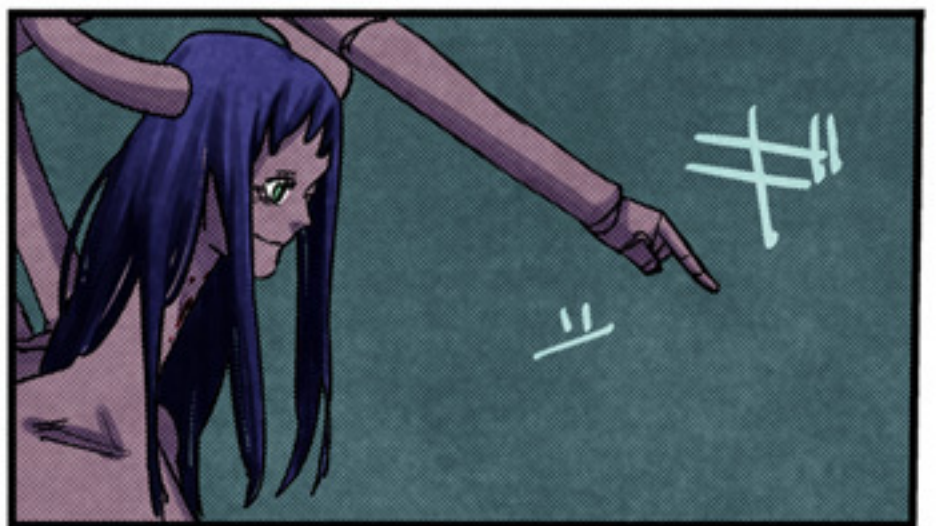
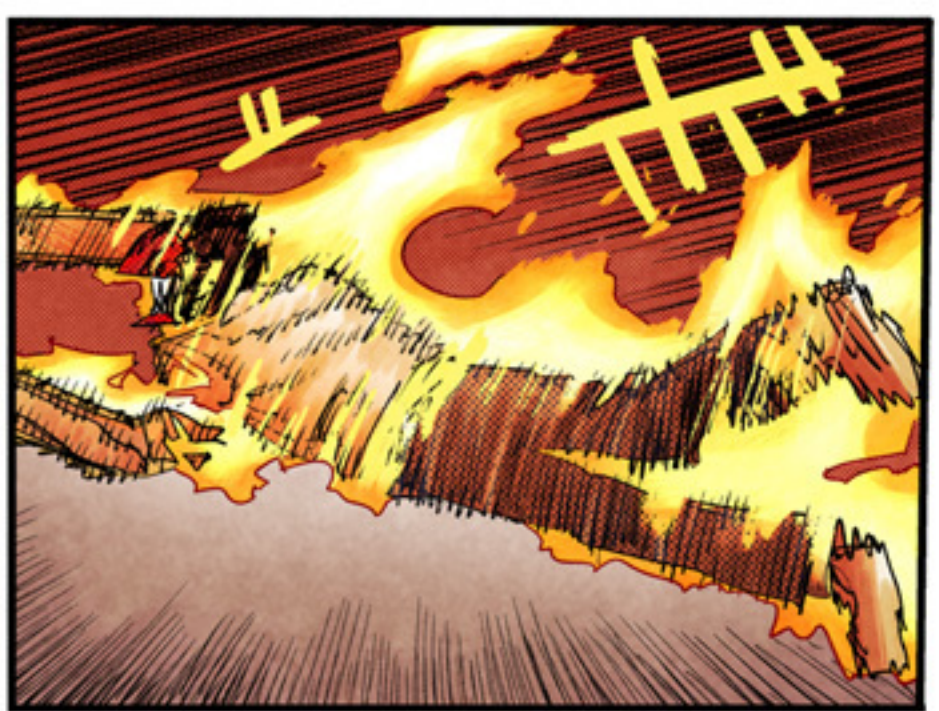
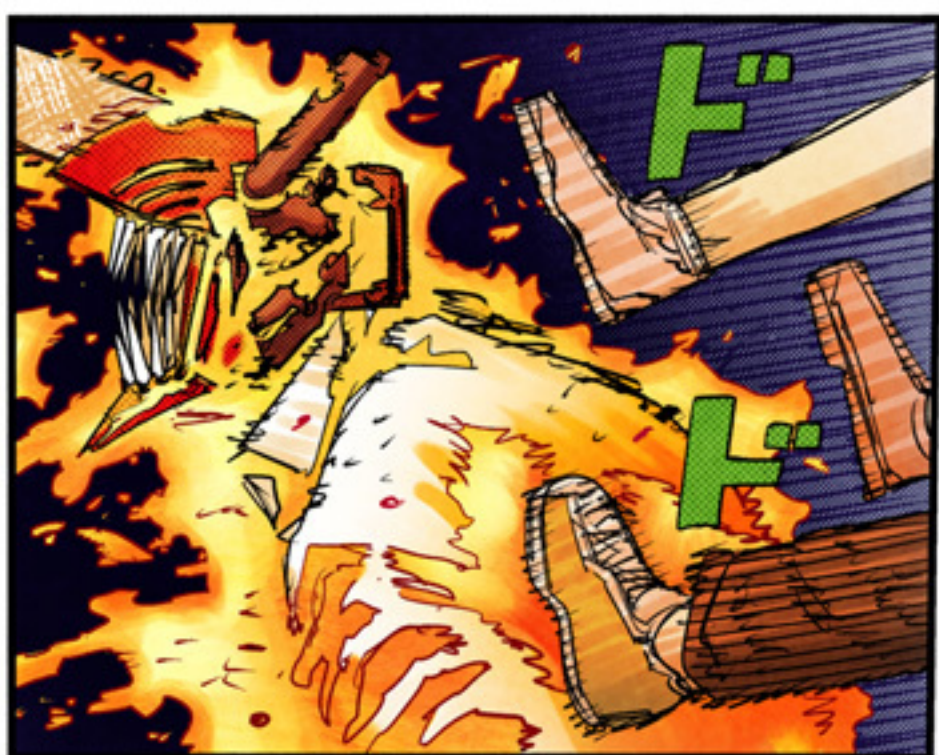
ゴ
ン





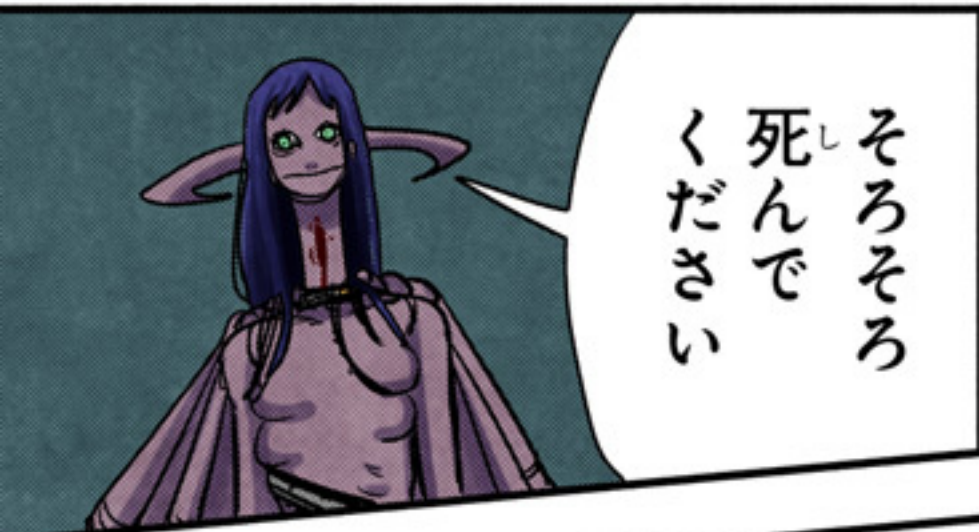
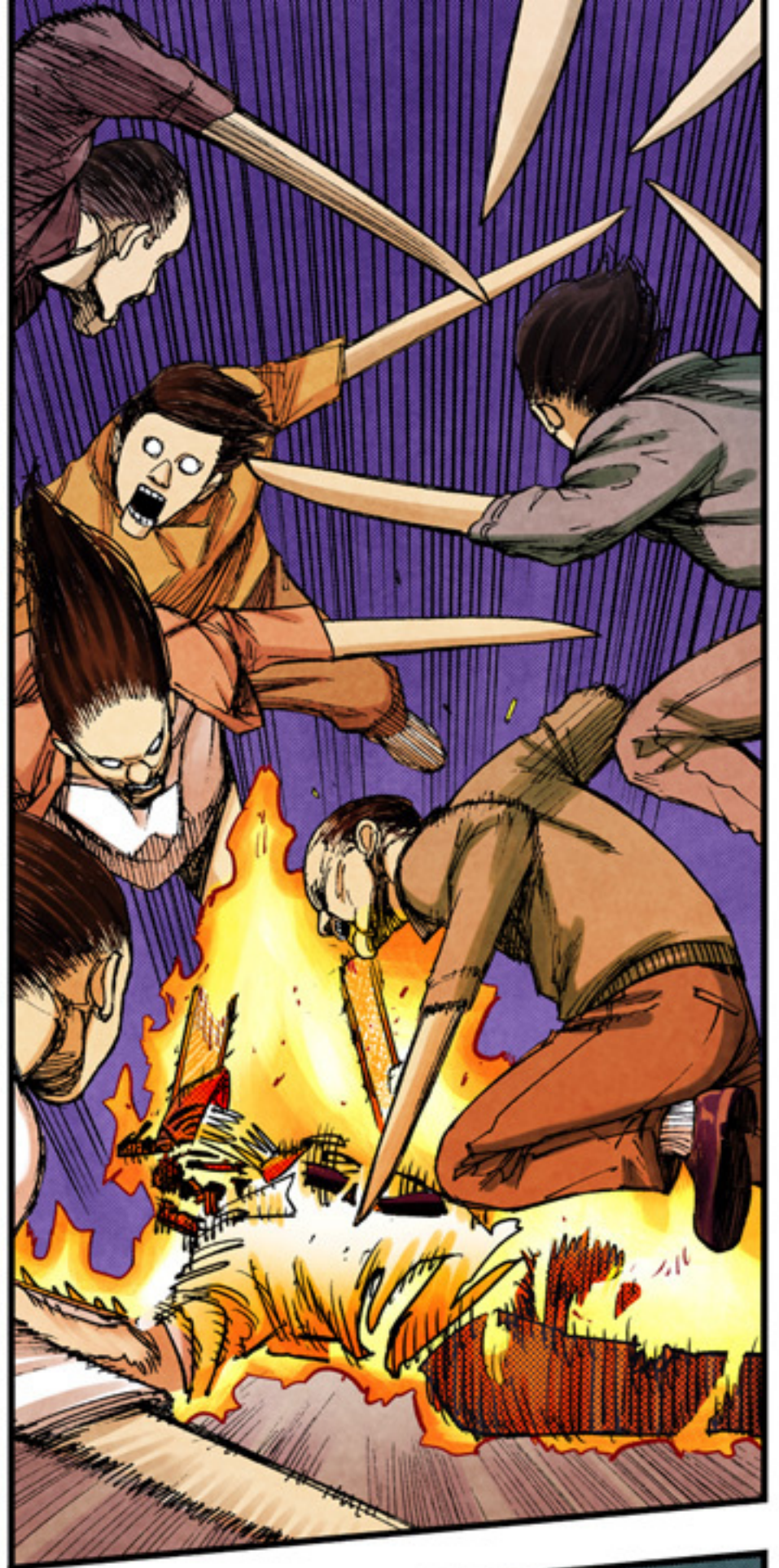
人形にんぎょうの
血ちを
飲のみまし
たね…

しつこい
男おとこです
…

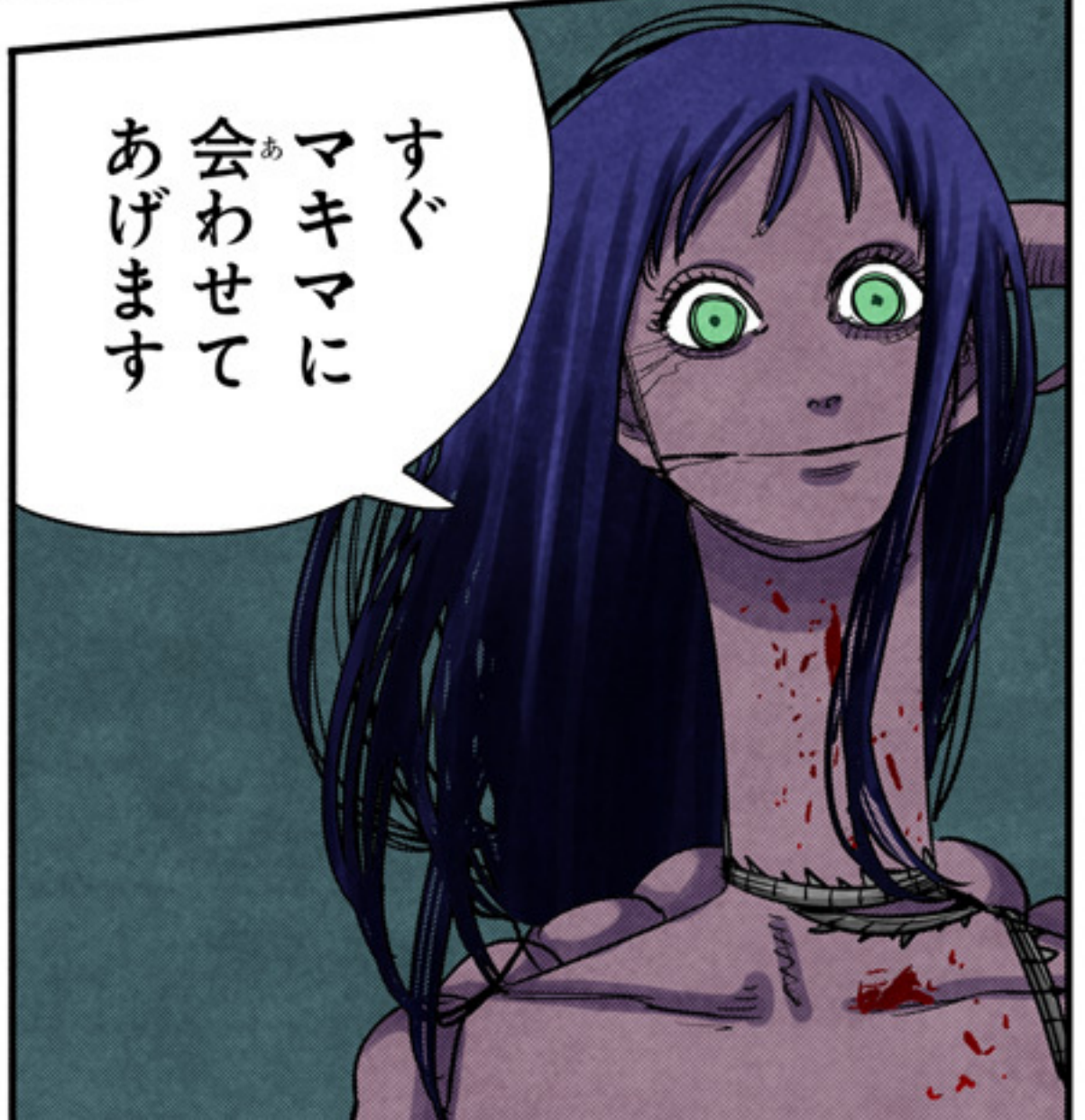


アアアア…!!

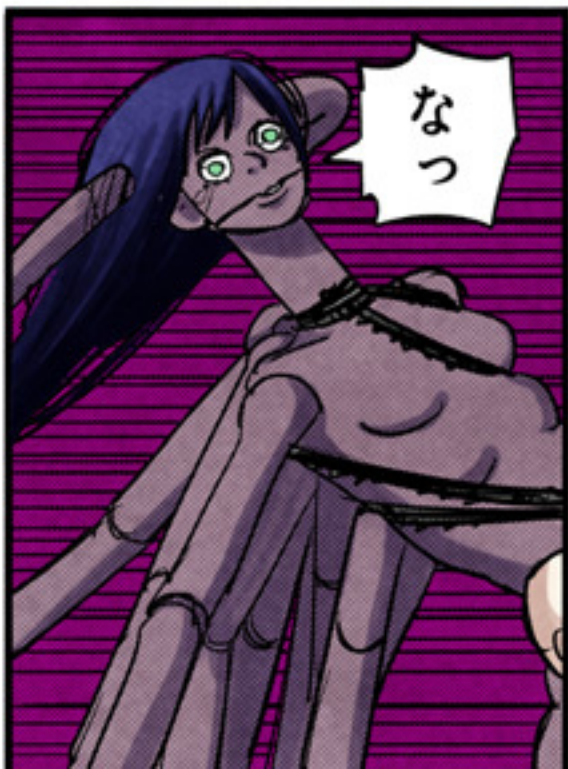
こっちも
ひかり
光ひかりん
ちから
力ちからで
回か復いウ
ふく
!!



そろそろ
死んで
ください



すぐ
マキマに
あ^あわせて
あげます

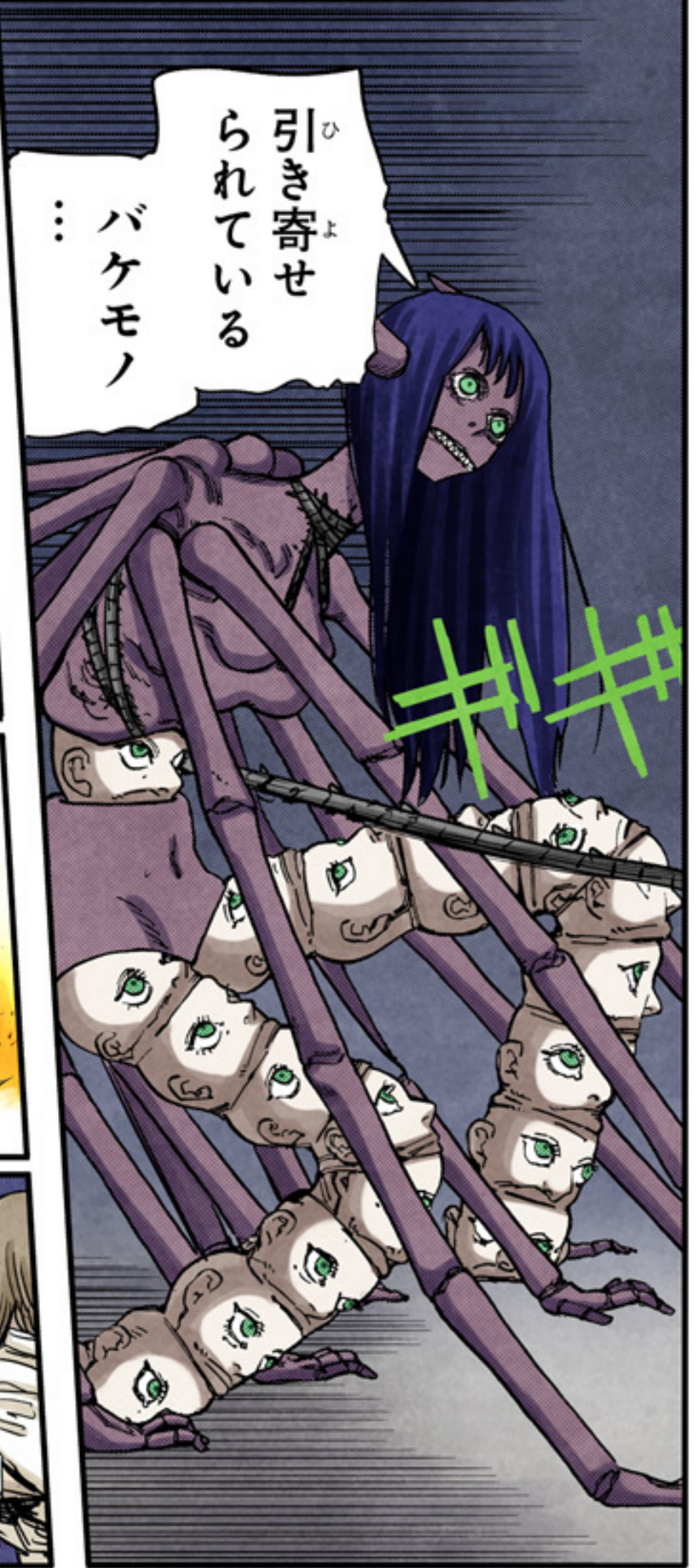


なっ

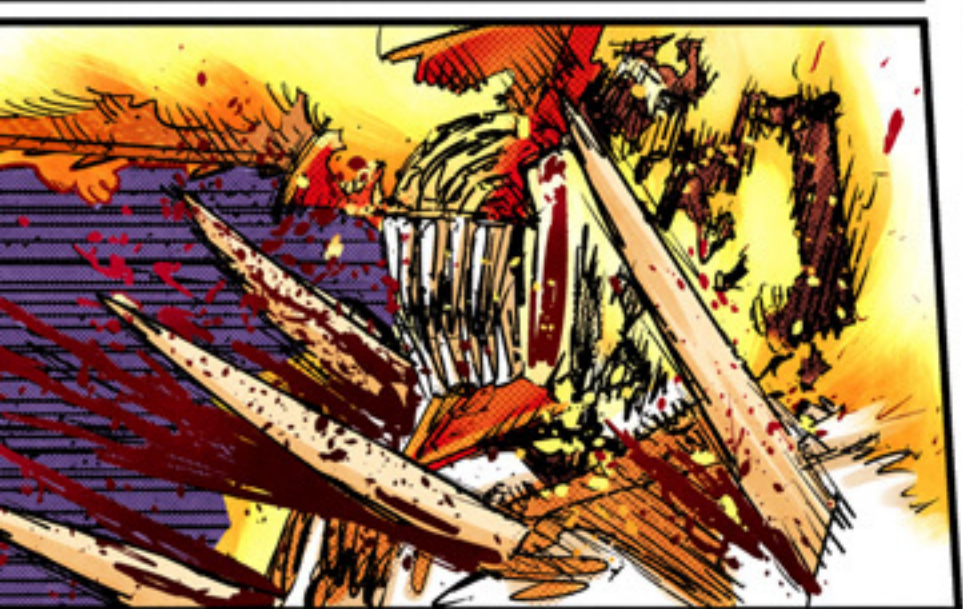




アイツは
理解が
できません
近づけ
ないで
ください

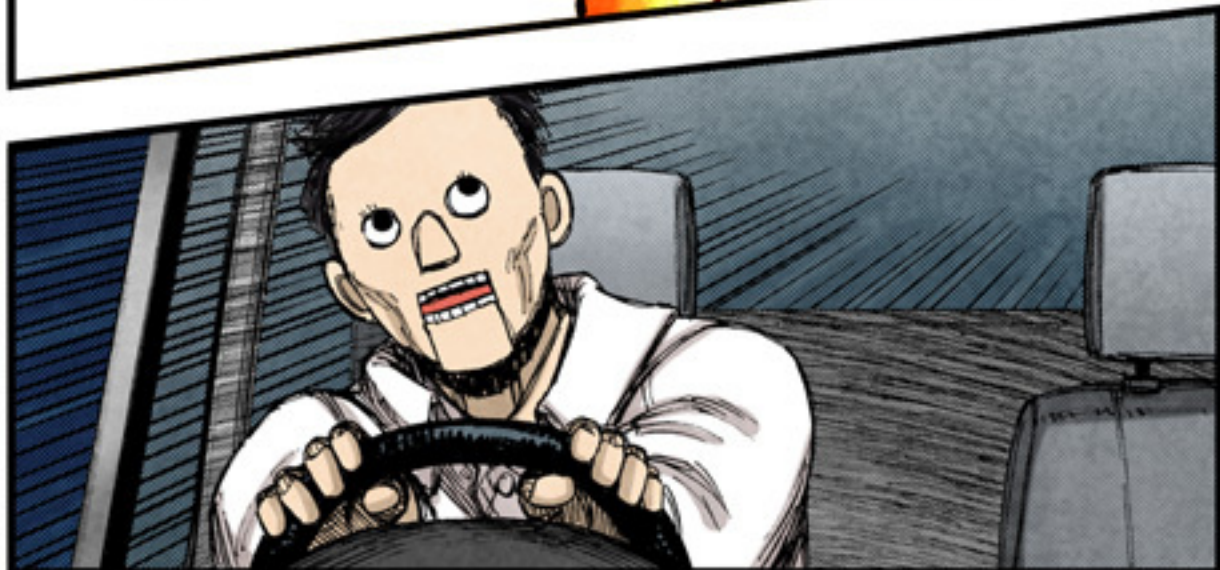


引き寄せ
られている
バケモノ
...

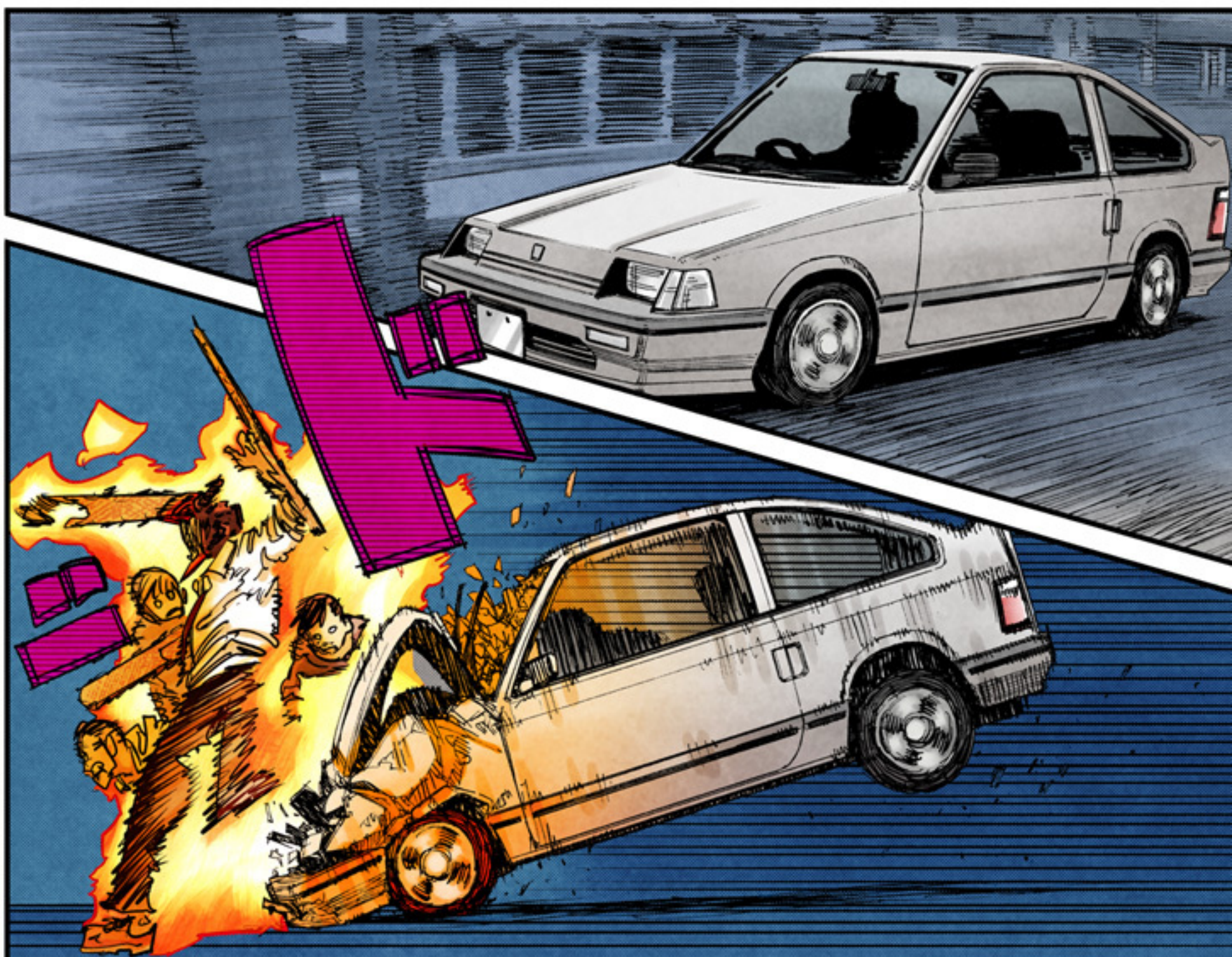


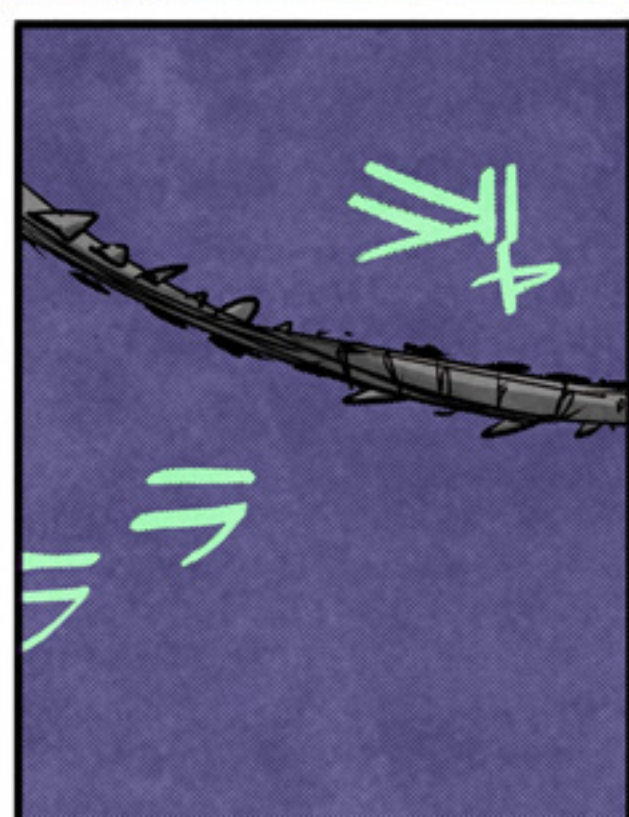
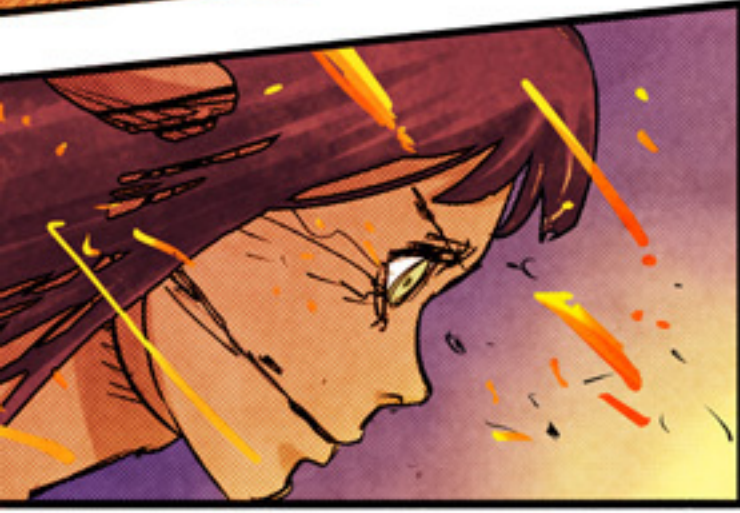
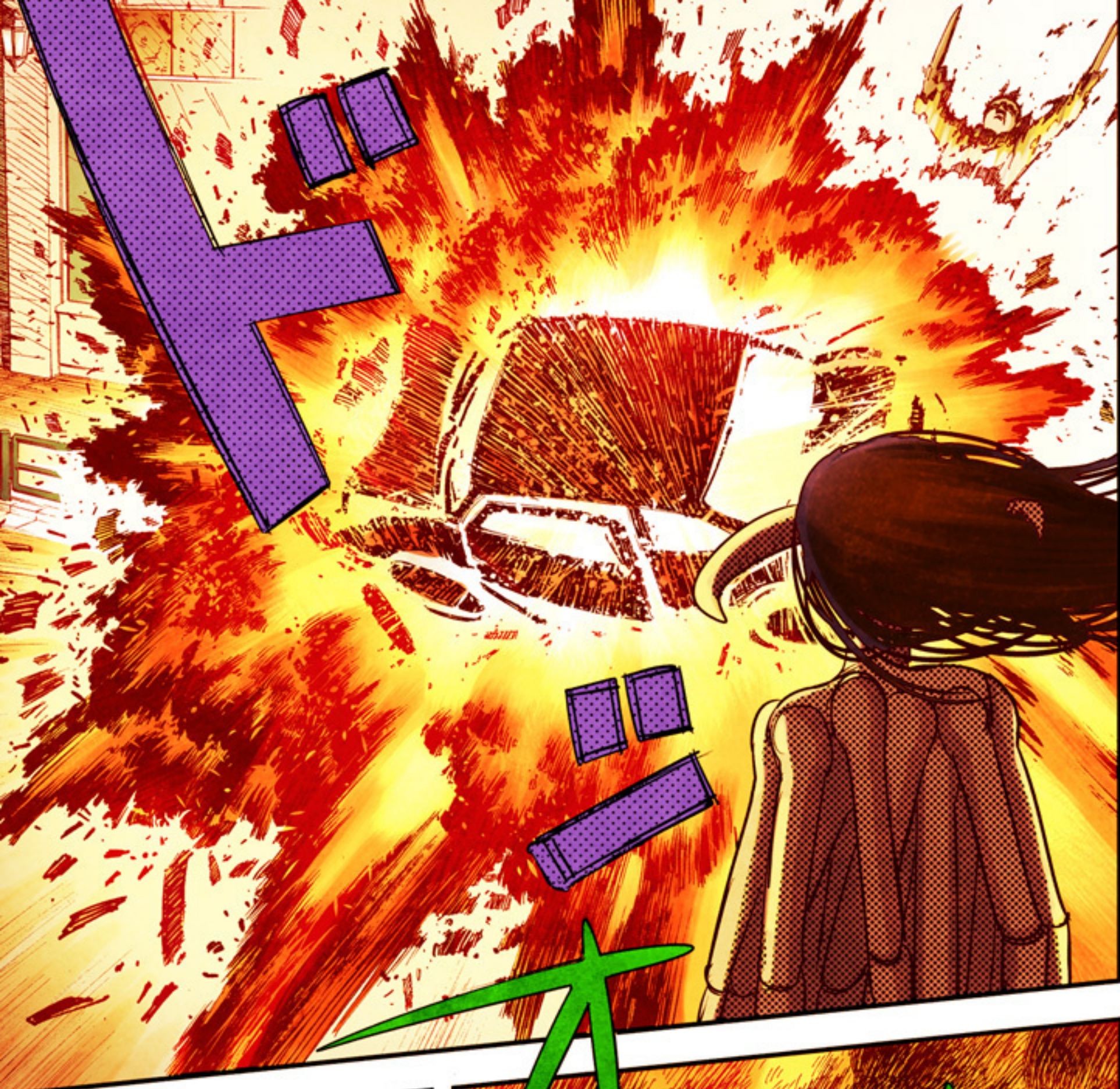


ああ…!
アアア
ああアア!!



いい加減
死んで
ください







なぜ
死しなないの
ですか

恐こわ
い



ぐっ

わ
かり
ま
せん




みんな
で
仲なか良よく俺おれを
殺ころすのは
いいけど
よお...!



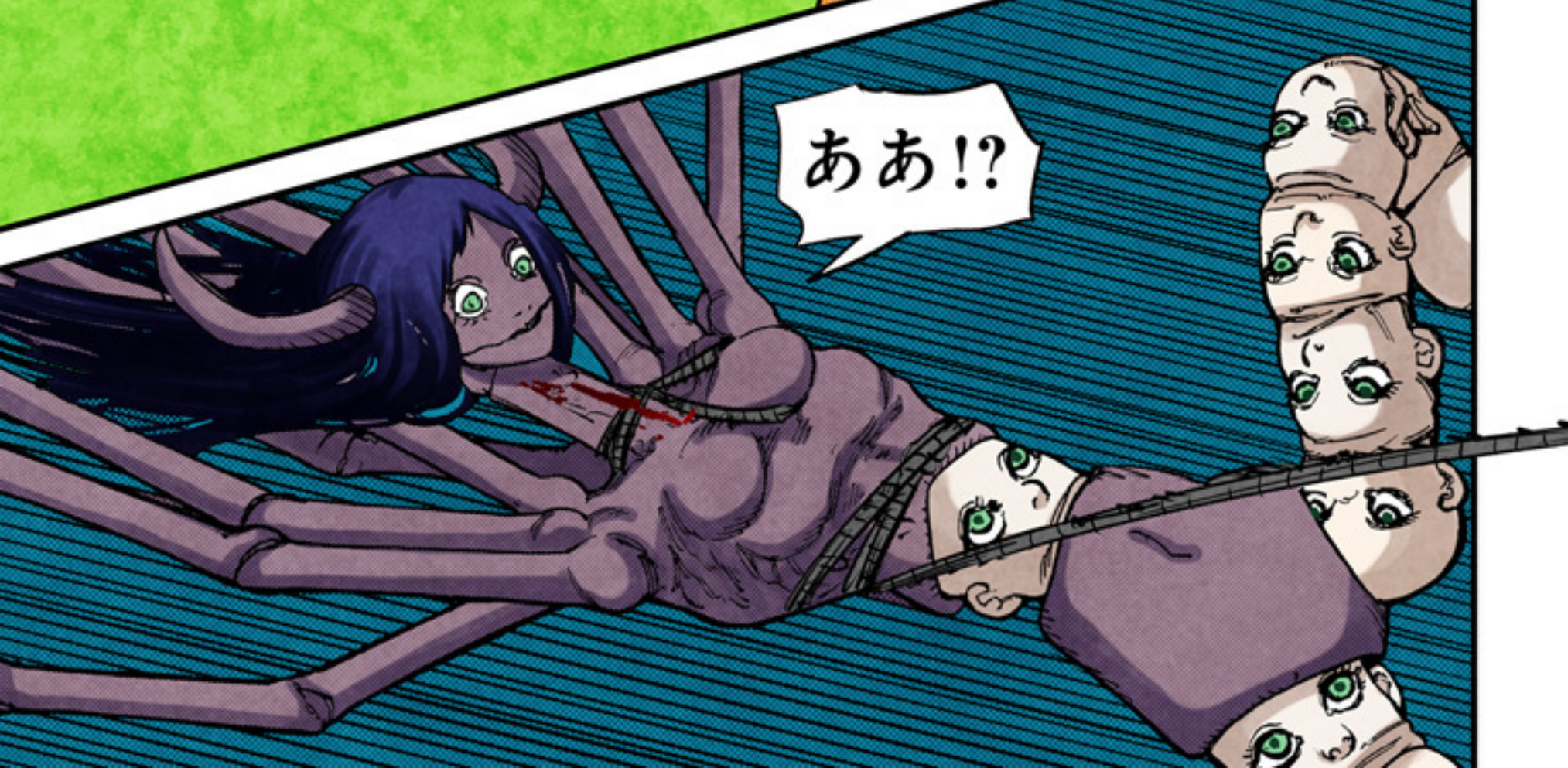
オーエス!!
オーエス!!

オーエス!!



マキマさんが
死んだら!!

マキマさんと
旅行できねえ
じゃねえかア!!



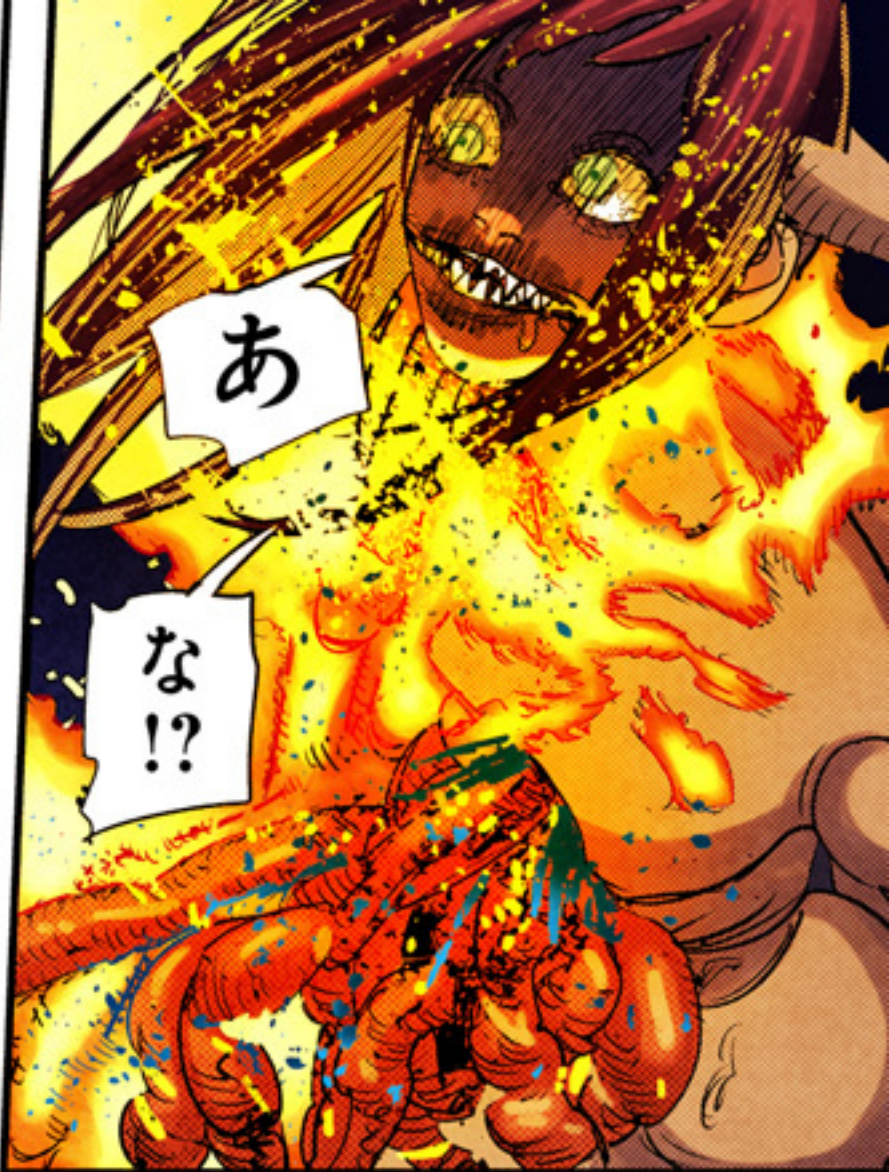
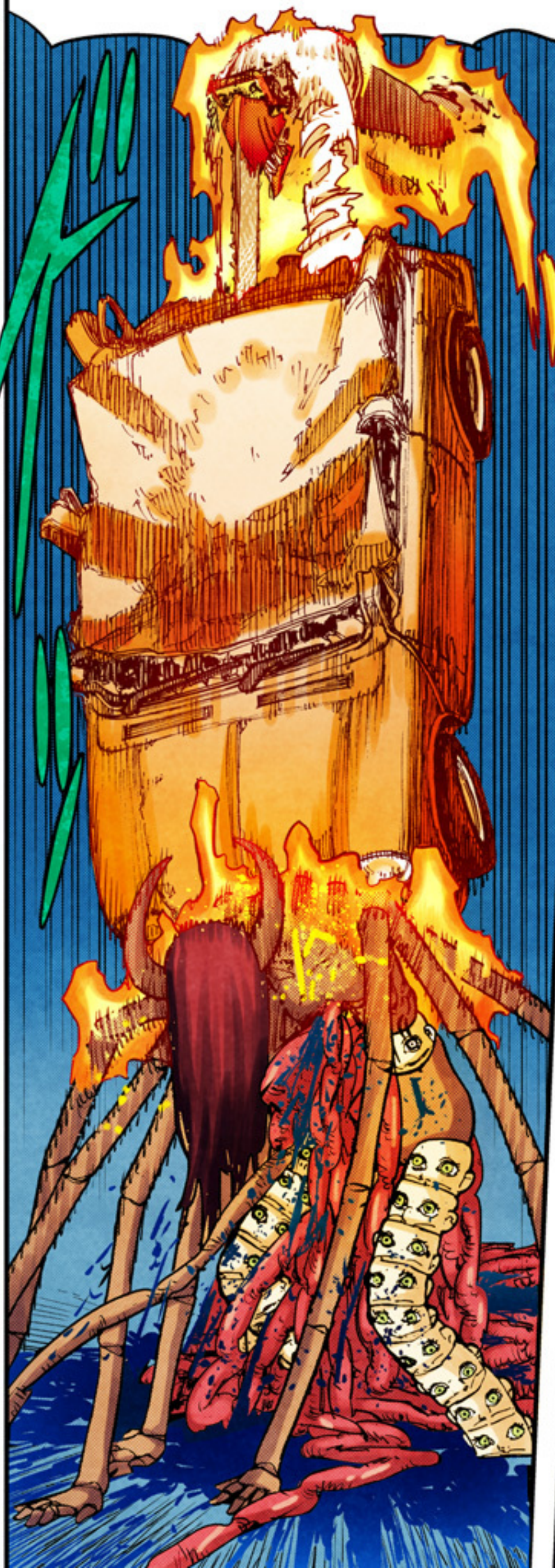
ああ!?





ひかり ちから

光ん力だア
アアアああ!!



な!?



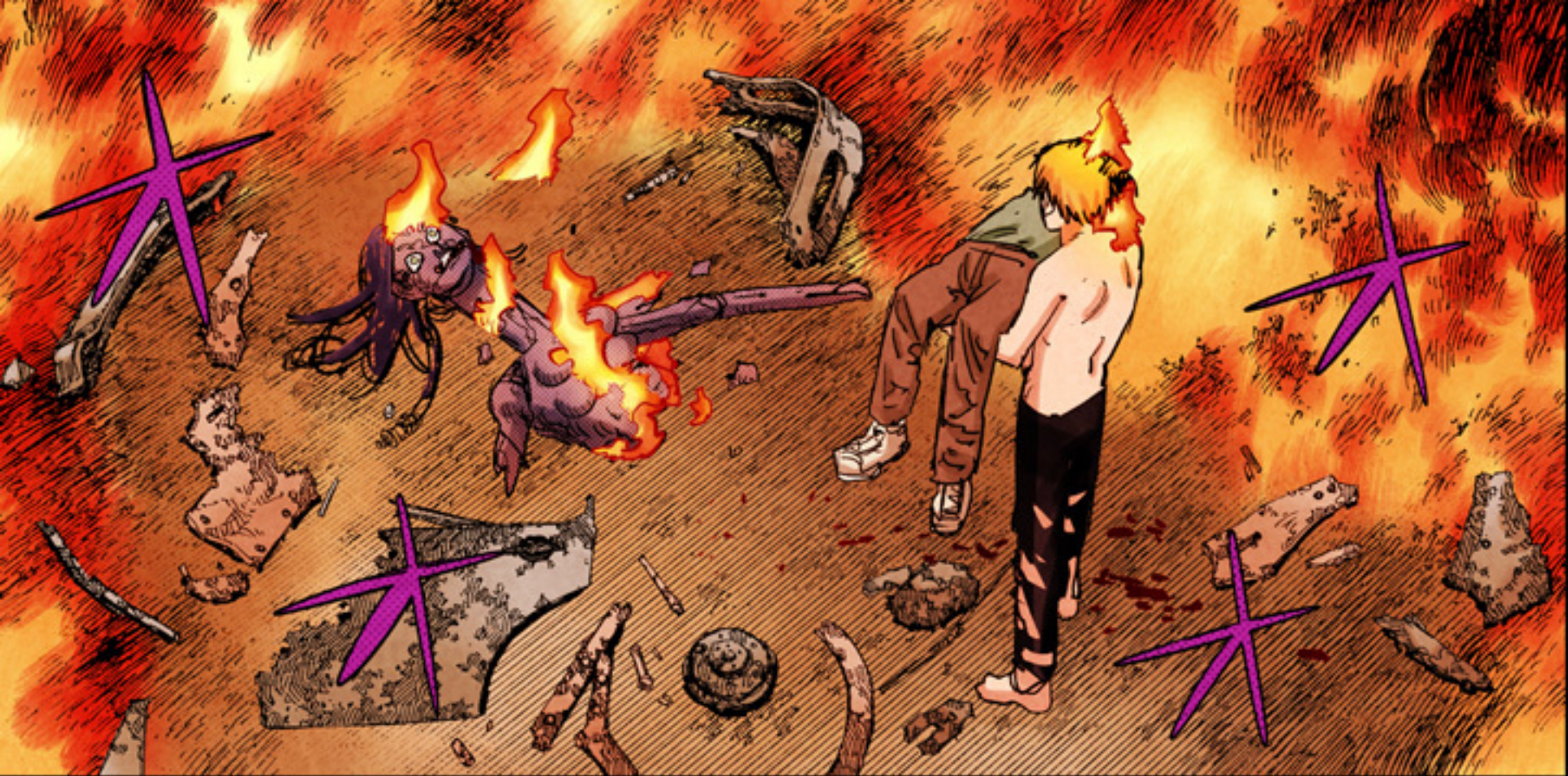
これが
俺のお才!



ぎゃああ
ああアア!!

u
d m w d s u
d m d i d h c





だい 70 話 っ 摘む
[第 70 話] 摘む

ふ…
ふふふ

あなた
の
貴方
の
行動
パターン
は
理解
しまし
ました



わたし
は
人形
の悪魔
と
契約
を
して
いま
す

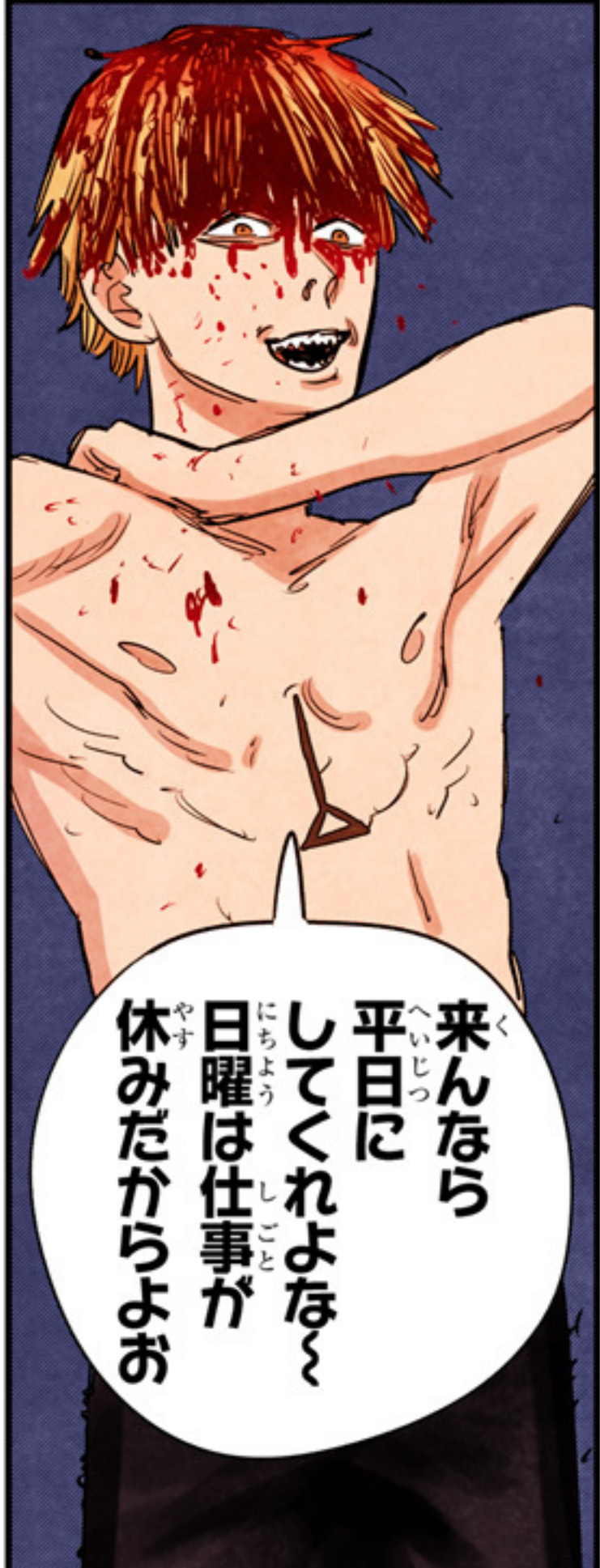
そして
私の
人形
達は
世界
中
あち
こち
に
いま
る
の
で
す

ふれ
て
人形
に
す
れ
ば
誰
し
も
が
サン
タク
ロ
ース
と
呼
ば
れ
る
殺
し
屋
に
な
り



闇
の
力
で
進
化
を
し
続
け
何
度
で
も
貴
方
を
殺
し
に
行
く
で
し
よ
う

来
ん
ら
ら
平
日
に
し
て
く
れ
よ
な
く
日
曜
は
仕
事
が
休
み
だ
か
ら
よ
お





……ふふふ
あなたこそ
貴方は恐れを
知らない
のではない

頭が足りず
理解が
できないだけ

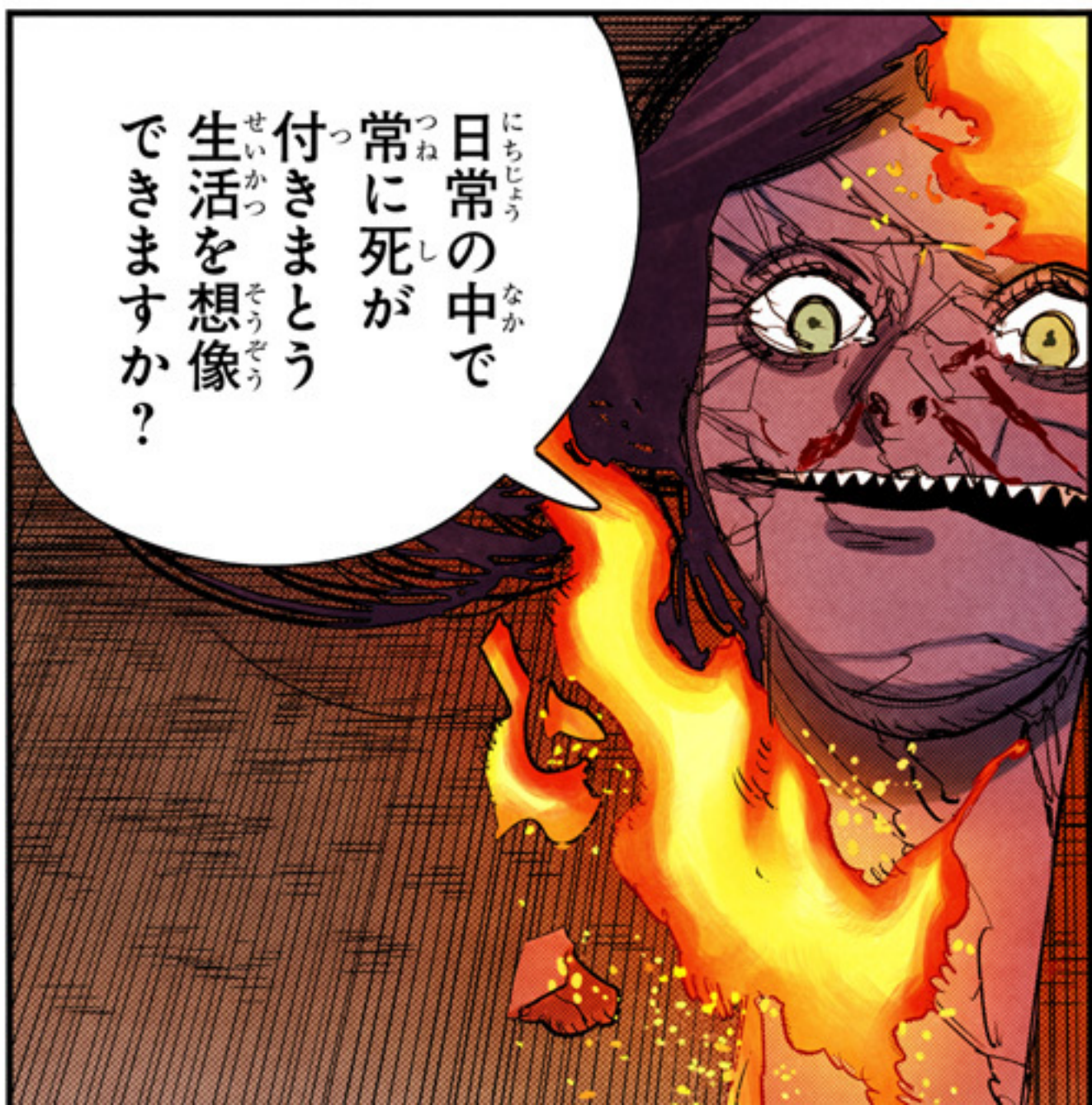


おー想像
させてくれよ！
不死身ん
俺にもわかる
ようになあ！

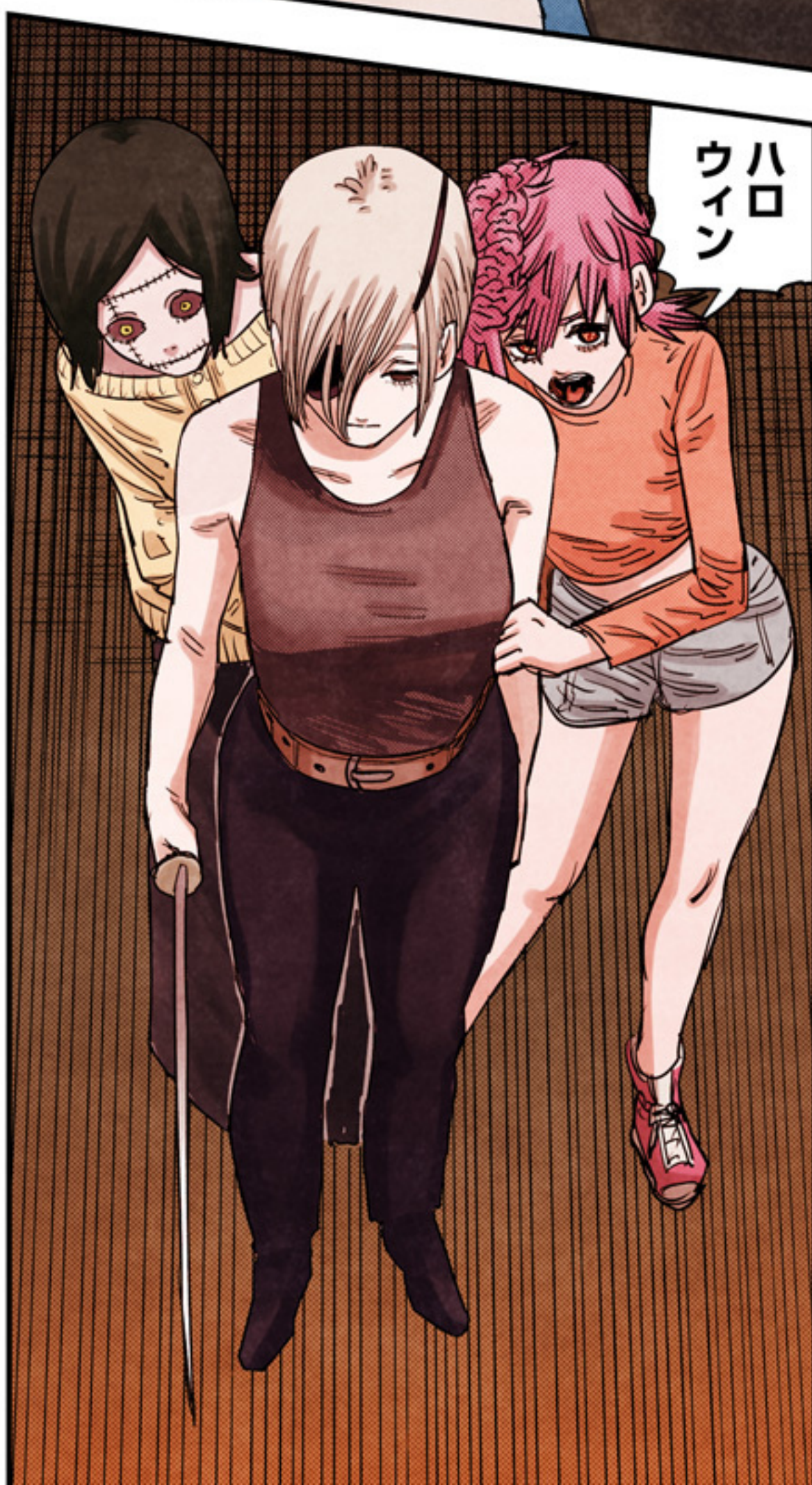
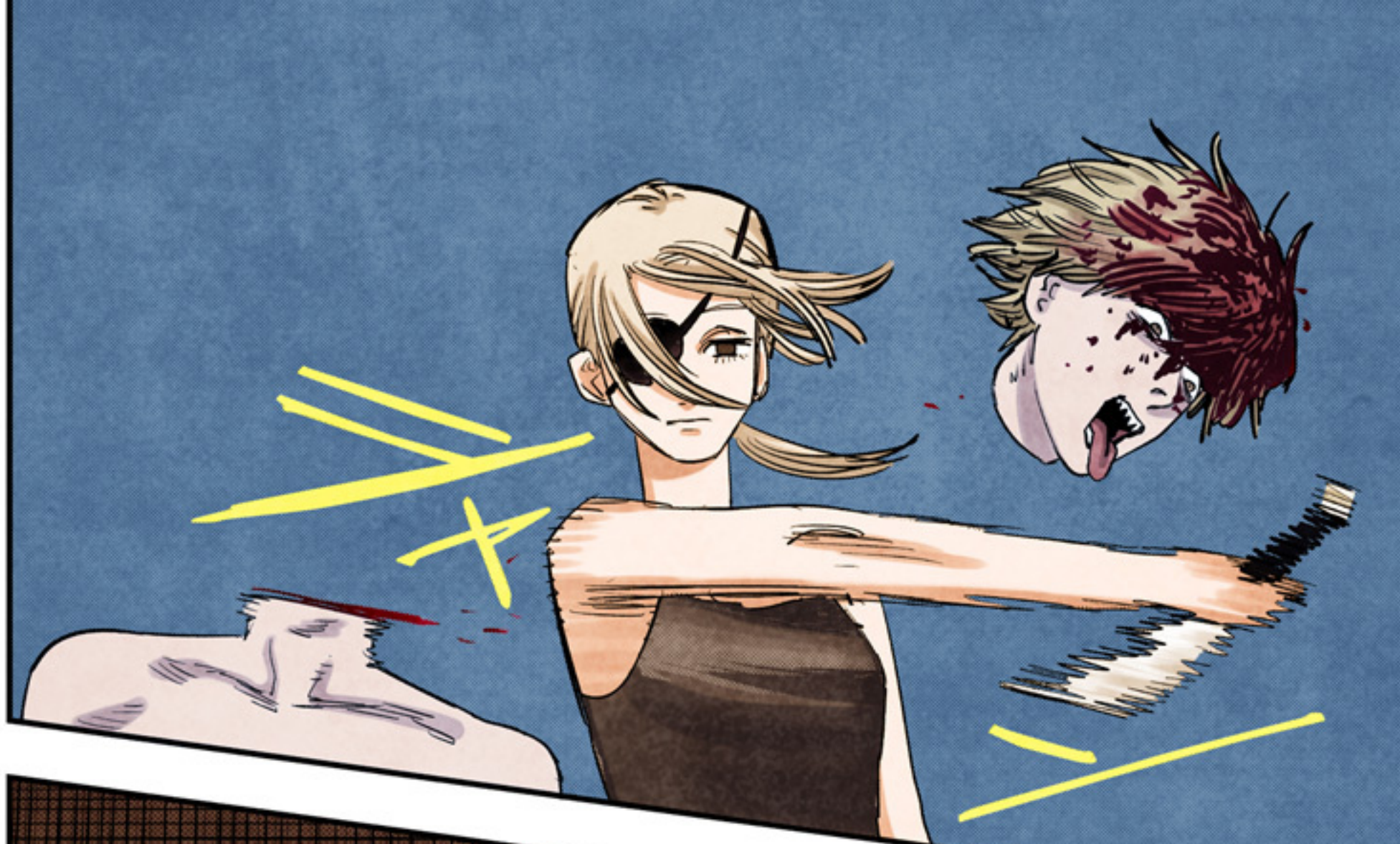


毎日
貴方が会う
家族も
友人も
他人も

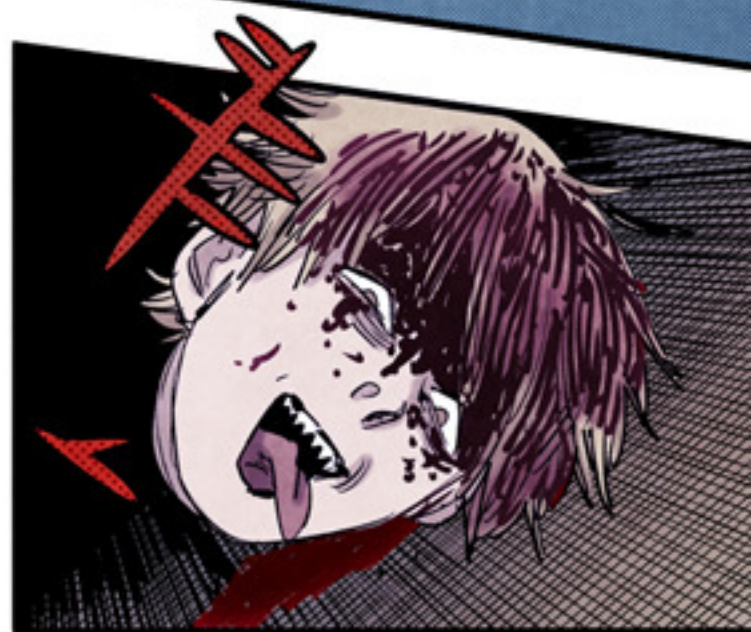
人形になり
貴方に
襲い掛かって
くるかも
しれないのです



日常の中で
常に死が
付きまとう
生活を想像
できますか？



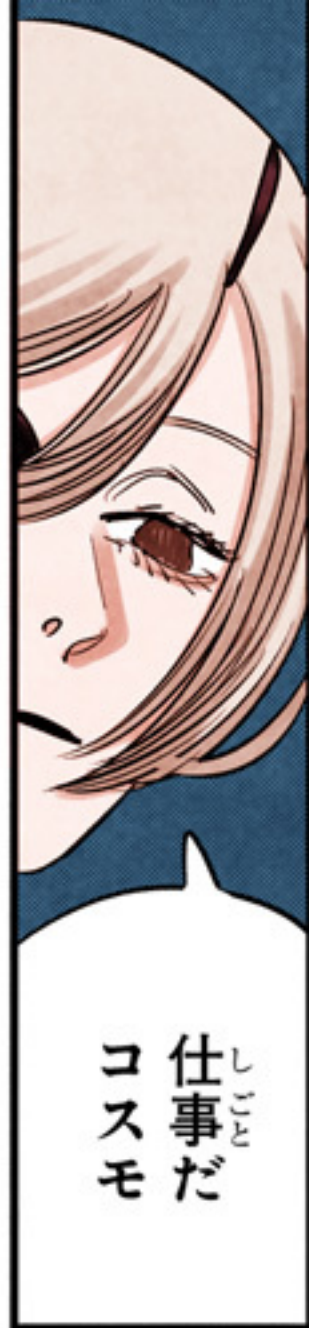
ウハロイン



共闘は
おわりだ



ハクロー
ワイン!



仕事だ
コスモ



クアンシ
あなた
貴女も
いつか
人形に
くわ
加えます



こいつに
本気の
ハロ
ワインを
食らわ
せて
やれ

ひとり
で
東京
観光
して
いた
罰
だ



ハクロー
ハクロー
ハクロー
ハクロー

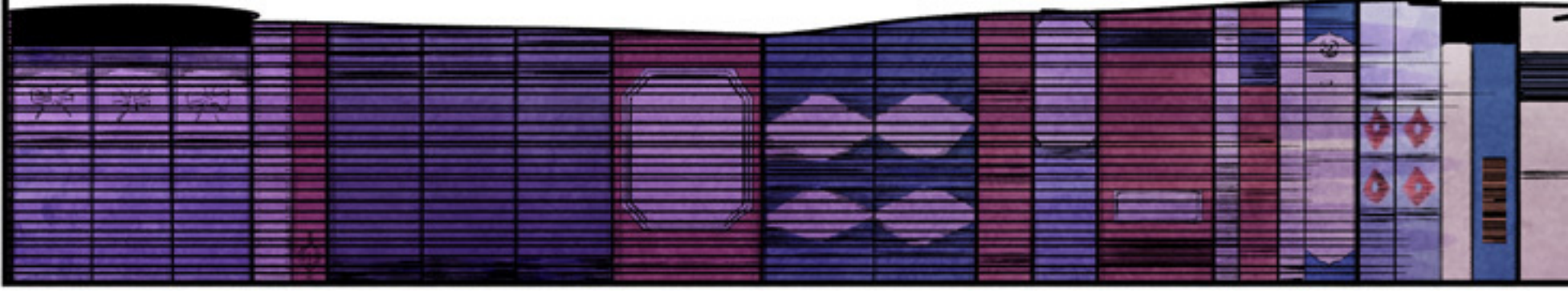


ハロ
ワイン?



ハロ
ワイン!!

ウィイイイイイイイイイイイイイイイ〜ン!!



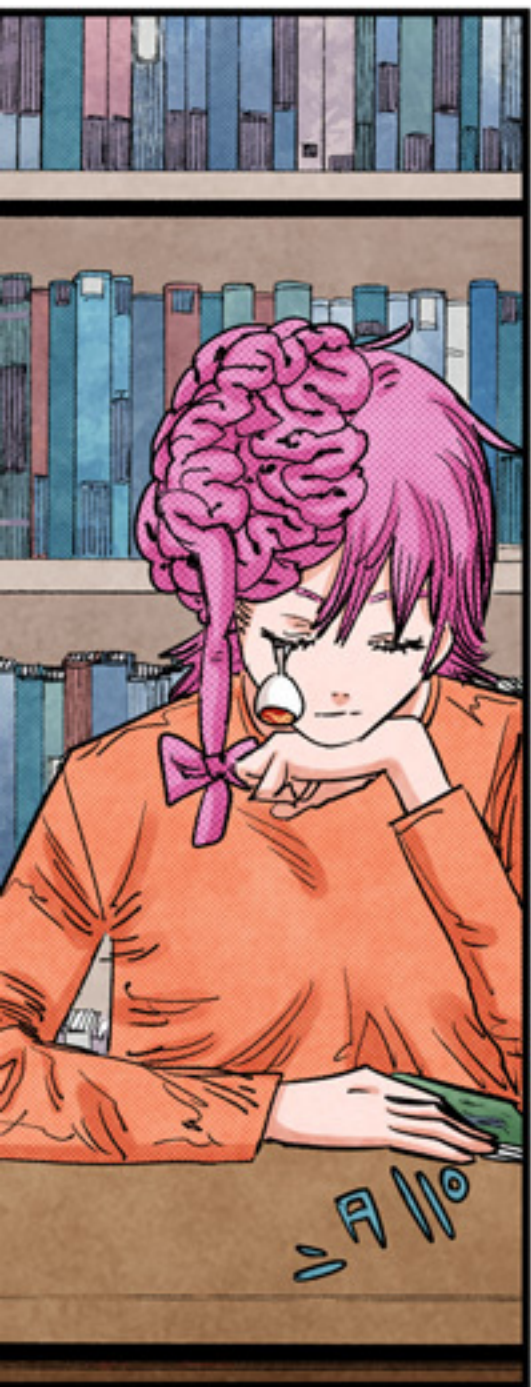


なるほど
……



ここは
あなたの
貴女の
脳内……

私に何か
精神的な
攻撃を
するつもり
ですね



無駄
ですよ
私の脳は
世界中にいる
人形達と
繋がって
います

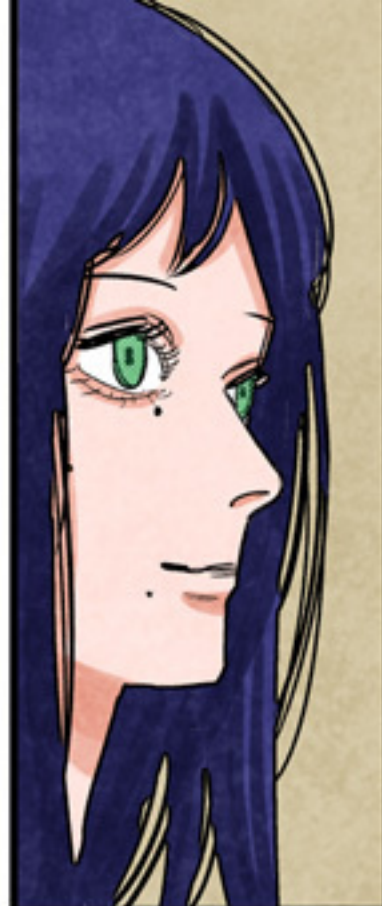
あなたの
貴女の攻撃は
血の一滴で
海の青を赤に
染めようと
するようなもの



あなたに
貴女に
理解が
できる
でしょうか



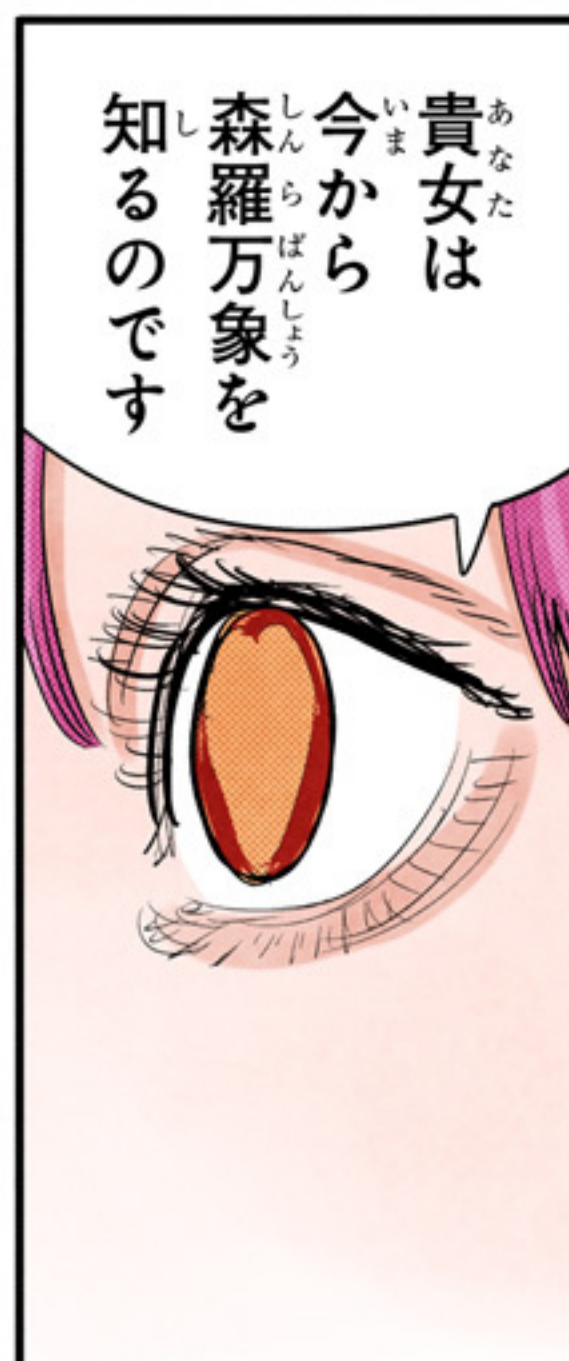
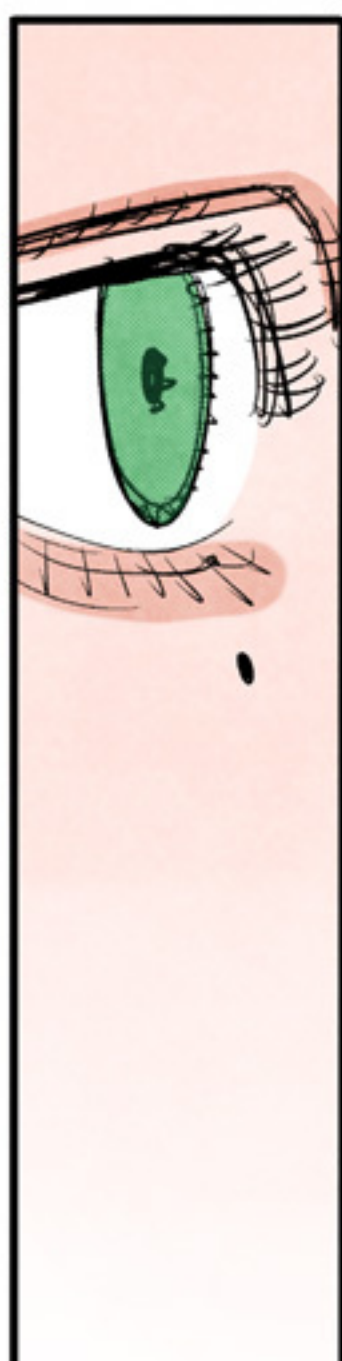
警戒する
必要は
ありませんよ



こんばんは
私は
宇宙の
魔人です



私は
私の仲間達を
殺された
事に対して
貴女に
抱いている
怒気は
ありません
命あるもの
狩り
狩られるのは
自然の流れです
その流れに
抗うほどの
感情は
私には
ないのです



あなた
貴女は
今から
森羅万象を
知るのです



何が
起きるの
でしょうか？



これから
貴女に
起こる現象も
その流れに
すぎません

あなたは今
貴女の力で
闇の力を
すべてを
理解した
つもりにな
っている
でしょう

これから
貴女の脳に
この図書館の
本の内容が
すべて流れ
込みます

そうすると
私はどうなる
のでしょうか？

でもあなたが
理解している
全てというのは
この図書館の

そしてあなたは
今度こそ本当に
すべてを
理解する事が
できます

本の
1ページ目
にも
満たない事
なのです

すべてを
理解した者は
皆



たのしい行事

④

オオゴエ文庫



ハロウィン



文
コスモ

絵
コスモ

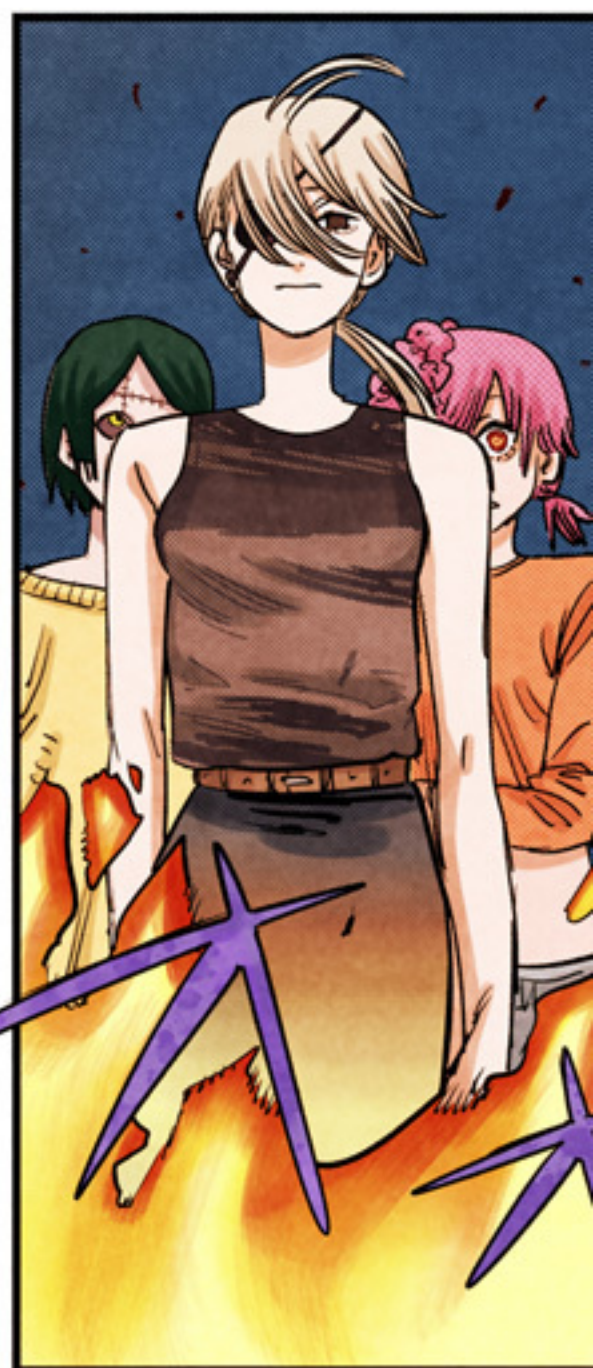
は：
ハロハロ…

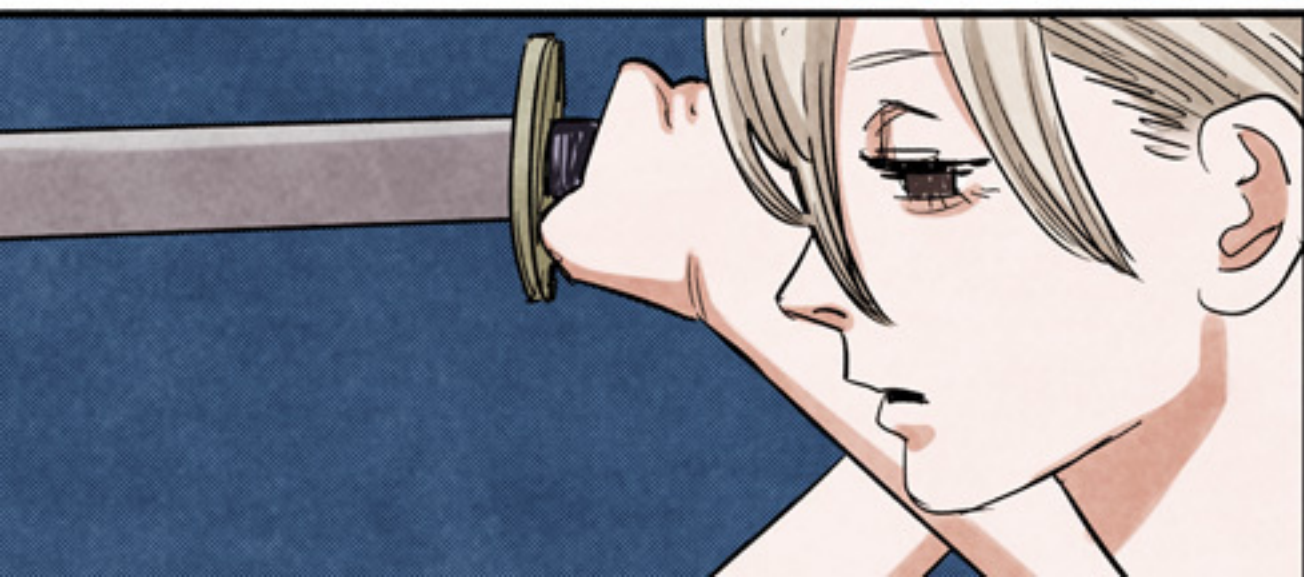
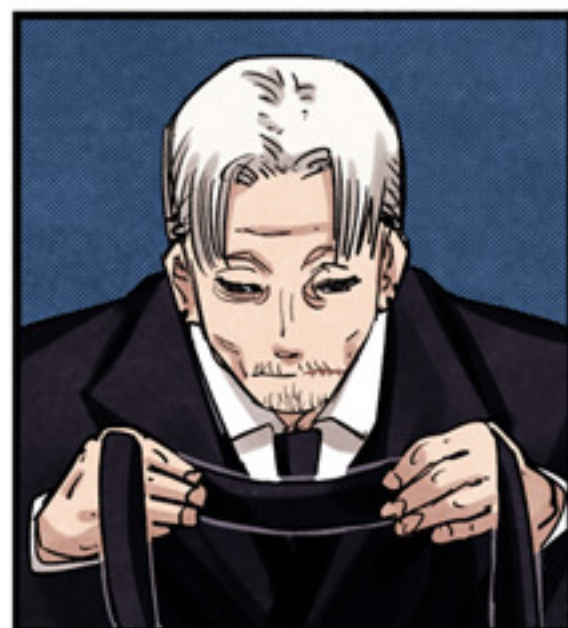
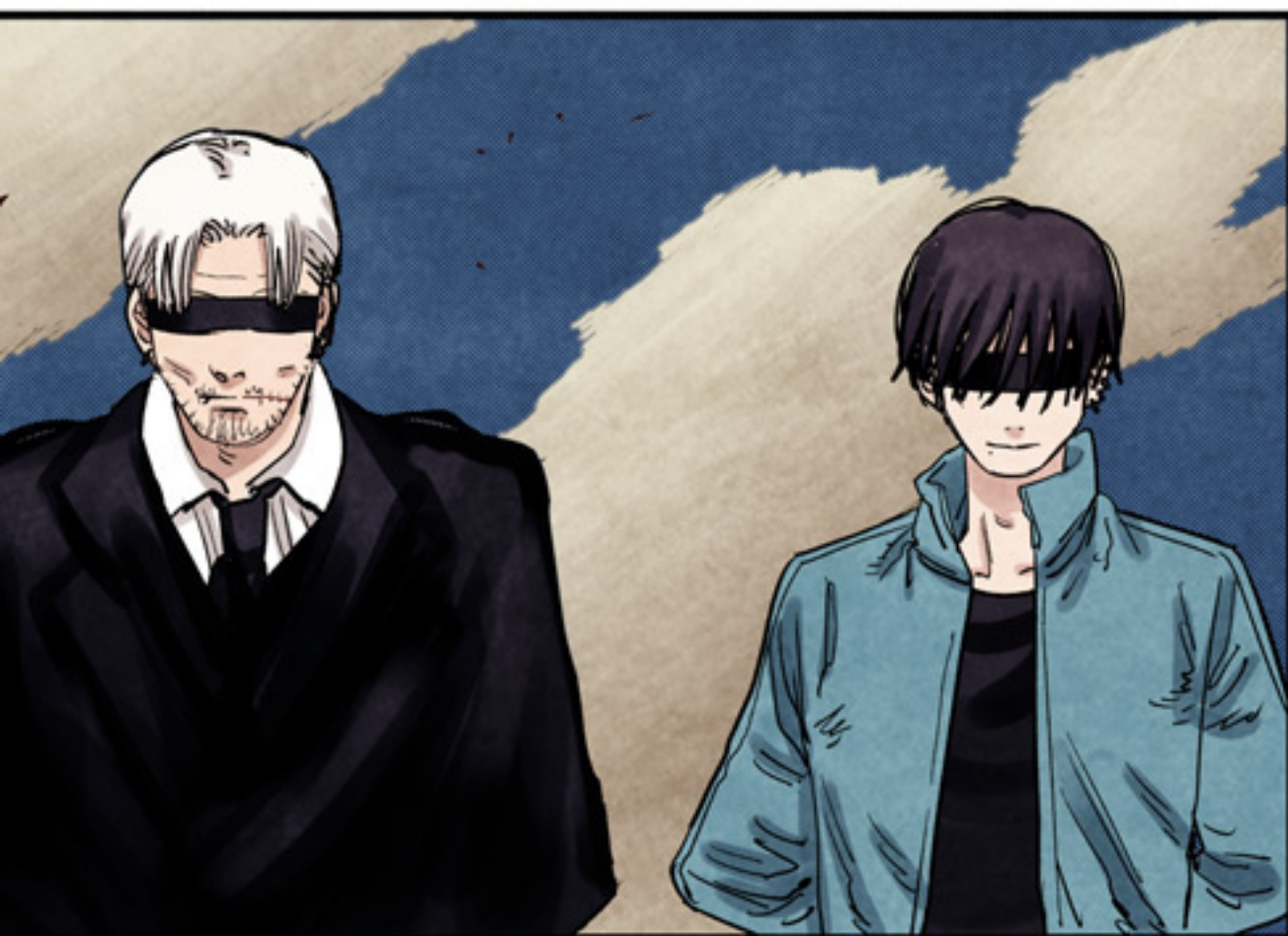
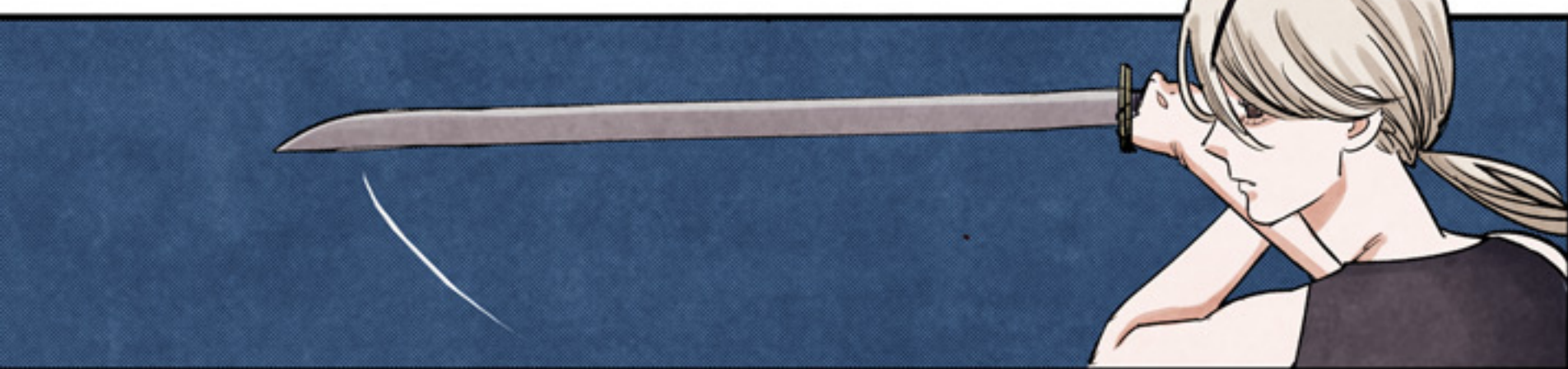
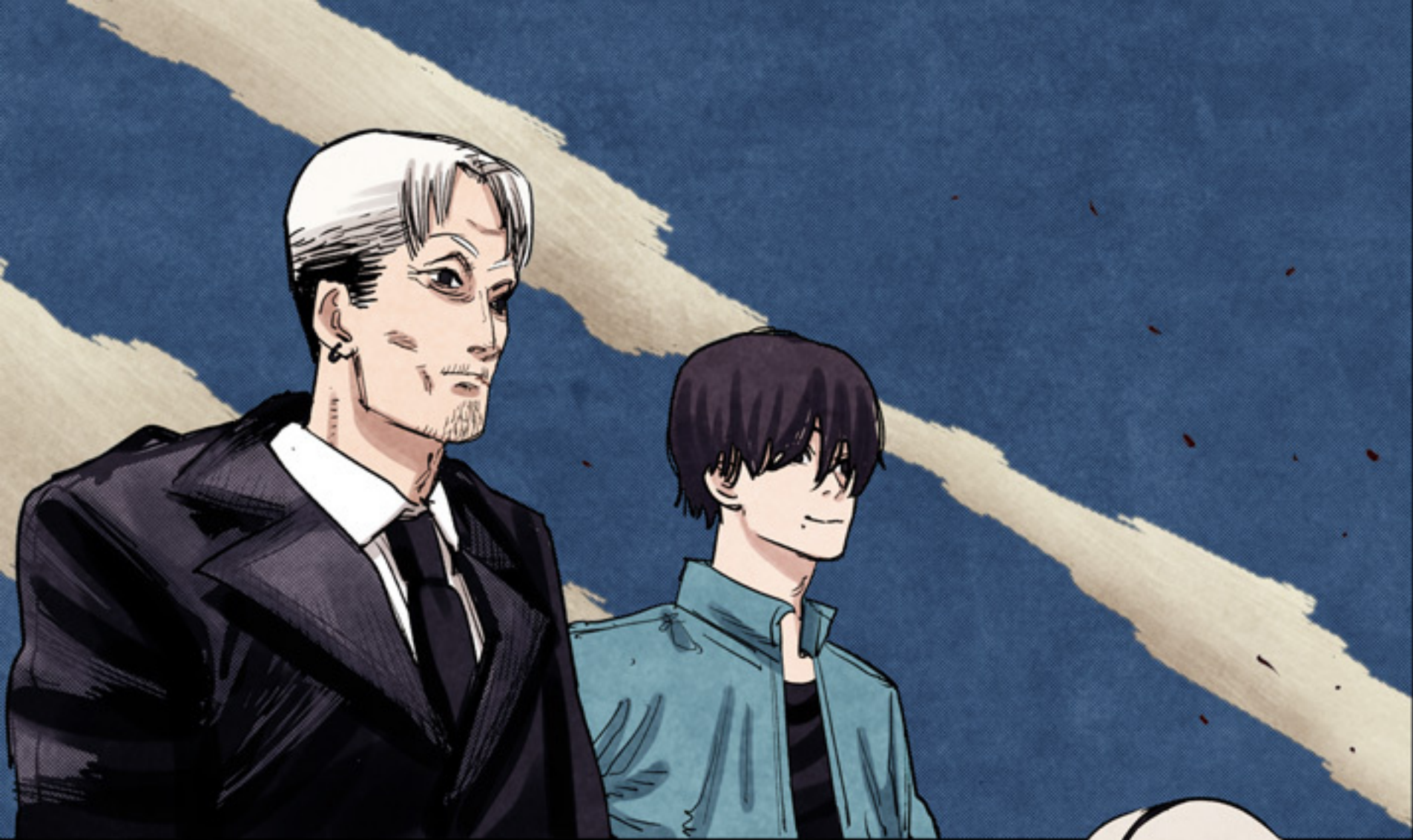


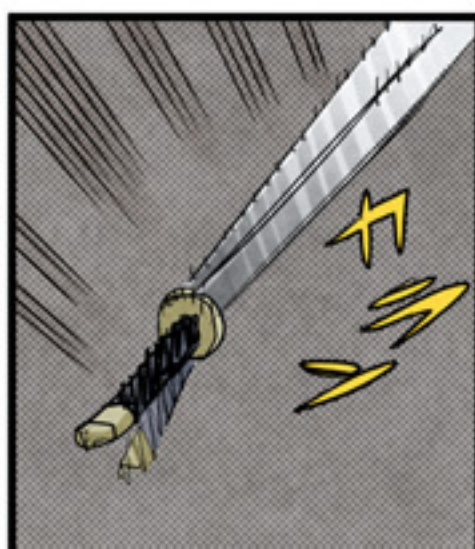
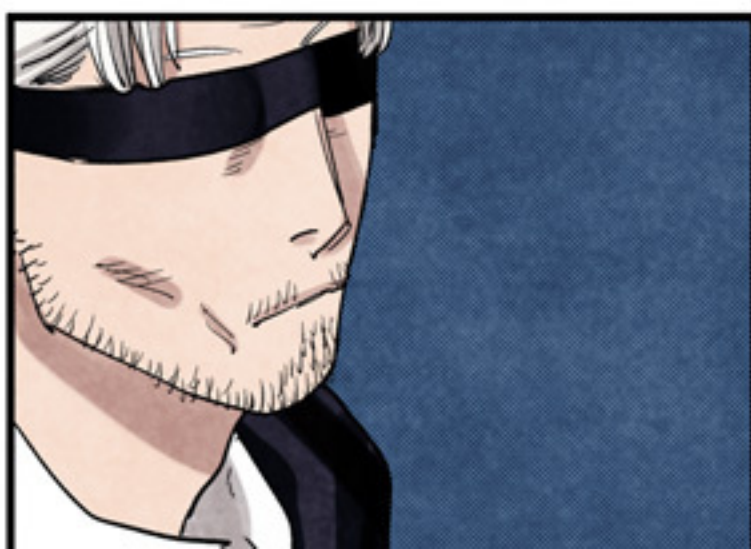
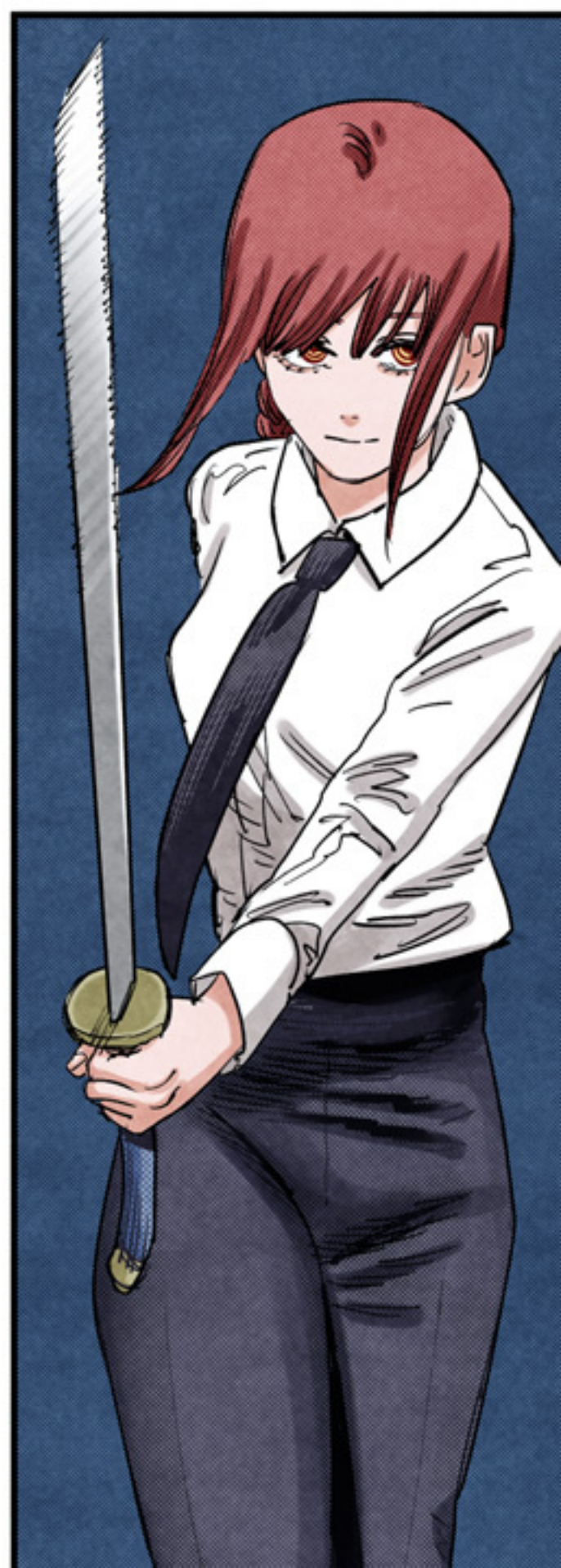
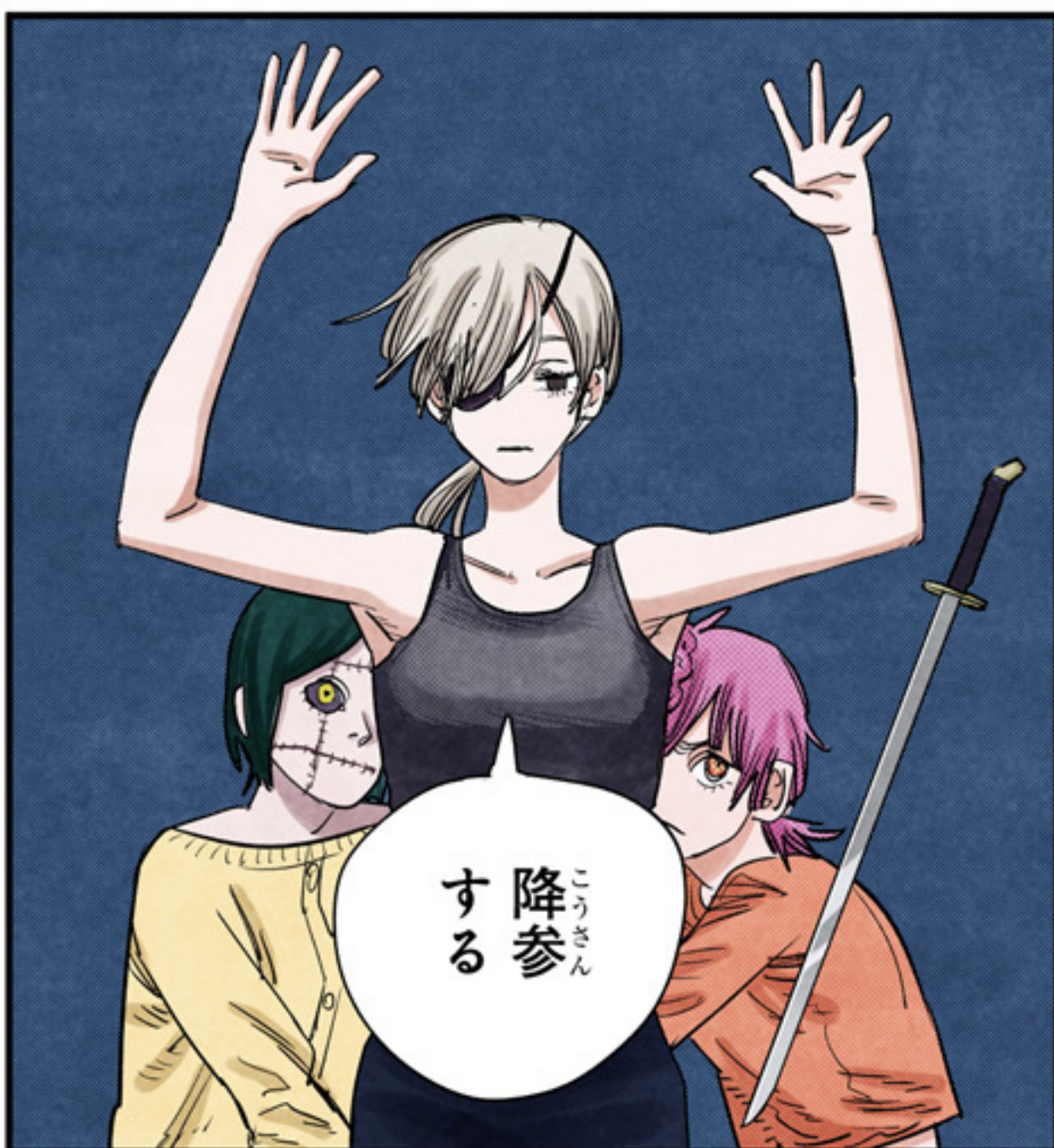
死ぬまでハロウインの事しか
考えられなくなるのです

You can
only think
of
Halloween until
You die.







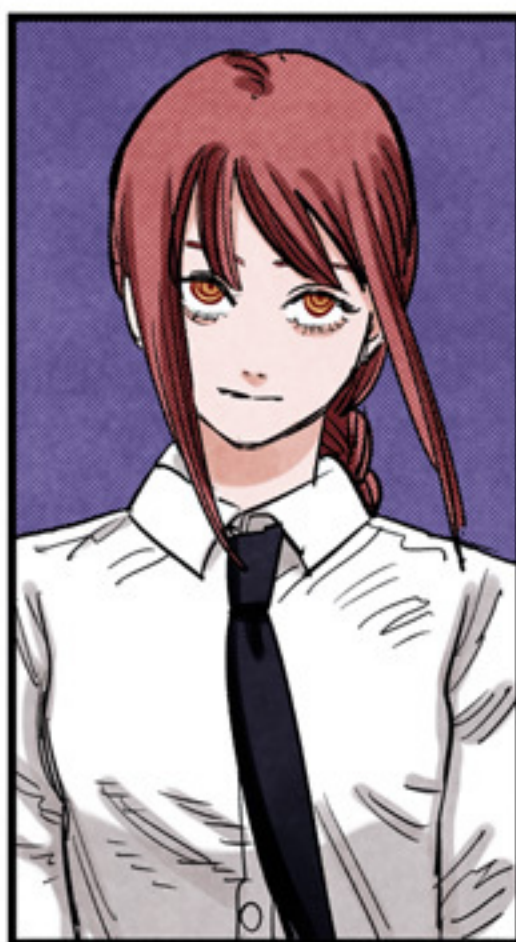




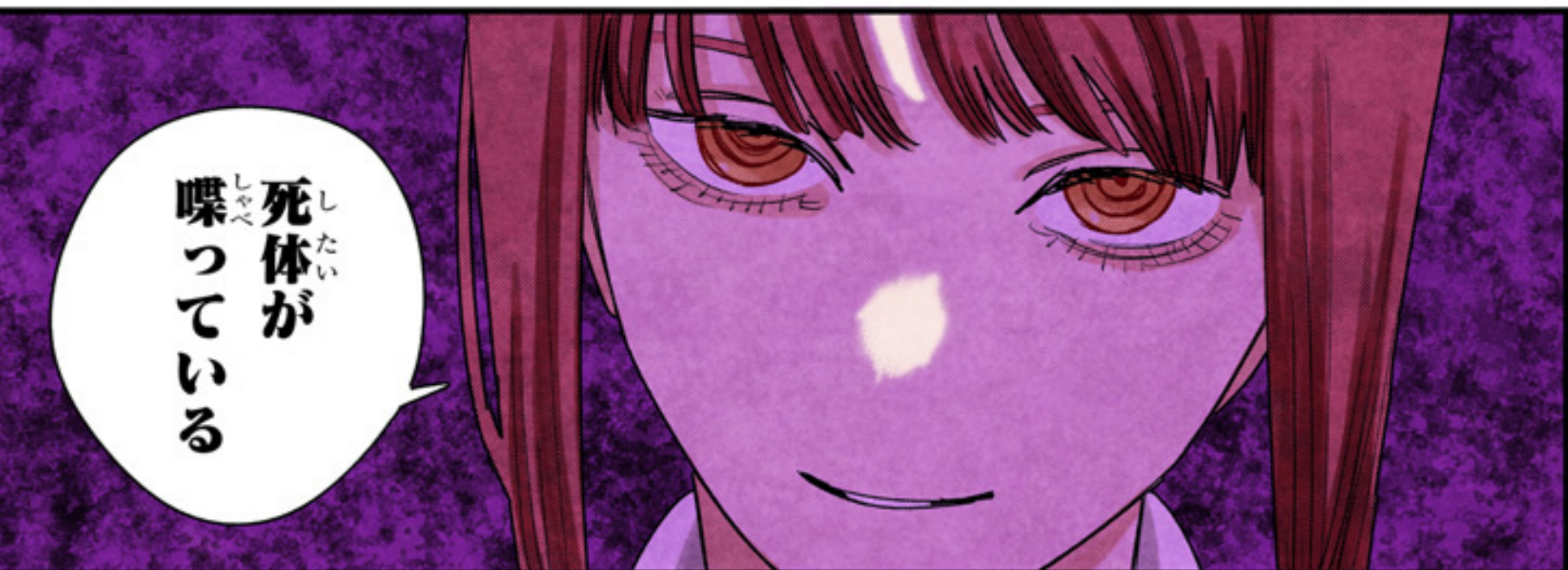
助^{たす}かるなら
靴^{くつ}でも
なんでも
舐^なめる



私^{わたし}が逃^にげると
思^{おも}うなら
四^し肢^しを
切^きつてもいい
だから
私^{わたし}の
女^{おんな}達^{たち}は
殺^{ころ}すな



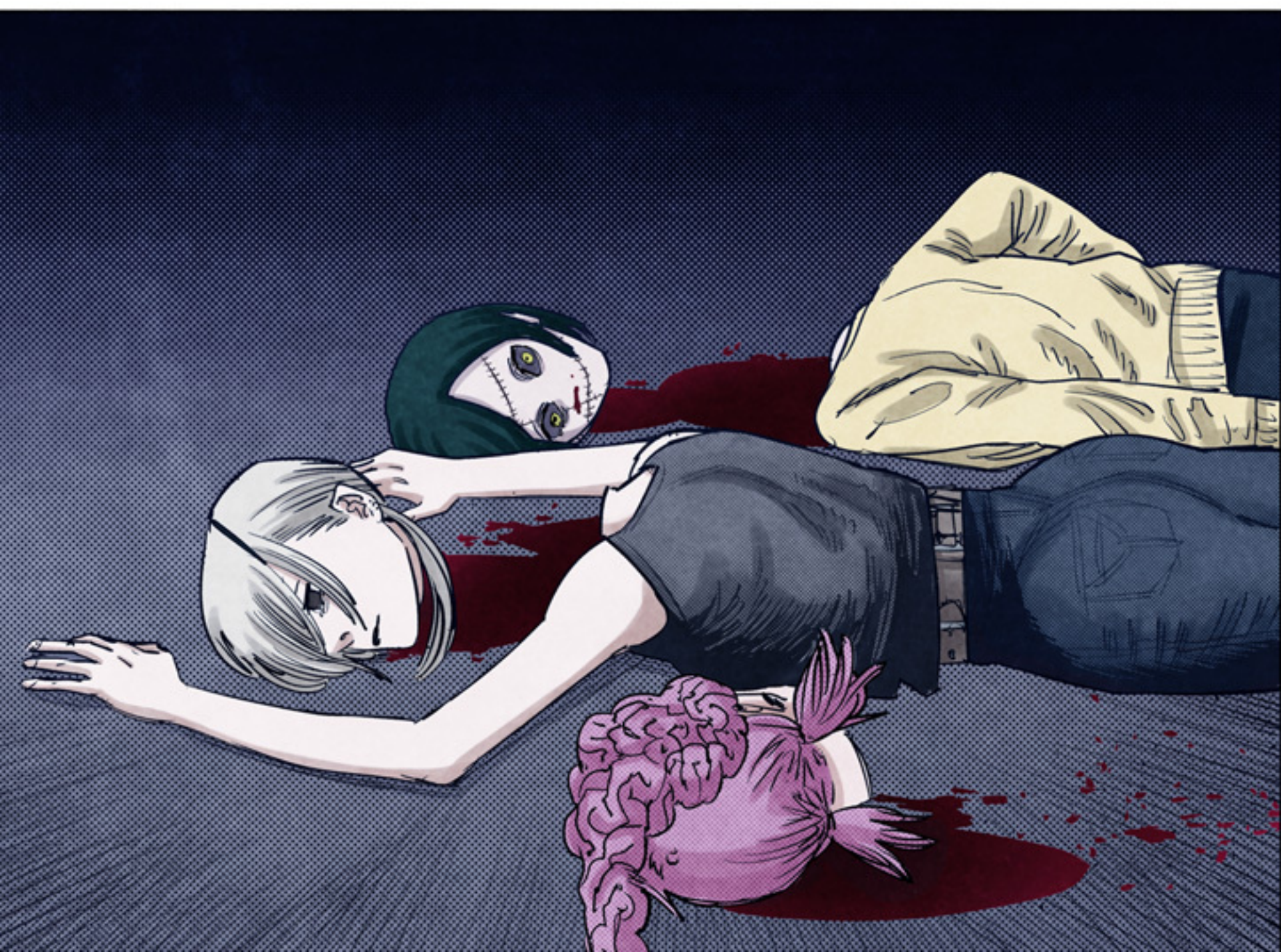
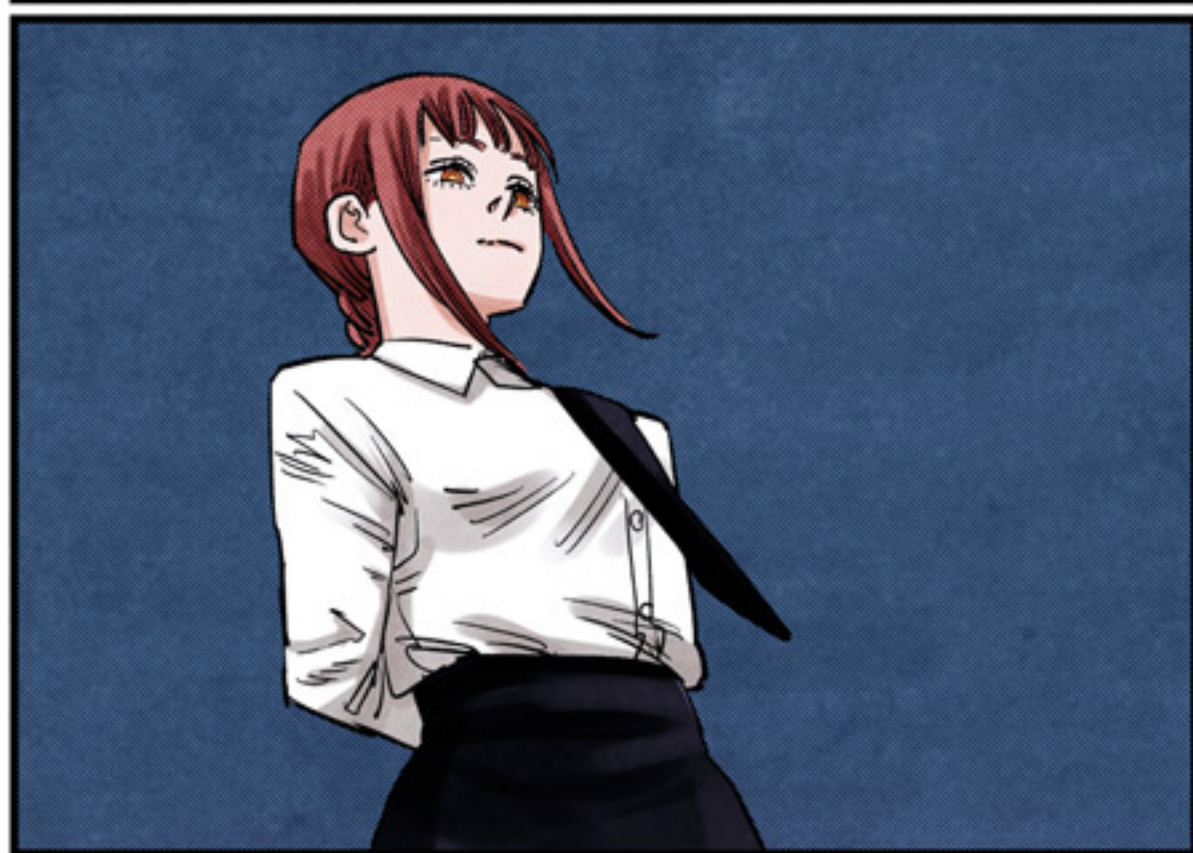
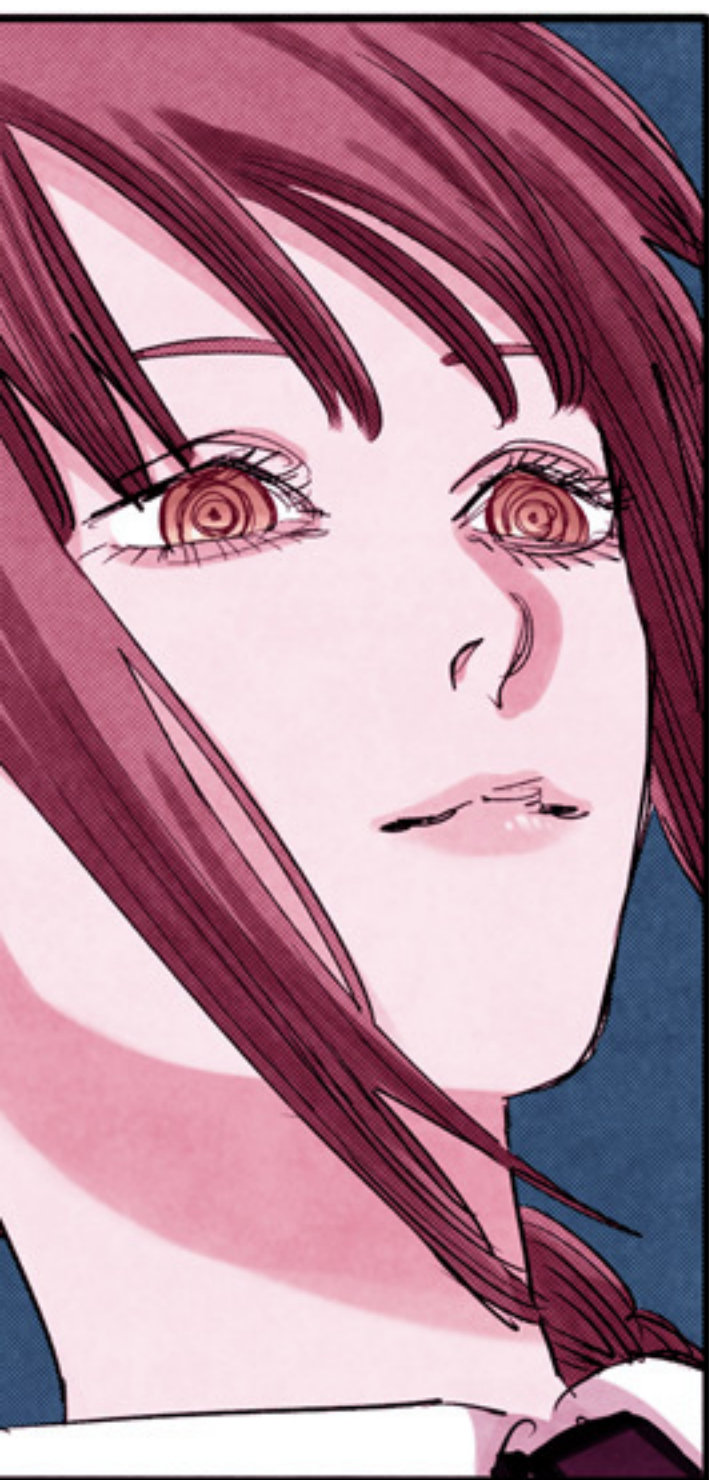
ハロウィン!

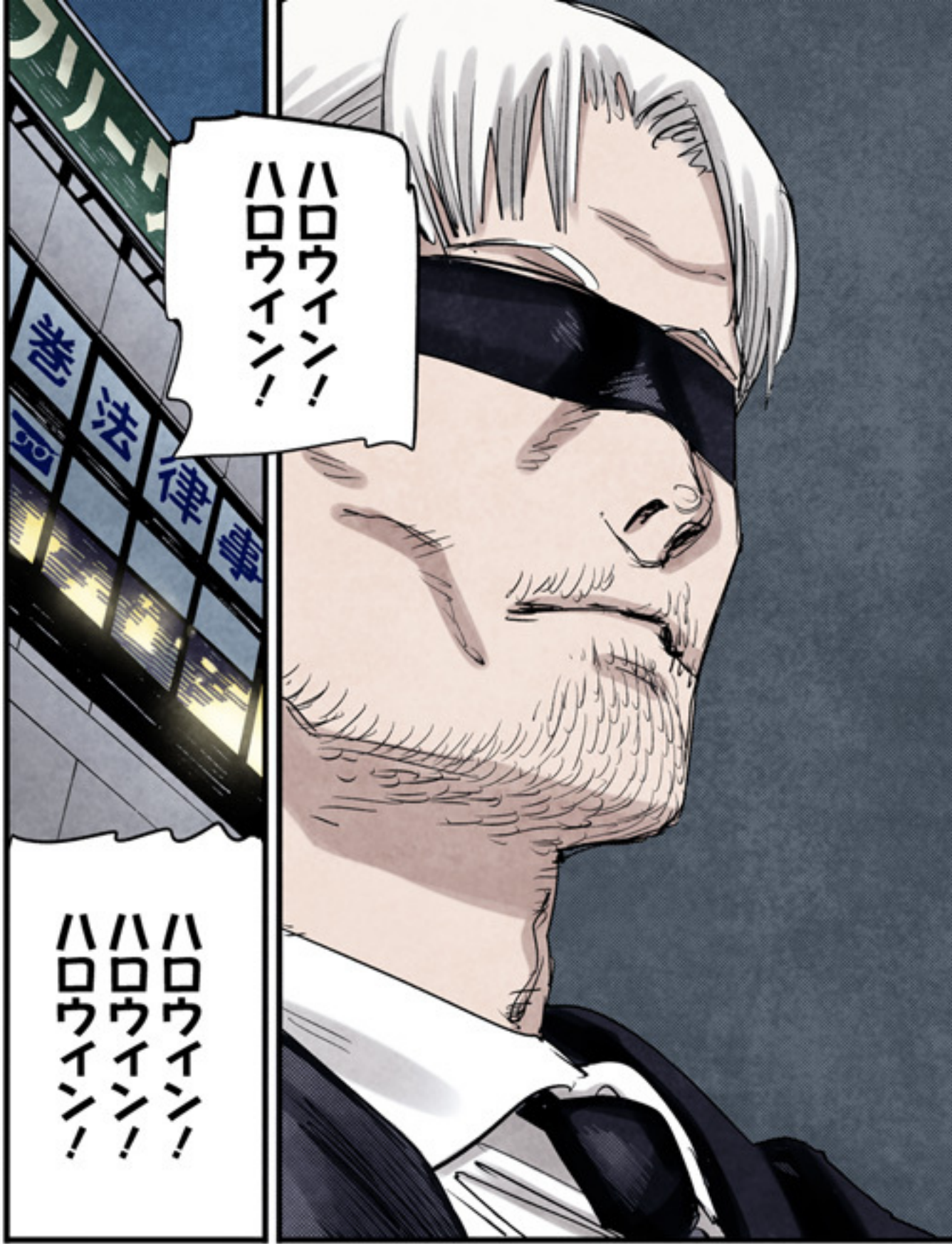


死^{したい}体^{たい}が
喋^{しゃべ}っている









ハロウィン!
ハロウィン!

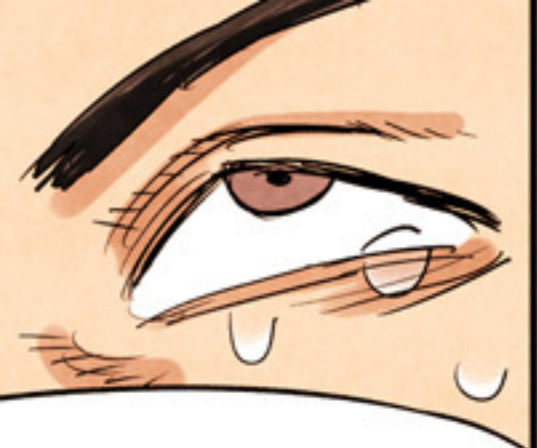


ハロウィン!
ハロウィン!
ハロウィン!
ハロウィン!



ハロウィン

ハロウィン!
ハロウィン!



それとも
新種の
ウイルス
なので
しょうか？



悪魔の
力……？



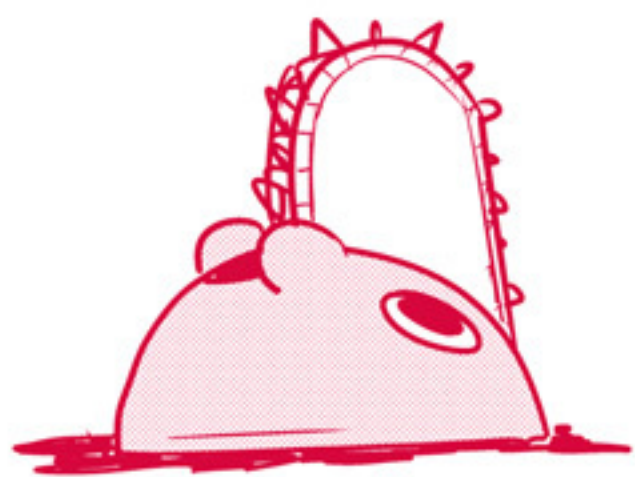
御覧のように
世界中で
ハロウィンとしか
話せなくなった
人達が
現れました



何も
見たく
ねえ……



目隠し……
取らないん
ですか？



Chain



saw man

きしべ ことし 岸辺の事を知らう！





無理



であ
出会い

アンタが俺ん
新しいバディの
クアンシ様かあ

守って
やるから
俺の女に
なれよ!



嫌だ



げつめ
6か月目

付き合
わないか?

いいだろ
そろそろ



イヤ



ねんめ
1年目

もし
今回の
生き残れ
たら:

付き
合っ
てく
れな
いか?



■編集協力／尚企画

■カバー、表紙デザイン／岡下陽平(Inazuma Onsen)



デジタルカラー版
チェンソーマン
8巻

藤本タツキ

© 藤本タツキ 2020, 2021

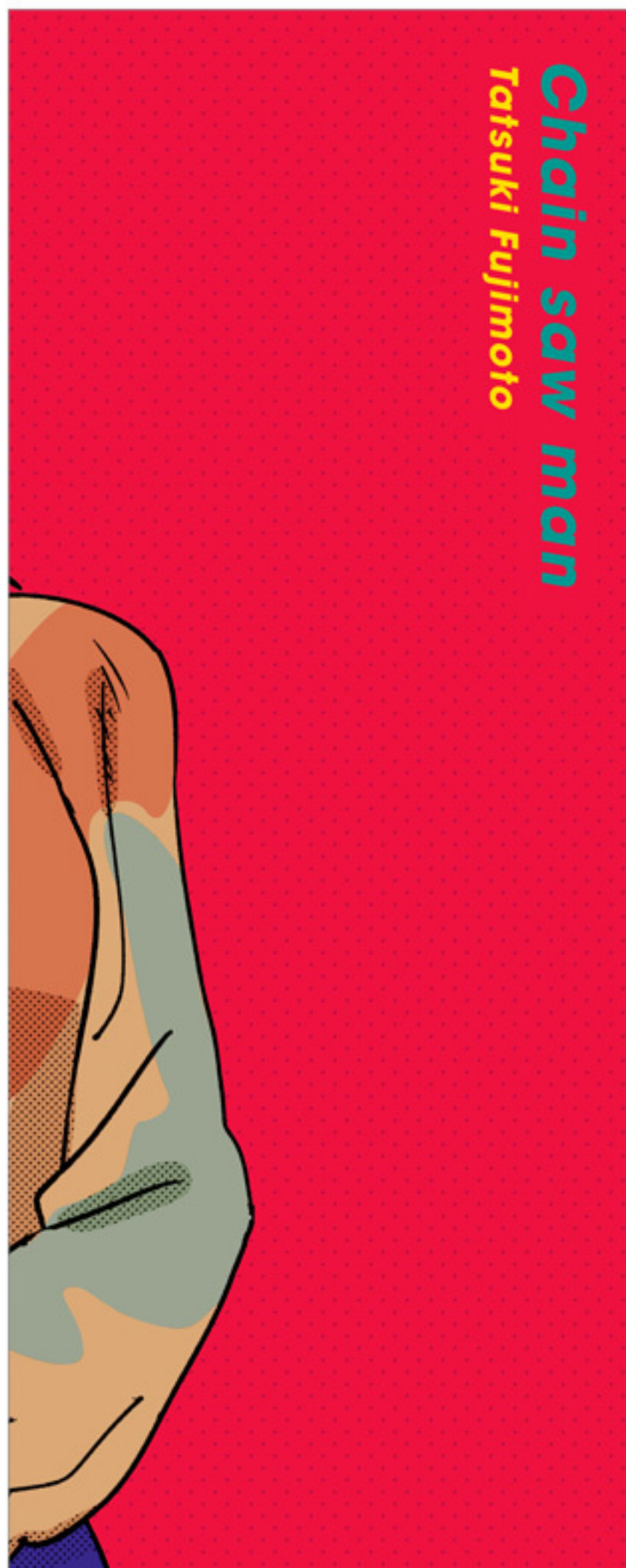
初版発行 2020年
デジタル版発行 2021年

発行所 集英社

<http://www.shueisha.co.jp>

この作品は、著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに集英社でデジタル彩色を行った特別編集版です。

本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信(インターネット上への掲載を含む)することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。



背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。



集英社

チェンソーマン

8

Chain
saw man

藤本
タツキ



ジャンプ コミックス

Chain saw man

集英社

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

JUMP COMICS 

チェンソーマン

8

[513059<59]

Tatsuki Fujimoto

藤本タツキ

Chains

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。